

牛頸土地区画整理事業地内  
埋蔵文化財発掘調査報告書 I

# 牛頸後田窯跡群

大野城市文化財調査報告書  
第33集

1991

大野城市教育委員会

牛頸土地区画整理事業地内  
埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ

# 牛頸後田窯跡群

大野城市文化財調査報告書  
第33集

1991

大野城市教育委員会



45—I号窠跡



45地点全景



59地点全景



59-II号窯跡



60—I号窯跡



60地点全景



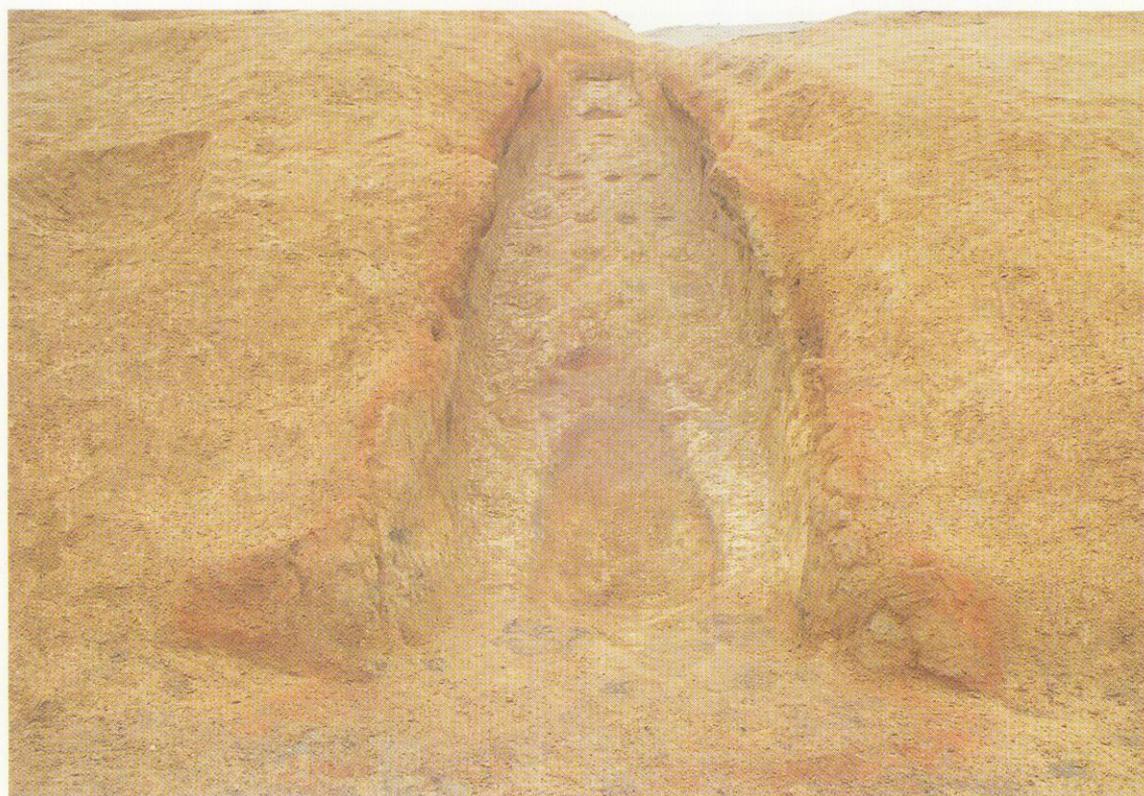
61地点全景



61-I号窟跡



61-II号窟跡



61-IV号窟跡



63地点全景



63-I号窠跡工具痕



65— I 号窯跡



65— I 号窯跡床断面



66地点全景



66— I 号窟跡

## 序

本市南部の牛頸、上大利地区は須恵器を焼いた窯跡が数多くあり、牛頸窯跡群として有名です。しかし、本市が福岡市と接していることから人口の流入が激しく、窯跡のあった山々は大型の住宅団地へと変貌を遂げてきました。このような中で、牛頸でも西部にあたる地区では、無秩序な宅地開発による弊害を防ぐため大規模（108ha）な土地区画整理事業を行うことになりました。事業は完成に近づき、かつて山々であった所でも既に家が建ち並んでいる場所もあります。面積が広大であったため、埋蔵文化財も数多くありました。須恵器窯跡はもちろん、古墳、集落が新たに発見されました。教育委員会では昭和57年度からそれらの発掘調査を継続してきましたが、いよいよ平成3年3月をもって現地調査が完了することとなりました。あしかけ9年間の調査でした。数々の新しい発見がありましたが、現地調査優先できたため、調査報告書の刊行が遅れていました。ようやく平成3年第1冊めの報告書を刊行できた幸いです。本書がより多くの人に利用されることを念じています。

調査に要する経費は、国、県補助金、市の予算以外に牛頸土地区画整理組合に負担していただいています。同組合の文化財に対するご理解に心から感謝申し上げます。また、調査に際しましては、地元牛頸区の皆様、地権者、区画整理事業の工事に当たられた土木、建設会社のご協力をいただいています。深く感謝の意を表したいと思います。

平成3年3月30日

大野城市教育委員会

教育長 久野英彦

## 例 言

1. 本書は牛頸土地区画整理組合（理事長 戸渡朋來）より委託を受けて実施した埋蔵文化財発掘調査の報告書である。
2. 遺物写真は、岡紀久夫の撮影による。
3. 遺物実測は秀嶋和子、竹林りさ、製図は同人と河鍋洋子、拓本は井手美智子、牟田昌子が担当した。
4. 遺物観察表は秀嶋、竹林が担当した。
5. 本書の執筆はIIIの一部を向直也が、その他並びに編集を舟山良一が担当した。
6. 本書に掲載した地形図には、建設省国土地理院発行の2.5万分の1『福岡南部』・『不入道』、20万分の1『福岡』を使用した。

## 本文目次

I. はじめに	1
(1) 調査に至る経緯	1
(2) 調査の経過	2
II. 位置と環境	6
III. 調査の結果	10
IV. まとめ	42

## 表目次

表1 牛頸土地区画整理事業地内遺跡地名表	3
表2 牛頸周辺遺跡地名表	7

## 巻頭カラー

1. 45—I号窯跡  
45地点全景
2. 59地点全景  
59—II号窯跡
3. 60—I号窯跡  
60地点全景
4. 61地点全景  
61—I号窯跡
5. 61—II号窯跡  
61—IV号窯跡
6. 63地点全景  
63—I号窯跡工具痕
7. 65—I号窯跡  
65—I号窯跡床断面

## 8. 66地点全景

### 66—I号窯跡

## 図版目次

- 図版 1 (1) 45—I号窯跡  
(2) 45—I号窯跡遠景
- 図版 2 (1) 45—I号窯跡最終床面  
(2) 45—I号窯跡灰原
- 図版 3 (1) 45—I号窯跡焚口  
(2) 同上
- 図版 4 (1) 45—I号窯跡煙出し、排水溝  
(2) 45—I号窯跡排水溝
- 図版 5 (1) 45—I号窯跡煙出し、排水溝  
(2) 45—I号窯跡灰層断面
- 図版 6 (1) 45—S K01  
(2) 45—S K01遺物出土状態
- 図版 7 (1) 46地点灰原  
(2) 46地点灰原掘り上げ後
- 図版 8 (1) 59地点遠景  
(2) 59地点近景
- 図版 9 (1) 59—I号窯跡  
(2) 59—I号窯跡燃烧部
- 図版10 (1) 59—II号窯跡  
(2) 59—II号窯跡土師器壘出土状態
- 図版11 (1) 59—II号窯跡焚口部  
(2) 59—III号窯跡
- 図版12 (1) 59—S K01  
(2) 59地点灰原断面
- 図版13 (1) 60—I号窯跡  
(2) 60—I号窯跡遠景

- 図版14 (1) 60-I号窯跡煙出し部(掘削途中)  
(2) 同上(掘削終了後)
- 図版15 (1) 60-I号窯跡灰層断面  
(2) 60-I号窯跡燃烧部
- 図版16 (1) 61地点全景  
(2) 61地点近景
- 図版17 (1) 60-I号窯跡  
(2) 61-II号窯跡
- 図版18 (1) 61-II号窯跡煙出し  
(2) 61-II号窯跡煙出し(内部より)
- 図版19 (1) 61-III号窯跡  
(2) 61-III号窯跡烧成部上部
- 図版20 (1) 61-I・III号窯跡切り合い部分  
(2) 61-III号窯跡・SK01
- 図版21 (1) 61-IV号窯跡  
(2) 61-IV号窯跡
- 図版22 (1) 61-V号窯跡  
(2) 61-V号窯跡煙道
- 図版23 (1) 61-II・III号窯跡灰原断面  
(2) 61-IV号窯跡灰原断面
- 図版24 (1) 61-V号窯跡灰原断面  
(2) 61-SK06
- 図版25 (1) 63地点全景  
(2) 63地点近景
- 図版26 (1) 63-I号窯跡全景  
(2) 63-I号窯跡煙出し・排水溝
- 図版27 (1) 63-I号窯跡側壁  
(2) 63-I号窯跡工具痕
- 図版28 (1) 63-I号窯跡床断面  
(2) 63-I号窯跡須恵器出土状態
- 図版29 (1) 63-I号窯跡遺物出土状態  
(2) 63-I号窯跡遺物出土状態

- 図版30 (1) 63—II号窯跡  
(2) 63—II号窯跡煙出し・排水溝
- 図版31 (1) 65地点調査前  
(2) 65—I号窯跡全景
- 図版32 (1) 65—I号窯跡最終床面  
(2) 65—I号窯跡半載状態
- 図版33 (1) 65—I号窯跡床断面  
(2) 65—I号窯跡煙出し・排水溝
- 図版34 (1) 65—I号窯跡排水溝埋土断面  
(2) 65—I号窯跡須恵器出土状態
- 図版35 (1) 65・66地点遠景  
(2) 66地点調査前
- 図版36 (1) 66—I号窯跡、S K02  
(2) 66—I号窯跡
- 図版37 (1) 66—S K01遺物状態  
(2) 66—S K02
- 図版38 出土遺物 (45地点)
- 図版39 出土遺物 (45地点)
- 図版40 出土遺物 (45地点)
- 図版41 出土遺物 (45地点)
- 図版42 出土遺物 (45地点)
- 図版43 出土遺物 (45・46地点)
- 図版44 出土遺物 (46地点)
- 図版45 出土遺物 (46地点)
- 図版46 出土遺物 (46・59地点)
- 図版47 出土遺物 (59地点)
- 図版48 出土遺物 (59地点)
- 図版49 出土遺物 (59地点)
- 図版50 出土遺物 (59地点)
- 図版51 出土遺物 (59地点)
- 図版52 出土遺物 (59・60地点)
- 図版53 出土遺物 (60・61地点)
- 図版54 出土遺物 (61地点)

- 图版55 出土遺物 (61地点)  
图版56 出土遺物 (61地点)  
图版57 出土遺物 (61地点)  
图版58 出土遺物 (61地点)  
图版59 出土遺物 (61地点)  
图版60 出土遺物 (61地点)  
图版61 出土遺物 (61地点)  
图版62 出土遺物 (61地点)  
图版63 出土遺物 (61地点)  
图版64 出土遺物 (61地点)  
图版65 出土遺物 (61地点)  
图版66 出土遺物 (63地点)  
图版67 出土遺物 (63地点)  
图版68 出土遺物 (63地点)  
图版69 出土遺物 (63地点)  
图版70 出土遺物 (63地点)  
图版71 出土遺物 (63地点)  
图版72 出土遺物 (63地点)  
图版73 出土遺物 (63地点)  
图版74 出土遺物 (63・65地点)  
图版75 出土遺物 (65地点)  
图版76 出土遺物 (65地点)  
图版77 出土遺物 (65・66地点)  
图版78 出土遺物 (66地点)  
图版79 出土遺物 (66地点)  
图版80 出土遺物 (66地点)  
图版81 出土遺物 (66地点)

## 挿 図 目 次

第1図	牛頸土地区画整理事業地内遺跡分布図（1/1万）	折り込み
第2図	牛頸周辺遺跡分布図（1/2.5万）	折り込み
第3図	福岡平野周辺の窯跡分布図（1/20万）	折り込み
第4図	45地点地形測量図（1/200）	折り込み
第5図	45—I号窯跡実測図（1/100）	折り込み
第6図	45—S K 01実測図（1/80）	12
第7図	46地点地形測量図（1/200）	13
第8図	59地点地形測量図（1/200）	15
第9図	59—I号窯跡実測図（1/40）	17
第10図	59—II号窯跡実測図（1/40）	17
第11図	59—III号窯跡実測図（1/40）	19
第12図	59—S K 01実測図（1/20）	19
第13図	60—I号窯跡実測図（1/100）	21
第14図	60地点地形測量図（1/200）	22
第15図	61地点地形測量図（1/200）	折り込み
第16図	61—I号窯跡実測図（1/40）	23
第17図	61—II号窯跡実測図（1/40）	折り込み
第18図	61—III号窯跡実測図（1/40）	折り込み
第19図	61—IV号窯跡実測図（1/40）	折り込み
第20図	61—V号窯跡実測図（1/40）	29
第21図	61—S K 06実測図（1/40）	30
第22図	63地点地形測量図（1/200）	31
第23図	63—I号窯跡実測図（1/100）	33
第24図	63—I号窯跡床かさあげ状況実測図（1/50）	33
第25図	63—II号窯跡実測図（1/40）	35
第26図	65・66地点地形測量図（1/200）	折り込み
第27図	65—I号窯跡実測図（1/100）	37
第28図	65—I号窯跡排水溝埋土断面実測図（1/40）	37
第29図	65—I号窯跡須恵器出土状態実測図（1/20）	37
第30図	66—I号窯跡実測図（1/40）	39

第31图	66—S K01实测图（1/40）	40
第32图	66—S K02实测图（1/40）	41
第33图	45—I号窑迹出土遗物实测图（1/3）	45
第34图	45—II号窑迹出土遗物实测图①（1/3）	46
第35图	45—II号窑迹出土遗物实测图②（1/3）	47
第36图	45地点灰原出土遗物实测图①（1/3）	48
第37图	45地点灰原出土遗物实测图②（1/3）	49
第38图	45地点灰原出土遗物实测图③（1/3）	50
第39图	45地点灰原出土遗物实测图④（1/3）	51
第40图	45地点灰原出土遗物实测图⑤（1/3）	52
第41图	45地点灰原出土遗物实测图⑥（1/6）	53
第42图	46地点灰原出土遗物实测图①（1/3）	54
第43图	46地点灰原出土遗物实测图②（1/3）	55
第44图	46地点灰原出土遗物实测图③（1/6）	55
第45图	59—I号窑迹、S K01出土遗物实测图（1/3）	56
第46图	59—II号窑迹出土遗物实测图（1/3）	57
第47图	59—II号窑迹灰原出土遗物实测图（1/3）	58
第48图	59—III号窑迹出土遗物实测图（1/3）	59
第49图	59地点灰原出土遗物实测图①（1/3）	60
第50图	59地点灰原出土遗物实测图②（1/3）	61
第51图	60—I号窑迹出土遗物实测图①（1/3）	62
第52图	60—I号窑迹出土遗物实测图②（1/6）	62
第53图	61—I·II号窑迹出土遗物实测图（1/3）	63
第54图	61—II·III号窑迹出土遗物实测图（1/3）	64
第55图	61—III号窑迹出土遗物实测图（1/6）	64
第56图	61—IV·V号窑迹、土坑出土遗物实测图（1/3）	65
第57图	61地点土坑、灰原出土遗物实测图①（1/3）	66
第58图	61地点灰原出土遗物实测图②（1/3）	67
第59图	61地点灰原出土遗物实测图③（1/3）	68
第60图	61地点灰原出土遗物实测图④（1/3）	69
第61图	61地点灰原出土遗物实测图⑤（1/3）	70
第62图	61地点灰原出土遗物实测图⑥（1/3）	71
第63图	61地点灰原出土遗物实测图⑦（1/3）	72

第64图	61地点灰原出土遺物実測図⑧ (1/3)	73
第65图	61地点灰原出土遺物実測図⑨ (1/3)	74
第66图	61地点灰原出土遺物実測図⑩ (1/3)	75
第67图	61地点灰原出土遺物実測図⑪ (1/6)	76
第68图	63—I号窯跡出土遺物実測図① (1/3)	77
第69图	63—I号窯跡出土遺物実測図② (1/3)	78
第70图	63—I号窯跡出土遺物実測図③ (1/3、1/6)	79
第71图	63—II号窯跡出土遺物実測図 (1/3)	80
第72图	63—I号窯跡出土遺物実測図 (1/3)	81
第73图	63地点灰原出土遺物実測図① (1/3)	82
第74图	63地点灰原出土遺物実測図② (1/3)	83
第75图	63地点灰原出土遺物実測図③ (1/6)	83
第76图	65—I号窯跡出土遺物実測図 (1/3)	84
第77图	65—I号窯跡灰原出土遺物実測図① (1/3)	85
第78图	65—I号窯跡灰原出土遺物実測図② (1/3)	86
第79图	65—I号窯跡灰原出土遺物実測図③ (1/6)	86
第80图	66—I号窯跡、SK01出土遺物実測図 (1/3)	87
第81图	66—I号窯跡灰原出土遺物実測図① (1/3)	88
第82图	66—I号窯跡灰原出土遺物実測図② (1/3)	89
第83图	66—I号窯跡灰原出土遺物実測図③ (1/3)	90
第84图	66—I号窯跡灰原出土遺物実測図④ (1/3)	91
第85图	66—I号窯跡灰原出土遺物実測図⑤ (1/3)	92
第86图	66—I号窯跡灰原出土遺物実測図⑥ (1/6)	92

# I. はじめに

## (1) 調査に至る経緯

大野城市の牛頸を中心とした一体は須恵器窯跡の大群集地帯として有名である。この一角に101.2haにわたる大規模な土地区画整理事業が計画され、宅地造成が行われることになった。事業は組合方式で行われることになり、昭和58年1月27日に牛頸土地区画整理組合が設立され翌年10月27日には起工式がとり行われた。事業予定地には約4割の山地部と6割の平地部が含まれるが、前者には須恵器窯跡と古墳が、後者には集落跡が数多くあると推定されたので、本市教育委員会は市の区画整理課、後には牛頸土地区画整理組合（以下組合と略す）と埋蔵文化財の取り扱いについて協議を重ねた。その結果、調査はまず分布調査から開始すること、本調査は組合側の工期に従って順位を決めることとした。また調査費用については組合がその多くを負担することになったが、後には市と組合が50%ずつ出し合うこととなった。また、国・県補助を受けられる分については補助金を充てることとした。

調査は昭和57年（1982年）に開始したが、平成3年（1991年）3月を以て現地調査が終了する見込みである。この間、9年の歳月を要したが、現場優先できたため、報告書の作成が遅れてようやく第1冊めを刊行することとなった。全遺跡の報告が完了するにはあと2～3年を要し、全体で5～6分冊になる予定である。

土地区画整理事業も終了に近づき、かつては窯跡や古墳のあった山々は削られ、モダンな家が次々と建てられている状況である。

教育委員会歴代の調査体制は以下のとおりである。

教育長	二宮親卯
	久野英彦
教育部長	後藤幹生
	村上信幸
	池田嘉門
	助村浩靖
社会教育課長	井原信一
	船越美直
	岡部弥之助
社会教育課長補佐・係長	赤星健彦
	安恒巧高

庶務担当主査・主事

調査担当技師

同 嘱託

青 木 克 正  
白 水 岩 人  
後 藤 秀 規  
高 橋 裕 司  
浦 山 敏 弘  
舟 山 良 一  
向 直 也  
徳 本 洋 一  
横大路 俊 明  
下 村 精 一  
秀 嶋 和 子

## (2) 調査の経過

各年度の調査経緯は以下のとおりである。

### ○昭和57年度（1982年度）の調査

- |                         |         |
|-------------------------|---------|
| 1. 月ノ浦 I 号窯跡（27地点）      | 5～6月    |
| 2. 分布調査                 | 10～11月  |
| 3. 後田古墳群（2～4号）（42・43地点） | 11～翌年2月 |

### ○昭和58年度（1983年度）の調査

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| 1. 小田浦窯跡群（31～34地点） | 11～翌年2月 |
|--------------------|---------|

### ○昭和59年度（1984年度）の調査

- |                      |         |
|----------------------|---------|
| 1. 下ノ原遺跡（20・24・25地点） | 8月      |
| 2. 小田浦窯跡群（50・51地点）   | 11～翌年2月 |

### ○昭和60年度（1985年度）の調査

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| 1. 小田浦窯跡群（37・40・57地点） | 10～翌年2月 |
| 2. 後田窯跡群（59・60・63地点）  | 2～3月    |

### ○昭和61年度（1986年度）の調査

- |                            |       |
|----------------------------|-------|
| 1. 後田窯跡群（61・65・66・45・46地点） | 4～10月 |
| 2. 小田浦窯跡群（28地点）            | 10月   |
| 3. 後田古墳群（44・42・43・53地点）    | 10～2月 |
| 4. 小田浦古墳群（37地点）            | 2～3月  |

### ○昭和62年度（1987年度）の調査



第1図 牛頸土地区画整理事業地内遺跡分布図(1/1万)

1. 塚原遺跡群 (13地点) 4～翌年3月
2. 畑ヶ坂遺跡 (14地点) 6月
- 昭和63年度 (1988年度) の調査
1. 塚原遺跡群 (13地点) 4～5月、8月
2. 畑ヶ坂遺跡 (14地点) 5～8月
3. 日ノ浦遺跡 (16地点) 9～翌年2月
4. 日ノ浦II遺跡 (22地点) 11月、翌年3月
5. 塚原遺跡 (12地点) 2月
- 平成元年度 (1989年度) の調査
1. 塚原遺跡 (12地点) 4月
2. 日ノ浦II遺跡 (22地点) 5～6月
3. 日ノ浦遺跡 (16地点) 6～翌年3月
- 平成2年度 (1990年度) の調査
1. 塚原遺跡群 (13地点) 7～12月
2. 洞ノ元古墳 (1地点) 翌年1～3月

表1 牛頸土地区画整理事業地内遺跡地名表

(S:昭和、H:平成)

No	遺跡名	調査年度	遺跡の内容	備考
1	洞ノ元古墳	1990 (H. 2)	円墳1基 (横穴式石室) (古)	
2	洞ノ元窯跡群		須恵器窯跡1基以上、未確認 (古)	
3	洞の元遺跡		散布地 未確認 (縄)	
4	正楽寺遺跡	1990 (H. 2)	試掘調査で確認できず	
5		1988 (S. 63)	〃	
6		1988 (S. 63)	〃	
7		1988 (S. 63)	〃	
8		1988 (S. 63)	〃	
9	畑ヶ坂窯跡群		須恵器窯跡 窯体確認できず (奈)	
10	〃		〃 (奈)	
11		1988 (S. 63)	試掘調査で確認できず	
12	塚原遺跡	1988・89 (S. 63・H. 1)	集落跡 (平～鎌)	
13	塚原遺跡	1987・88 (S. 62・63)	集落跡 (住居跡26軒) 古墳 (20基) (古～奈)	

No	遺 跡 名	調 査 年 度	遺 跡 の 内 容	備 考
14	畑ヶ坂遺跡	1988 (S.63)	集落跡 (古～奈)	
15	畑ヶ坂窯跡群		須恵器窯跡 窯体確認できず (奈)	
16	日ノ浦遺跡	1988・89(S.63・H.1)	集落跡(住居跡22軒) (古～奈)	
17	畑ヶ坂遺跡	1987 (S.62)	集落跡	
18	畑ヶ坂窯跡群		須恵器窯跡確認できず	
19	日ノ浦遺跡			
20	下ノ原遺跡	1984 (S.59)	試掘調査で確認できず	
21	日ノ浦II遺跡	1986	〃	
22	〃	1988・89(S.63・H.1)	甕棺墓、土坑墓、古墳 (弥～古)	
23	〃		流れ込みの土器多数出土 (平)	
24	下ノ原遺跡	1984 (S.59)	試掘調査で確認できず	
25	〃	〃	〃	
26	月ノ浦古墳		円墳1基(横穴式石室)1979(S.54)調査 (古)	【牛頸中通遺跡群II】所収
27	月ノ浦窯跡	1982 (S.57)	窯体削平、灰原から須恵器、軒丸瓦、平瓦、鴟尾 (古)	
28	後田窯跡	1986 (S.61)	灰原のみ、須恵器、瓦	
29	柳ヶ原古墳群	1983 (S.58)	確認できず、尾根の凹凸の見誤りと思われる	
30	後田窯跡群			
31		1983 (S.58)	試掘調査で確認できず	
32		〃	〃	
33	小田浦窯跡群	〃	須恵器窯跡1 (古)	
34	〃	〃	〃 1、(窯体ほとんど流失) (古)	
35	柳ヶ原古墳群	1983 (S.58)	確認できず	
36	〃	〃	〃	
37	小田浦古墳群・窯跡群	1985・86 (S.60、61)	円墳3基(横穴式石室)、須恵器窯跡2基 (古)	
38	小田浦窯跡群		須恵器窯跡2基、1968(S.43)立正大学調査 (古)	
39	〃		〃 〃 (古～奈)	
40	〃	1986 (S.61)	須恵器窯跡2基、1基は未操業 (古)	

No	遺 跡 名	調 査 年 度	遺 跡 の 内 容	備 考
41	小 田 浦 窯 跡 群	1986 (S.61)	試掘調査で確認できず	
42	後 田 古 墳 群	1982 (S.57)	}	
43	〃	1986 (S.61)		円墳10基 (横穴式石室7、小石室3) (古)
44	〃	〃		
45	後 田 窯 跡 群	1986 (S.61)	須恵器窯跡2基 (古～奈)	
46	〃	1986 (S.61)	〃 1基 (灰原のみ) (古)	
47		1985 (S.60)	}	
48		〃		試掘調査で確認できず、窯体と見えたのは炭焼窯らしきもの
49		〃		
50	小 田 浦 窯 跡 群	1984 (S.59)	須恵器窯跡2基 (古)	
51	〃	1984 (S.59)	窯体流失か	
52		1986 (S.61)	試掘調査で確認できず	
53	後 田 古 墳 群	〃	円墳1基 (横穴式石室)	
54		〃	試掘調査で確認できず	
55		〃	〃	
56		〃	〃	
57	小 田 浦 窯 跡 群	〃	須恵器窯跡1基 (ほとんど流失) (奈)	
58		〃	試掘調査で確認できず	
59	後 田 窯 跡 群	〃	須恵器窯跡3基 (奈)	
60	〃	〃	〃 1基 (古)	
61	〃	1987 (S.62)	〃 5基 (古～奈)	
62		1986 (S.61)	試掘調査で確認できず	
63	後 田 窯 跡 群	〃	須恵器窯跡2基 (古～奈)	
64		〃	試掘調査で確認できず	
65	後 田 窯 跡 群	1987 (S.62)	須恵器窯跡1基 (古)	
66	〃	〃	〃 (奈)	
67		1986 (S.61)	試掘調査で確認できず	

## II. 位置と環境

後田窯跡群は九州最大規模を有する牛頸窯跡群中の一支群である。群内では西側に位置する。学史的に小字名を冠した支群設定がなされてきたため、隣の小田浦窯跡群と地形的な違いを指摘することはできない。牛頸窯跡群は大野城市大字牛頸、上大利を中心に北は春日市、東は太宰府市の一部を含む東西4km、南北4.6kmの範囲にある大窯跡群で、総数300基以上の窯跡があると考えられている。調査された窯跡だけでも200基を越えている。牛頸は標高477.9mの牛頸山を最高所にして、北へのびる丘陵と牛頸川、平野川、平田川などが造り出した狭長な低地が複雑に入り組んだ地形をなしている。このため数多くの小谷が造り出され、窯を築くに適している。福岡平野の縁辺部に位置し、博多湾までは直線で13km、太宰府政庁跡までは4kmの地点に当たる。

福岡平野周辺の須恵器生産について見ると、最も古い窯跡は朝倉窯跡群と総称される八並(夜須町)、小隈(夜須町)、山隈窯跡群(三輪町)、そして近年発見され、調査された隈・西小田窯跡群(筑紫野市)である。朝倉窯跡群中小隈窯跡群と山隈窯跡群がそれぞれ夜須町教育委員会、九州大学考古学研究室によって、部分的にはあるが、発掘調査され、その成果が公表されている。その結果、陶邑Ⅰ型式Ⅰ段階に併行する須恵器が出土し、表採資料によって推定されている。<sup>〔註1〕</sup> 古さが確認された。また、隈・西小田窯跡群は7基が調査されたが、やはり同時期の須恵器が出土している。朝倉窯跡群や隈、西小田窯跡群が注目される以前は、九州で最も古い窯跡と言えは福岡市の新開窯跡であった。九州の須恵器編年のⅠB期、陶邑Ⅰ型式Ⅳ段階頃の開窯と言われていたが、最近ではさらにさかのぼりⅠ型式Ⅲ段階頃の須恵器もあると考えられている。新開に続くものが同じく福岡市の重留窯跡である。九州のⅡA期として報告されている。<sup>〔註2〕</sup> 陶邑のⅡ型式Ⅰ段階頃のものと併行ということになるが、蓋杯だけを見ればⅠ型式のⅤ段階と見ても良さそうなものである。しかし、高杯は既に長脚化が始まっている。蓋杯は古い様相が残るということなのだろうか、検討を要する問題である。九州のⅢA期(陶邑Ⅱ型式Ⅱ段階頃)になると、各地に窯が築かれ始め、これ以後本格的な須恵器生産が始まったと思われる。宇美町の岩長浦窯跡群、太宰府市の裏ノ田窯跡群、そして牛頸窯跡群で当該時期の須恵器を出土する窯跡が知られている。<sup>〔註4〕</sup> 牛頸を除く他の窯跡群は数も1~2基で、Ⅳ期頃に操業をやめてしまう。牛頸はⅢA期の窯跡として発掘調査されたのは野添6号窯のみであるが、その後窯もどんどんふえ、大窯跡群へと発展していく。ただ、現在のところ、奈良時代までの窯跡は知られているが、平安時代ものは見つかっていない。

近年の調査で注目されることを2点あげれば、その一つは和銅6年(西暦713年)銘のヘラ書き須恵器の発見である。和銅6年、筑前国奈珂郡手東里に住む大神君や大神部の3人が調とし

て大甕（甗）を奉るという内容である。これは牛頸窯跡群内でも東南部に位置するハセムシ窯跡群からの発見であった。『延喜式』に見られる様式、納税形態とも合致し、極めて重要な発見であった。残念なことには、文字が甕に記されていて、編年の基準ともなる杯類との共伴関係を特定できなかった。

その二は瓦陶兼業窯の問題である。太宰府市に属する神ノ前窯跡群からは（IIIB～IV）期の須恵器と共に瓦類が出土し、九州のみならず日本最古の瓦の可能性が指摘されている。また、以前にも大浦窯跡群からIV期の須恵器と共に平瓦が出土していた。その隣の野添窯跡群からも当該期の須恵器と平瓦が出土している。さらに月ノ浦窯跡群からはIV～V期の須恵器と共に軒丸瓦、平瓦、さらに鴟尾が出土して注目を集めた。窯跡からの出土としては九州最古の鴟尾である。他に春日市では、牛頸窯跡に含めるべきか迷う所で（ウトグチ窯跡群）、瓦窯が発見、調査され、鴟尾も出土した。同じく春日市の浦ノ原窯跡群A地区堅穴状遺構並びに4号窯跡及びその周辺から凹面に同心円文叩きを持つ平瓦が出土している。7世紀後半代のものと報告されている。瓦陶兼業窯の問題は今後の検討課題である。

- <註1> 『小隈窯跡群I』 夜須町教育委員会、九州大学考古学研究室「山隈窯跡の調査」『九州考古学』第65号、1990
- <註2> 小田富士雄「須恵器文化の形成と日韓交渉・総説編」『古文化談叢』第24集 1991
- <註3> 『重留遺跡』福岡市教育委員会 1988
- <註4> 『宇美観音浦』宇美町教育委員会 1981
- <註5> 『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告XVII』福岡県教育委員会 1977
- <註6> 『牛頸ハセムシ窯跡群II』大野城市教育委員会 1989
- <註7> 『神ノ前窯跡』太宰府町教育委員会 1979
- <註8> 『野添・大浦窯跡群』福岡県教育委員会 1970
- <註9> 『野添窯跡群』大野城市教育委員会 1987
- <註10> 『浦ノ原窯跡群』春日市教育委員会 1981

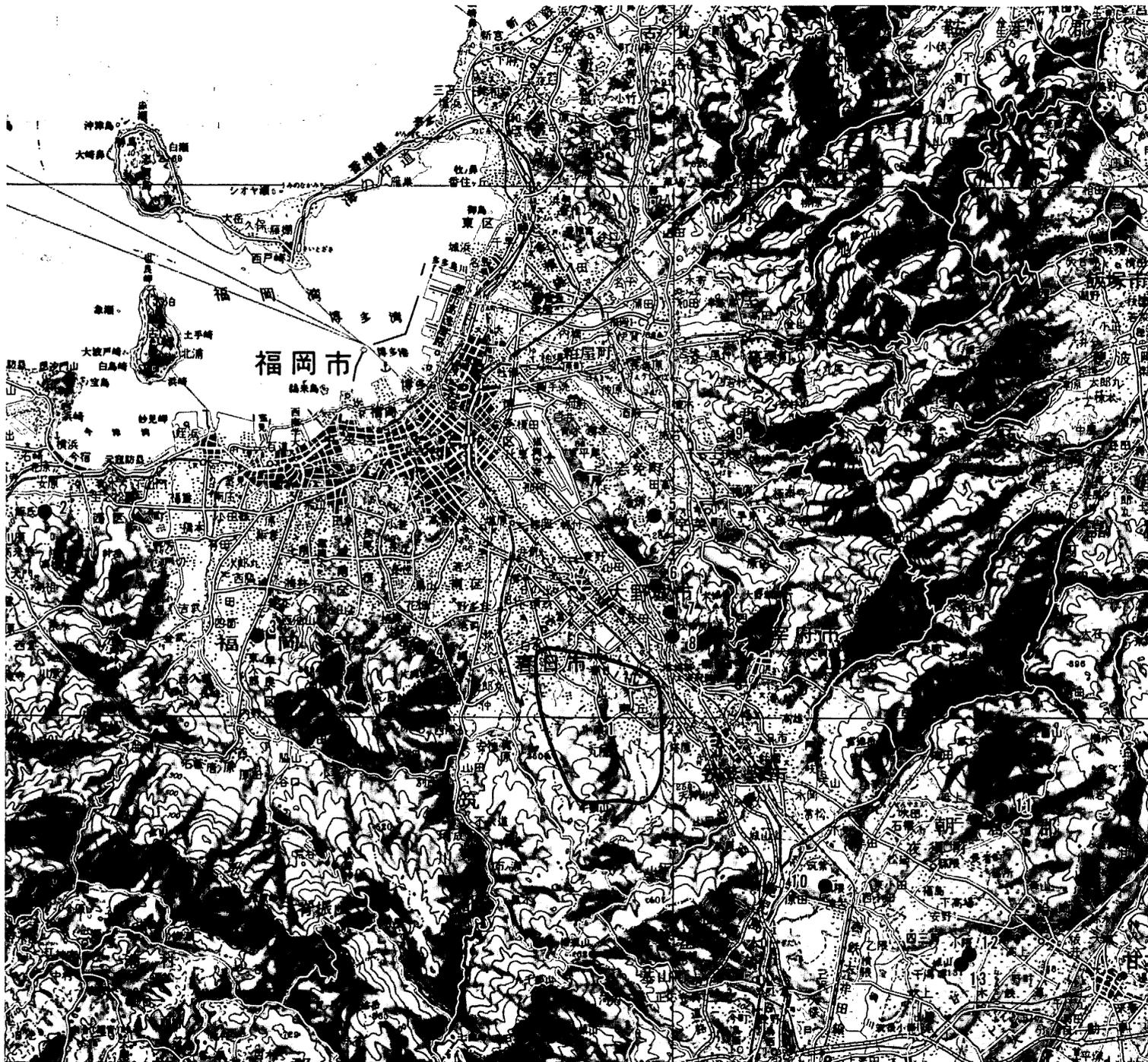
表2 牛頸周辺遺跡地名表

1	天 神 山 古 墳 群	春日市大字上白水	前方後円墳、円墳	
2	天 神 山 水 城	〃 〃	土塁	(国指定史跡)
3	大 土 居 水 城 跡	〃 〃	土塁	(国指定史跡)
4	ウ ト グ チ 窯 跡 群	〃 〃	窯跡2基以上	1987春日市教委調査(2基)
5	観 音 山 古 墳 群	那珂川町大字中原他	前方後円墳、円墳100基以上	1972県教委、那珂川町教委調査
6	西 浦 古 墳 群	春日市大字上白水	円墳4基	1981春日市教委調査
7	大 牟 田 池 窯 跡	〃 大字春日	窯跡1基以上	
8	惣 利 窯 跡 群	〃 〃	窯跡15基以上	1977～80春日市教委調査(9基)
9	惣 利 遺 跡 群	〃 〃	古墳～歴史時代住居跡	1979・80春日市教委調査 縄文～中世

10	向谷遺跡群	春日市大字春日	甕棺・方墳、弥生～歴史時代住居跡	1979～82春日市教委調査
11	春日平田窯跡群	〃 〃	窯跡21基	1982～85春日市教委調査(21基)
12	九州大学 筑紫キャンパス内遺跡	春日市・大野城市	集落、溝等、縄文～奈良	1978～九州大学調査
13	梅頭窯跡	大野城市大字上大利	窯跡1基	消滅
14	上園遺跡	〃 〃	散布地	1985～大野城市教委調査
15	出口窯跡	〃 〃	窯跡1基	
16	唐土遺跡	〃 下大利	奈良時代の土器溜め	1989大野城市教委調査
17	吉松古墳	太宰府市大字吉松	円墳1基	
18	水城	太宰府市・大野城市	土塁	(国指定特別史跡)
19	神ノ前窯跡群	太宰府市大字吉松	窯跡2基	1978太宰府市教委調査(2基)
20	篠振窯跡	〃 〃	窯跡2基	1974・85太宰府市教委調査(2基)
21	尊田窯跡	〃 〃	窯跡	
22	長浦窯跡	〃 大字向佐野	窯跡1基	1972福岡県教委調査(1基)
23	向佐野窯跡群	〃 〃	窯跡3基	同上(3基)
24	宮ノ本窯跡群	〃 大字向佐野	窯跡8基	1979・84太宰府市教委調査(8基)
25	谷蟹窯跡	大野城市大字上大利	窯跡1基	消滅
26	野添窯跡群	〃 〃	窯跡10基以上	1969福岡県教委調査(2基)1986大野城市教委調査(3基)
27	大浦窯跡群	〃 大字牛頸	窯跡5基	1968福岡県教委調査(2基)
28	平田窯跡群	〃 〃	窯跡9基	1972立正大学調査(4基)1979～81大野城市教委調査(4基)
29	東浦窯跡群	〃 〃	窯跡3基	1968国土館大学調査(3基)
30	上平田窯跡群	〃 〃	窯跡4基	1972福岡県教委調査(4基)
31	中通窯跡群	〃 〃	窯跡12以上	1979・80県教委・大野城市教委調査(6基)
32	中通古墳群	〃 〃	円墳19基	1972・73福岡チブサン会調査(13基) 1975県教委調査(1基) 1979・80県教委・大野城市教委調査(5基)
33	原窯跡群	〃 〃	窯跡3基	土取りで灰原の一部を残すのみ
34	ハセムシ窯跡	〃 〃	窯跡30基以上	1987・88大谷女子大学・大野城市教委調査(15基)
35	井手窯跡群	〃 〃	窯跡39基以上	1982～86県教委調査(31基)1988大野城市教委調査(3基)
36	道ノ下窯跡群	〃 〃	窯跡10基以上	1982～86県教委調査(10基)
37	足洗川窯跡群	〃 〃	窯跡5基以上	1982～86県教委調査(4基)
38	笹原窯跡群	〃 〃	窯跡4基以上	同上(4基)
39	長者ヶ原窯跡群	〃 〃	窯跡16基	同上(16基)



第2図 牛頭周辺遺跡分布図 (1/2.5万)



1. 牛頸窯跡群
2. 新開窯跡
3. 重留窯跡
4. 四十塚窯跡群
5. 岩長浦窯跡群
6. 乙金窯跡群
7. 雉子ヶ尾窯跡群
8. 裏ノ田窯跡群
9. 須恵窯跡群
10. 隈西小田窯跡群
11. 八並窯跡群
12. 小隈窯跡群
13. 山隈窯跡群

第3図 福岡平野周辺の窯跡分布図（1/20万）

40	野口窯跡群	太宰府市大字吉松	窯跡2基以上	
41	円入遺跡	春日市大字春日	古墳時代住居跡	1981春日市教委調査
42	惣利古墳	〃 〃	円墳1基	消滅(横穴式石室・須恵器出土)
43	春日平田遺跡群	〃 〃	弥生～歴史時代住居跡、古墳	
44	華無尾窯跡群	大野城市大字牛頸	窯跡2基	消滅
45	華無尾遺跡	〃 〃	散布地	旧石器～縄文(ナイフ形石器石鏃等出土)
46	塚原古墳群	春日市大字春日	円墳4基	前方後円墳1基・円墳2基か?
47	日ノ浦遺跡	大野城市大字牛頸	散布地	縄文～中世
48	畑ヶ坂窯跡群	〃 〃	窯跡3基	1基消滅
49	畑ヶ坂古墳	〃 〃	円墳1基	
50	塚原遺跡群	〃 〃	円墳10基以上 古墳時代・奈良時代住居跡	1987大野城市教委調査
51	胴ノ元古墳	〃 〃	円墳1基	
52	胴ノ元窯跡群	〃 〃	窯跡2基	
53	城ノ山窯跡	〃 〃	窯跡1基以上	窯本体が空洞で露出している
54	楠木遺跡	春日市大字下白水	甕棺墓	弥生(中期)
55	大堤古墳群	〃 大字白水	円墳3基	(満水時水没)
56	イケ谷古墳群	〃 大字上白水	円墳3基以上	(春日原ゴルフ場内)
57	浦ノ原窯跡群	〃 大字下白水	窯跡10基以上	1978春日市教委調査(8基)
58	浦ノ原遺跡	〃 〃	散布地	土師・須恵器
59	後田窯跡群	大野城市大字牛頸	窯跡15基以上	1986大野城市教委調査(16基)
60	後田古墳群	〃 〃	円墳11基	1982・86大野城市教委調査
61	小田浦窯跡群	〃 〃	窯跡14基以上	1976立正大学調査(4基)1982～86大野城市教委調査(9基)
62	小田浦古墳群	〃 〃	円墳3基	1976立正大学調査(1基)1987大野城市教委調査(2基)
63	月ノ浦窯跡群	〃 〃	窯跡2基	1982大野城市教委調査(1基)
64	月ノ浦古墳	〃 〃	円墳1基	消滅(横穴式石室)
65	大谷窯跡群	〃 〃	窯跡12基以上	1971国士館大学調査(4基)
66	石坂窯跡群	〃 〃	窯跡20基以上	1983・89・90大野城市教委調査(7基)
67	足洗川遺跡	〃 〃	散布地	旧石器(石刃出土)
68	上大利水城	〃 上大利	土塁	(国指定特別史跡)
69	出口遺跡	〃 下大利	弥生～奈良の集落跡	1989大野城市教委調査、『出口遺跡』

### III. 調査の結果

#### (1) はじめに

今回報告する窯跡群は牛頸土地区画整理事業地内でも最も西よりに位置する後田地区の窯跡群である。第1図の地図上で言えば、28・45・46・59・60・61・63・65・66が後田地区に含まれる。しかし、28地点については瓦類が出土したため、同様に瓦が出土した月ノ浦窯跡(27地点)と共に続刊予定の小田浦窯跡群の報告書で報告する予定である。従って、本報告書では28地点を除いた8地点16基の窯跡について報告を行う。後田地区にある他の埋蔵文化財には42・43・44・53地点の古墳群がある。11基の円墳からなるものであった。その他の地点(47～49・55・56・58・62・64地点)は須恵器の散布は見られたが、重機による表土はぎを行ったにもかかわらず窯跡が確認できなかった場所である。

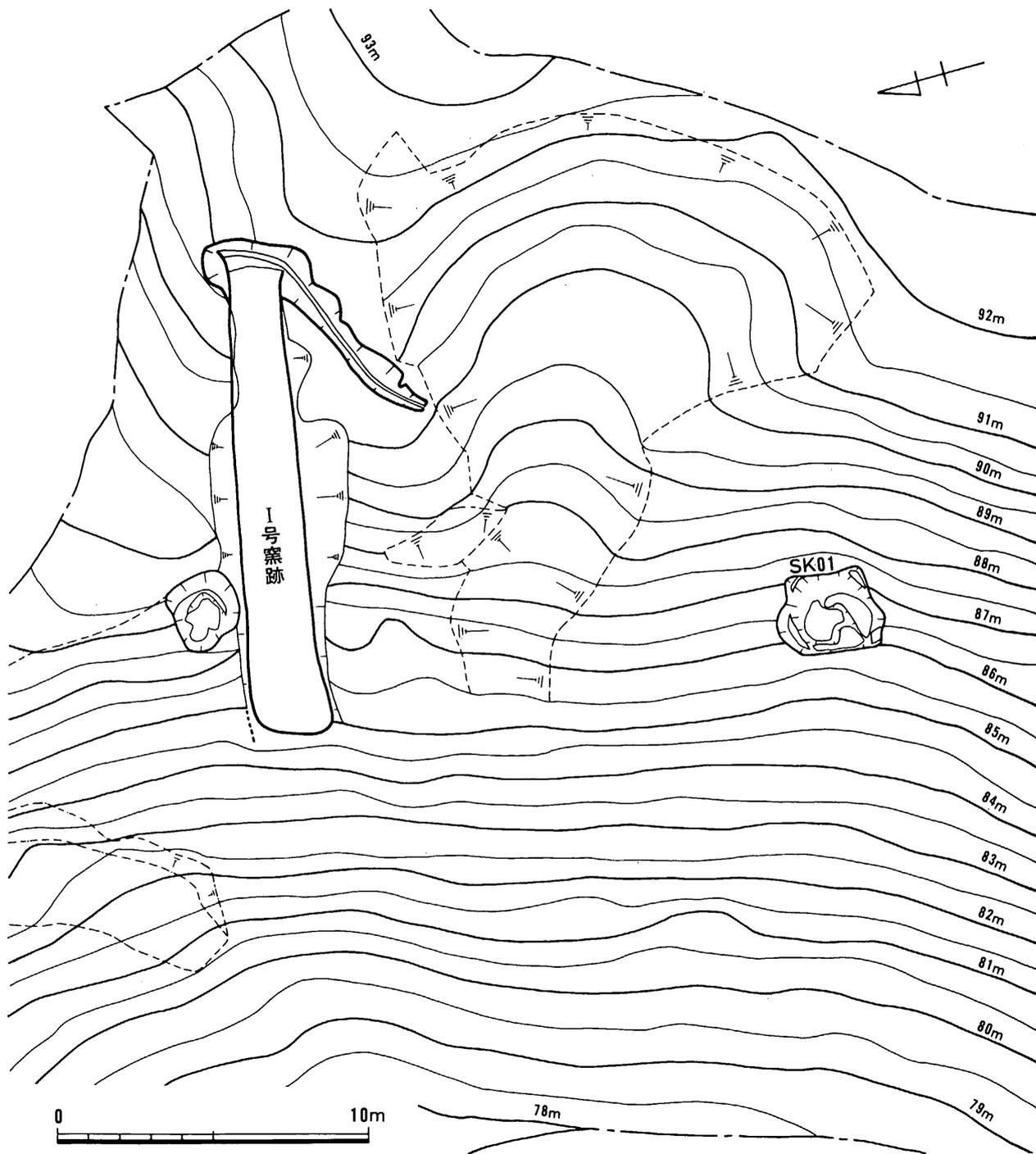
窯跡を確認する方法としては、まず表面観察による分布調査を行った。この場合、谷川の流れている所は谷に添って歩き、須恵器表採地点付近から上流部分の斜面を特に注意した。また、地形的に見て窯跡の可能性のある斜面にも注意した。これとほぼ平行して人力掘削による探査を行った。これは5mほどの間隔を置いてスコップで坪掘りするやり方である。これで須恵器の出土を見たり、灰層に当たった場合には等高線に添ったトレンチ掘削を行って窯跡の可能性を想定した。そして窯跡の存在がほぼ確実な地点と可能性の高い地点についてユンボによる表土はぎを行った。こうして、窯跡が確認され、発掘調査を行ったのが上記の地点である。

#### (2) 調査

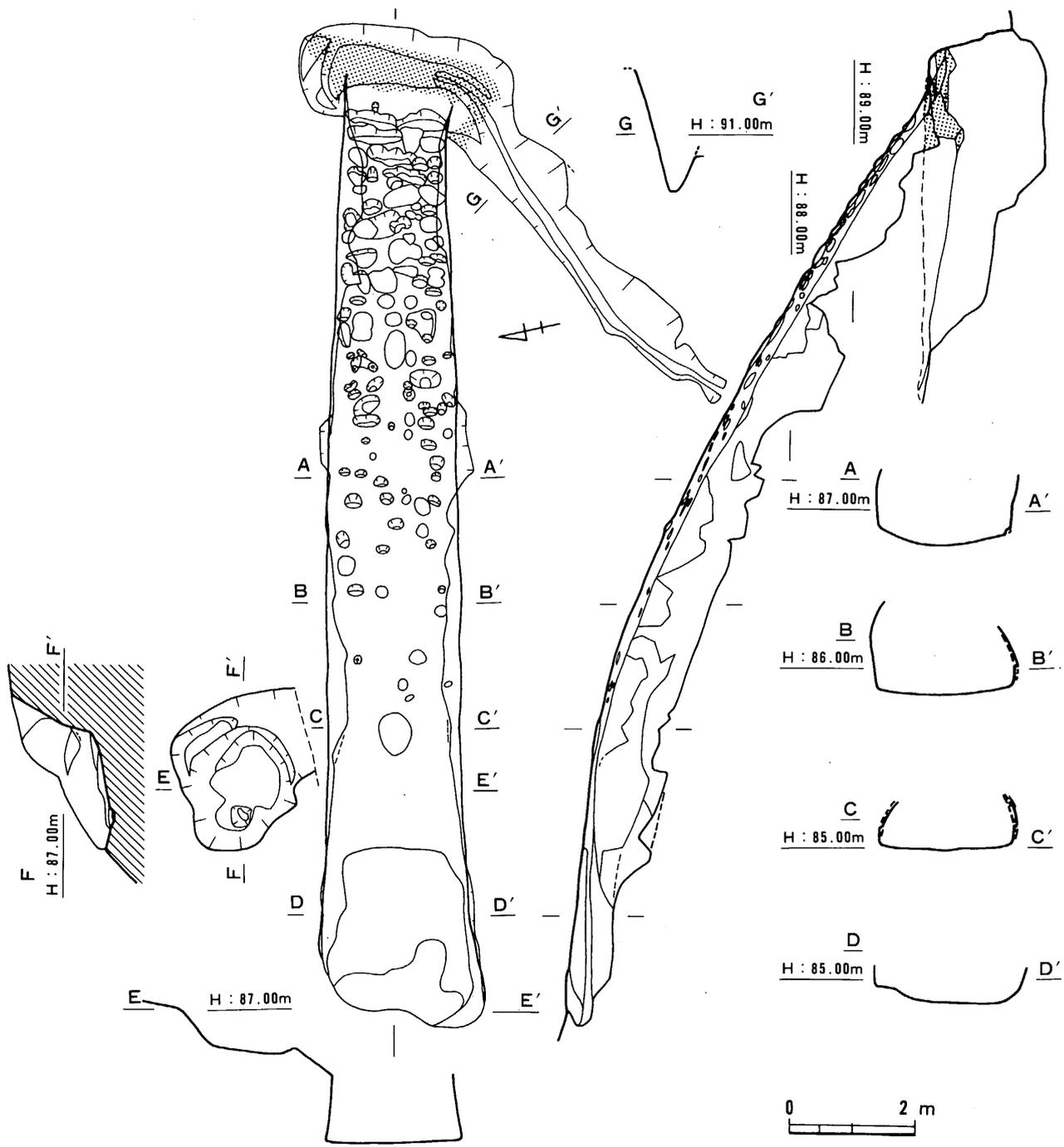
前述したように、今回報告するのは8地点16基についてである。報告は地点番号の若い方からとし、年代順になっていない。45地点2基、46地点1基(灰原のみ)、59地点3基、60地点1基、61地点5基、63地点2基、65地点1基、66地点1基である。

窯跡という遺構の性格上、遺構の数に比べて出土遺物が圧倒的に多い。このため、遺物の実測図と観察表は巻末にまとめた。また、各窯跡の説明は表としてまとめた。ただし、灰原だけの場合(46地点)、窯体がほとんど消失していた場合(45-II号窯)はその限りではない。

当該地区は西側では西から東へ丘陵が伸びているのに対し、東側では南から北へ伸びている。そして、それらの丘陵の斜面またはわずかに小谷をなす部分の斜面に窯は築かれている。また、その位置については中位から上位にかけての部分である。



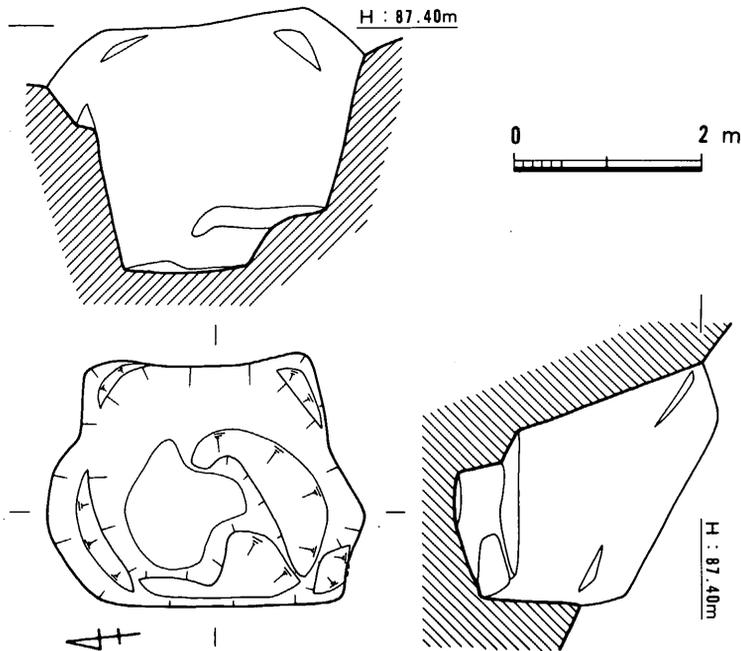
第4图 45地点地形测量图 (1/200)



第5图 45-I号案迹实测图 (1/100)

45 地点

窯 跡 名	後 田 窯 跡 群		遺 構 名	45-I 号窯跡
			調 査 年 月 日	1986. 9~10 (昭 61 年 度)
位 置	尾根付近 (84.50 m)		主 軸 方 位	N-102°-E
全 長	14.15 m(前庭部含めると 16.05 m)		最 大 幅	2.4 m
焚 口 燃 焼 部	長 さ	3.35 m	前庭部側が広く、焼成部側が狭い。床面はゆるやかな傾斜をなす。0.7×0.55 mの楕円形をした舟底状ピットがある。	
	幅	2.1~2.4 m		
焼 成 部	長 さ	9.4 m	平面的には上方へ行くにつれて狭くなるずん胴型。床面はわずかに弓なり状に登る。傾斜角約 30°。側壁には補修の跡がある。	
	幅	2.15 m		
煙 出 し 部	長 さ	1.4 m	傾斜をなす焼成部端から平坦面を作り出す。そのまま排水溝へと続く。本来は多孔式の煙出し部になるだろう。	
	幅			
前 庭 部	長さ 1.9 m、幅 2.4 m、灰原側が広く、浅い土坑状を呈する。			
灰 原	窯跡下方と窯体右側に広がるが、流失のためか散在している状態である。			
遺 物	蓋杯、高杯、甌、壺、短頸壺、平瓶、甕、土師器甕			
その他	<p>灰原中の遺物には明らかに時期のかけ離れたものが混在している。窯体を掘り始めた時も、煙出し付近には新しい遺物がほとんどであったため、この付近に当該期の窯があったことが推定される。このため古い時期の窯を I 号窯跡とし、消滅した窯を II 号窯跡とする。</p> <p>窯壁に補修した痕跡がある。</p>			



第6図 45-S K01実測図(1/80)

### SK01

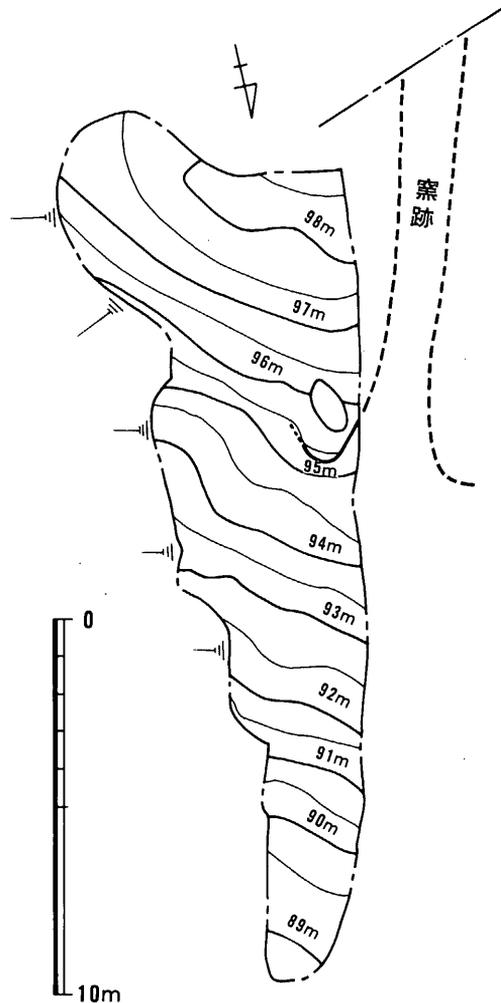
I号窯跡の南15mに位置する。標高86m~88mの場所で窯跡燃焼部の高さよりやや高い位置である。不整形形状のプランを有する。主軸上で、2.55×3.4m、最も深い所で2.6mを図る。上部で3段、床面近くで2段のテラスを有する。床面のプランは不整形だが、おおよそ平坦面をなす。最上部で弥生土器の甕が出土した(図版6)。

45地点の調査では重機による表土はぎ終了後窯体の検出にとりかかったが、当初は尾根近くにやや黒味があった部分があったため、ここを焚口付近と考え掘り進めた。出土須恵器は7世紀後半以降のものであった。しかし、なかなか窯壁に当たらず柔らかい埋土ばかりであったし、プラン的にも通常の窯跡と違っていた。更に掘り進むと当初想定した窯の向きとはほぼ90°違った方向で伸びている窯であることが判明した。出土須恵器も当初のものより古いものであった。このように、45地点では新旧二時期の須恵器が検出されたが、窯体は1基しかなかった。同一窯で焼成されたとは考えられなく、遺物の出土状態からも窯は2基あったと考えた方が理解しやすい。従って、検出された窯跡を45-I号窯跡、検出されなかった窯跡を45-II号窯跡とした。灰原からは二時期の須恵器が混在して発見されたが、別々の窯跡出土遺物として扱った。45-I号窯跡は前庭部を含めると16mを越え、牛頸窯跡群中でも最大級の窯跡である。また、煙出しに続く排水溝の深さも約2mと深い。今までの調査例では0.5~0.8m程度のものが多かった。更に、焚口部に当たると考えられる部分で、側壁から天井部にかけての一部が残っていた(図版3)。大きな窯跡でこの部分が残っていることは珍しい。また、窯壁には補修した痕跡があった。床のかさ上げは少なく、燃焼部と焼成部の境付近で約15cmである。灰層の観察から床面3面がわかる。

#### 46地点

45地点の西200mにあり、谷をはさんで相対する場所に位置する。須恵器が散布し、一部灰層が見えたため表土をはいだが、窯体は区画整理事業地外にあり、調査できなかった。その部分は春日市となる。従って、調査できたのは約80㎡で灰原だけであった。灰層の厚さは最も厚い所でも50cmと全体的に薄い。標高95mの地点で赤変した固い壁がわずかに検出されたが、窯体燃焼部の端に当たる部分であろう。更に上位の標高98.5m付近が尾根頂部となるが、この部分は既に削平されており、その面に窯体の断面が見えている。このため、窯体の位置は明確にわかる。10m以上ある大型の窯跡である。出土遺物はすべて須恵器で、整理箱で6箱分であった。器種は蓋杯、高杯、同蓋、甗、平瓶、椀、同蓋、甕である(第42～44図)。中で注意すべきものとして、32、33の椀と蓋がある。蓋をかぶせた状態で出土したわけではないが、大きさが合い、技法、ヘラ記号が同一であるためセットと考えた。椀は口径14.3cm、器高9cmを図り、体部に2条の沈線が入り、底部にはカキ目が施される。蓋は見受けのかえりを有し、口径14.4cm、最大径16.9cm、器高3.5cmを図る。天井部にカキ

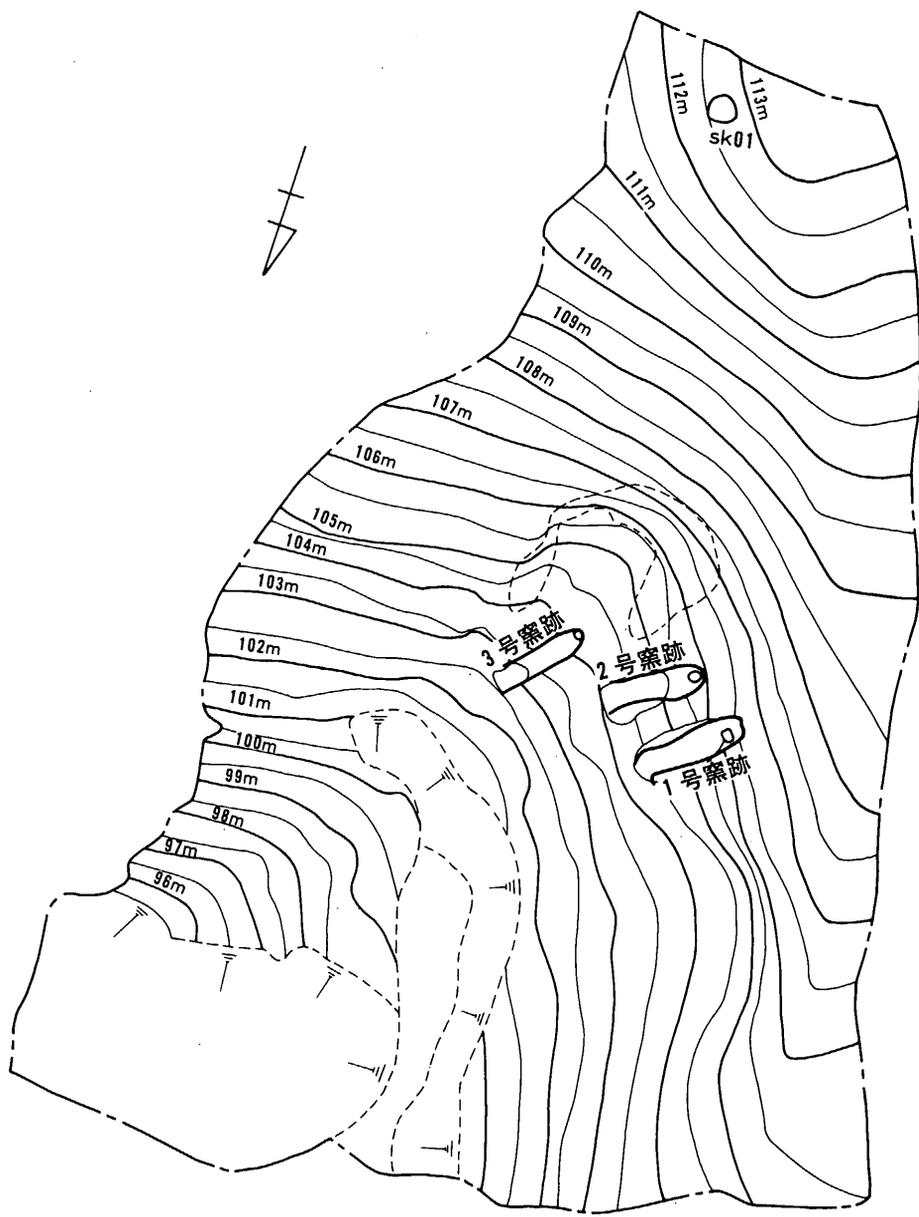
目を施す。天井部に三又状のヘラ記号がつけられるが、椀の体部から底部にかけての部分にも同じヘラ記号がつけられる。もう少し口径が小さく、高台が付かない椀は当該期に見られるが、このような高台が付く有蓋の椀はこの時期のものとしては牛頸窯跡群内では初めての出土である。現在のところVI期の高台付杯に直接つながるとは考えられないが、この時期にこのような器形のあることは注目しておかなければならない。突然現われることから見て須恵器の系譜ではない、たとえば金属器からの影響等を考えておかなければならないと思う。その他、高杯は比較的大型で脚部にスカシはない。甗は口縁部径が胴部径とほぼ同じか大きい。頸部は大きな段は持たず、胴部との接続点から弧状に広がる。



第7図 46地点地形測量図(1/200)

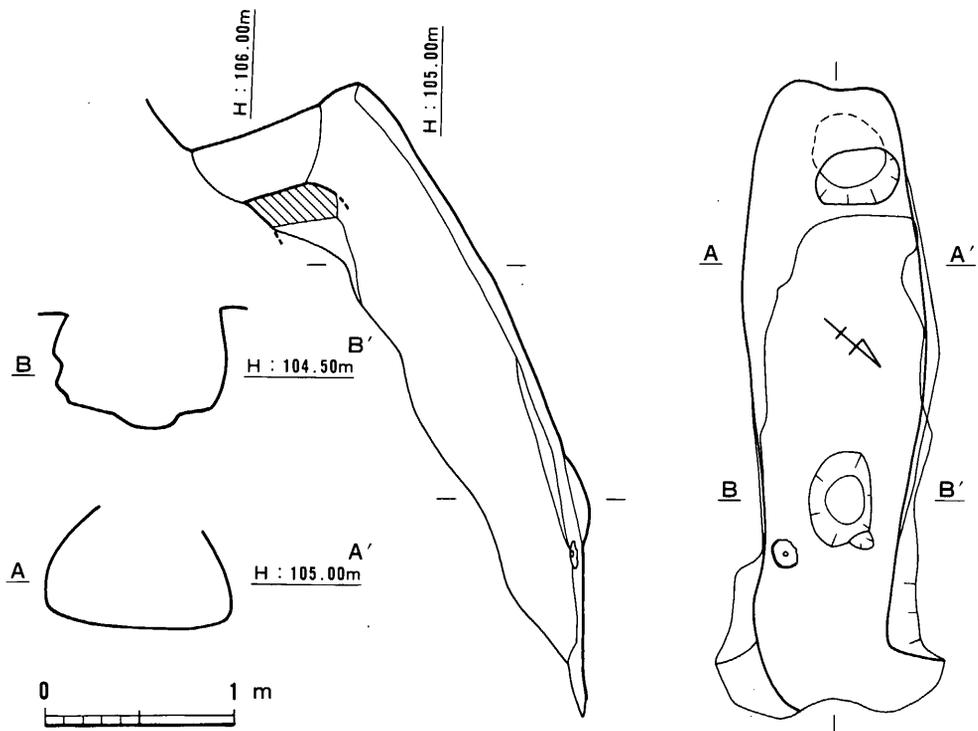
## 59 地点

窯 跡 名	後 田 窯 跡 群		遺 構 名	59-I 号窯跡
			調 査 年 月 日	1986. 2~3 (昭 60 年 度)
位 置	中 復 (104.25 m)		主 軸 方 位	N-133°-W
全 長	3.05 m		最 大 幅	0.95 m
焚 燃 部	長 さ	0.55 m	ほとんど平坦。奥へ向かって左側壁がやや湾入する。床面から杯蓋が1個出土。	
	幅	0.7 m		
焼 成 部	長 さ	2.5 m	中央部がややふくらむわずかに弓なり状に登る。水平面と25°の角度。下部に0.5×0.35 m、深さ10 cmの楕円形をした舟底状ピット。	
	幅	0.95 m		
煙 出 し 部	長 さ	0.4 m	円筒状 21°内傾	
	幅	0.4 m		
前 庭 部	八字形に開き、長さ0.4 mを測る。			
灰 原	III号窯周辺が低くなっているが、灰原はその周囲に広がっており、I号窯のものを分けるのは不可能。			
遺 物	蓋、杯、鉢、瓶子			
その他				

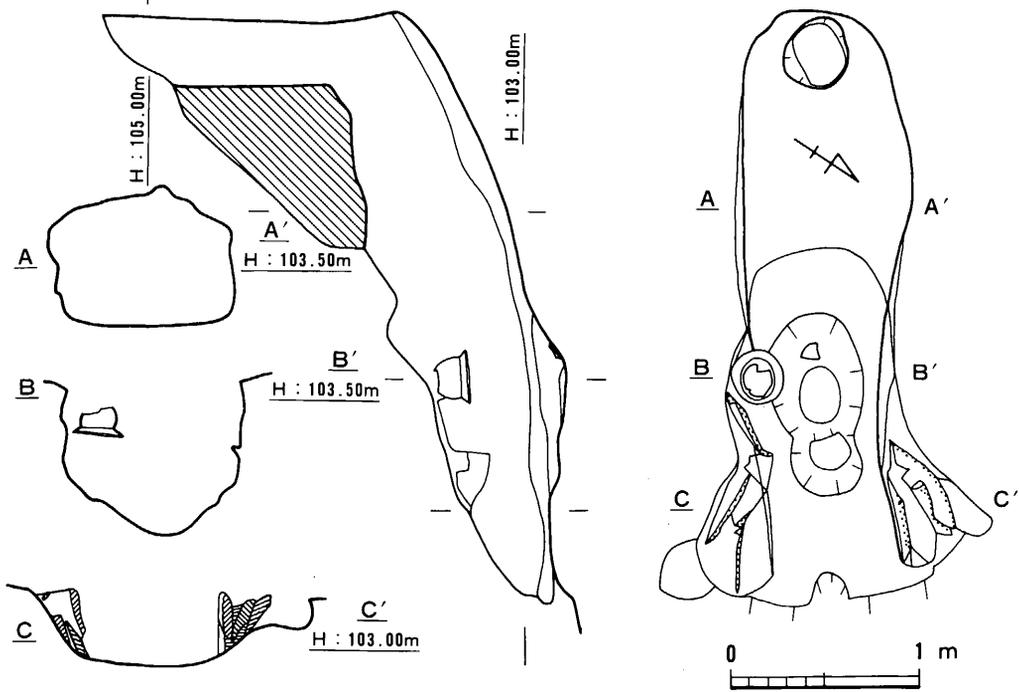


第 8 图 59地点地形测量图 (1/200)

窯 跡 名	後 田 窯 跡 群		遺 構 名	59-II号窯跡
			調 査 年 月 日	1986. 2～3 (昭 60 年度)
位 置	中復 (102.85 m)		主 軸 方 位	N-125°-W
全 長	2.95 m		最 大 幅	0.9 m
焚 燒 部	長 さ	0.7 m	床はほとんど平坦。壁は3回の補修が見られる。 この結果間口がそのつどせばまる。	
	幅	0.65 m		
焼 成 部	長 さ	2.25 m	平面的には中央がややふくらむ。床面はゆるやか であるが弓なり状に登る。中央部で水平面となす 角度は約 25°。下部に 1.0×0.5 m、深さ 15 cm の舟 底状ピット。	
	幅	0.9 m		
煙 出 し 部	長 さ	0.35 m	ほとんど垂直で最長 1.25 m 検出。円筒状をなす。	
	幅	0.35 m		
前 庭 部	流失したと思われ、0.15 m 残るだけである。八字形に広がる。			
灰 原	窯体下方だけではなく左側のくぼみにも形成されている。当初は窯体が更に1基ある のではないかと考えたほどである。			
遺 物	蓋、杯、皿、高杯、瓶子、甕			
その他	焼成部と燃焼部との境付近に土師器の甕が伏せた状態で置いてあった。床面からは 35 cm ほど浮いている。			

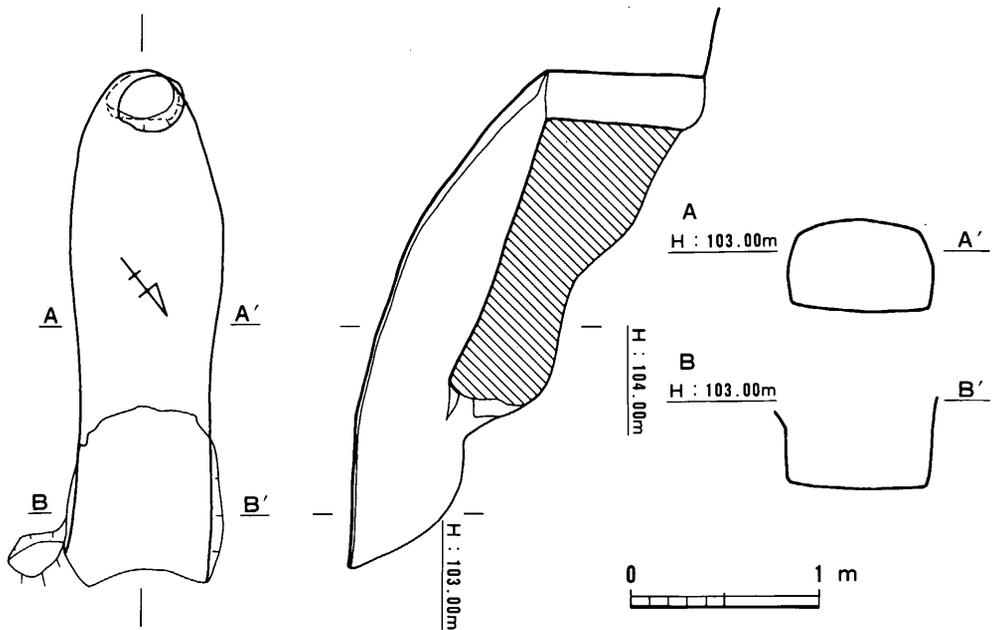


第9图 59-I号案迹实测图(1/40)

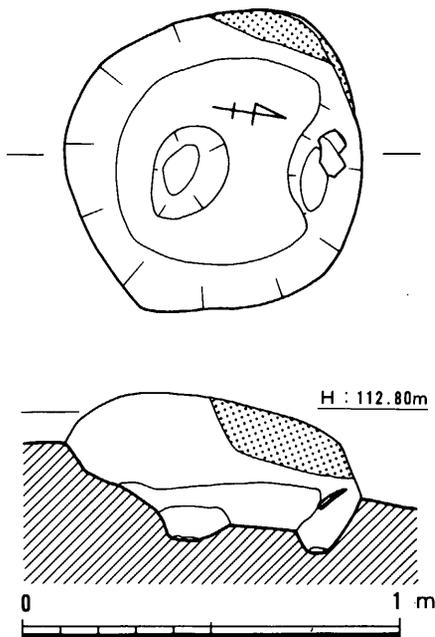


第10图 59-II号案迹实测图(1/40)

窯 跡 名	後 田 窯 跡 群		遺 構 名	59-III号窯跡
			調 査 年 月 日	1986. 2～3 (昭 60 年度)
位 置	中 復 (102.50 m)		主 軸 方 位	N-142°-W
全 長	2.75 m		最 大 幅	0.8 m
焚 口 燃 焼 部	長 さ	1.85 m	平面的には一旦すぼまる。床面はほとんど平坦である。傾斜変換点が焼成部との境である。	
	幅	0.7～0.75 m		
焼 成 部	長 さ	0.9 m	平面的には中央がややふくらむ。床面は弓なり状に登る。水平面となる角度は下方で15°、上方で35°。天井部が完存状態である。	
	幅	0.8 m (最大)		
煙 出 し 部	長 さ	0.25 m	円筒状を呈し、やや内傾する。鉛直方向となす角度3°。	
	幅	0.35 m		
前 庭 部	流失か。			
灰 原	下方斜面に形成されるが、明確にIII号窯跡のものとして区別はできない。			
遺 物	蓋、杯、皿、高杯、短頸壺			
その他	残存状態が良い。II号窯跡の灰原下から検出されたもので、II号窯より先行して造られたことがわかる。			



第11図 59—III号窯跡実測図 (1/40)



第12図 59—S K01実測図 (1/20)

### S K01

3基の窯跡より約6m高く、距離的には約14m離れた尾根上に立地する。直径0.8mの円形のプランを有する。床面はやや不整形で、かつ平坦ではない。中央部近くに25cm×20cm、深さ5cmの小ピットがある。北端に小さな窪みがあって、床面からやや浮いて土師器の皿が出土した。壁の北西隅周辺が熱のため赤変している。あまり固くはなく、それほど長時間にわたって火を受けたものではないと考えられる。

皿は全体の3分の1程度の破片であるが、復元口径16.4cm、器高1.8cmを測る。体部は内外面ヨコナデ、底部内面は不定方向のナデ、底部外面はヘラ切り後ナデを行う。軟らかく内外面とも淡褐色を呈するものである。

S K01の性格については不明である。

## 60 地点

窯 跡 名	後 田 窯 跡 群		遺 構 名	60-I号窯跡
			調 査 年 月 日	1986. 3 (昭 60 年 度)
位 置	尾根付近 (109.30 m)		主 軸 方 位	N-126°-W
全 長	6.7 m		最 大 幅	1.8 m
焚 口 燃 焼 部	長 さ	1.1 m	おおよそ平坦。先端部に小ピットあり。5 cmの灰層の上に10 cmの厚さでマサ土を入れ、その上を第2次の床面としている。	
	幅	1.4~1.7 m		
焼 成 部	長 さ	5.6 m	わずかに中ぶくらみ。先端は丸味を持ちながらも角張る。床面には製品を安定させるための凹みが多い。舟底状のピット0.7×0.4 m、深さ5 cm。	
	幅	1.8 m		
煙 出 し 部	長 さ	(0.3 m) 推定	平面楕円形の筒状を呈す。床面から0.8 mまで半分残る。5°内傾。	
	幅	0.4 m		
前 庭 部	八字形に広がり、主軸上で1.25 mを測る。灰が堆積している。			
灰 原	急斜面のためほとんど崩落。			
遺 物	蓋杯、高杯、壺、甕			
その他				

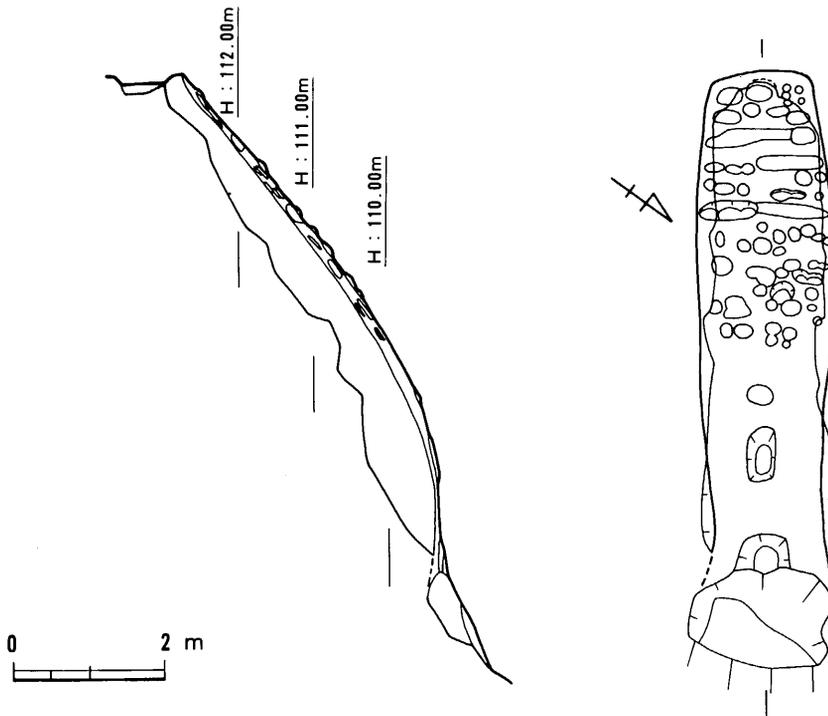
## 60地点

59地点から西に100m離れた場所に位置する。59地点の3基の窯跡がのる丘陵の隣りの丘陵東斜面にある。この丘陵は南から北へ伸びる短い支脈で、東西に斜面を形成しているが、一様ではなく小さな尾根部と谷間をくり返している。窯跡はその小谷間に造られているが、ほとんど尾根に近い標高109~114m付近である。斜面の傾斜がきつく、調査時も何かにつかまらないうと直立できないような場所であった。

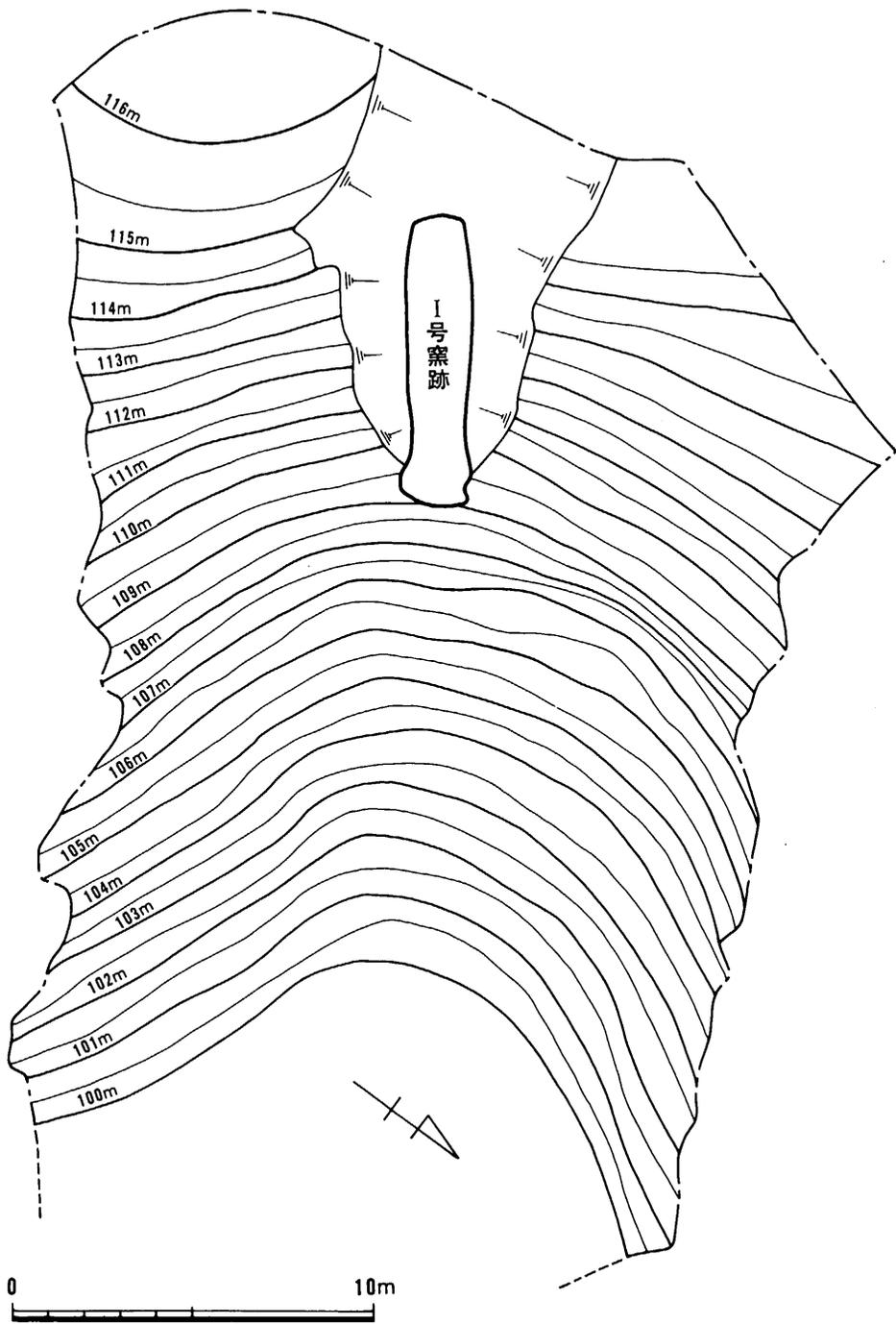
窯体は中型の大きさであったが、燃烧部の床面断面観察から1回は床面のかき上げの行われていることがわかった。大形の窯跡によく見られるような大幅なかき上げは行われていない。また、煙出し部について見れば、多孔式ではなく、円筒状の1本しかないもので、排水溝も付けられていない。従って、牛頸窯跡群の中で見れば、VI期以降に見られる小型の窯と似た煙出し部とすることができる。

出土遺物はすべて須恵器である。注目すべきことは蓋杯がすべてV期に考えられることである。V期の蓋杯は蓋にかえりが付くもので特徴的なのだが、窯跡で出土する場合、通常IV期あるいはVI期の須恵器と共に見つかる場合がほとんどであった。この形式の須恵器だけを焼成した窯としては極めて珍しい。

蓋杯の中には蓋とすべきか身とすべきか迷うものもあったが、一応第51図のように考えた。



第13図 60—I号窯跡実測図(1/100)



第14图 60地点地形测量图 (1/200)

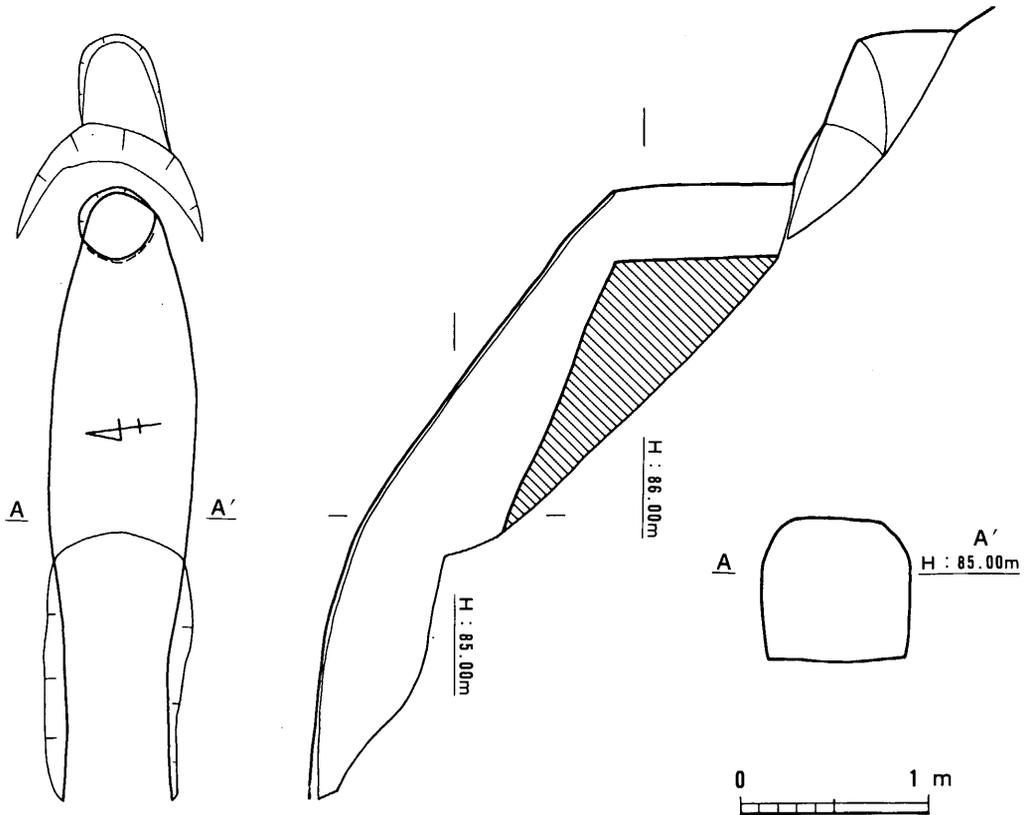


第15图 61地点地形测量图 (1/200)

## 61地点

59地点の窯跡群がのる丘陵と同一の丘陵上にあり、59地点から北へ約200mの位置である。この丘陵は59地点の所でやや北西に折れ、その先でまた北に折れて続く。59地点が北東斜面だったのに対し、61地点は西斜面である。また、60地点が斜面でも小谷部とでも呼ぶべきであるような部分であったのに対し、61地点は普通の斜面である。合わせて5基の窯跡が検出されたが、尾根近くではなく、斜面上位と言えるような場所である。標高で言えば79~88mの間である。窯体は比較的傾斜のきつい場所に造られているが、わずかながら傾斜変換点があって灰原側は比較的ゆるやかである。

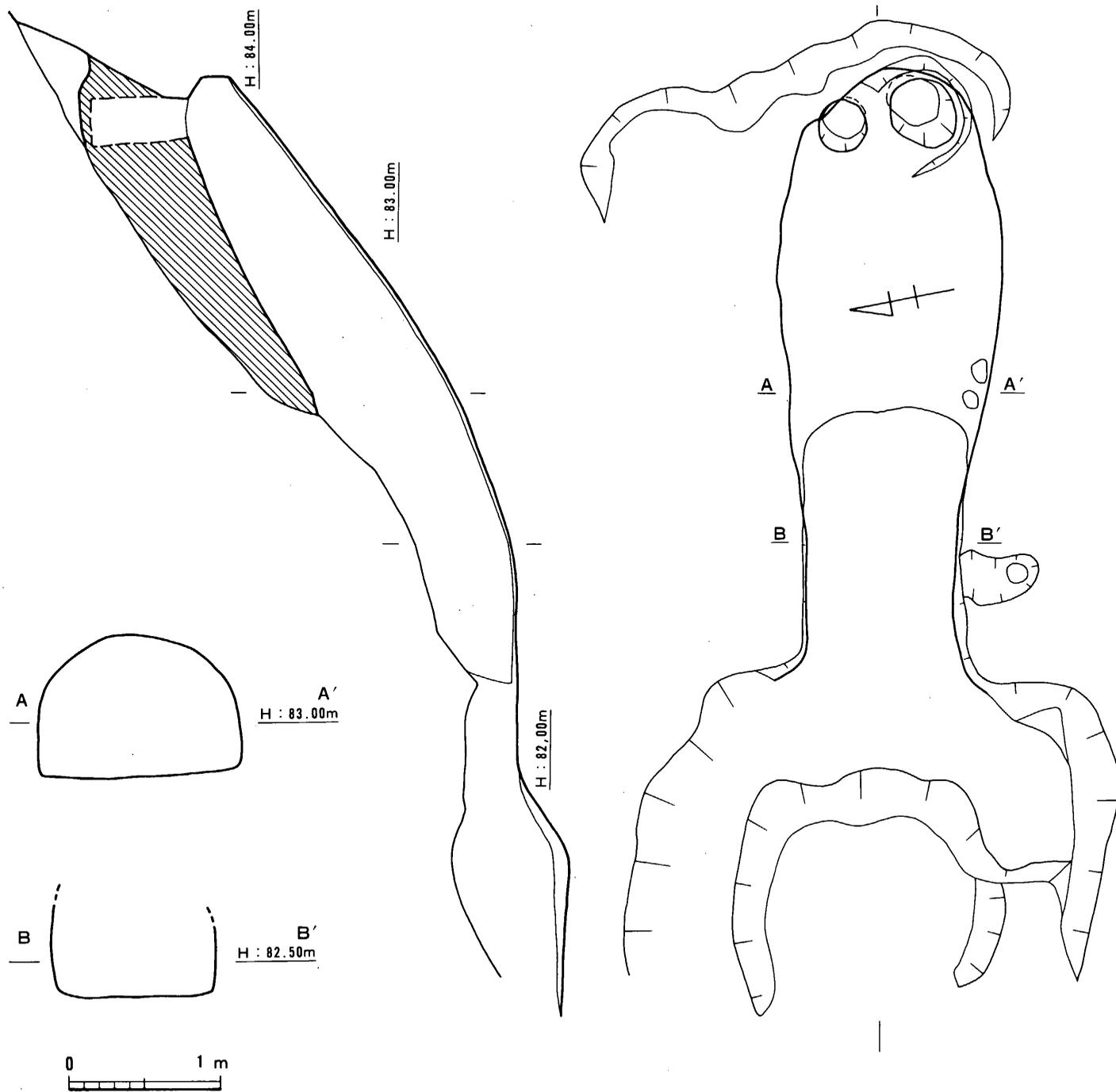
5基の窯跡で注目すべき点が2点ある。第1はI号窯跡とIII号窯跡に切り合いが認められることである。即ち、III号窯を切ってI号窯が造られている。第2はII号窯跡に2つの煙出しが見られることである。両者は横に並ぶような形で造られていて、調査時の所見では、両者とも同じような残存状況であったため、同時に機能していた可能性が高い。焼成温度を調節するために、片方を閉じたり、開いたりしていた可能性が考えられる。



第16図 61—I号窯跡実測図(1/40)

## 61 地点

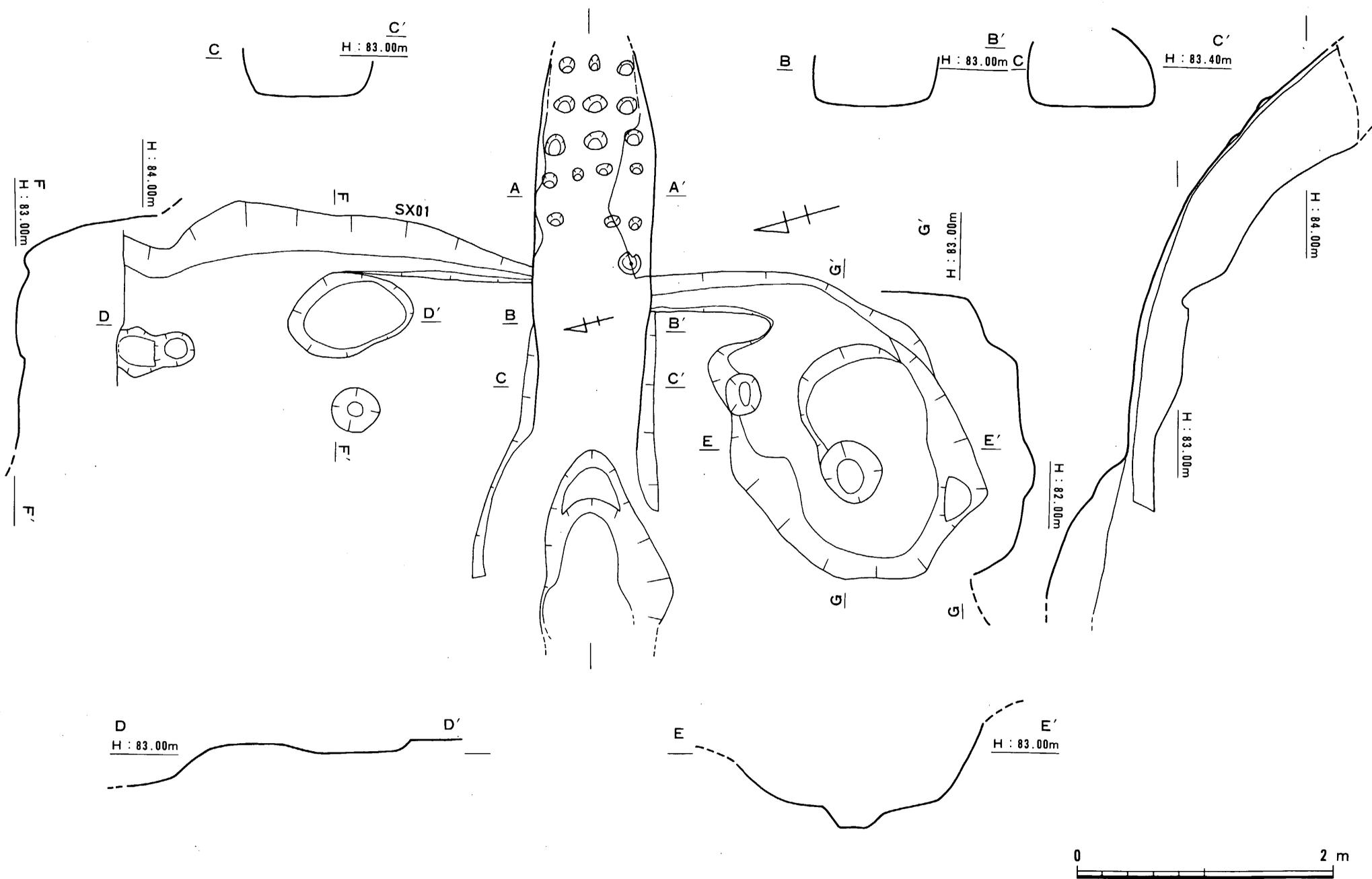
窯 跡 名	後 田 窯 跡 群		遺 構 名	61-I 号窯跡
			調 査 年 月 日	1986. 4~5 (昭 61 年度)
位 置	中 復 (84.20 m)		主 軸 方 位	N-98°-E
全 長	3.2 m		最 大 幅	0.75 m
焚 燃 焼 部	長 さ	1.4 m	他の窯に比べて傾斜がある。また焼成部との境が不明瞭である。一旦すばまってまた広がる。	
	幅	0.55~0.65 m		
焼 成 部	長 さ	1.8 m	平面的にはわずかに中ぶくらみで、床面は比較的直線的に登る。水平面とのなす角度は約 35°。天井部は完存に近い。高さは 0.3~0.7 m	
	幅	0.3~0.75 m		
煙 出 し 部	長 さ		円筒状を呈し、ほぼ垂直である。直径は約 0.4 m で、高さ 0.9 m。この外側上方に奥行 0.8 m のテラスが設けられている。	
	幅			
前 庭 部	すぐ III 号窯跡になり不明確である。			
灰 原	1.4 m × 2.1 m の楕円形状に残る。灰層の厚さは 0.5 m。			
遺 物 蓋				
その他	III 号窯跡の煙出し部を破壊して造っている。従って、先後関係は III 号窯跡 → I 号窯跡となる。			



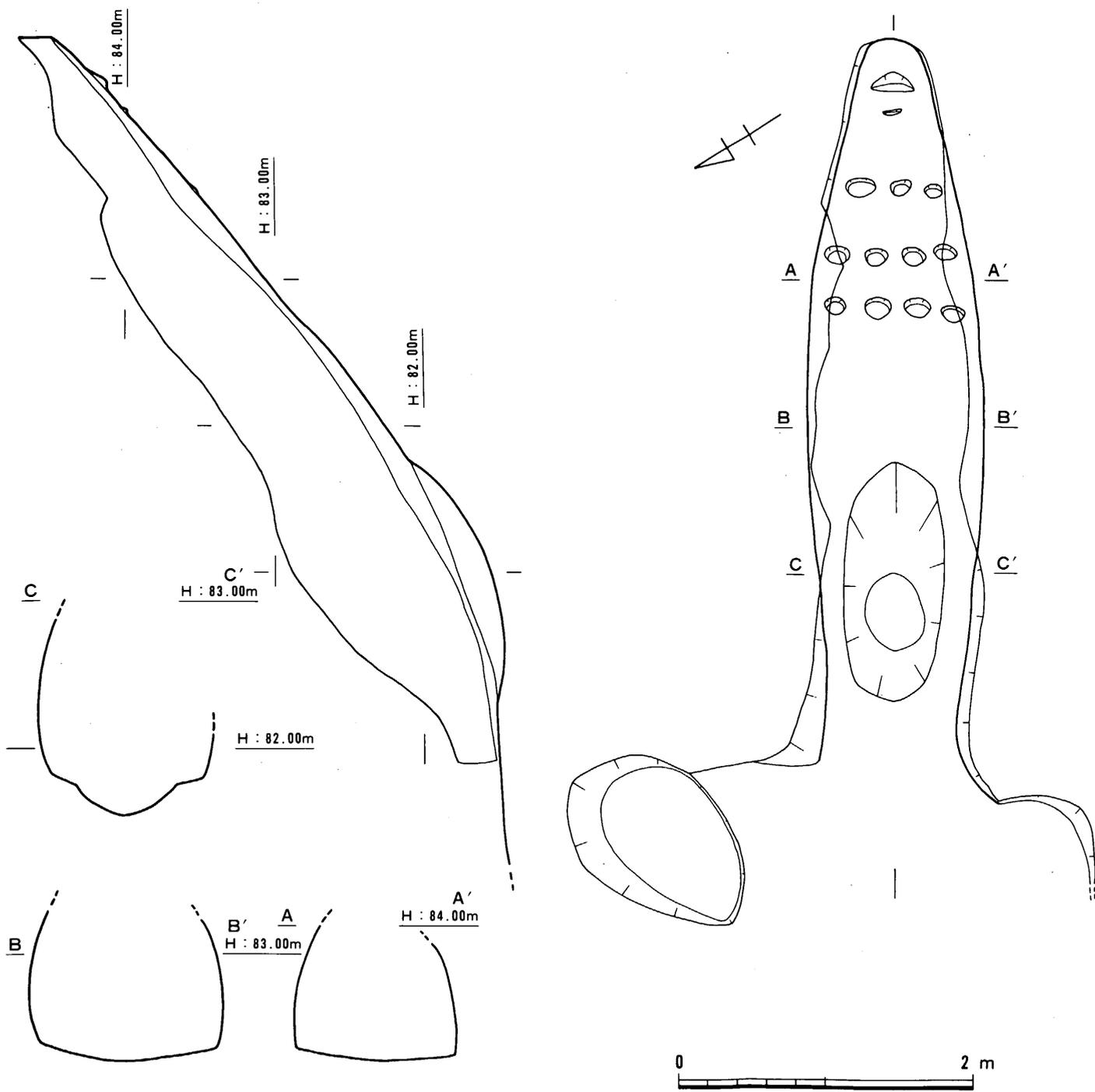
第17图 61—II号窟迹实测图 (1/40)

窯 跡 名	後 田 窯 跡 群		遺 構 名	61-II号窯跡
			調 査 年 月 日	1986. 4～5 (昭61年度)
位 置	中復 (82.20 m)		主 軸 方 位	N-100°-E
全 長	4.0 m		最 大 幅	1.5 m
焚 口 燃 焼 部	長 さ	0.9 m	ほとんど同一幅だが、前庭部側で開く。床面はほとんど平坦である。	
	幅	1.0 m		
焼 成 部	長 さ	3.1 m	平面的には中ぶくらみで、床面はわずかに弓なり状に登る。水平面となす角度は中央付近で35°。天井部が良く残り、その高さは0.55～0.9 m。	
	幅	1.0～1.5 m		
煙 出 し 部	長 さ		円筒状のものが2本ある。焚口から見て右側が直径40 cm、左側が直径30 cm、高さは65 cmである。	
	幅			
前 庭 部	燃焼部から0.6 mほど平坦面が続き、その先は片方の開いた土坑状に30 cmほど下がり、1.65 m続く。			
灰 原	長さ約7 m。幅は隣接するIII号窯跡の灰原と区別できないため、不明。			
遺 物	焼成部床面に生焼状態の須恵器多数。 蓋、杯			
その他	焼成部の床はもろい。また、灰原に入れたトレンチの所見ではII号窯跡の灰層がIII号窯跡の灰層よりも上位にある。従って、II号窯跡の灰原が新しい。			

窯 跡 名	後 田 窯 跡 群		遺 構 名	61-III号窯跡
			調 査 年 月 日	1986. 4 ~ 5 (昭 61 年度)
位 置	中 復 (82.60 m)		主 軸 方 位	N-76°-W
全 長	3.2 m 以上		最 大 幅	0.9 m
焚 燃 焼 部	長 さ	1.0 m	床面はゆるやかな傾斜をなす。	
	幅	0.8~0.9 m		
焼 成 部	長 さ	2.2 m 以上	わずかに中ぶくらみで、煙出し部近くですぼまる。床面は弓なり状に登る。上半部に製品を安定させるための凹みが多くある。	
	幅	0.7~0.9 m		
煙 出 し 部	長 さ		I号窯に破壊されて残存しない。	
	幅			
前 庭 部	長さ 1.3 m、幅 1.6 m の部分。中央部に灰原側が開く土坑状の凹みがある。			
灰 原	幅は他の窯跡のものと重なり合っているため不確定だが、長さは 12 m、灰層の厚さ 30 ~ 50 cm。II号窯跡の灰層の下に形成される。			
遺 物	蓋、甕			
その他	I号窯に切られる。SX01にも切られる。			



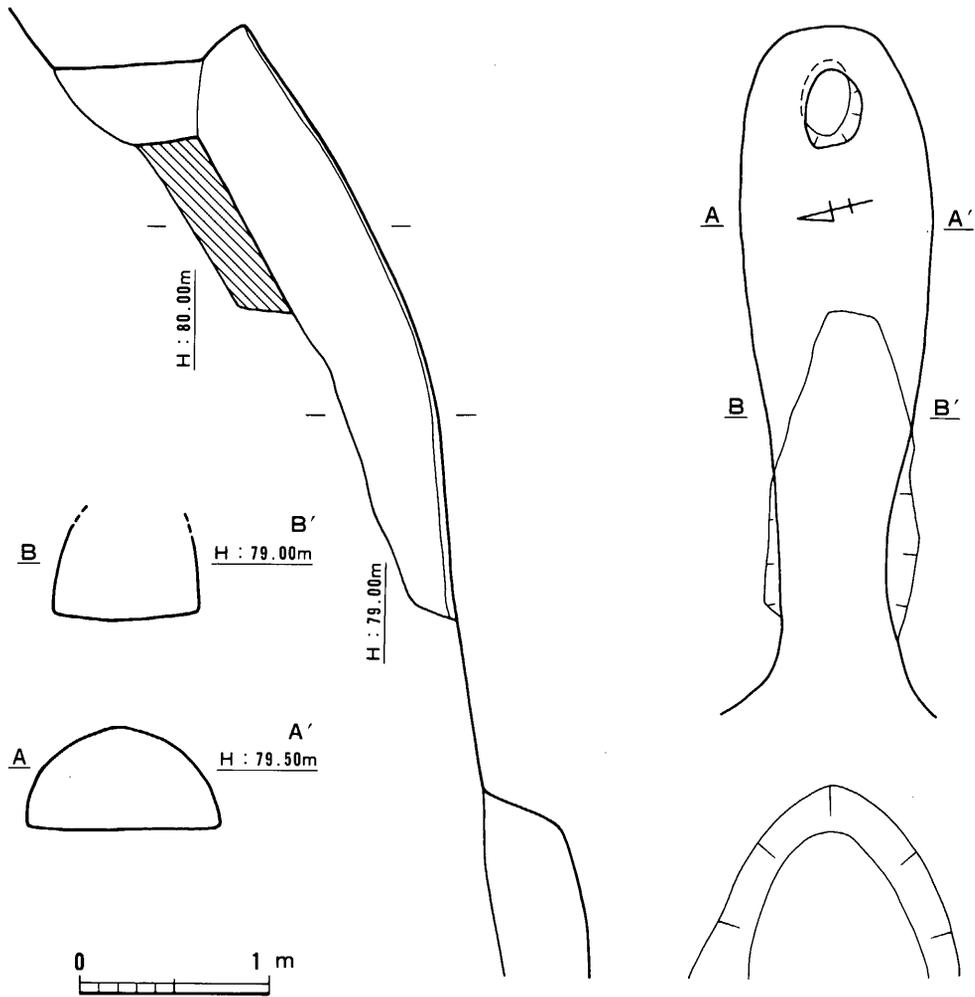
第18图 61—III号寨迹实测图 (1/40)



第19图 61—IV号寨迹实测图 (1/40)

窯 跡 名	後 田 窯 跡 群		遺 構 名	61-IV号窯跡
			調 査 年 月 日	1986. 4 ~ 5 (昭 61 年 度)
位 置	中 復 (81.40 m)		主 軸 方 位	N-58°-W
全 長	5.2 m		最 大 幅	1.2 m
焚 口 燃 焼 部	長 さ	1.55 m	前庭部側が狭くなる。床面はゆるやかに傾斜する。焼成部との境が不明瞭だが、1.6×0.65の楕円形を呈する舟底状ピットがある。	
	幅			
焼 成 部	長 さ	3.65 m	平面的にはやや中ぶくらみで、床面は比較的直線的に登る。水平面となす角度は35°~40°。上半部に製品を安定させるための凹みがある。燃焼部との境が不明瞭。	
	幅	1.2 m		
煙 出 し 部	長 さ		直径約 30 cmの円孔であったことが推定できる。	
	幅			
前 庭 部	八字形に開く。床は平坦である。長さ 0.5 m、幅 2.2 mの範囲。			
灰 原	長さ約 10 m、III号窯跡の灰原と重なるため、正確な幅は不明。灰層の深さは 30~60 cm。			
遺 物	蓋、杯、皿、長頸壺			
その他	61 地点の窯の中で最も大きい。			

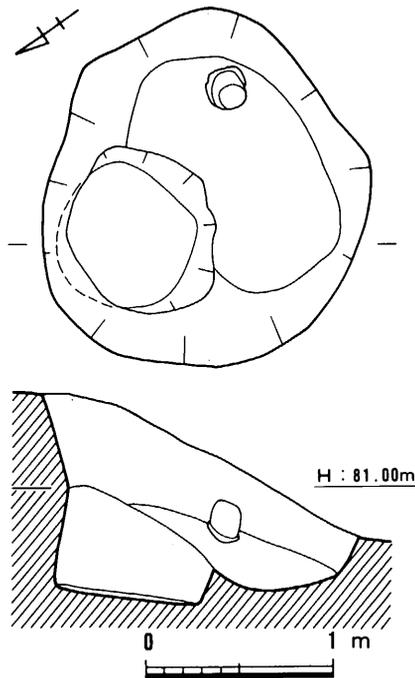
窯 跡 名	後 田 窯 跡 群		遺 構 名	61-V号窯跡
			調 査 年 月 日	1986. 4～5 (昭 61 年度)
位 置	中 復 (78.50 m)		主 軸 方 位	N-77°-W
全 長	3.25 m		最 大 幅	1.0 m
焚 燃 部	長 さ	1.2 m	前庭部側で一旦すぼまり、また広がる。床面はゆるやかに傾斜する。	
	幅	0.55～0.8 m		
焼 成 部	長 さ	2.05 m	平面的には中ぶくらみで、床面は弓なり状に登る。水平面となす角度は約 30°。天井は良く残る。煙出し部より奥へ入り込む。	
	幅	0.5～1.0 m		
煙 出 し 部	長 さ		0.4×0.3 mの楕円形プランの円筒状を呈する。約 5°内傾する。	
	幅			
前 庭 部	八字形に広がる部分で、その先は灰原側へ開く土坑状の落ち込みとなる。			
灰 原	長さ約 7 m、幅 9 m、灰層の厚さは 10～40 cm。			
遺 物	杯			
その他	61 地点では最も低い所に造られている。			



第20図 61-V号窯跡実測図(1/40)

### 出土遺物

今回報告する地点別で言えば、窯跡も5基と最多であったため、整理箱で91箱と最も多い。報告点数は253個である。蓋杯について見れば、蓋内面に身受けのかえりを持つものが最も古く、II・III・IV号窯跡出土遺物に見られる。しかし、この3基出土遺物には既にかえりが消失したのものも含まれている。窯体からの出土遺物にはこの他杯、皿、長頸壺などが見られる。灰原出土遺物を加えると、高杯、鉢、すり鉢、甕などがある。特に変わった器種は見当たらない。甕は完形品がないが、口縁部径が20cmを越え、胴部最大径が40cmを越えるもので、中型の部類に属するものである。



第21図 61-S K 06実測図 (1/40)

### S K 06

V号窯跡の煙出し部の斜め上方に位置する。やや楕円形気味のプランを有し、主軸上の規模は1.7×1.9mである。床面は傾斜を持ち平坦ではない。斜面にあるため深さを確定しにくい、深い所で0.6m程である。床面の北側に更に土坑状の落ち込みがある。径約0.8mの不整形円形である。深さ約0.5mで、床面はやや傾斜を持つ。一段めの床面よりやや浮いた状態で、土師器の甕が出土した(第21図)。完全にではないが伏せた状態である。

土師器の甕は口径21.8cm、胴部最大径19.0cm、器高17.7cmを測る。口縁部内外面をナデ、胴部外面は刷毛目、内面にはヘラケズリを行う。胎土には1mm前後の白色砂粒をやや含み、内外面とも淡黄色を呈するほぼ完形の甕である。

### S X 01

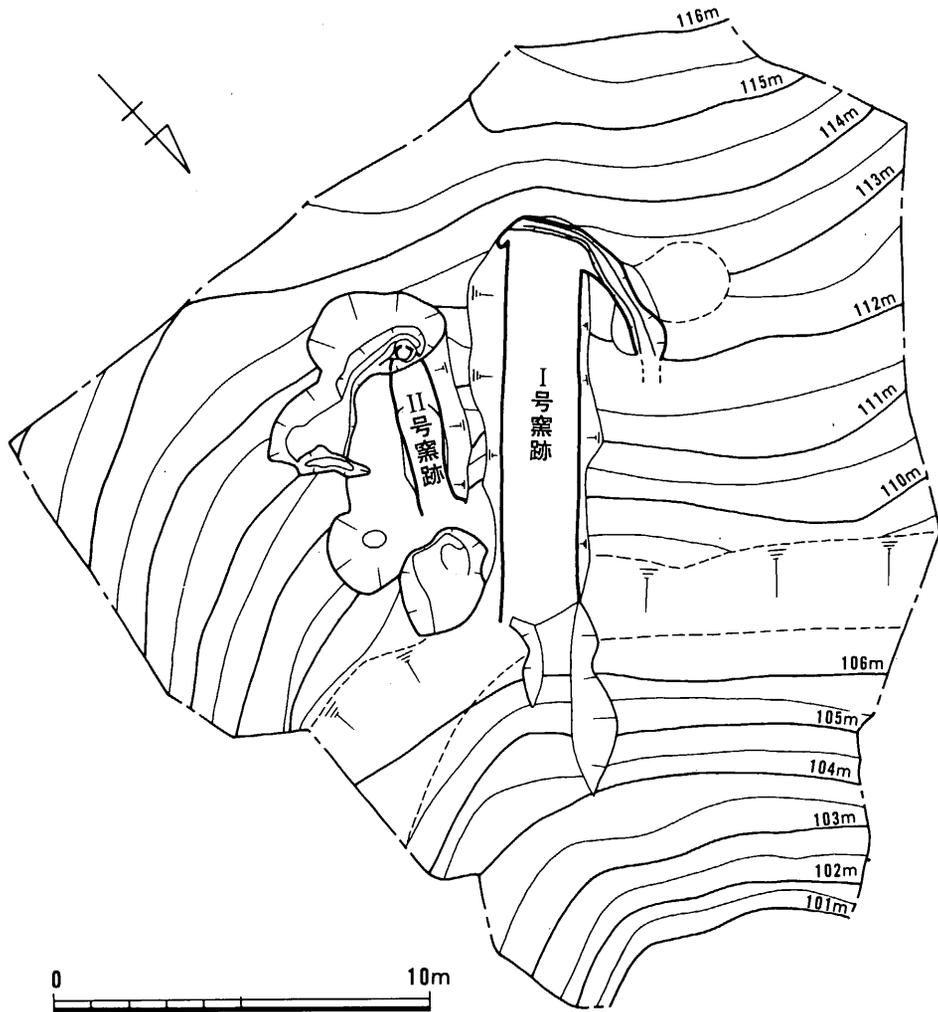
III号窯を切って造られている。III号窯跡焼成部の始めの部分にその断面が見えている。斜面を一部分切り取るようにして、壁面と、床面を造り出している。壁面は比較的急傾斜で、部分的には垂直に近い所もある。高さは最高で60cmである。床面は谷側にゆるやかな傾斜をなすが、比較的平坦である。壁面に添って、周溝状の小溝が見られる。幅が20~30cm、深さが5cm程度のものである。床面のうち、窯跡の右側に土坑状の落ち込みが見られる。二段掘り状を呈するが、およそ楕円形のプランで、約2.4×1.7mの規模である。中央部はピットがあってその底が最深部となる。床面から約50cmの深さである。また、窯跡をはさむようにして径約35cm、深さ50cmのピットがある。両者の心々距離は約3mを測る。その他、床面には浅い土坑とピットがある。S X 01の北端部はII号窯跡に突き当たる。従って全容は不明だが、南北約6.6m、東西約2mが検出された部分となる。埋土には炭と焼土がまざっていた。S X 01の性格については不明と言わざるを得ないが、しっかりした壁面、比較的平坦な床面、周溝状の溝、2つの深いピットが壁面に平行に位置すること等、竪穴住居跡の形状と似た部分が多い。あるいは、5基の窯跡のいずれかの作業時に造られた工房跡的なものかもしれない。

出土遺物には蓋杯があるが、蓋は身受けのかえりのあるものとなないものがあり、杯身は器高が高く、高台も外へ踏んばって高いタイプのものである。これらはいずれもIII号窯跡の右側(南側)で出土したものである。

### 63地点

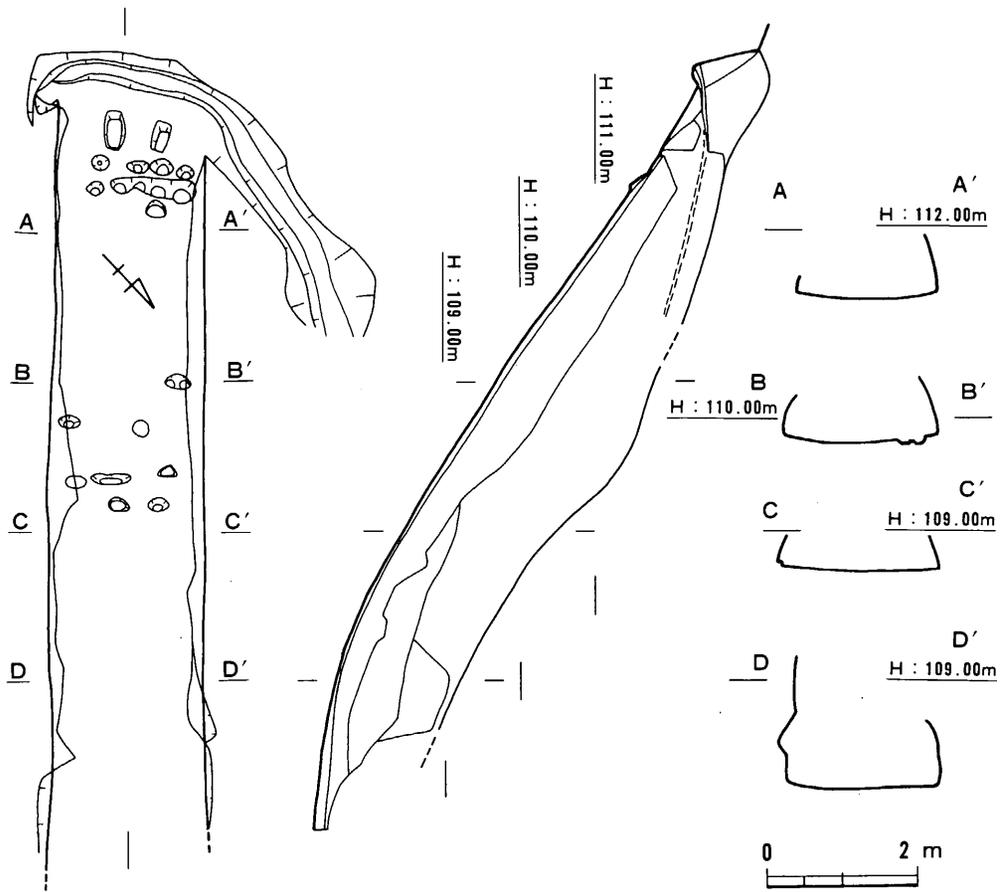
46地点の南西250mに位置する。西から東へ伸びる丘陵の北側斜面に造られている。この丘陵の斜面は小さな尾根と谷部を交互に造りだしているが、窯はこのうち小谷部を利用している。2基の窯が並列して造られている。大型で古い時期のものをI号窯跡、小型で新しい時期のものをII号窯跡とした。伐採時に重機のためI号窯跡燃焼部の一部が削られてしまった。

出土須恵器から見てII号窯があとに造られたのは明らかであるが、II号窯操作時にI号窯は埋まりきっていなかったと思われる。I号窯跡埋土中からII号窯で焼成したと考えられる須恵器がかなり出土しているからである。このため出土遺物の取り扱いについて迷ったが、ここではそのままI号窯跡出土遺物として掲載した。実質的にはII号窯に所属すると考える。

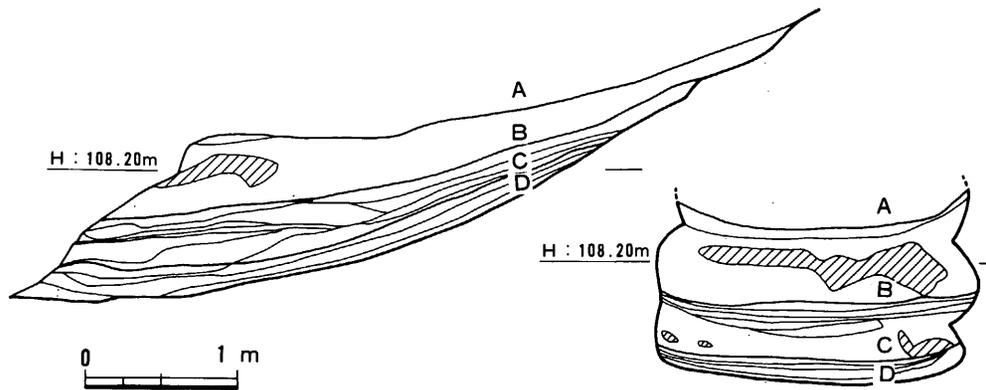


第22図 63地点地形測量図 (1/200)

窯 跡 名	後 田 窯 跡 群		遺 構 名	63-I号窯跡
			調 査 年 月 日	1986. 2~3 (昭60年度)
位 置	斜面上位 (107.30 m)		主 軸 方 位	N-44°-W
全 長	10.4 m以上		最 大 幅	2.1 m
焚 口 燃 焼 部	長 さ	2.0 m以上	先端部が破壊されている。平面的にはわずかに開いていき、床面はゆるやかに傾斜している。	
	幅	2.0~2.1 m		
焼 成 部	長 さ	7.05 m	平面的にはほとんど同じ幅でずん胴型である。床面はわずかに弓なり状を呈して登る。水平面となす角度は30°。上半部に製品を安定させるための凹みがある。	
	幅	2.1 m		
煙 出 し 部	長 さ	1.35 m	痕跡から3孔の煙出しがあって、一旦水平面を作り、排水溝へと続く。排水溝の幅は0.7 m、深さ0.15 m。	
	幅			
前 庭 部	破壊されて不明。			
灰 原	削平されて全容不明。灰層の厚さは20 cm。			
遺 物	蓋杯、蓋、高杯、盃、椀、脚付壺、甕、平瓶(?)、土師器甕			
その他	<p>伐採時に重機によって燃焼部の一部と前庭部が破壊されている。</p> <p>3回のかさ上げが行われている。A~D床面の4面を確認。A床面が最終床面、D床面が最初の床面である。かさ上げされるに従って焚口の位置は奥へ上がる。A床面-7 m、B床面-6.6 m、C床面6.6 m、D床面8.2 mを測る。</p>			

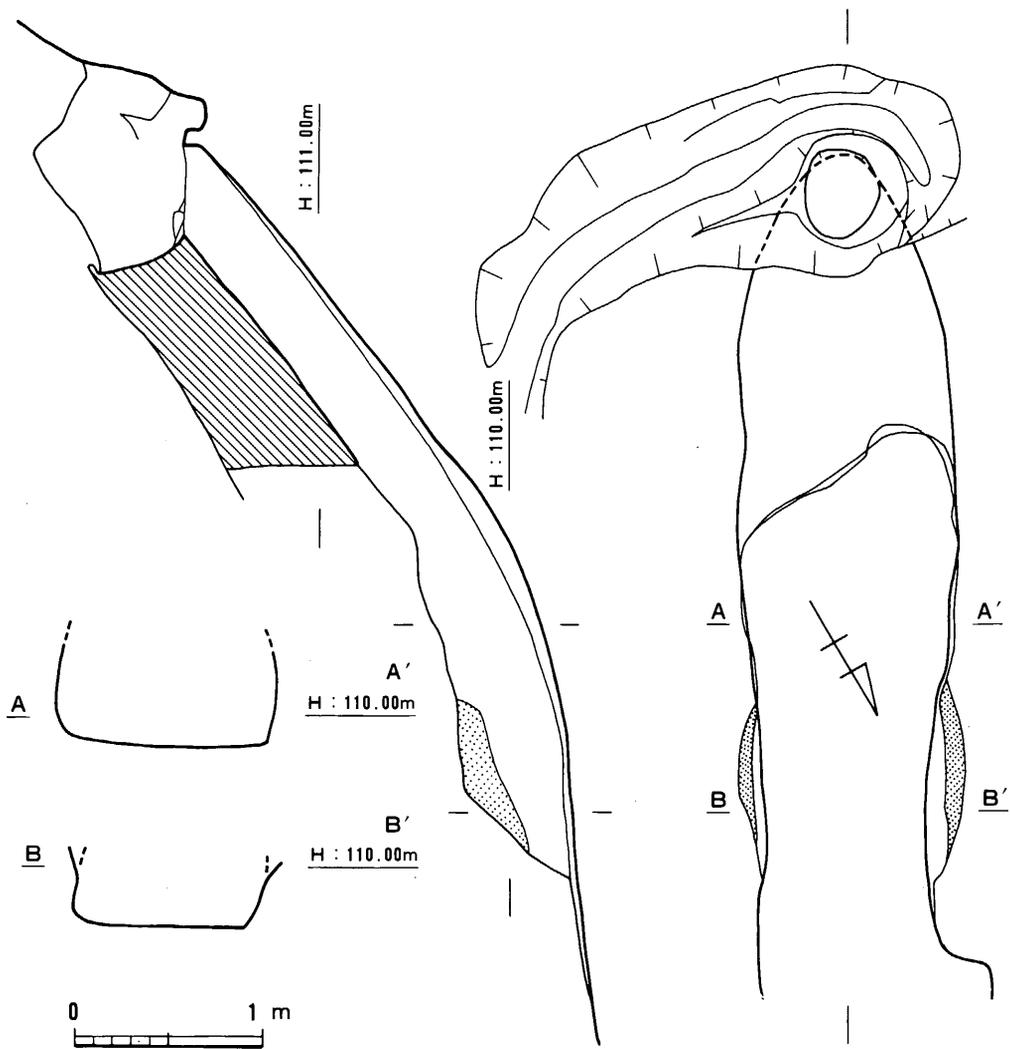


第23図 63-I号窯跡実測図(1/100)



第24図 63-I号窯跡床かさあげ状況実測図(1/50)

窯 跡 名	後 田 窯 跡 群		遺 構 名	63-II号窯跡
			調 査 年 月 日	1986. 2～3 (昭60年度)
位 置	斜面上位 (109.60 m)		主 軸 方 位	N-32°-W
全 長	4.45 m		最 大 幅	1.15 m
焚 口 燃 焼 部	長 さ	0.85 m	一旦ややすぼまり、また開く。床面はゆるやかに傾斜する。	
	幅	0.85～0.9 m		
焼 成 部	長 さ	3.05 m	平面形は中ぶくらみで、床面はわずかに弓なり状を呈するが、直線的に登る。水平面となす角度は35°。上半分天井が残る。	
	幅	1.15 m		
煙 出 し 部	長 さ	0.55 m	平面的には丸いが、排水溝が接するようにあるため、円筒状にはならない。規模的には0.55×0.4 mの楕円形となる。排水溝は幅40 cm、深さ40 cmである。	
	幅			
前 庭 部	焼成部下1.1 mにわたってゆるやかに傾斜する部分があり、ここが該当する。更にその先には土坑状の落ち込みがある。			
灰 原	前庭部下方にあり、長さ2.3 m、幅2.4 mの範囲にある。更に下方は削平。灰層の厚さは40 cm。			
遺 物	蓋、杯、高杯、甕			
その他				



第25図 63-II号窯跡実測図 (1/40)

### 出土遺物

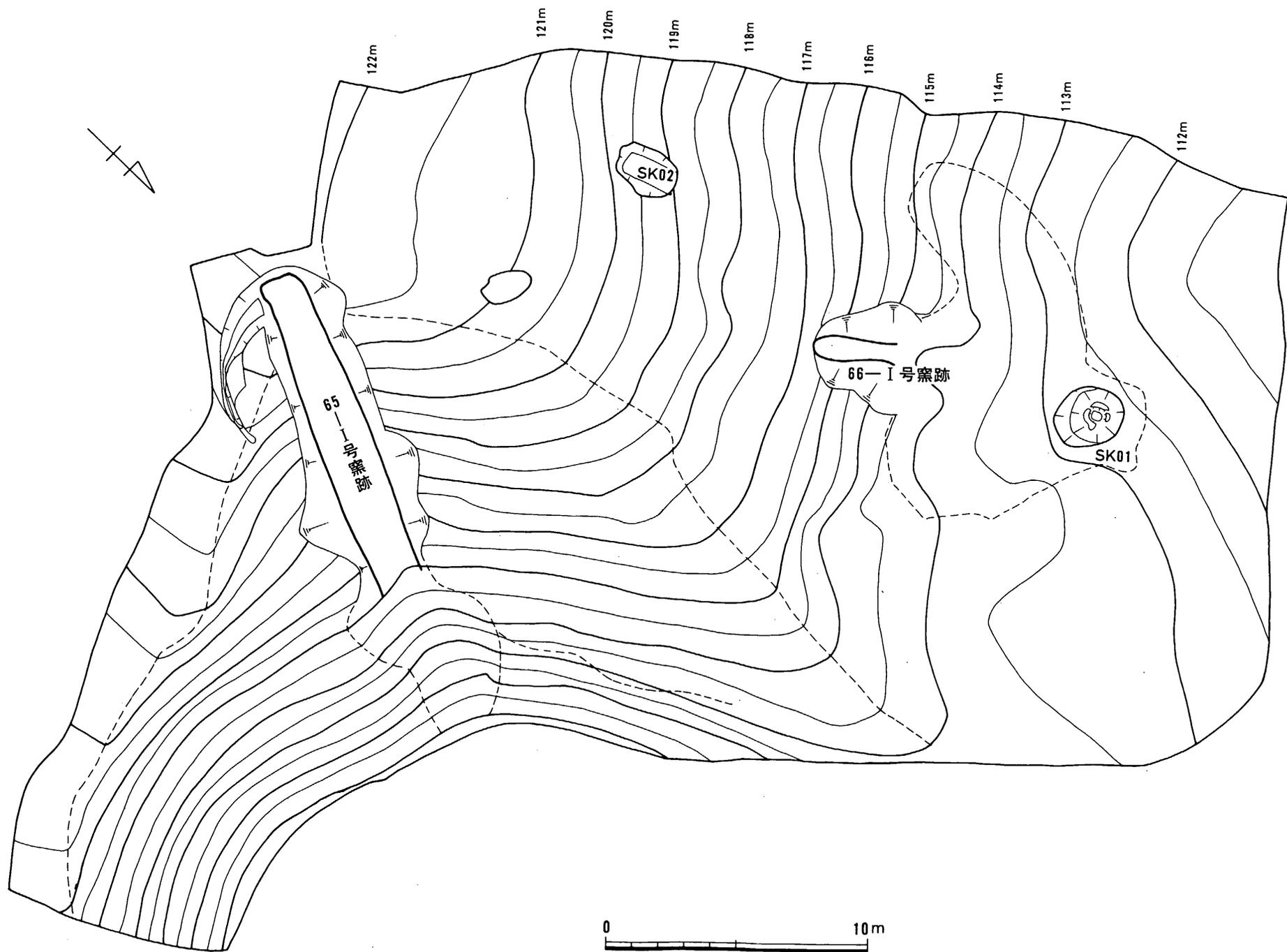
前述したように第72図63-I号窯跡出土遺物は実際はII号窯で焼成されたものと考えられる。

I号窯跡からは蓋杯、椀、碗、高杯、脚付壺、平瓶または提瓶そして甕が出土した。高杯の多いことが注目される。有蓋と無蓋の2種類がある。脚部にスカシのあるものも含まれるが、スカシのないものがほとんどである。

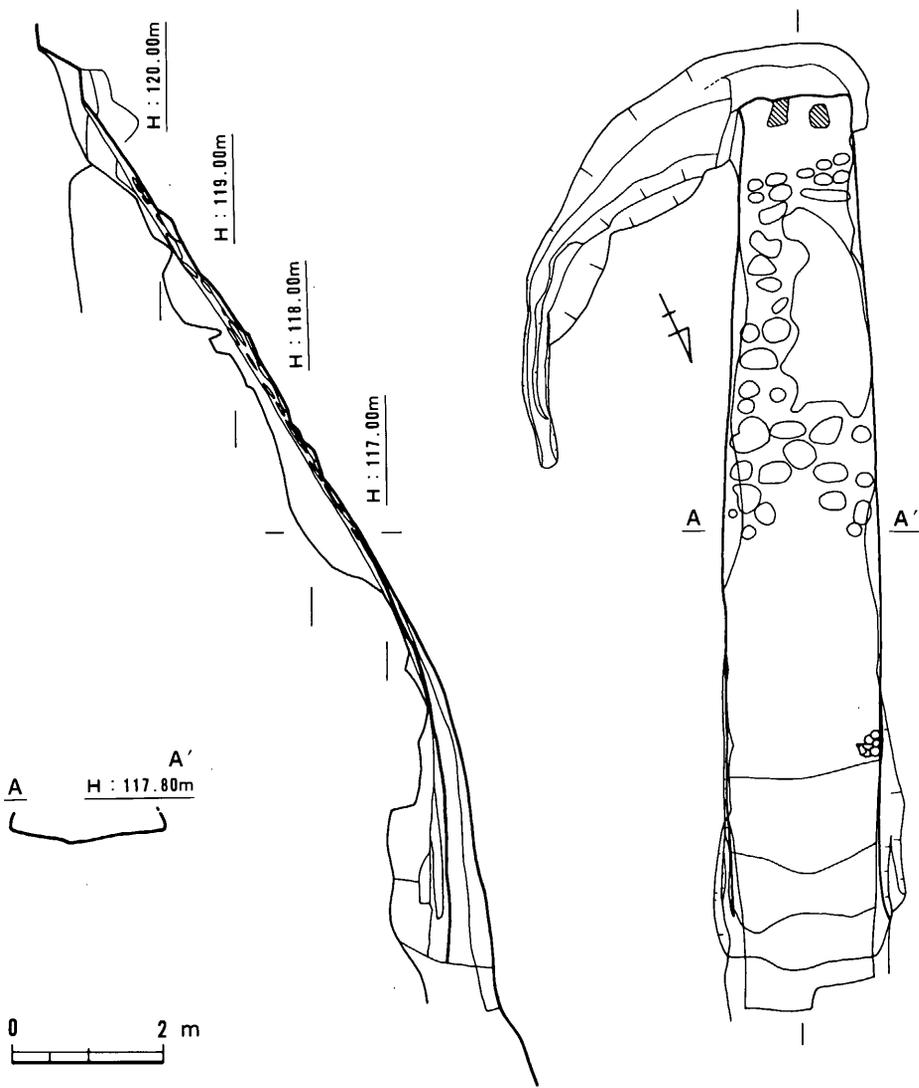
II号窯跡からは蓋杯、高杯が出土している。蓋には身受けのかえりの付くものと付かないものがある。杯身の高台は高く外へ踏んぼる。体部は屈曲気味のものともそうでないものがある。

## 65 地点

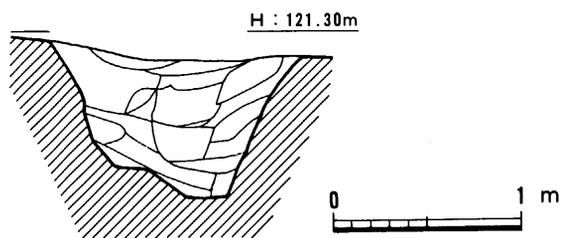
窯 跡 名	後 田 窯 跡 群		遺 構 名	65-I 号窯跡
			調 査 年 月 日	1986. 7~8 (昭 61 年度)
位 置	尾根付近 (116.20 m)		主 軸 方 位	N-155.5°-W
全 長	10.75 m(前庭部含めると 12.35 m)		最 大 幅	2.1 m
焚 口 燃 焼 部	長 さ	1.0 m	幅はほとんど同じで、平坦である。焼成部の床面が還元されて灰白色化しているのに対し、赤色の床面である。	
	幅	2.0 m		
焼 成 部	長 さ	8.6 m	傾斜変換点から上方で、床は還元されている。下方が幅広でずん胴型である。床面は約 30°の角度でほぼ直線的に登る。	
	幅	2.1 m		
煙 出 し 部	長 さ	1.15 m	痕跡から見て 3 孔を有する煙出し部から上部の平坦面に続いて排水溝へ接続する。	
	幅			
前 庭 部	長さ 1.6 m、幅 1.9 m、床面に熱を受けた痕跡はなく、床面は凹凸が激しい。			
灰 原	流失のためか、それほど多くの堆積は認められない。			
遺 物	蓋杯、高杯、鉢、椀、甕			
その他	前庭部、燃焼部、焼成部下半部は一旦掘り下げた後に、再度土を埋め込んで第 1 回めの床としている。傾斜の関係か。			



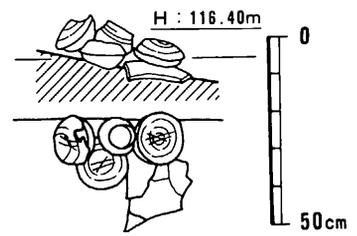
第26图 65·66地点地形测量图(1/200)



第27图 65-I号窠迹实测图 (1/100)



第28图 65-I号窠迹排水沟埋土断面实测图 (1/40)



第29图 65-I号窠迹须惠器出土状态实测图 (1/20)

## 66 地点

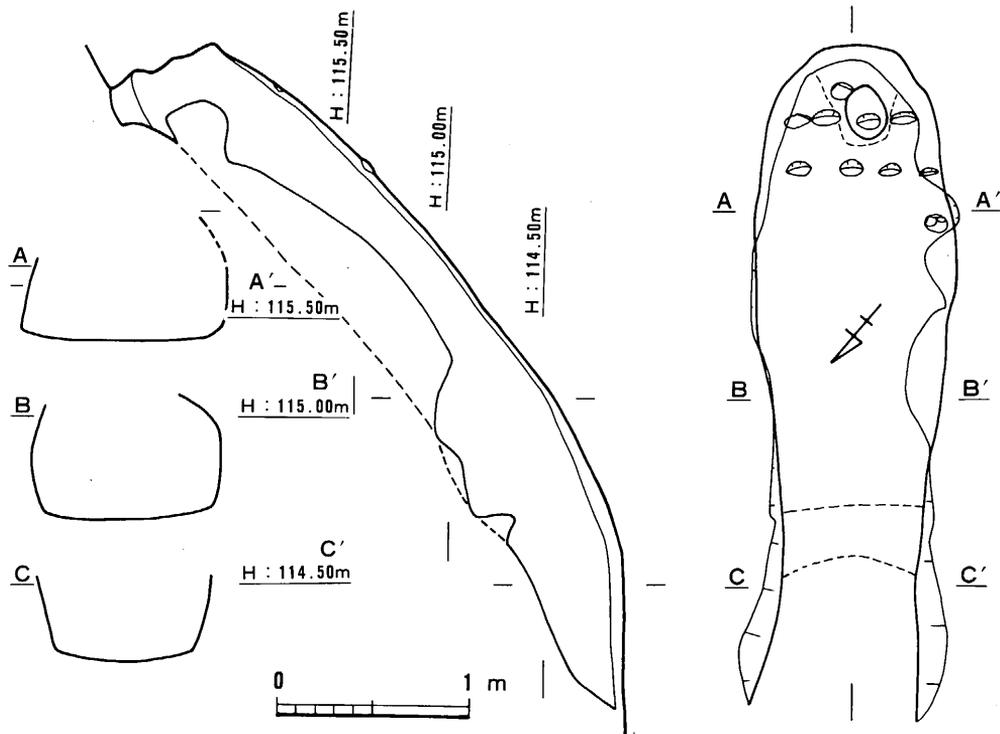
窯 跡 名	後 田 窯 跡 群		遺 構 名	66-I号窯跡
			調 査 年 月 日	1986. 6~7 (昭61年度)
位 置	中復 (114.00 m)		主 軸 方 位	N-140°31'-E
全 長	3.7 m		最 大 幅	1.05 m
焚 口 燃 焼 部	長 さ	1.0 m	灰原側がやや開き、床面はほぼ平坦である。	
	幅	0.7~0.9 m		
焼 成 部	長 さ	2.7 m	中ぶくらみで、床面はわずかに弓なり状を呈し、急角度(中央部で40°)で登る。上部に製品を安定させるための凹みを持つ。	
	幅	1.05 m		
煙 出 し 部	長 さ		平面で0.3×0.2mの円筒状を呈するが、残存度は悪い。	
	幅			
前 庭 部	窯体前面が平坦部となるが、明確でない。			
灰 原	窯体前面にかなり広い範囲で広がる。			
遺 物	蓋、杯、高杯、皿、鉢、甕			
その他	窯体前面の灰原から土坑が検出され、底から横瓶と平瓶が出土した。			

## 66地点

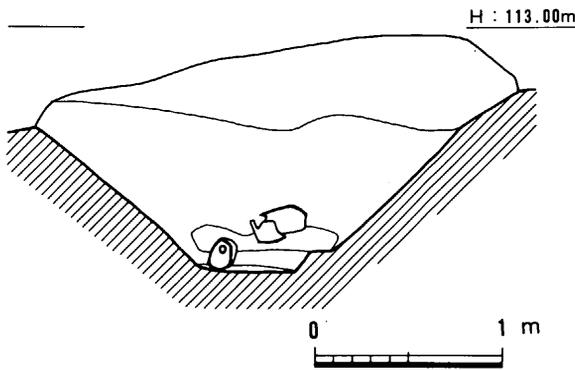
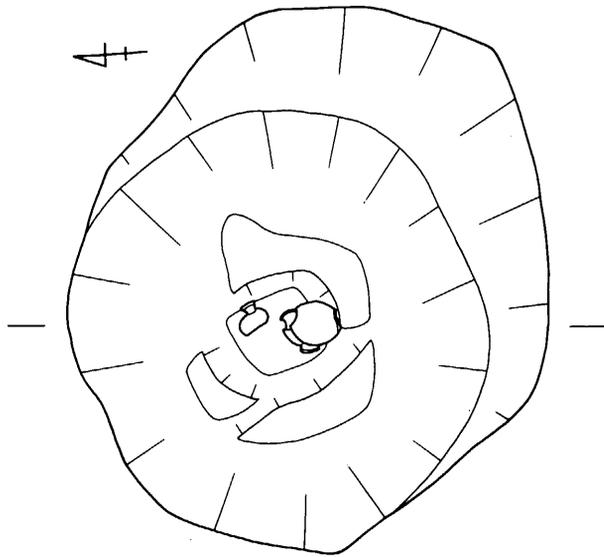
65地点と隣接する位置である。63地点から南へ180m、60地点からは南西へ320mの地点である。65地点が南西から北東へのびる丘陵の造り出す小谷部に位置するのに対し、小規模な尾根部に立地する。窯跡は中腹の標高114m～117mの間に造られている。

検出された窯跡は1基である。胴ぶくらの焼成部と円筒状の煙出し部を持つ通有の窯跡である。ただ、傾斜がきつく直立できないほどである。窯体と灰原の境付近に傾斜変換点があって、灰原側はかなりゆるやかである。灰原はやや横広がり、幅13.5m、長さ9.5mの範囲にある。灰原の先端部に不整形のプランを持つ土坑があり、床面に横瓶と平瓶が置いてあった。また、窯跡右上方斜面にほぼ長方形の土坑があった。遺物の出土はなかったが、かなりしっかりした掘り方を持つ土坑であった。

66-I号窯跡からの出土遺物は蓋杯、皿、高杯、鉢、甕である。中で89～92(第84図)の鉢としたものは他の窯跡出土遺物には見られないものである。口径が14cm代のものが多いが、平底と丸味を帯びた体部を持ち、口縁端部がややとがり気味で外反して終わるものである。杯蓋には身受けのかえりを持つものと持たないものがある。



第30図 66-I号窯跡実測図(1/40)



第31図 66-I SK01実測図 (1/40)

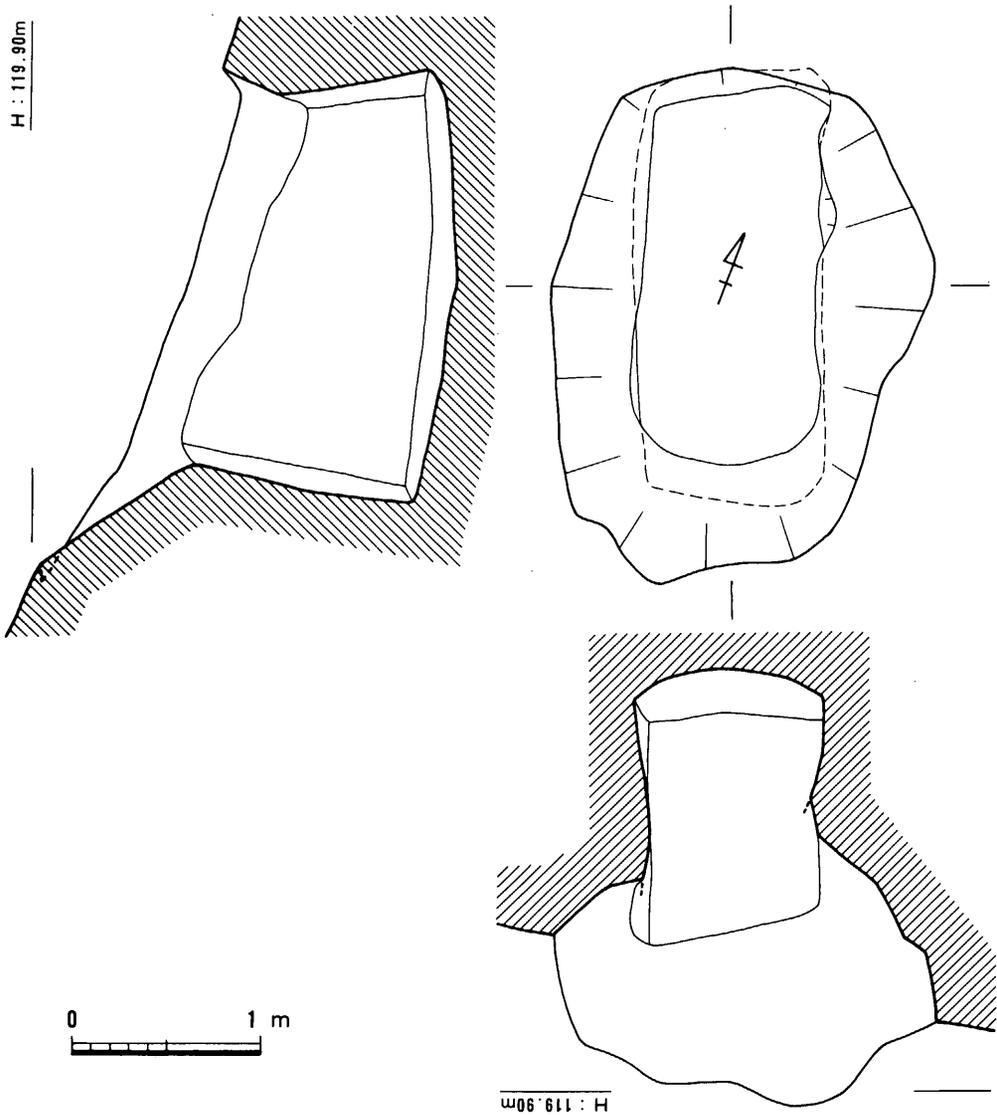
### SK01

前述のように66-I号窯跡の灰原先端部で検出されたものである。窯体とは約7m離れている。不整円形のプランを持ち、主軸上で2.9m×2.55mの大きさである。南東側が一部傾斜が変わるが、ほぼすり鉢状の形態である。床面は40~45cm四方の菱形状を呈し、平坦である。その周囲を巡るように3つのテラスがある。深さは、斜面に立地するため様ではないが、0.7~1.25mである。

第31図に示すように床面に平瓶、約15cm浮いた状態で横瓶が検出された。この土坑が判明した経緯を述べれば、66-I号窯跡の灰原を掘り下げている際に、灰層が厚く地山が現れない部分があったため掘り下げた結果、土坑とわかったものである。従って、埋土はほとんどが灰である。このことから66-I号窯の灰原が形成される以前に掘られたことがわかる。それが66-I号窯の操業時に当たるのか、それとも同窯跡は無関係

なのかという問題が生じる。隣接する65-I号窯跡で焼成されたと考えられる須恵器小片もSK01埋土中から出土している(第80図7)ので、むしろ65-I号窯跡と関係があるとする考え方もできるからである。しかし、前述のように土坑と判明した経緯が、灰原の掘り下げ時に一部灰層の厚いところがあるという認識の下に掘り進めた結果であることと、65-I号窯跡とは約24m離れていることから、66-I号窯跡と関係があると考えたい。

さて、出土した平瓶、横瓶は66-I号窯跡の灰原形成以前、即ち、操業開始に伴うものとなるから、身受けのかえりを持つ蓋と同時期と考えられる。SK01埋土中から既にかえりのない蓋が出土しているので、それ以前ということになり、合致する。そうすると、古墳時代的な平瓶と横瓶の最も新しい例となる。



第32図 66-S K02実測図 (1/40)

**S K02**

66-I号窯跡の右上方8mに位置する。検出面でのプランは不整の長方形であるが、傾斜変換点から下は隅丸気味の長方形を呈し、側面、床面ともにかなりしっかりしたものである。フラスコ状に床面の方が広がっている。床面での大きさは、長軸方向で2.3m、短軸方向で1.0m、上端で2.65m×2.05m、傾斜変換点の部分で1.95×0.92mである。深さは尾根側で1.6m、谷側で1.1mである。遺物の出土はなかった。性格不明の遺構である。

## IV. ま と め

後田窯跡群 9 地点 16 基の窯跡の発掘調査結果は既述した通りである。しかし、前述したように、牛頸土地区画整理事業地内で発掘調査した窯跡は他に小田浦窯跡群、月ノ浦窯跡群がある。従って、窯跡並びに出土遺物についての全体的なまとめはそれらの報告が終わった段階で行いたい。このため、今回は簡単なまとめとしておきたい。

### 各窯跡の操業時期

#### 45 地点

明確な形で検出された窯跡は 1 基のみであるが、出土遺物から見て 2 基あったと考えた方が合理的である。I 号窯跡出土須恵器は小田富士雄氏編年の IV 期に当たる。従って、6 世紀末～7 世紀初めの年代が考えられる。II 号窯跡出土須恵器の場合は、蓋杯を見ると、蓋の身受けのかえりのあるものとなないものがある。量的には後者の方が多い。従って、7 世紀後半～8 世紀初め頃の年代が考えられる。

#### 46 地点

蓋杯の蓋は口径 13cm～11.5cm とバラつきがあるが、IV 期に収まるものである。V 期に見られる蓋杯は現れていない。6 世紀末～7 世紀初めの年代が考えられる。

#### 59 地点

身受けのかえりを持つ蓋は 1 点も見られない。つまみも低く、中央がややつまみ出されるか、または中央部がややくぼんで中心がつまみ出される形が多い。身につく高台は端部からやや中央寄りに偏して付けられていてかつ低い。これらの特徴は 1985 年に報告した牛頸石坂窯跡群出土遺物の特徴に近く、8 世紀中頃～後半の時期と考えられる。I～III 号窯跡の 3 基検出されたが、II 号窯跡の遺物が III 号窯跡に流れ込んでおり、III 号窯→II 号窯の先後関係が考えられる。

#### 60 地点

蓋杯に注目して見れば、身受けのかえりを持つ蓋と、蓋受けのない身の組み合わせである。中には第 51 図 11、16 のようにどちらにすべきか迷うものがある。しかし、これらも図示した通りとすれば、V 期の窯跡として極めて珍しい例となる。蓋はつまみの付くものはヘラケズリするが、付かないものはヘラケズリをしない。身はすべてヘラケズリしない。灰原がほとんど流失していたため出土遺物が少なく、器種の少ないのが残念である。身受けのかえりの状態が先後関係の基準の一つと見なされる場合があるが、第 51 図 5 のような形態を退化して新しいものと考えれば、次の VI 期にはこれよりしっかりしたかえりを持つものも多いので、単純に新旧関係の基準として良いかは検討しなければならぬと思う。年代的には 7 世紀前半が考えられる。

## 61地点

調査した地点では最多の5基の窯跡が検出された。I～IV号窯跡出土遺物は身受けのかえりを有する蓋、かえりが消失した蓋の時期のもので、7世紀後半～8世紀初めの年代が考えられる。中でもI～III号窯跡については切り合いと出土遺物から先後関係が決められる。I号窯跡出土の蓋はかえりが消失している。II号、III号の場合はかえりのあるものとなないものが見られるが、その割合を見るとIII号窯跡出土遺物の方がかえりを有するものを多く含んでいて、II号窯跡が少ない。かえりを持たない蓋どうしを比べてもIII号窯跡出土の蓋のつまみが高くしっかりしている。すなわち、出土遺物からIII号→II号→I号という先後関係を導き出せる。一方、遺構面ではIII号窯煙出し部を破壊してI号窯を造っている。また、灰原に入れたトレンチの断面観察により、III号窯の灰層の上にII号窯の灰層が堆積している。従って、III号→II号の順となる。このように、遺物から考えられた先後関係は遺構の状態とも矛盾しない。

IV号窯跡出土遺物はIII号窯跡出土遺物と近い時期が考えられる。

V号窯跡出土遺物は杯身1個であるが、他の4基出土遺物の杯身に比べて高台が低く、また付けられる位置もやや中央寄りである。また、口径が20cm近いという大型である。これらの特徴から考えて、59地点同様8世紀中頃～後半の時期のものと判断される。I～IV号窯跡が近接していてグループを形成しているような状態に見えるのに対し、V号窯跡はややそれらと距離を置き、位置も最も低い場所に築かれていること、V号窯跡灰原が他の灰原から区別し得たことなどからも、他の4基と時期が違っていることが肯首できる。

## 63地点

2基の窯跡が検出された。I号窯跡が大型で古く、II号窯跡が小型で新しい。しかし、II号窯操業時にもI号窯は完全には崩壊しておらず、II号窯で焼成されたと考えられる須恵器がかなりの量I号窯から出土した。第72図がそれである。

I号窯跡出土遺物は、蓋杯について見れば、口径14cm～11cmのもので天井部はヘラケズリする。身の立ち上がりは1cmを越えるものはない。高杯には大型品が見られる。これらからIV期とは考えられるが、ややIII B期に近いものも含まれると判断できる。年代的には6世紀末～7世紀初め頃と思われる。

II号窯跡出土遺物については、蓋杯の蓋にはかえりのあるものとなないものが見られること、かえりが無いものでも、つまみは比較的高くしっかりしていること、口縁端部もきちんと折り曲げていること、また、身の場合には高台が高く外へ踏んばることなどから、7世紀後半～8世紀初め頃の年代が考えられる。

## 65地点

窯体内でセットで出土した蓋杯はヘラケズリを施し、蓋の場合、口径が13cm前後を測るのに対し、埋土や各床面間から出土した蓋は口径11.5cm程度のものも多く見られ、ヘラケズリを行

わないものも多くある。また、蓋と身の逆転したものもあることなどからIV期でも新しい時期と考えられる。年代的には6世紀末～7世紀初め頃と思われる。

#### 66地点

蓋杯の蓋の場合、身受けのかえりを持つものと持たないものがある。しかし、全体的に器高が高く、つまみもしっかりしている。身の場合には高台が高いものが多い。これらのことから7世紀後半～8世紀初め頃の年代が考えられる。

従って、66-SK01はI号窯の操業開始に伴うものと考えたので、7世紀後半頃と考えられる。

最後になるが、今回の調査に際し、別府大学教授賀川光夫先生、福岡県文化課係長（現、九州歴史資料館調査課長）栗原和彦氏の多大なる協力を受けた。また、前田軍治、高田和弘、岩瀬正信氏の助言を受けた。心から感謝の意を表したい。

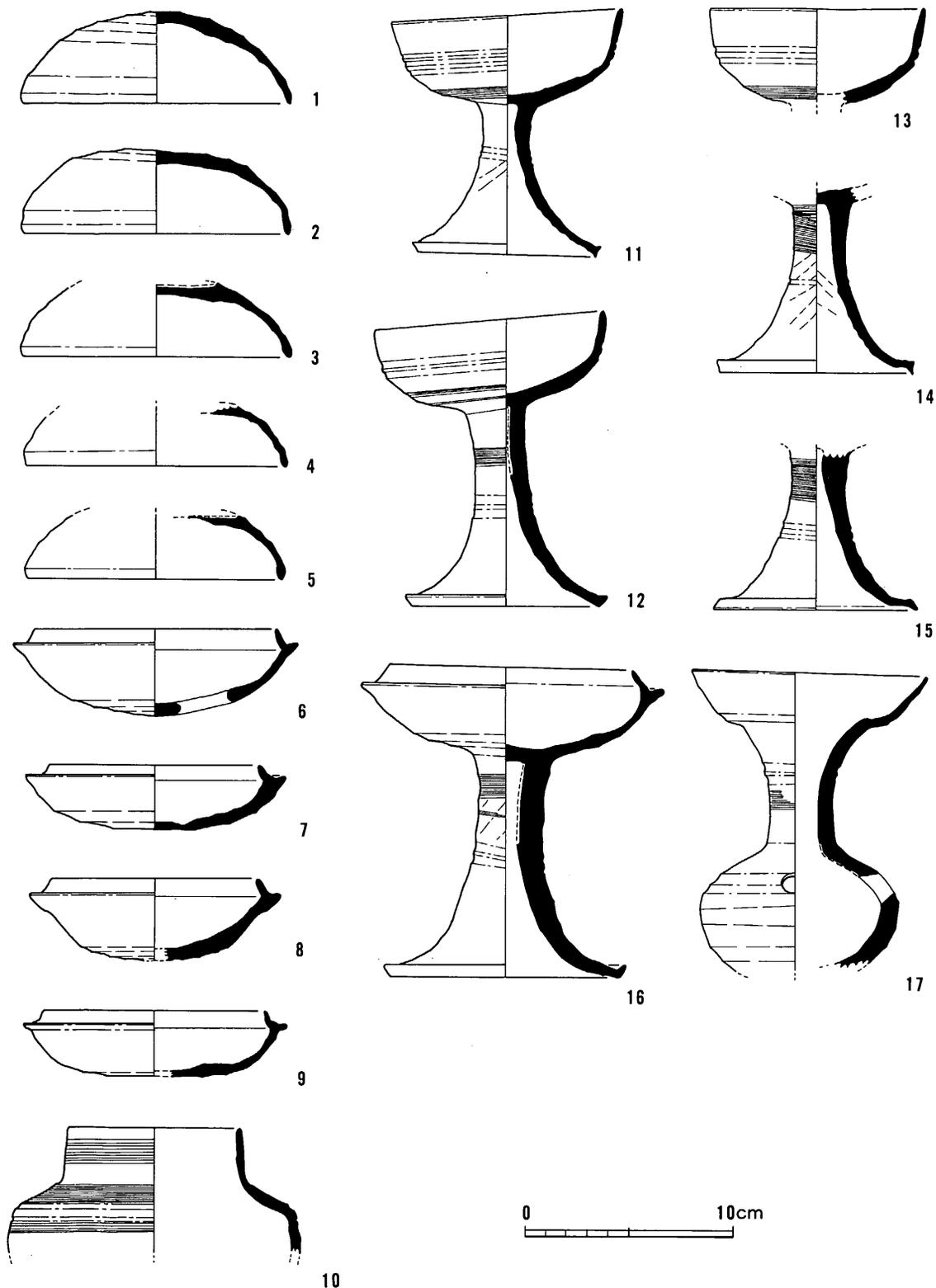
なお、調査に従事していただいた方々のお名前を記して、その労をねぎらいたい。

上野智裕、横川浩

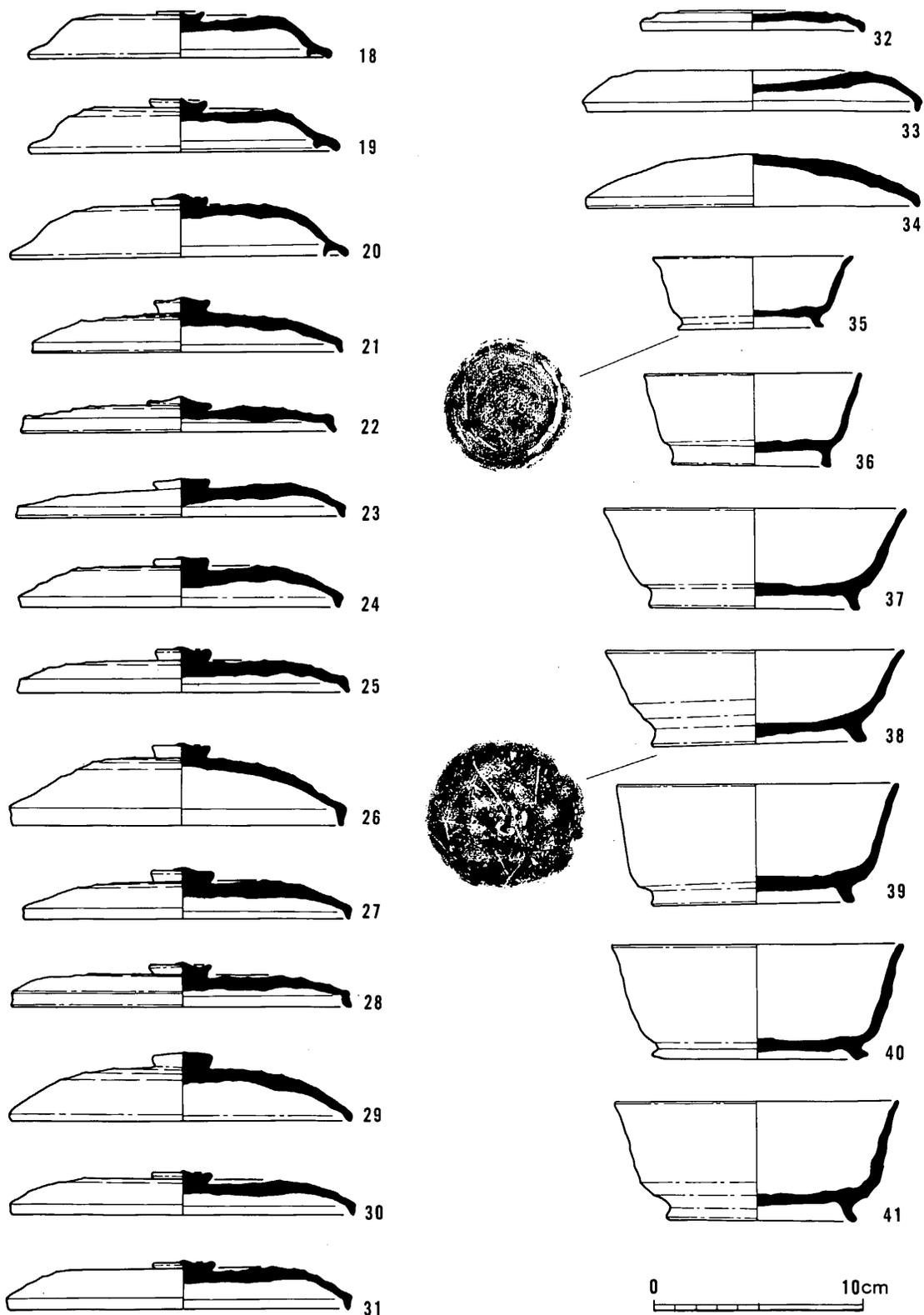
赤星年子、浅川郷子、伊藤和子、岡本正枝、岡本妙子、梶原三治、梶原チヨノ、鹿児島トシ子、岸原藤雄、倉重丑之助、篠原東美子、高木冴子、高野皓代、田島幸子、田中フミ子、中島和子、中村淳子、原田敬子、林田弘、播磨博子、福永志津子、船越エミ子、宮川登志子、宮崎美智子、村上アイ子、村上エミカ、村上エミ子、村上キヨエ、村上シゲ子、森山美代子、山口慶子、山崎三枝子、山部イキエ、湯川玲子、横山幸治、吉嗣波津子、吉原京子、吉原満義

池田幸子、河波安重、辻野富佐子、町井裕子、松岡邦子、松岡信子、山本恒子

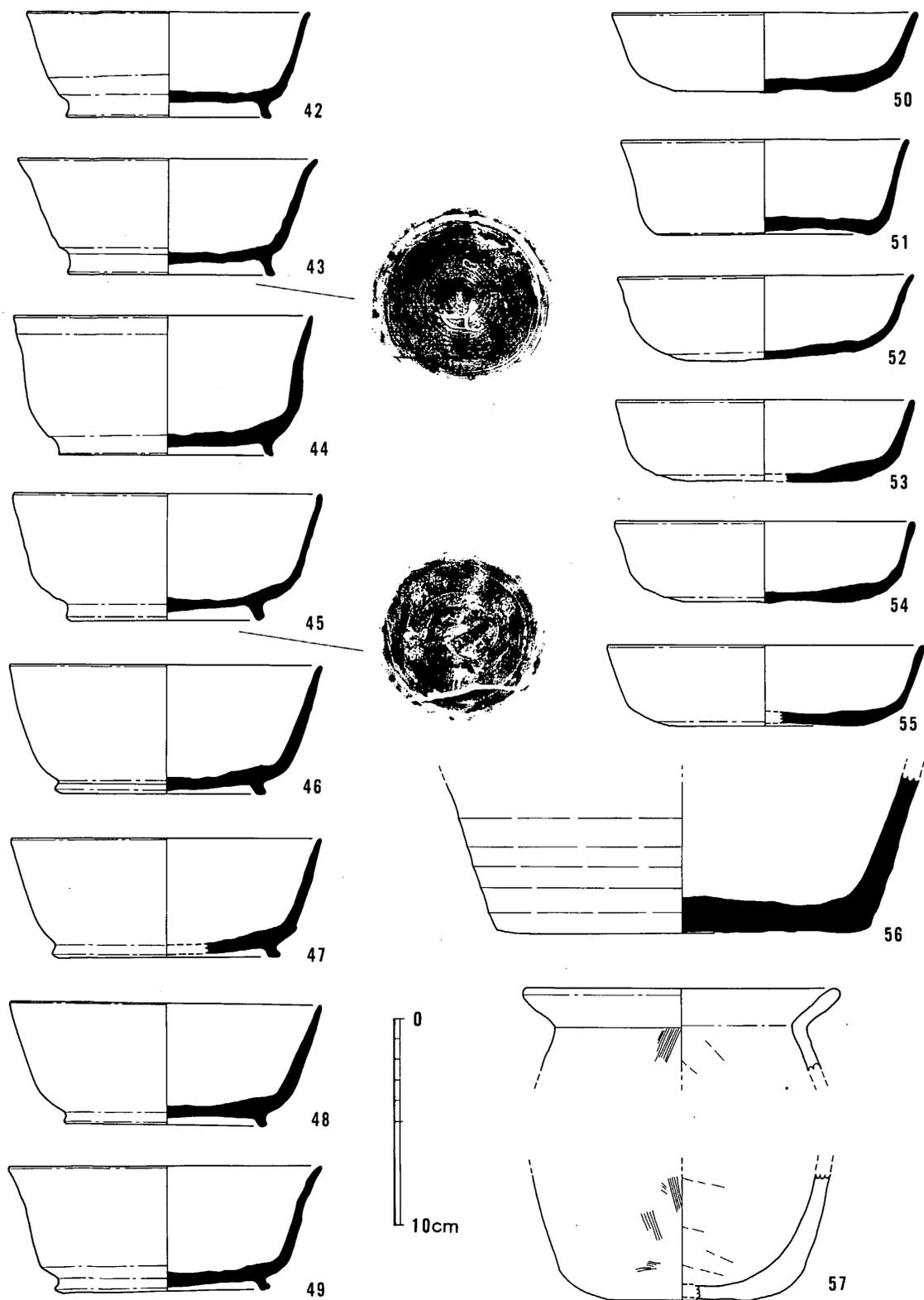
# 遺物実測図



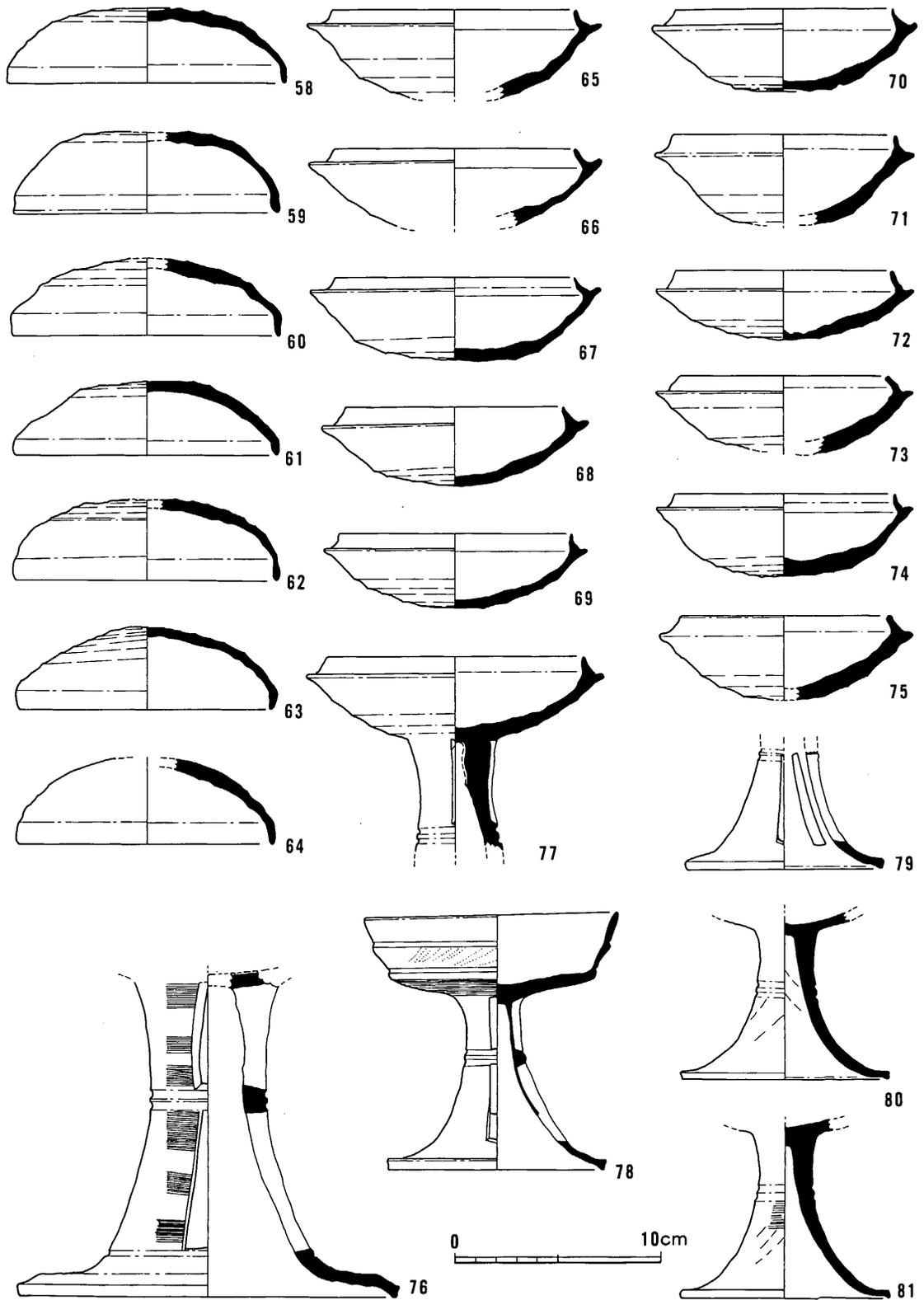
第33图 45—I号窠迹出土遗物实测图(1/3)



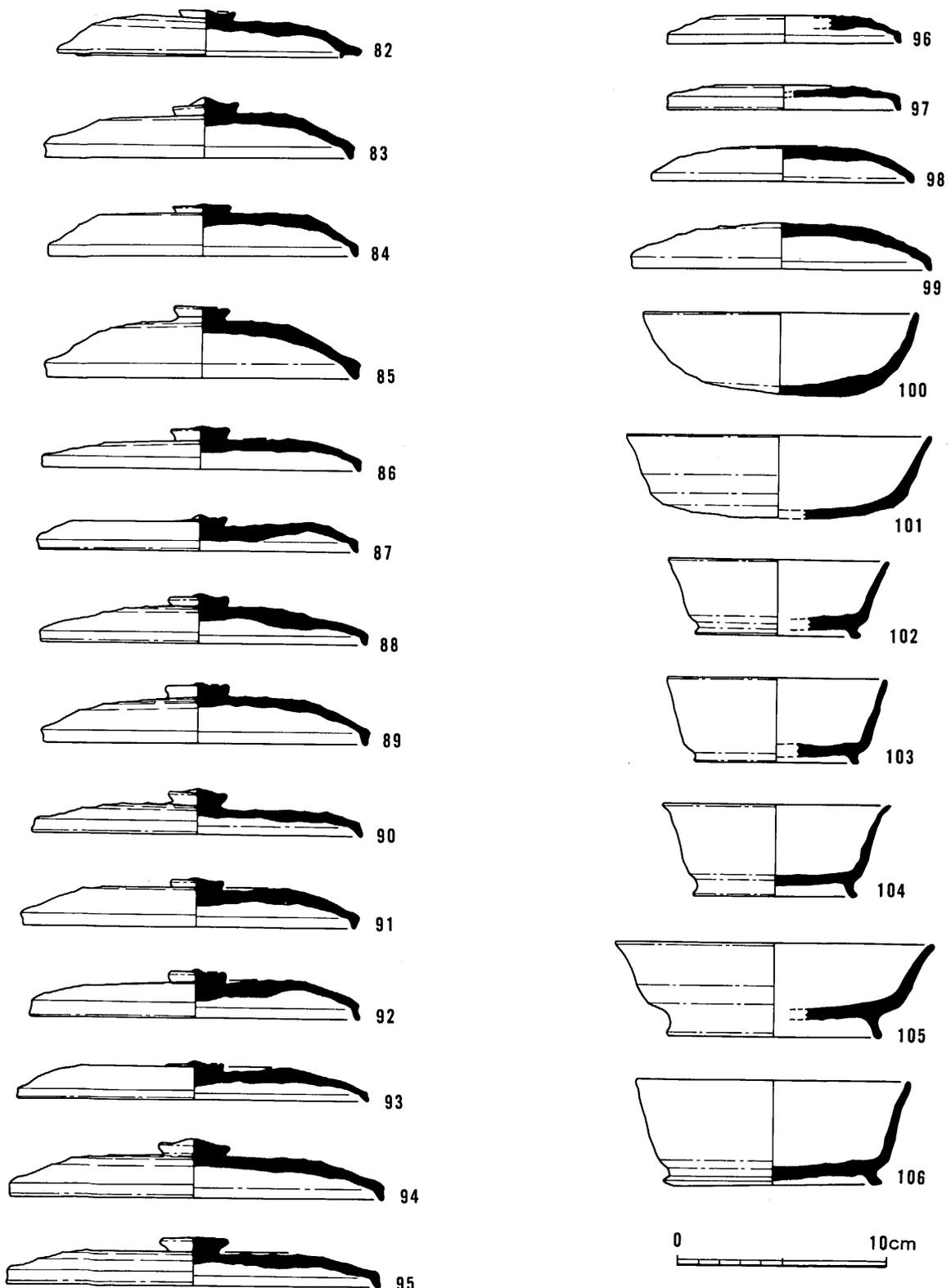
第34图 45—II号窟出土遗物实测图①(1/3)



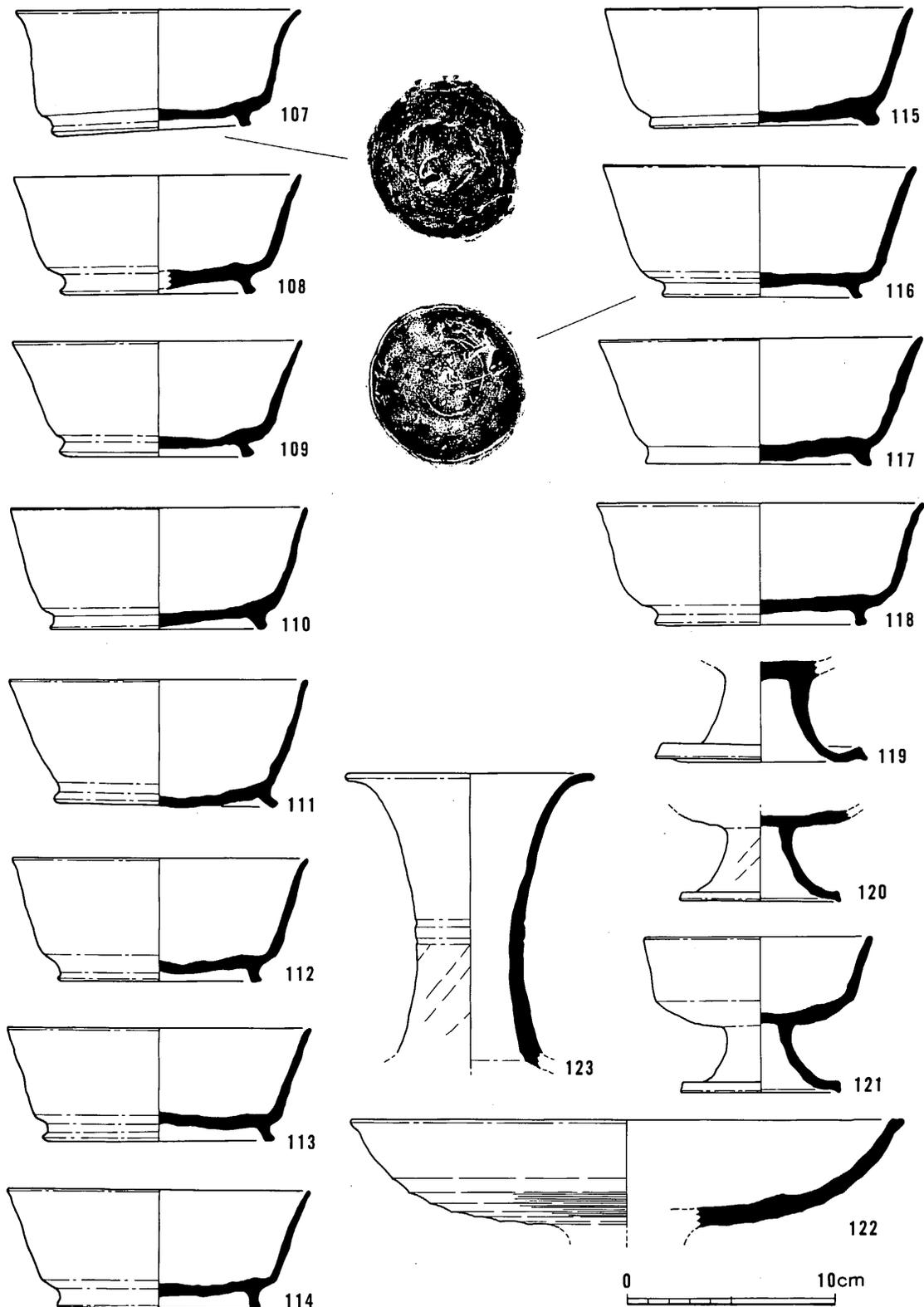
第35图 45-II号窑迹出土遗物实测图②(1/3)



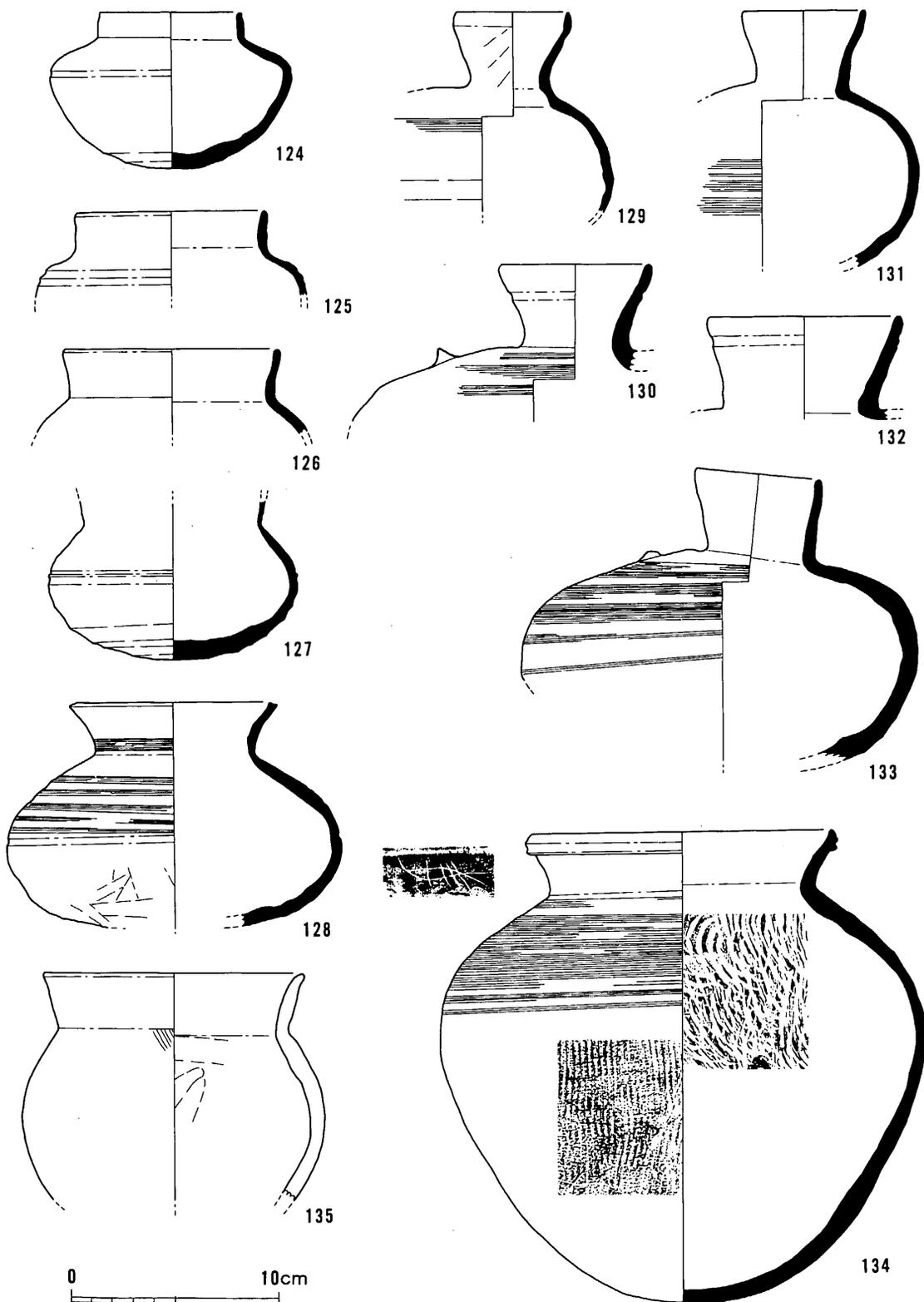
第36图 45地点灰原出土遗物实测图①(1/3)



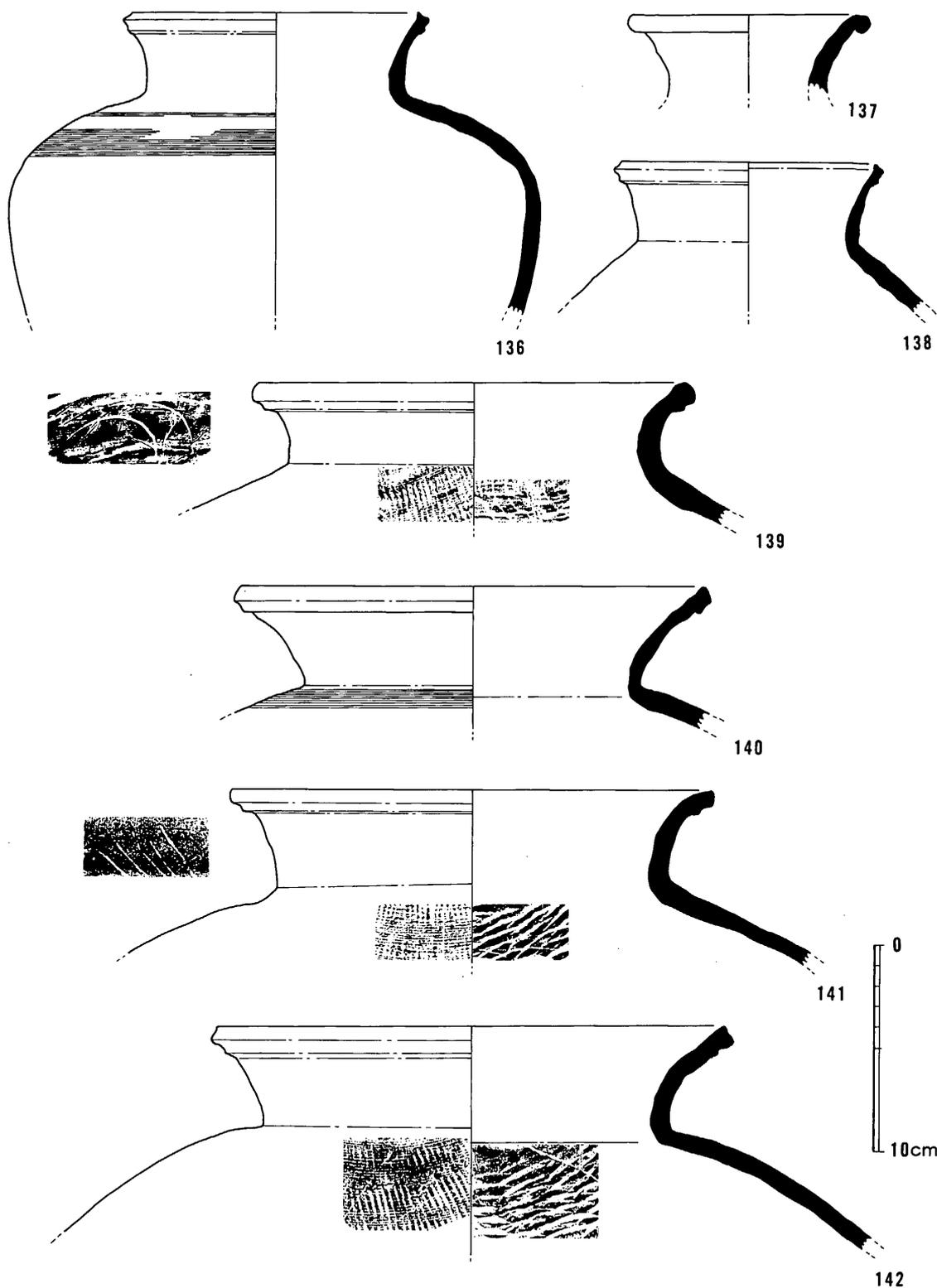
第37图 45地点灰原出土遺物実測図②(1/3)



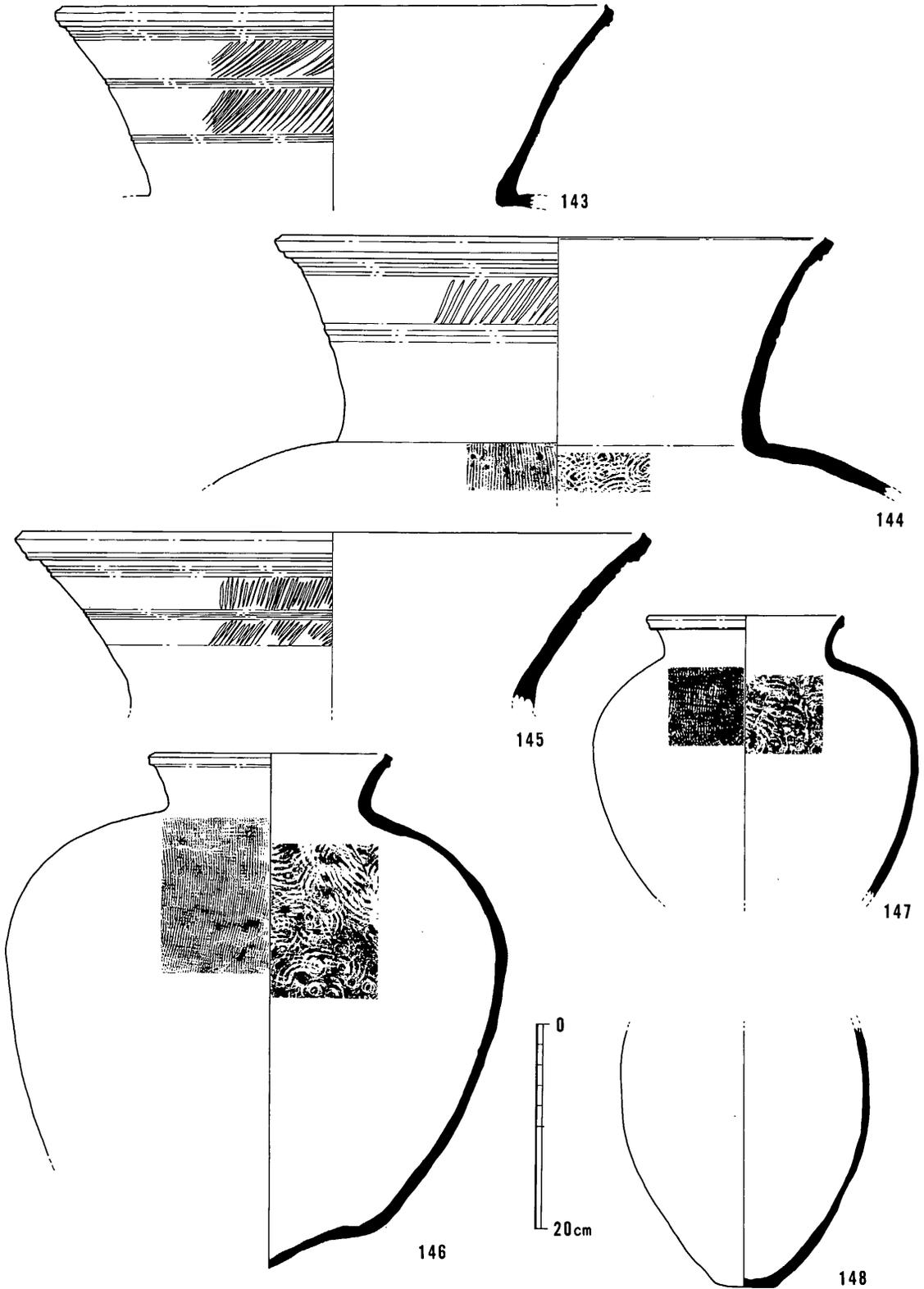
第38图 45地点灰原出土遺物実測図③(1/3)



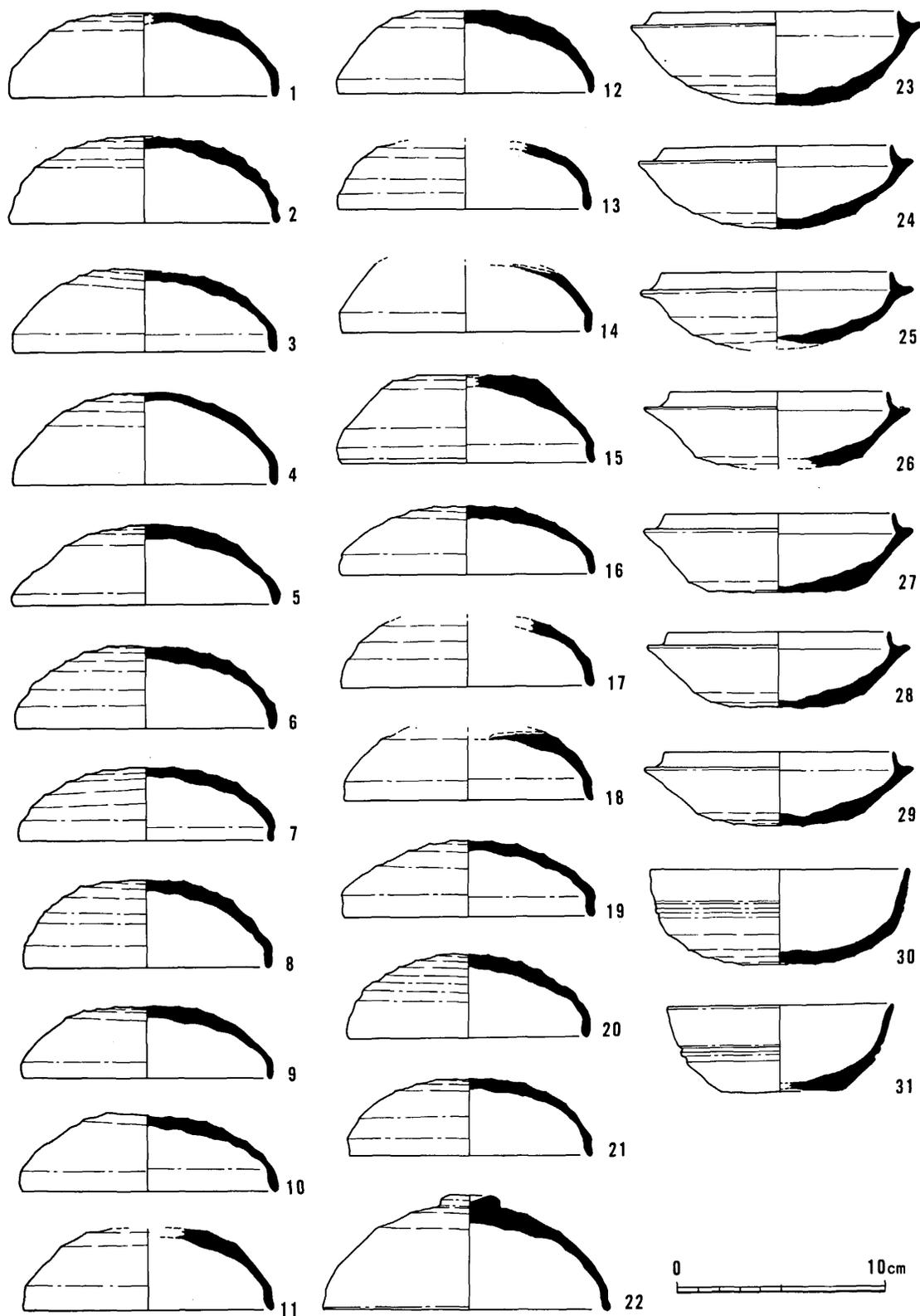
第39图 45地点灰原出土物実測图④(1/3)



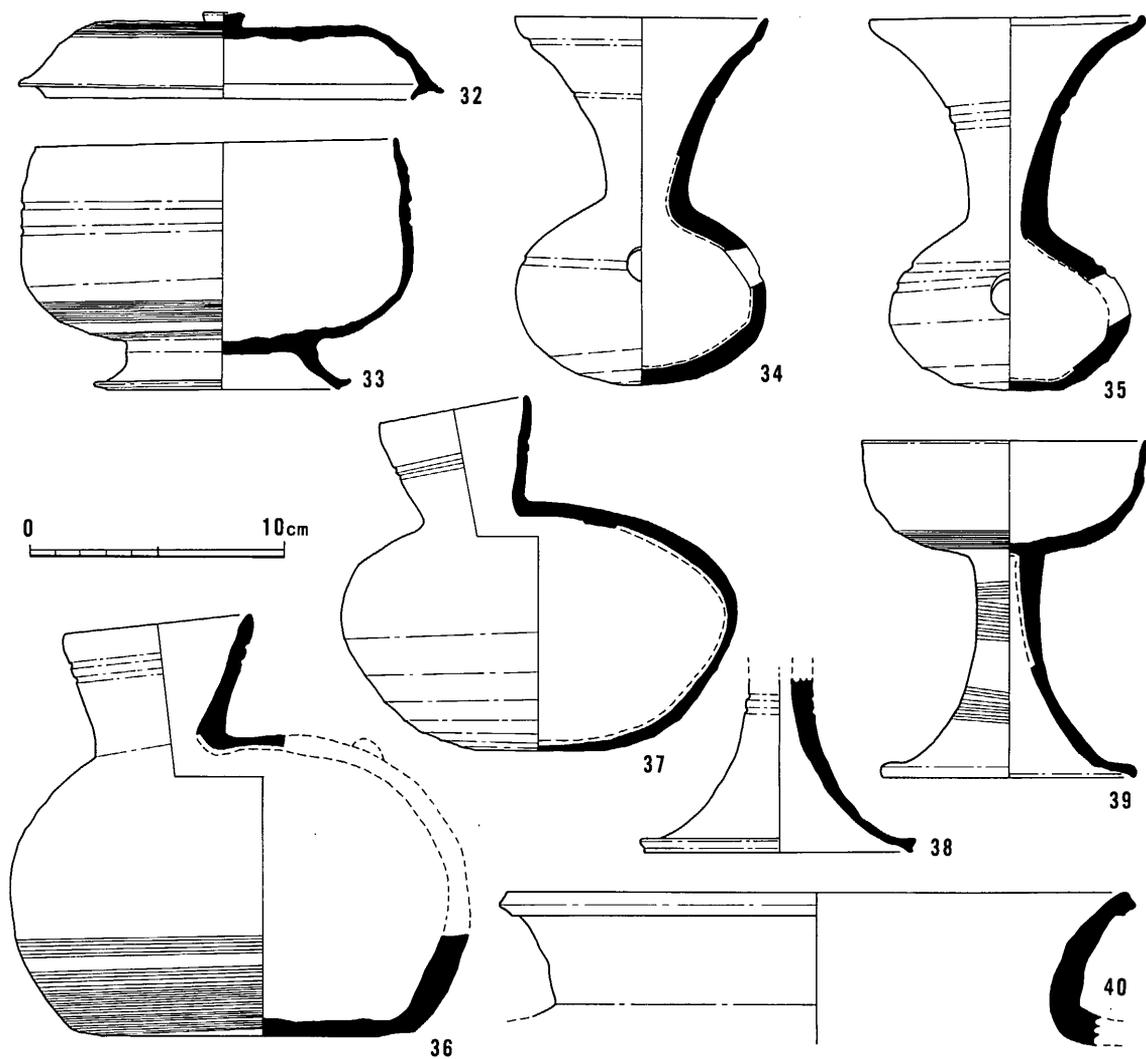
第40图 45地点灰原出土遺物実測図⑤(1/3)



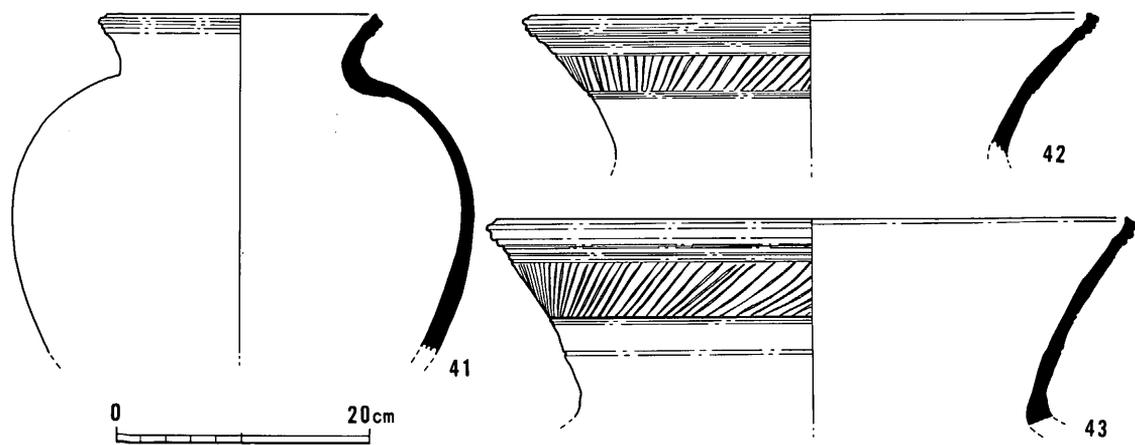
第41图 45地点灰原出土遺物実測図⑥(1/6)



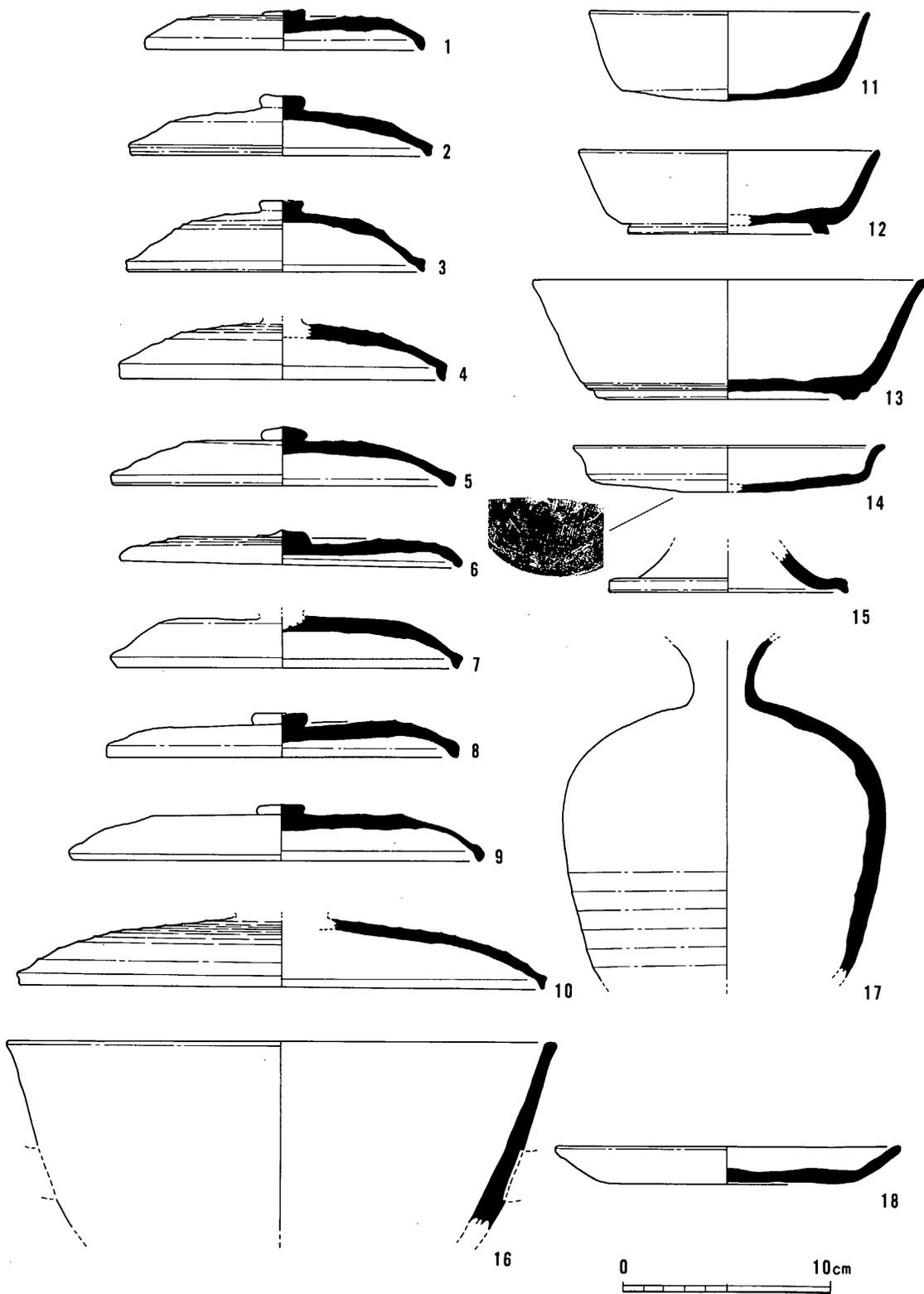
第42图 46地点灰原出土遺物実測図①(1/3)



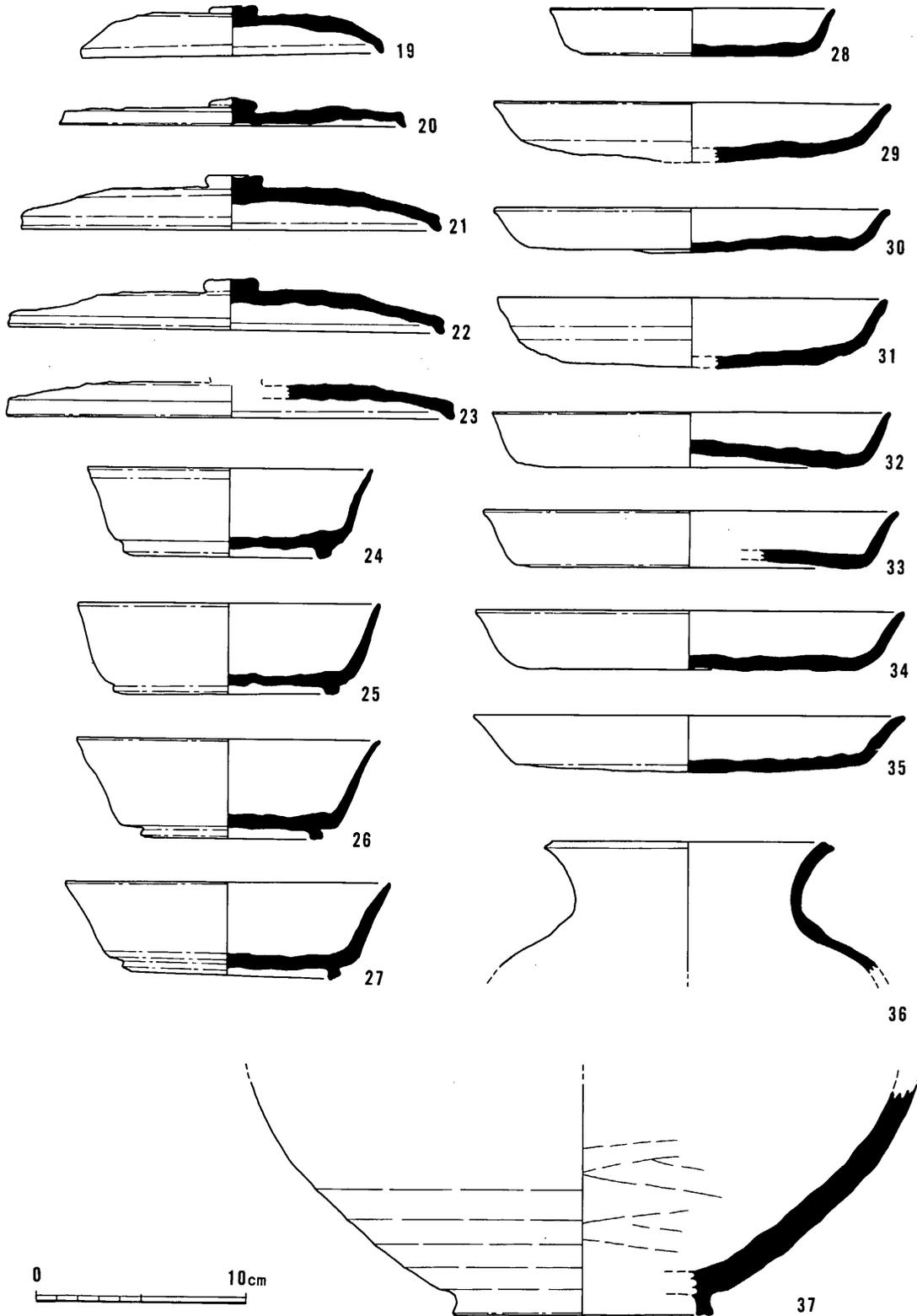
第43图 46地点灰原出土遺物実測図②(1/3)



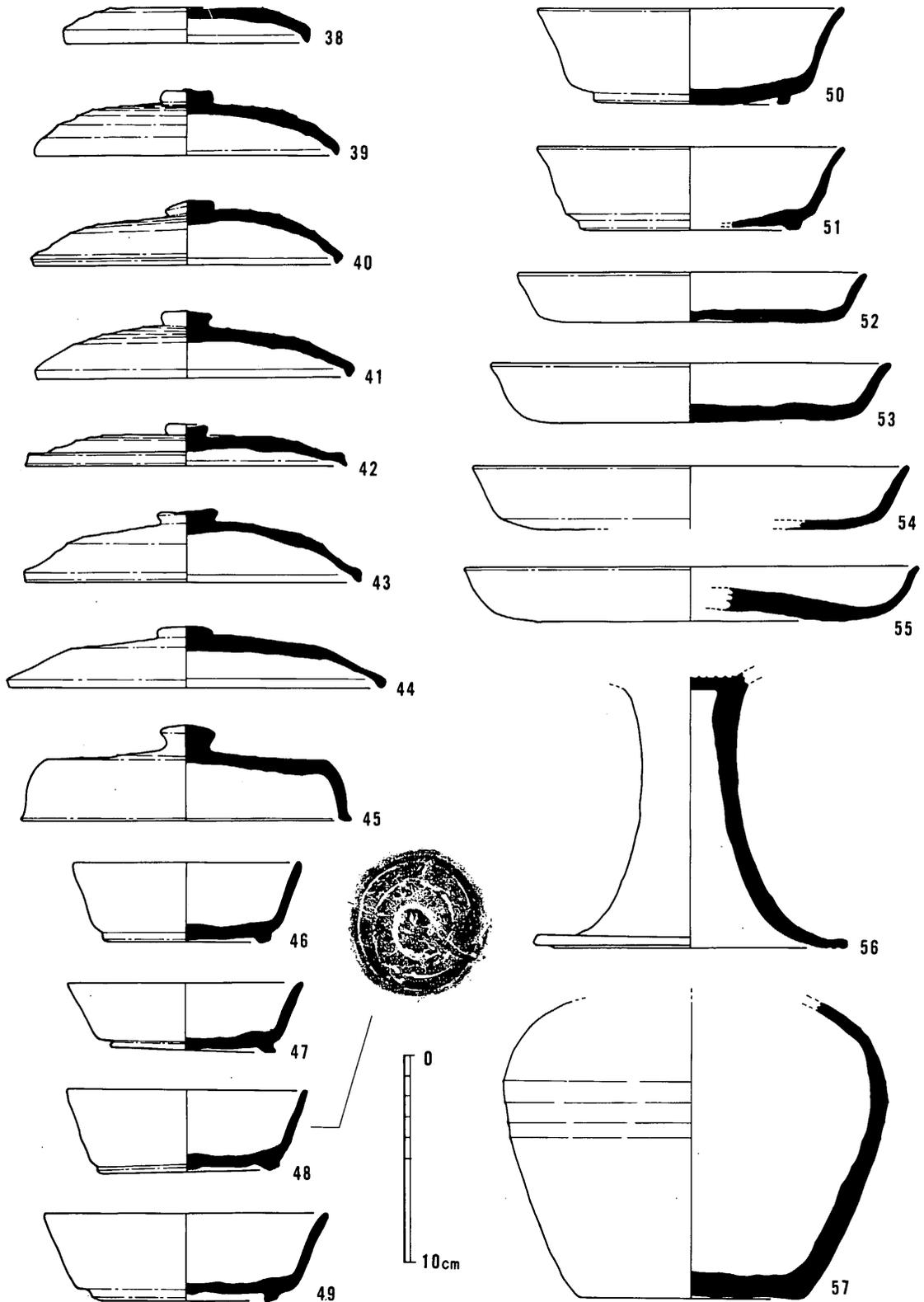
第44图 46地点灰原出土遺物実測図③(1/6)



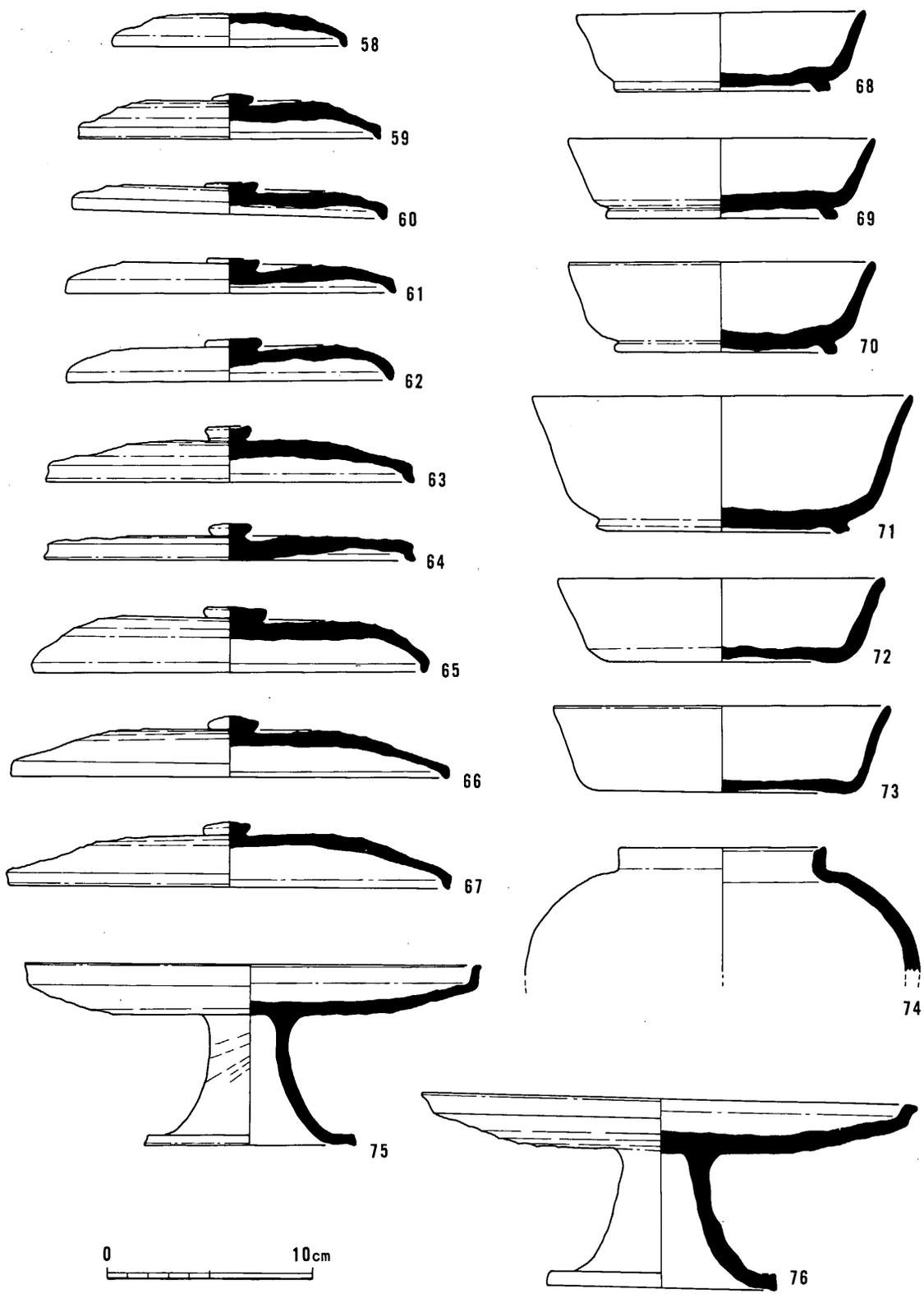
第45图 59—I号窠迹、SK01出土遺物実測図(1/3)



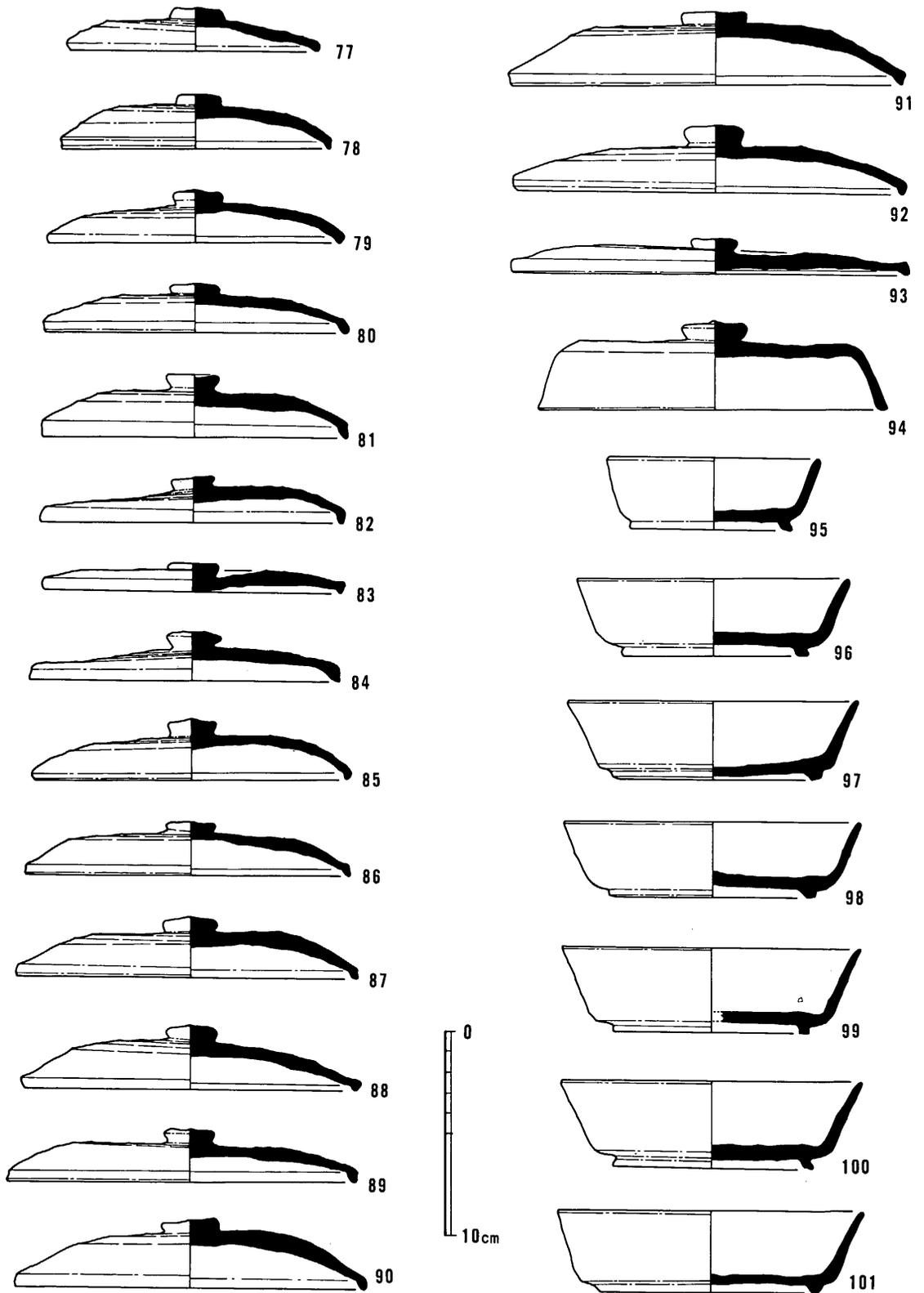
第46图 59—II号寮迹出土物实测图(1/3)



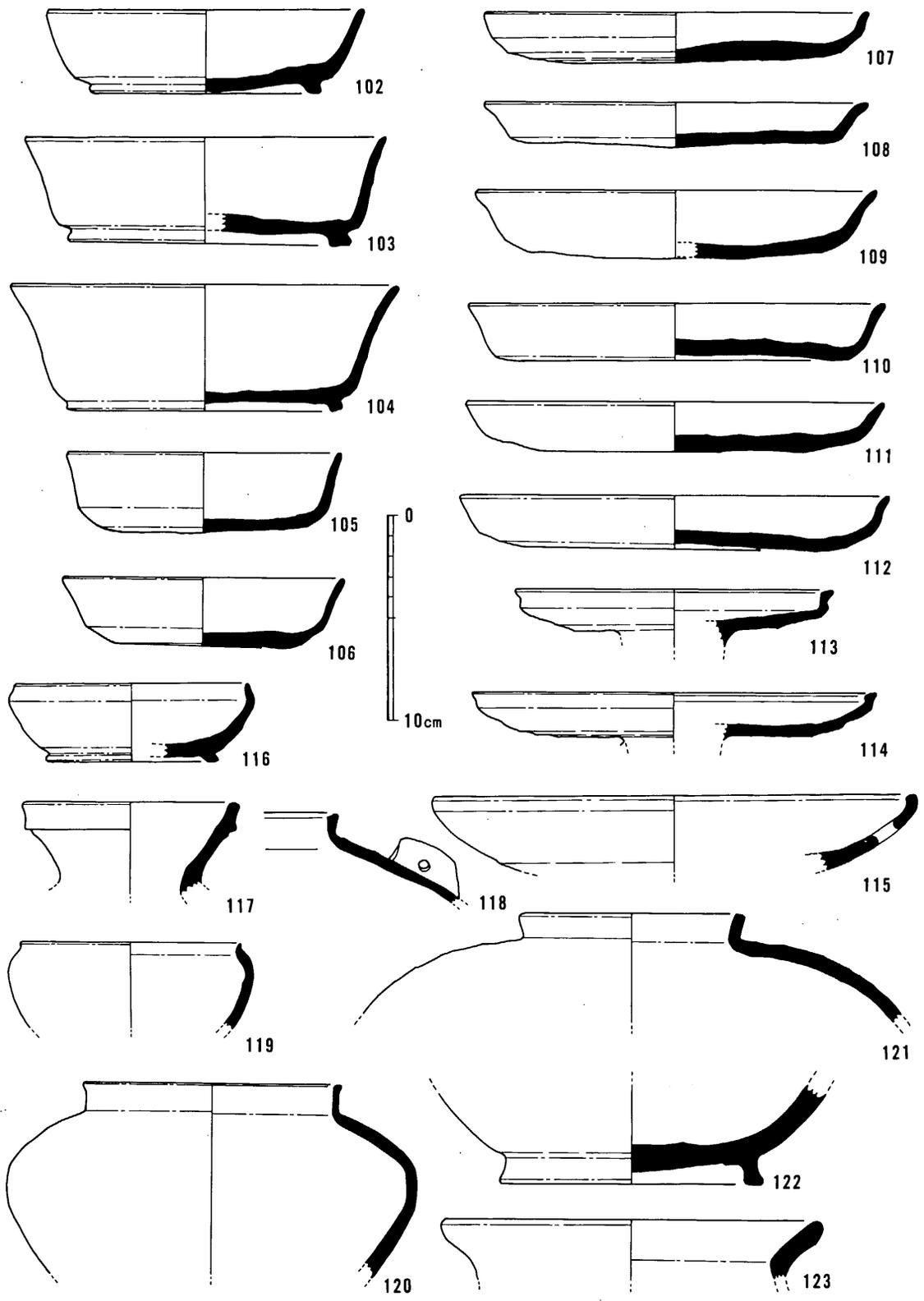
第47图 59-II号窟跡灰原出土遺物実測図(1/3)



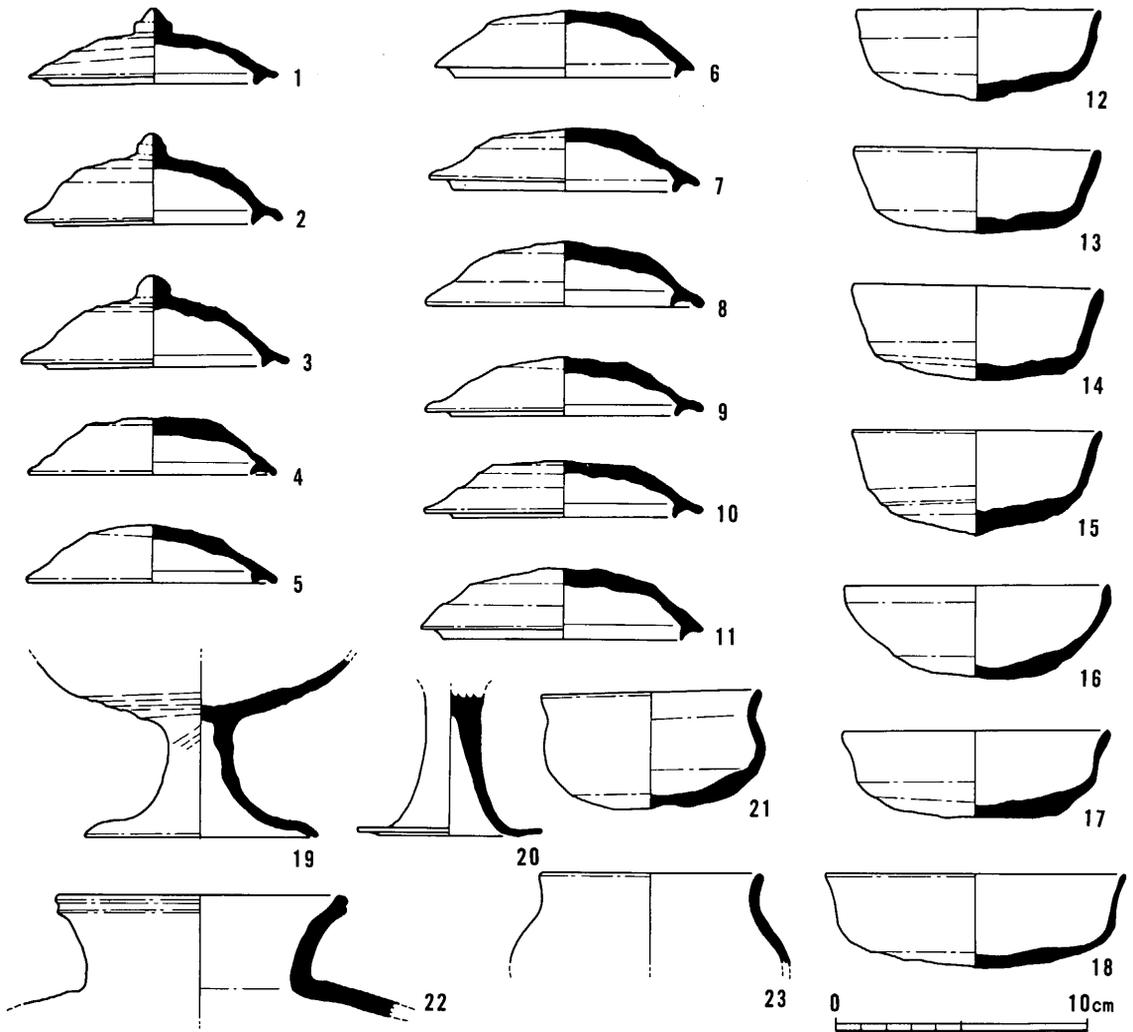
第48图 59—III号窑迹出土遗物实测图(1/3)



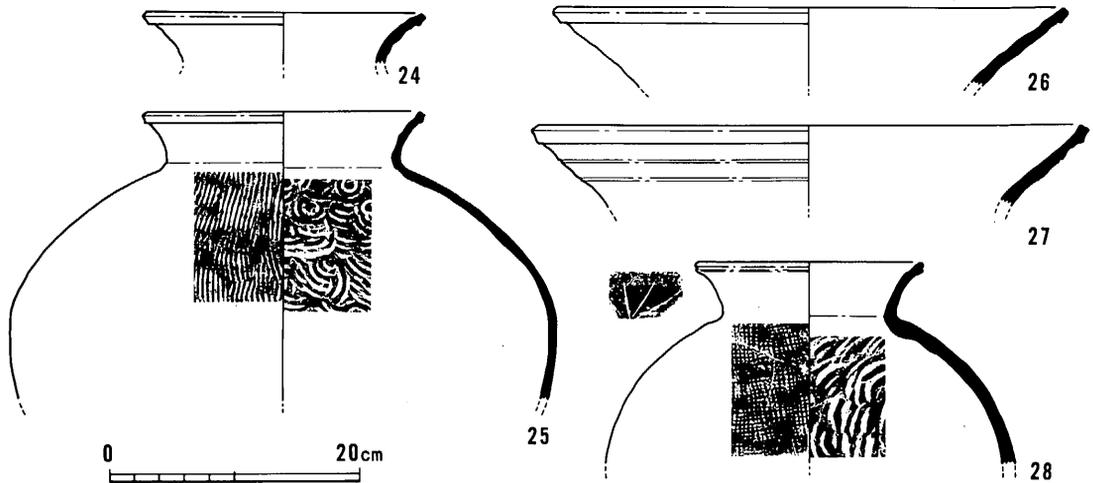
第49图 59地点灰原出土遺物実測図①(1/3)



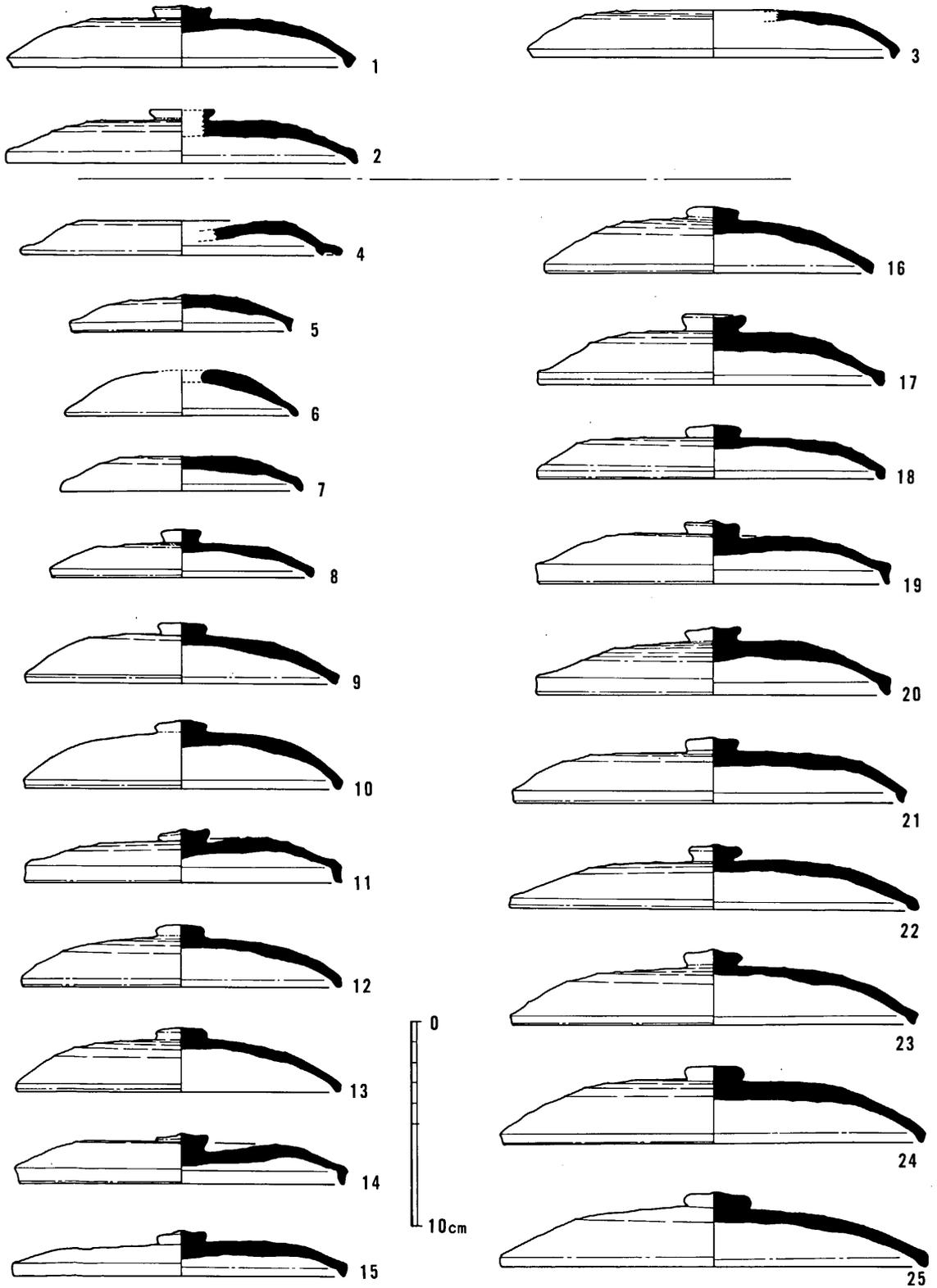
第50图 59地点灰原出土遗物实测图②(1/3)



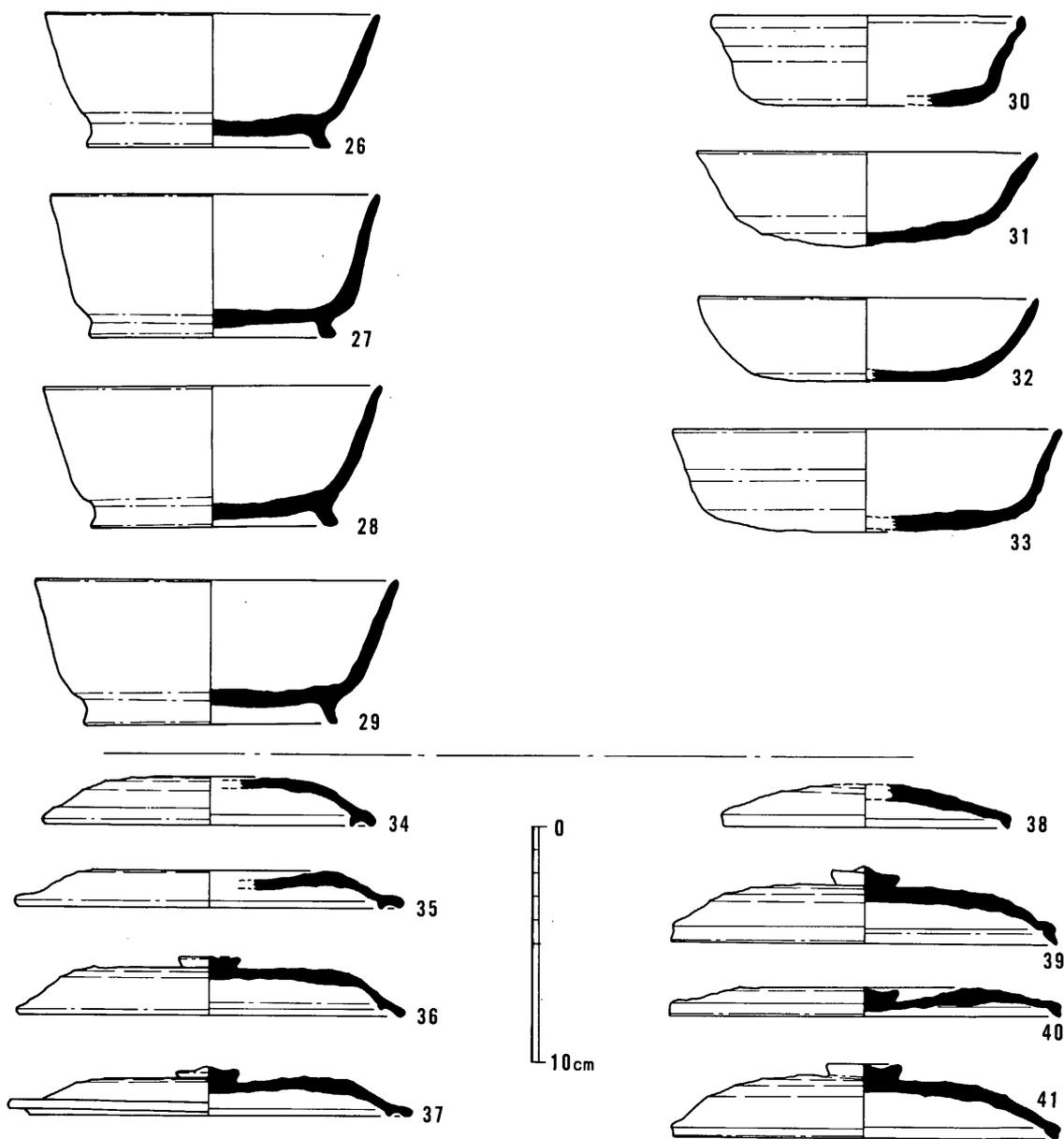
第51图 60—I号窟迹出土遗物实测图①(1/3)



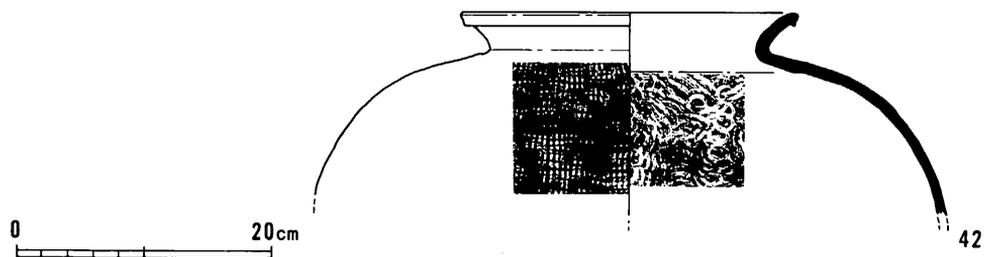
第52图 60—I号窟迹出土遗物实测图②(1/6)



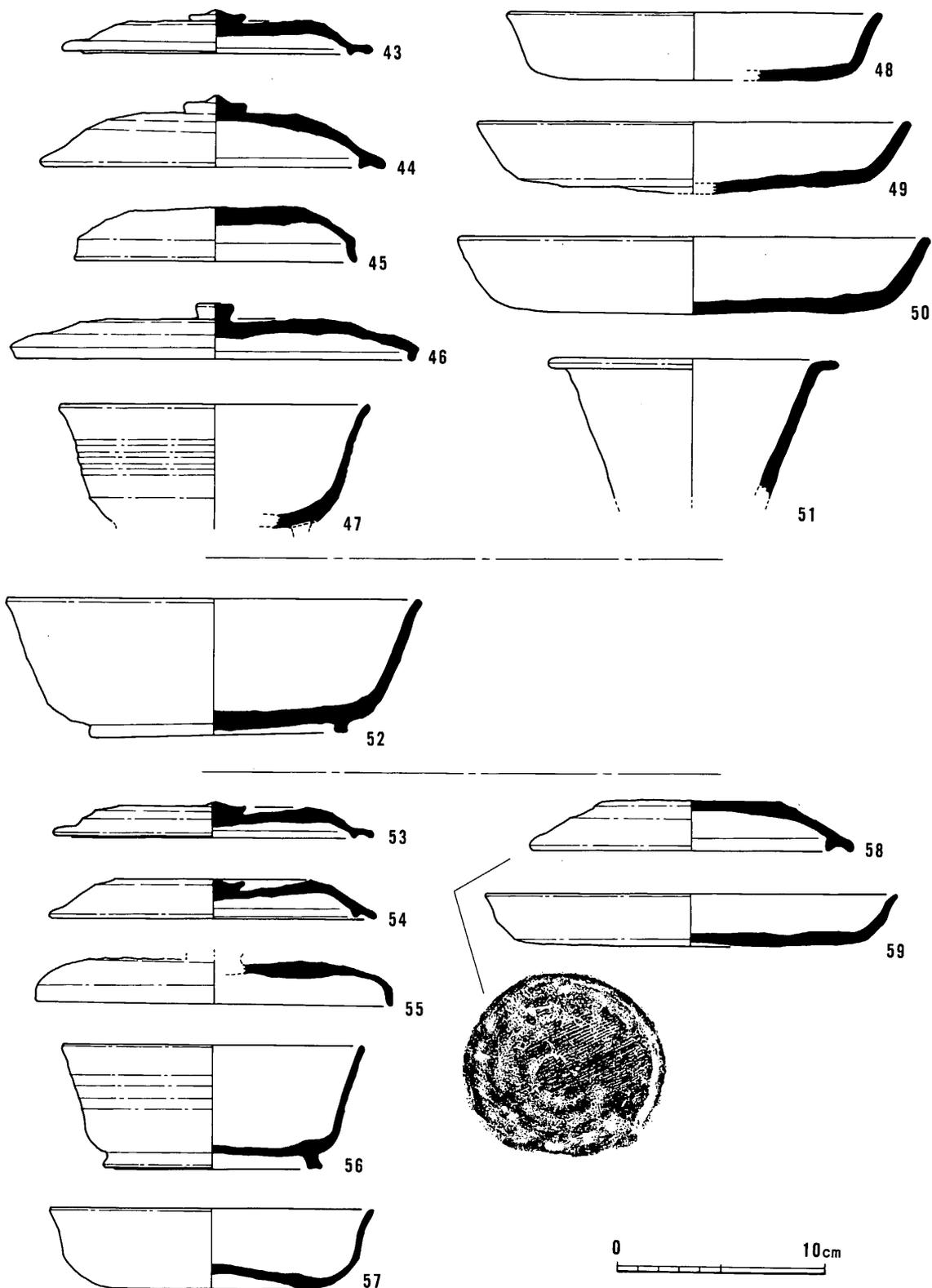
第53图 61-I·II号案迹出土遗物实测图(1/3)



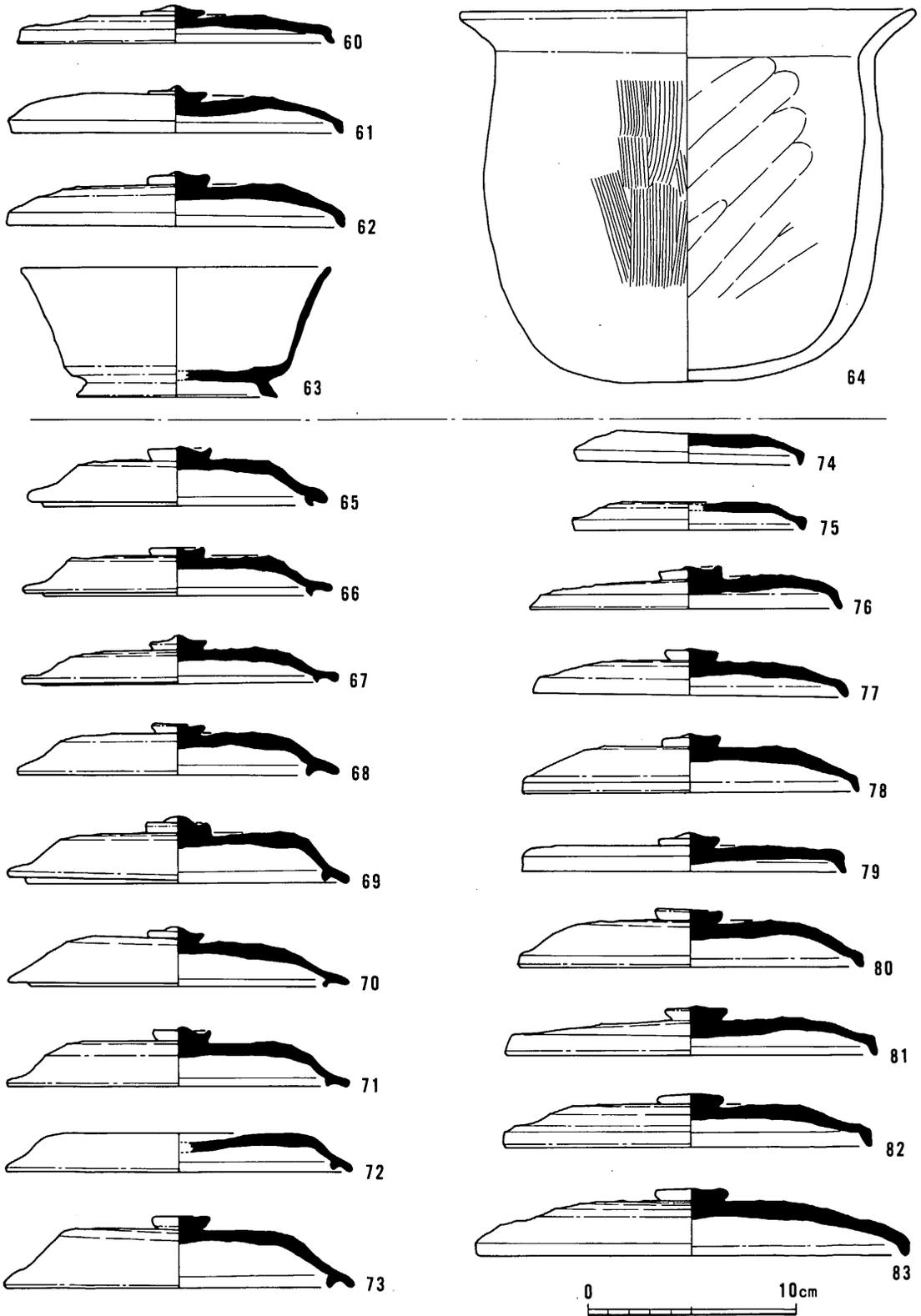
第54图 61—II·III号窑迹出土遗物实测图(1/3)



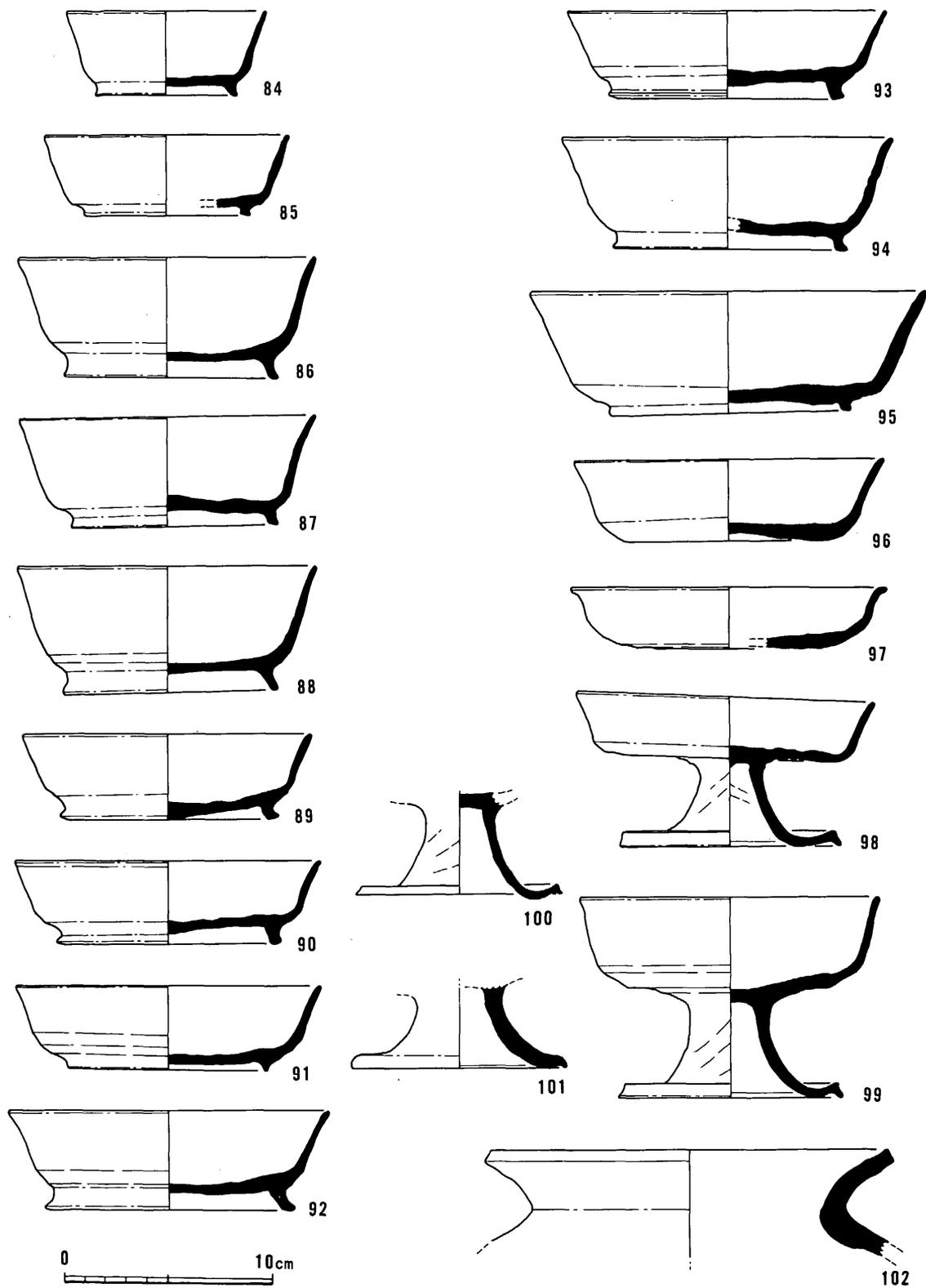
第55图 61—III号窑迹出土遗物实测图(1/6)



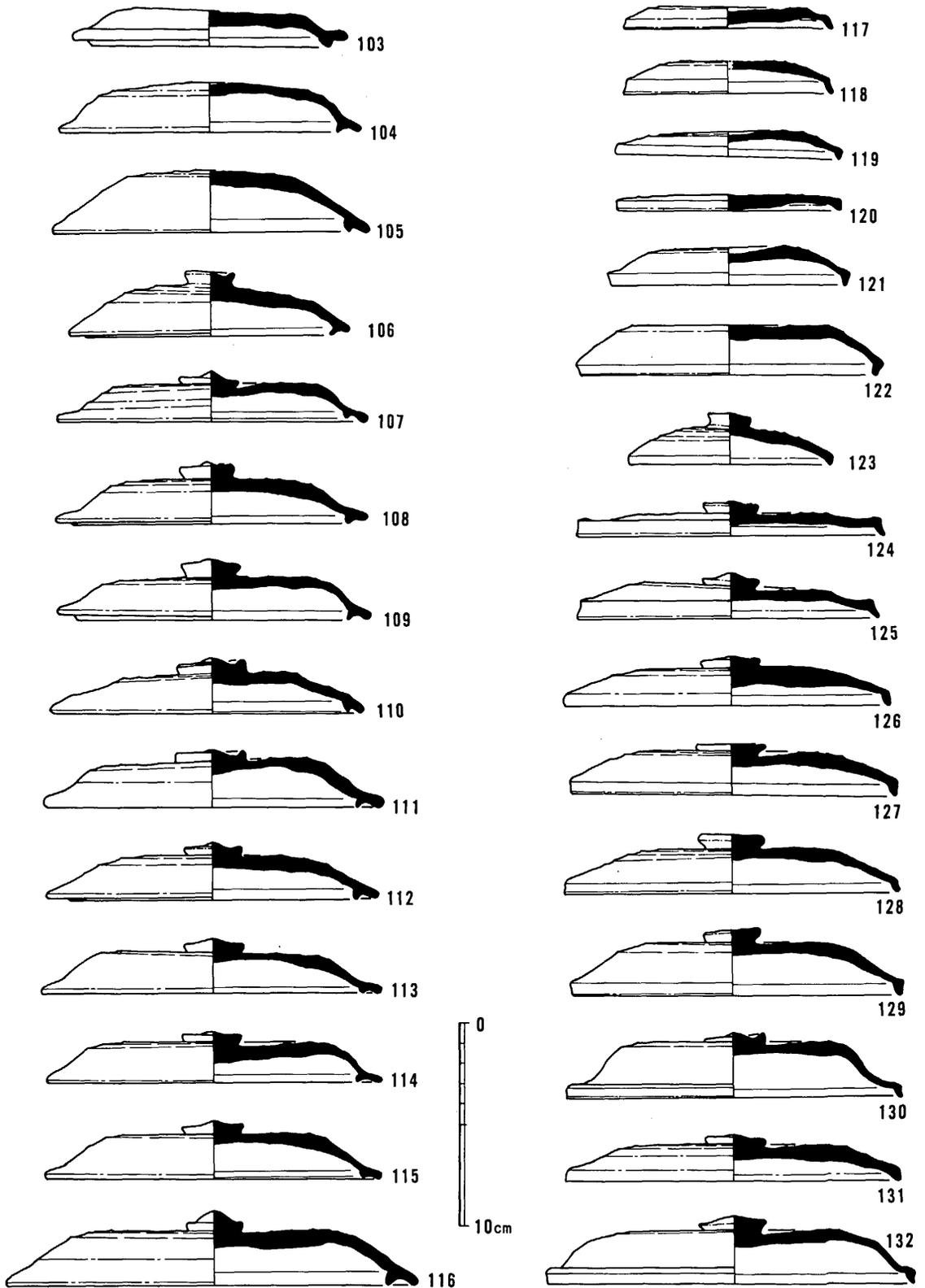
第56图 61—IV·V号窟迹、土坑出土物实测图(1/3)



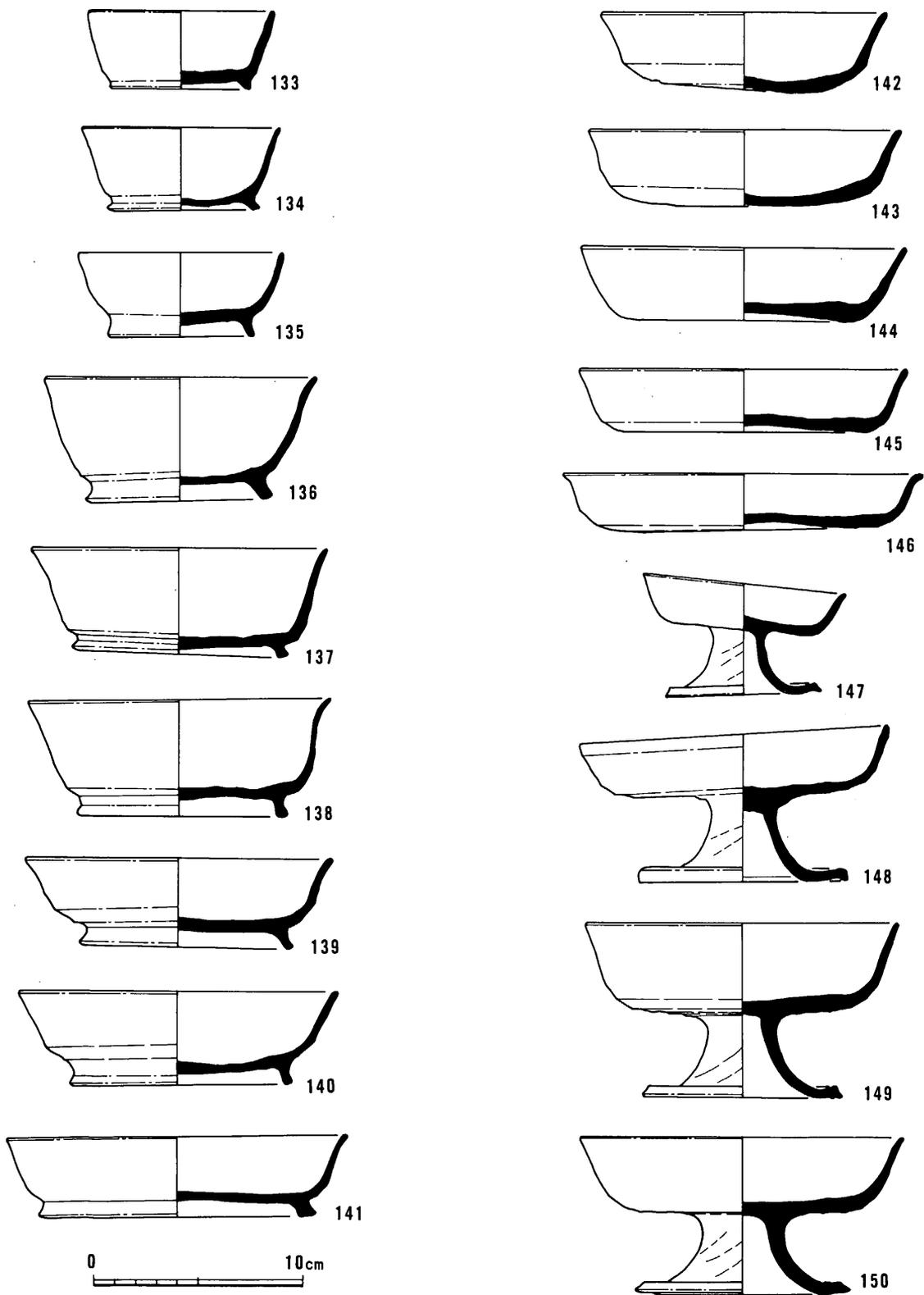
第57图 61地点土坑、灰原出土遗物实测图①(1/3)



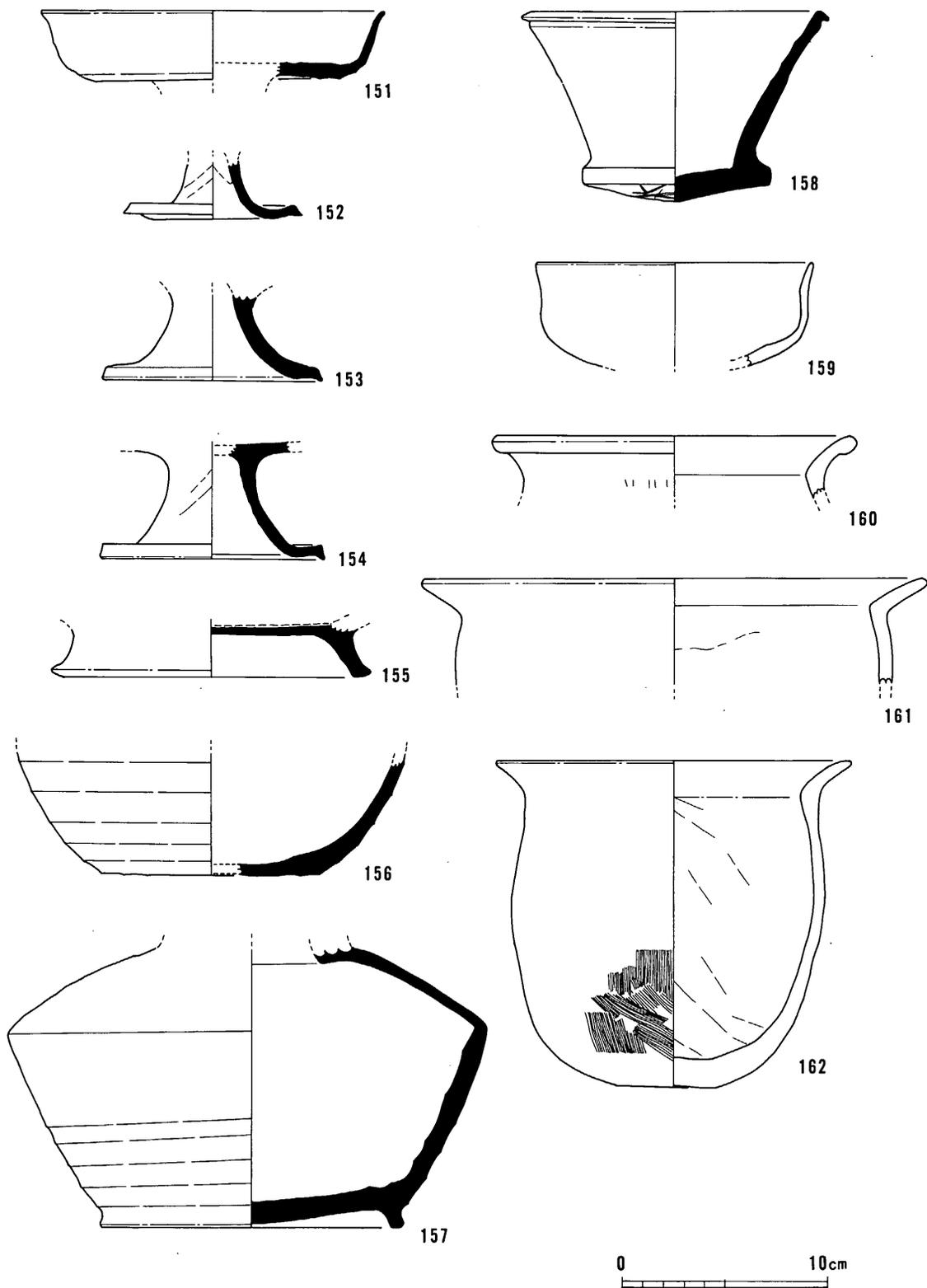
第58图 61地点灰原出土遗物实测图②(1/3) (II号窯跡下方灰原)



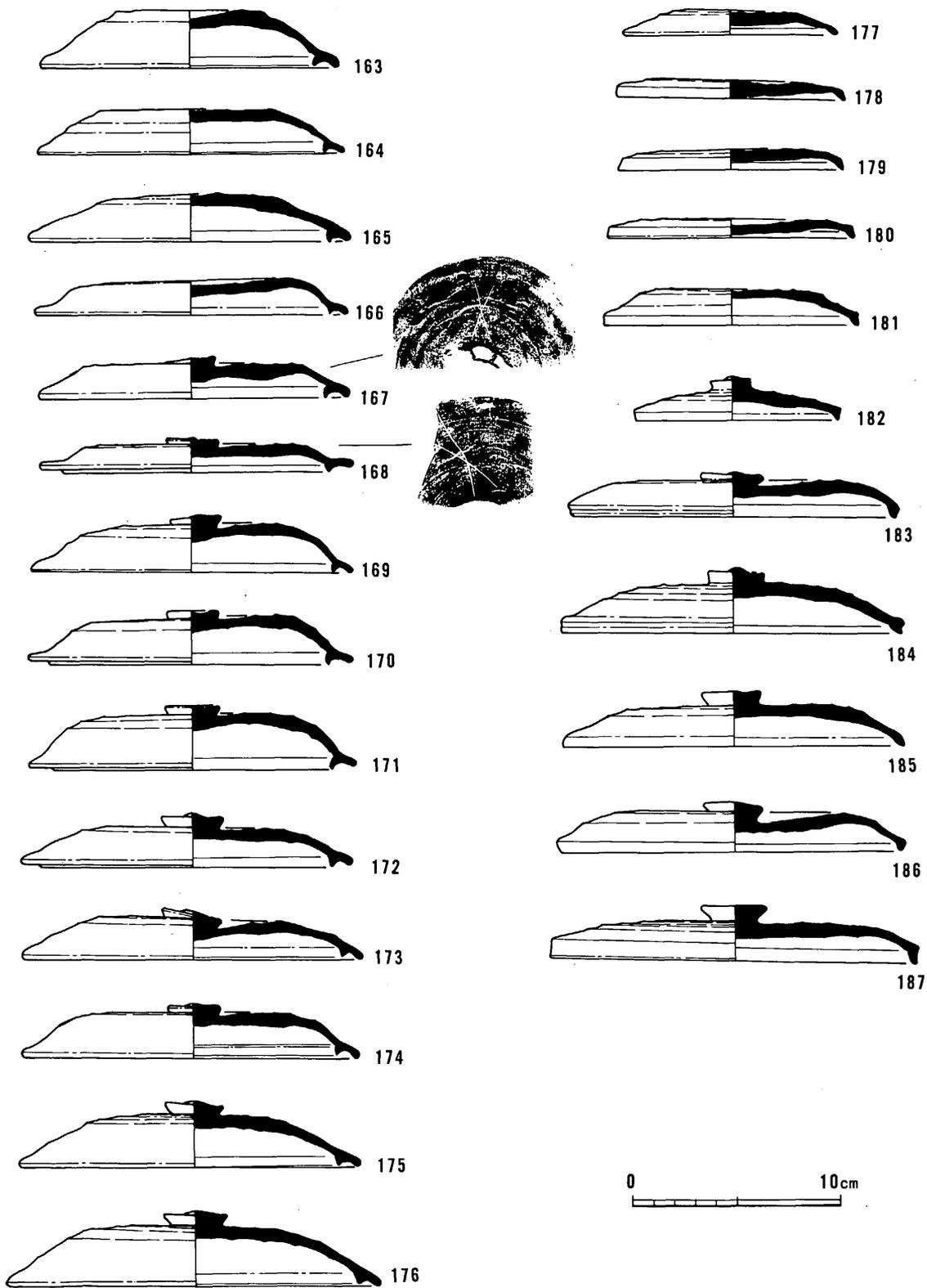
第59图 61地点灰原出土遗物实测图③(1/3) (III号窠迹下方灰原)



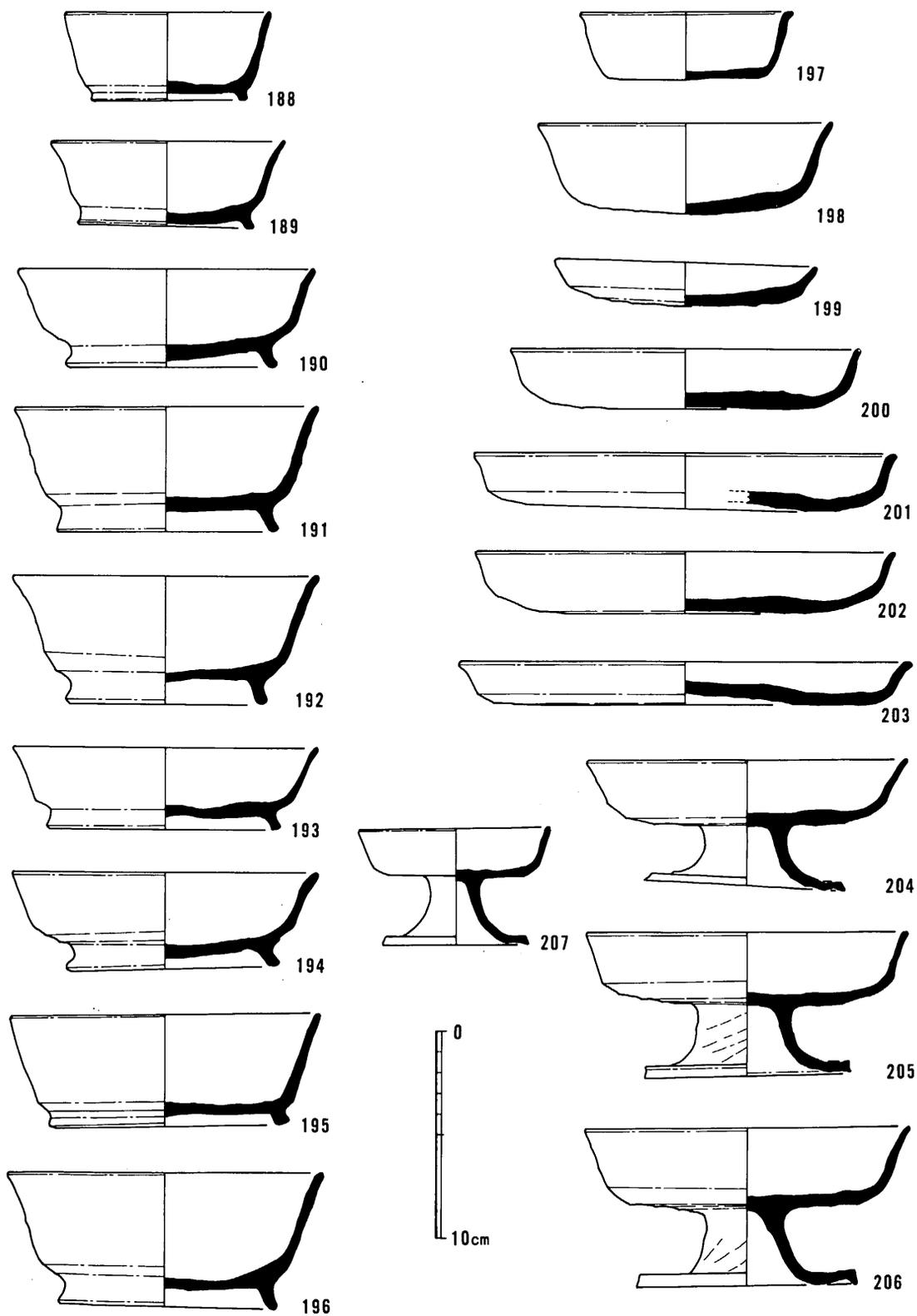
第60图 61地点灰原出土遗物实测图④(1/3) (III号窠迹下方灰原)



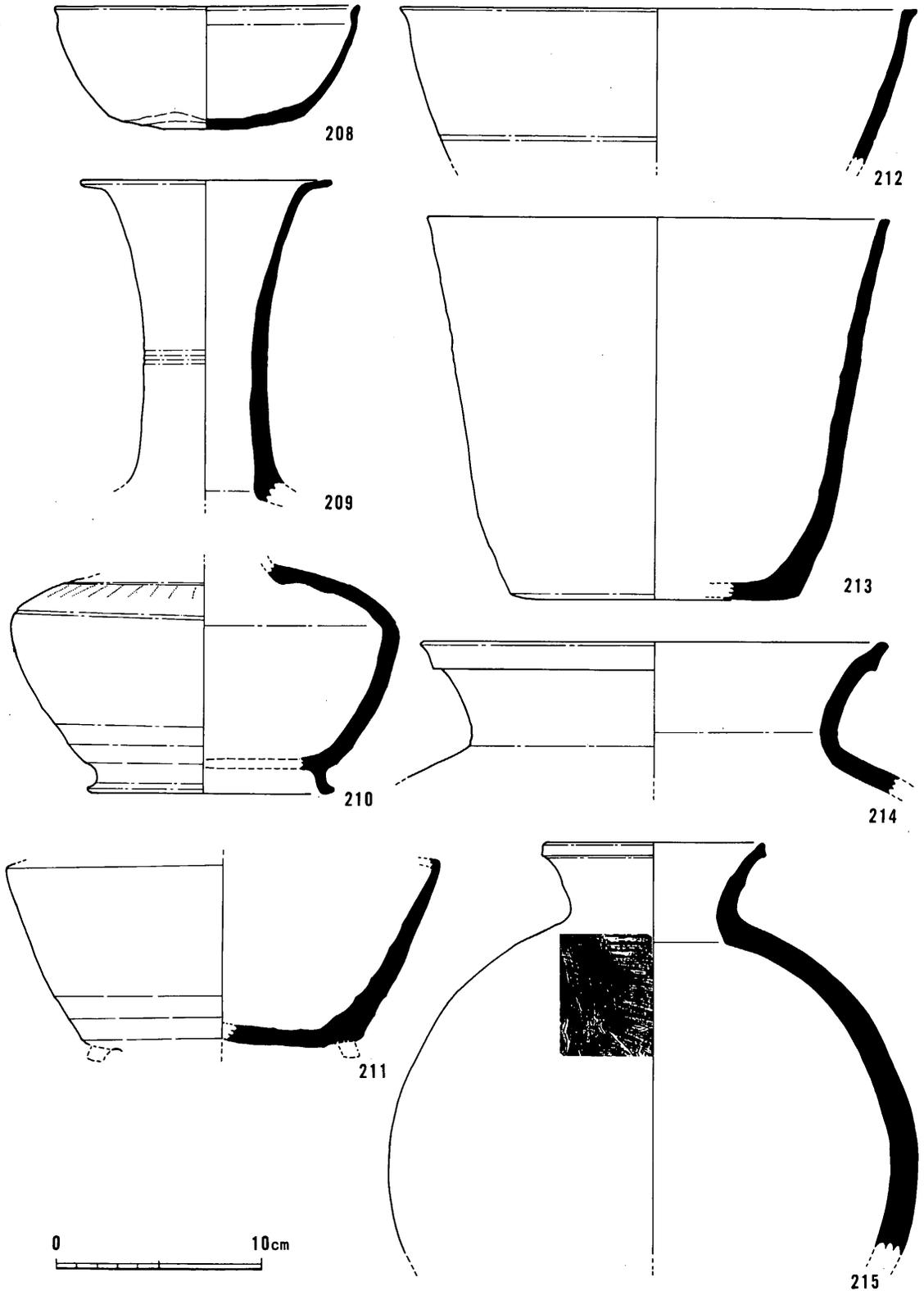
第61图 61地点灰原出土遗物实测图⑤(1/3)(III号窠迹下方灰原)



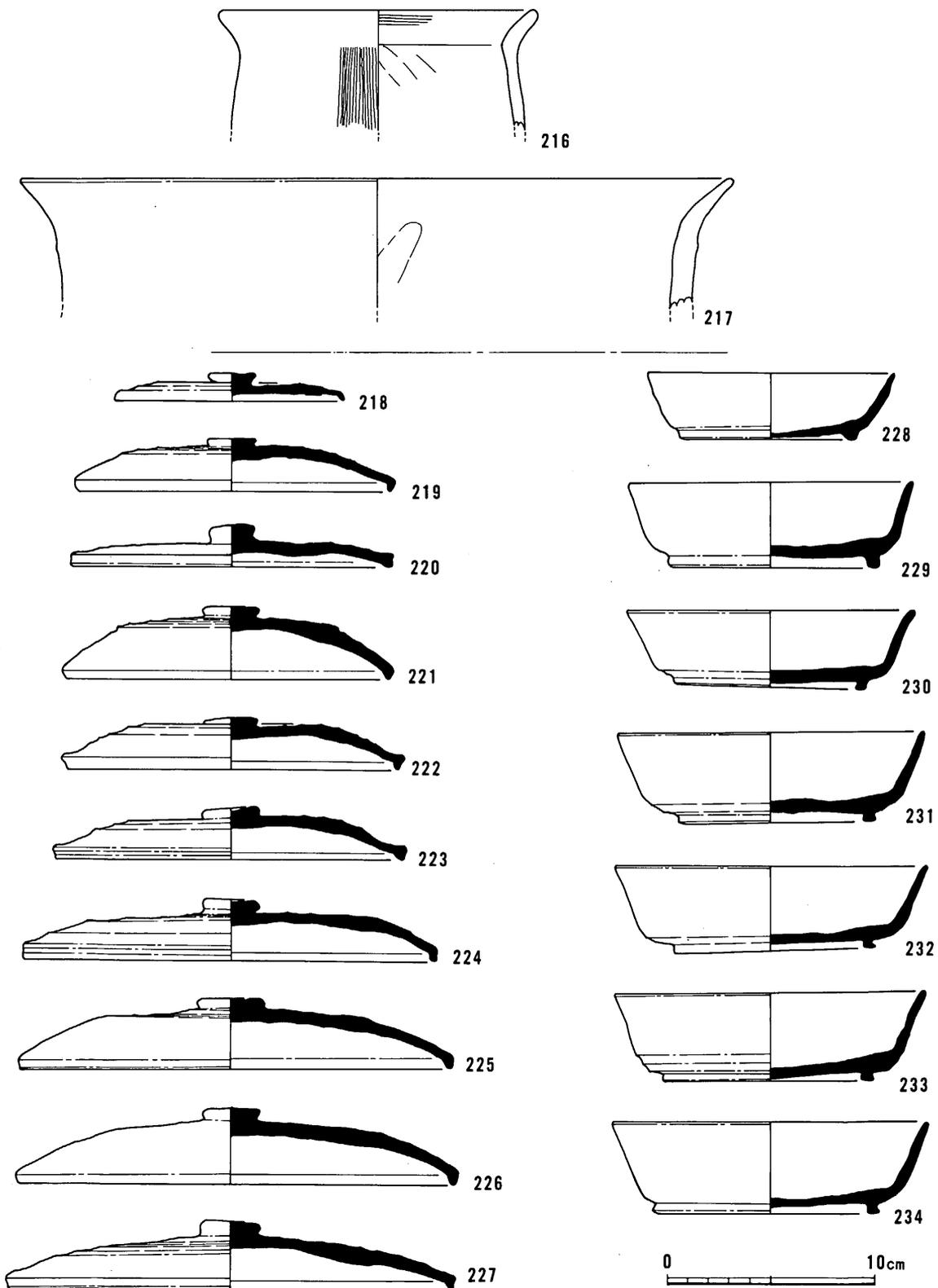
第62图 61地点灰原出土遗物实测图⑥(1/3)「IV号窠迹下方灰原」



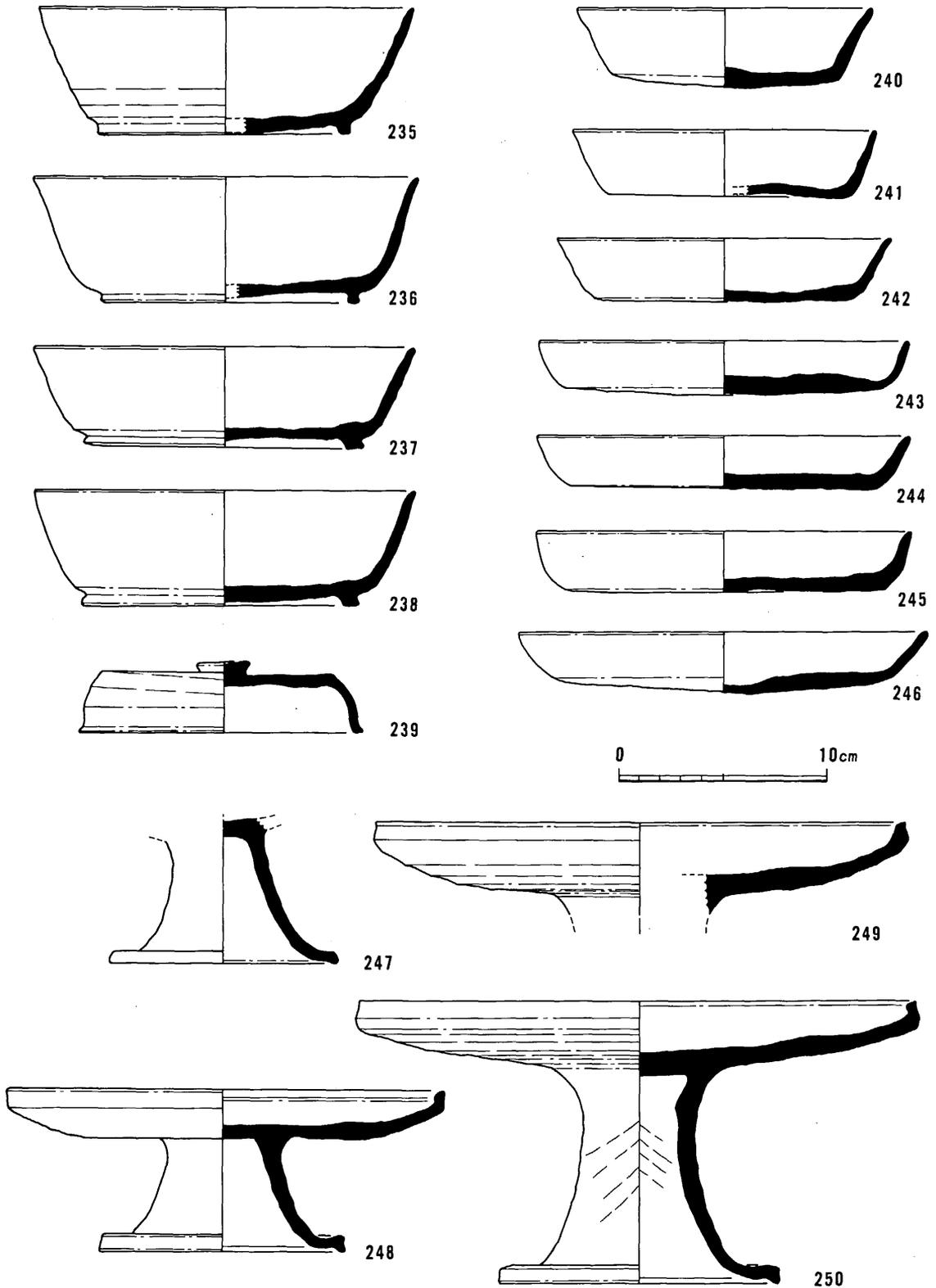
第63图 61地点灰原出土遺物実測図①(1/3) (IV号窯跡下方灰原)



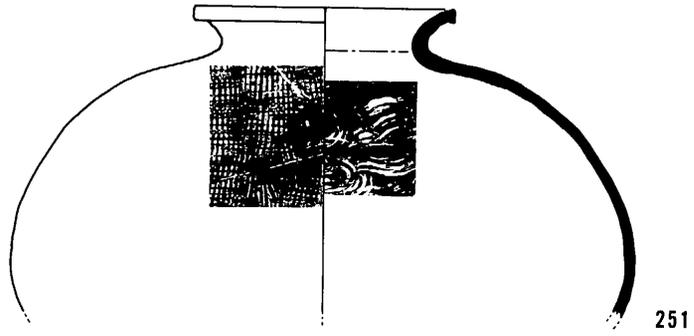
第64图 61地点灰原出土遗物实测图⑧(1/3)(IV号窯跡下方灰原)



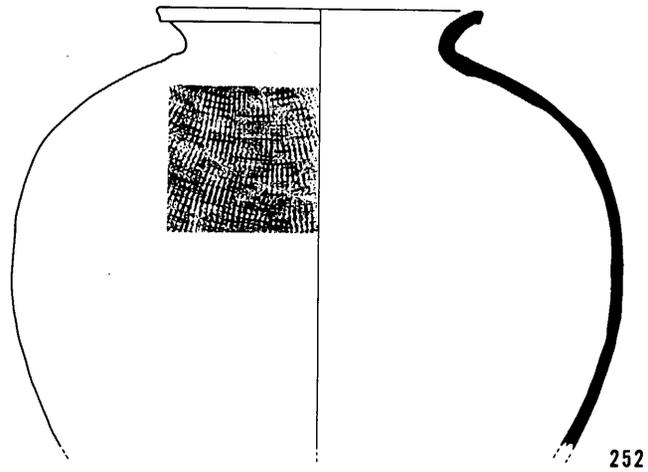
第65图 61地点灰原出土遗物实测图⑨(1/3) (IV号窠迹下方灰原·V号窠迹下方灰原)



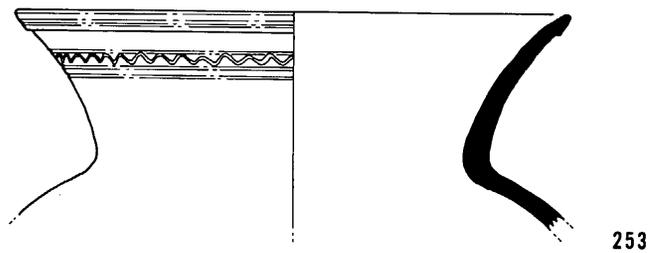
第66图 61地点灰原出土遗物实测图⑩(1/3) (V号窠迹下方灰原)



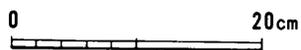
251



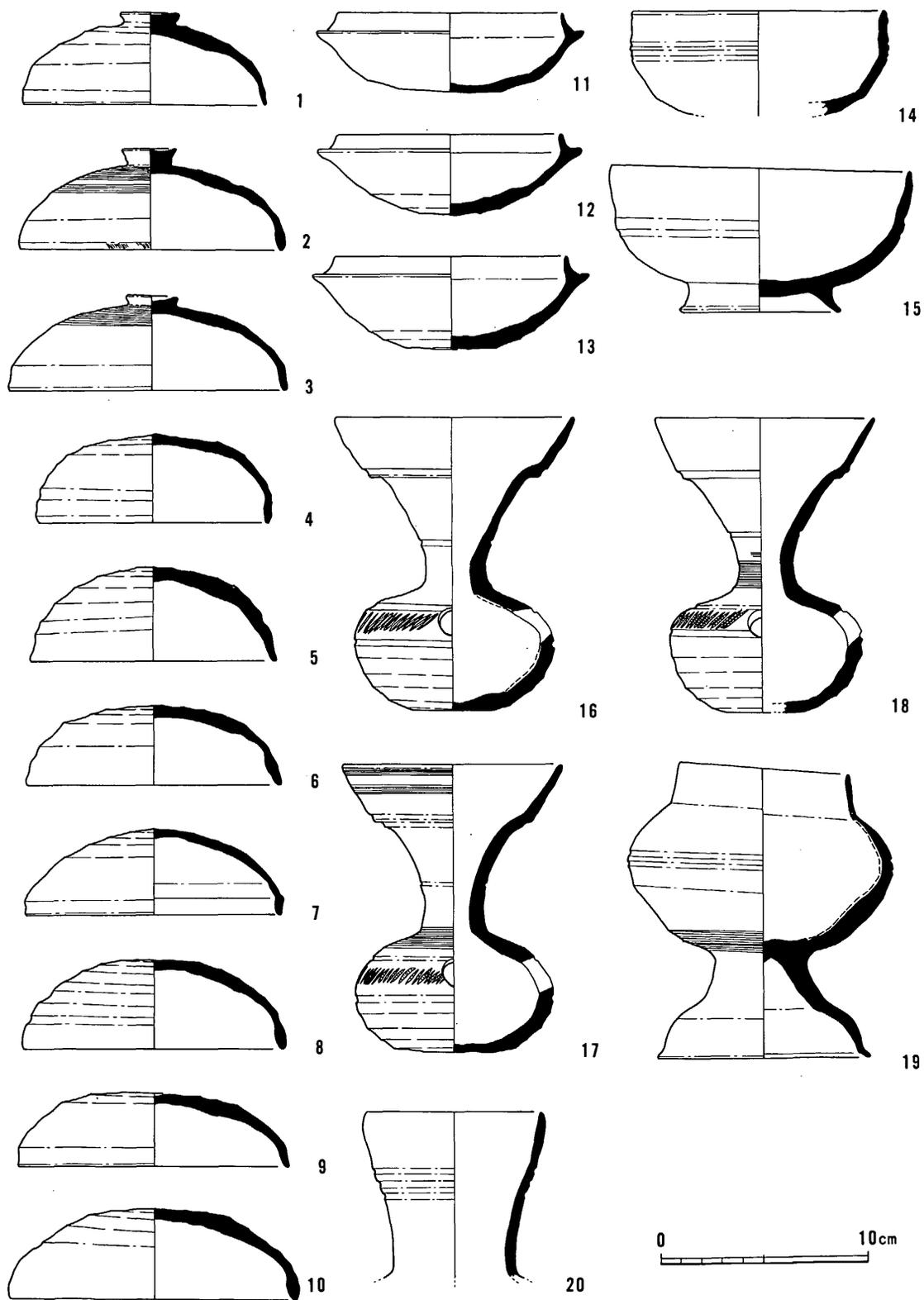
252



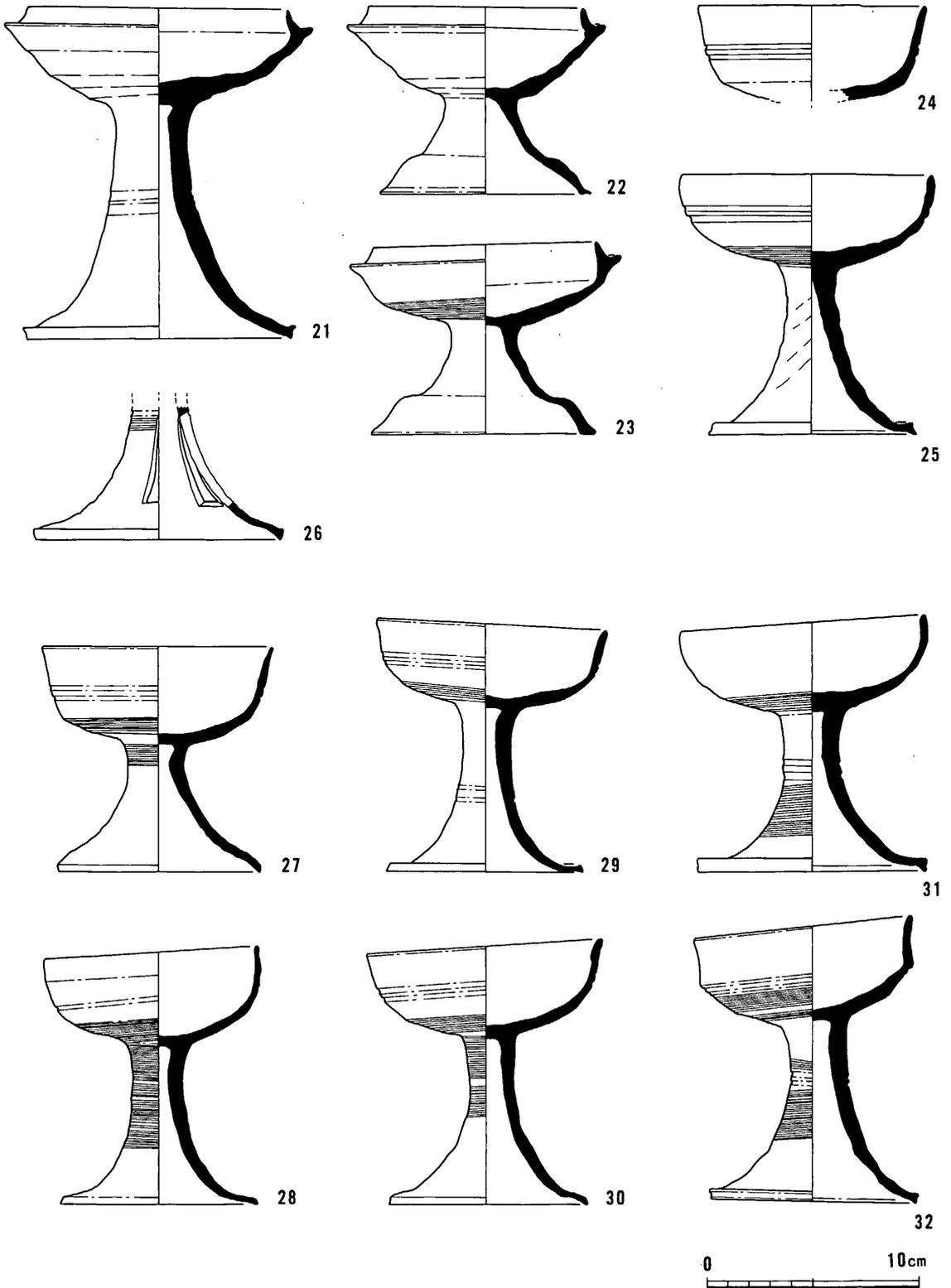
253



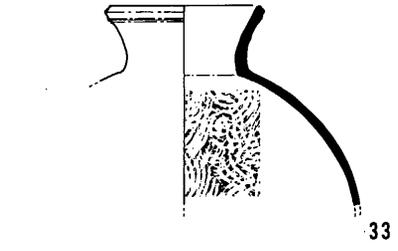
第67图 61地点灰原出土遗物实测图①(1/6) (IV号窠迹下方灰原)



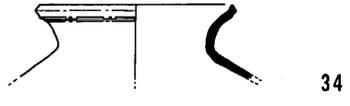
第68图 63—I号窠迹出土物实测图①(1/3)



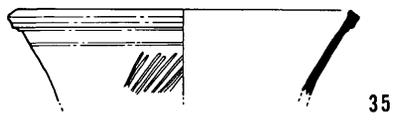
第69图 63— I号窑迹出土遗物实测图②(1/3)



33



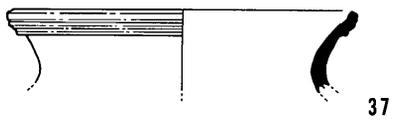
34



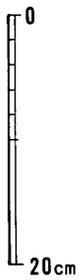
35



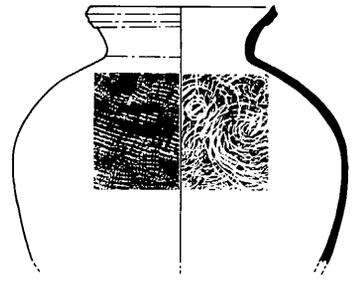
36



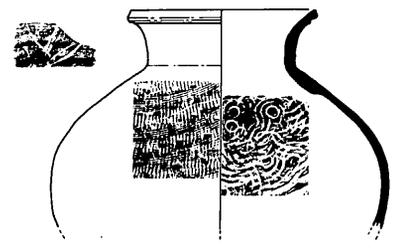
37



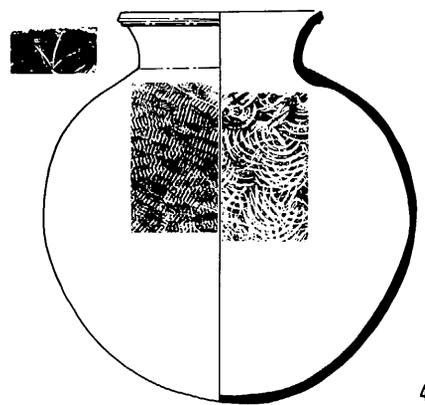
20cm



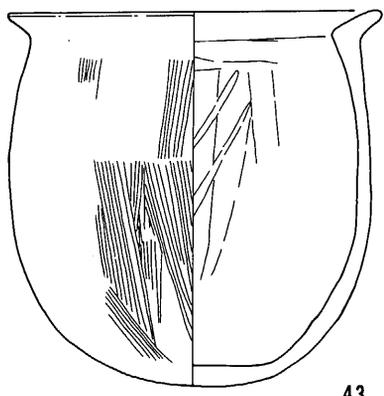
38



39



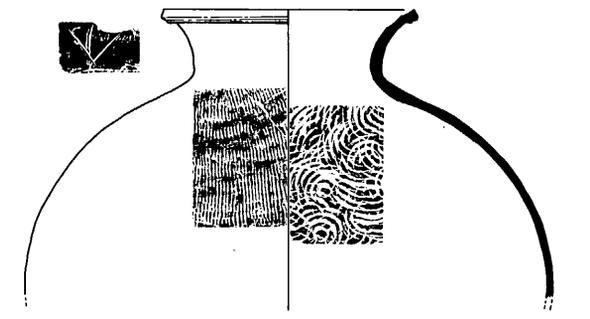
40



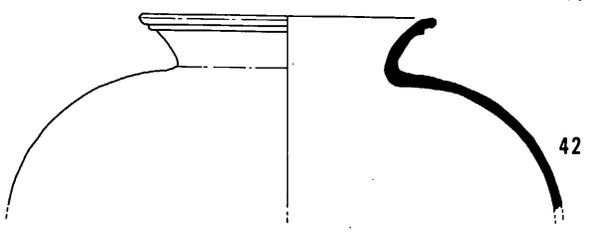
43



10cm

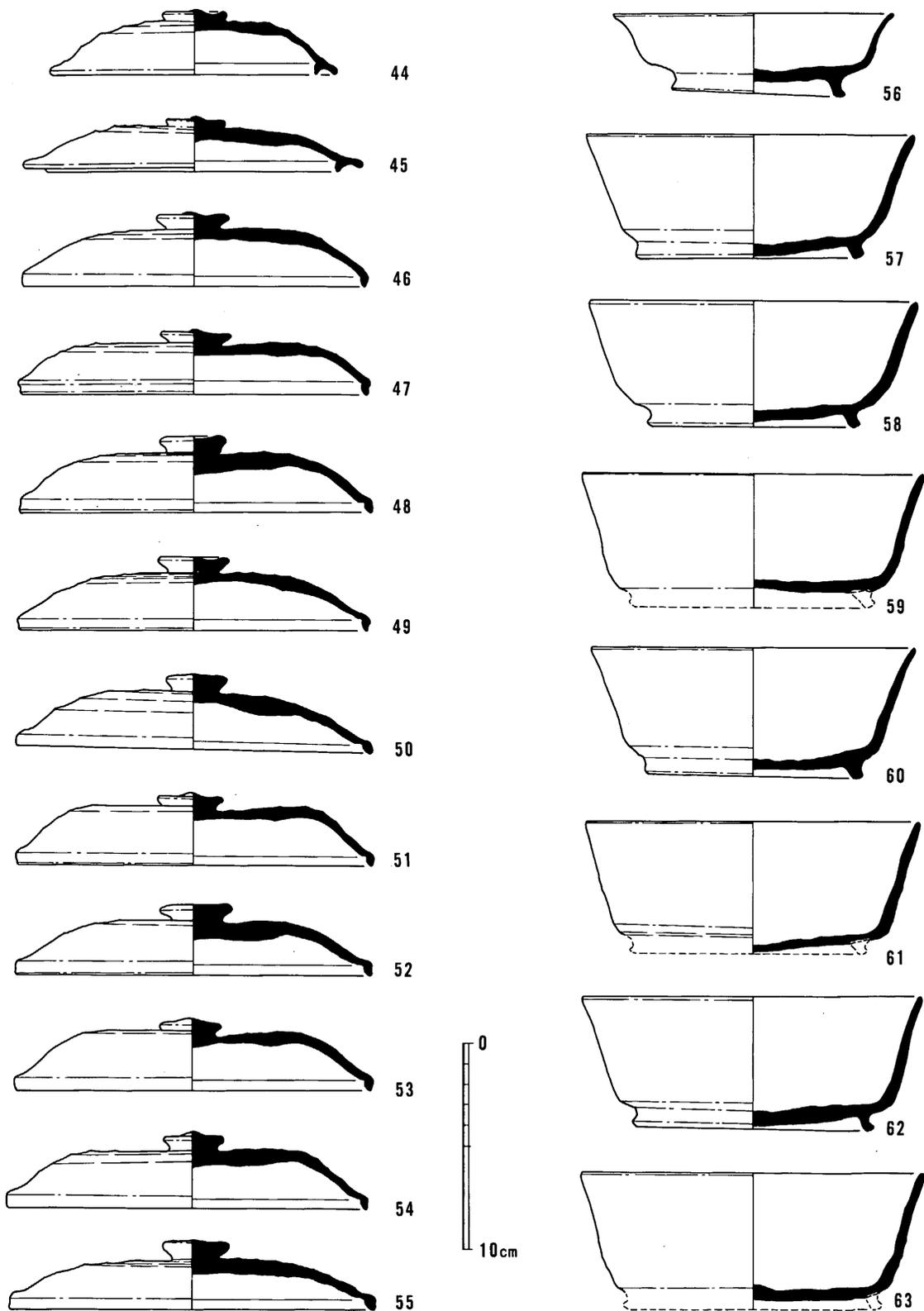


41

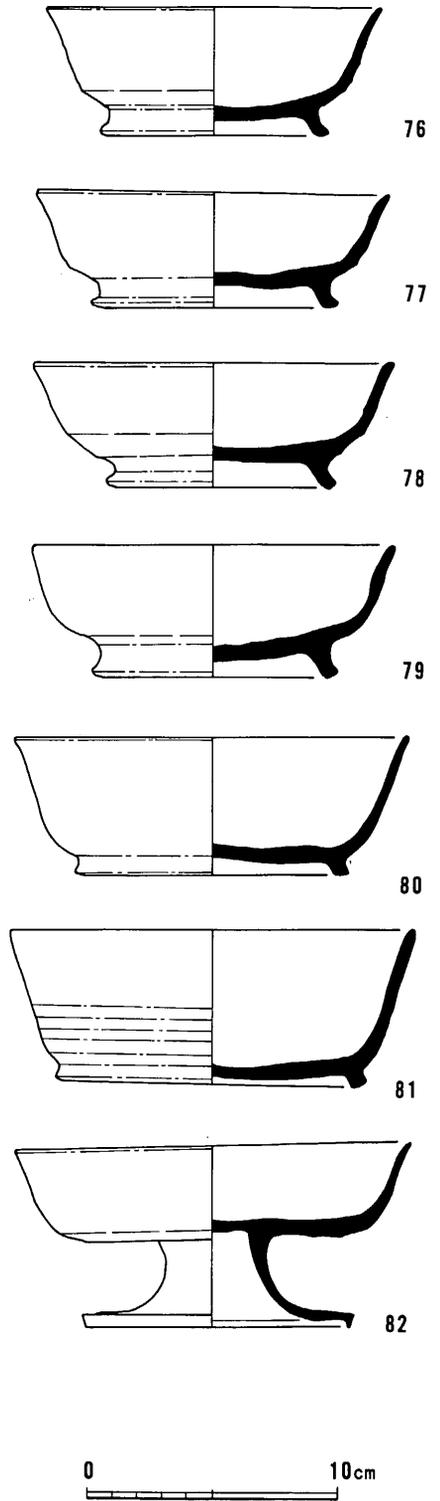
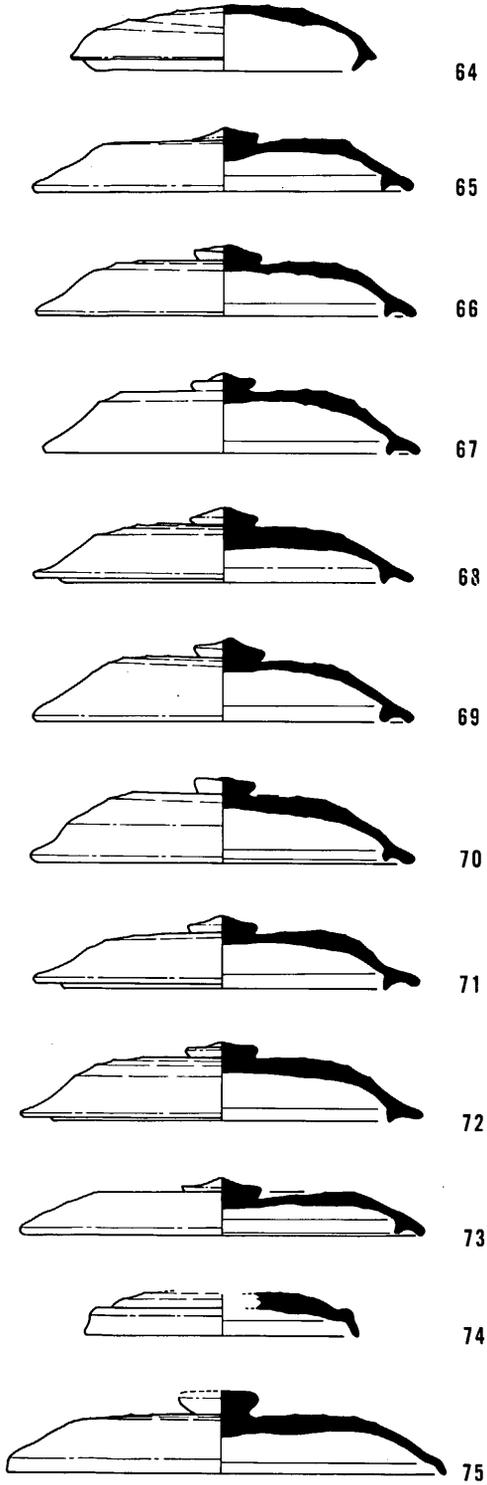


42

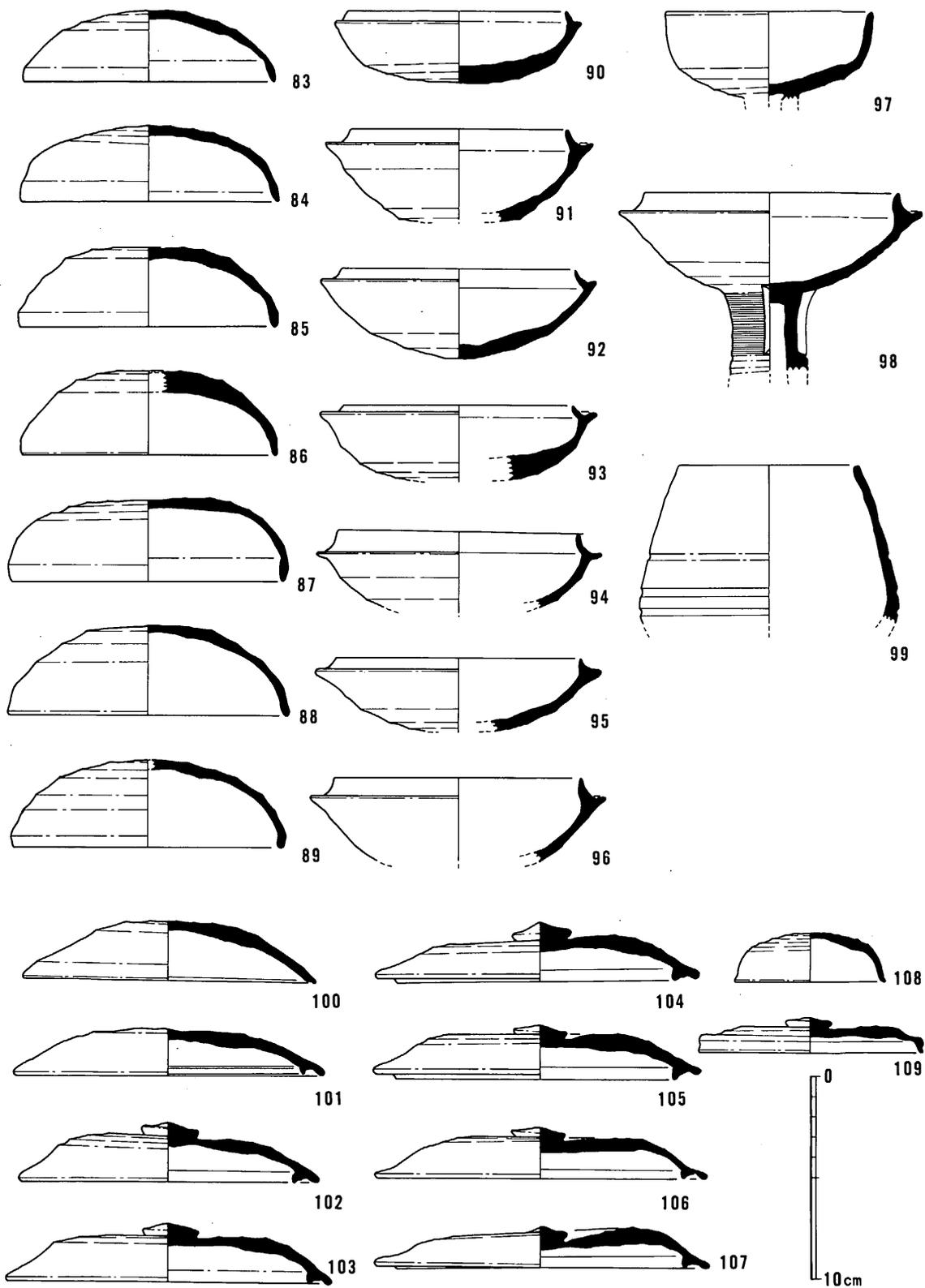
第70图 63— I号窠迹出土遗物实测图③(1/3、1/6)



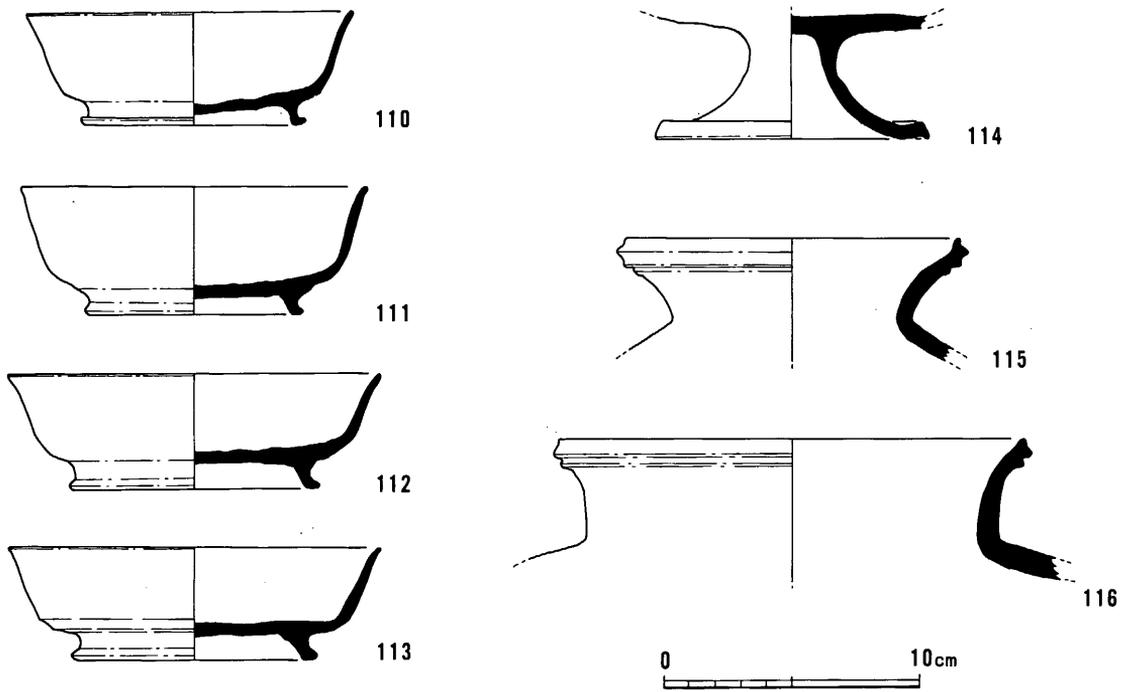
第71图 63—II号窟出土遗物实测图(1/3)



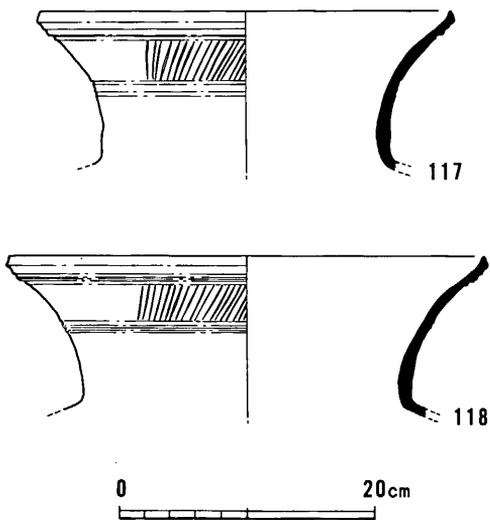
第72图 63—I号窑迹出土遗物实测图(1/3)



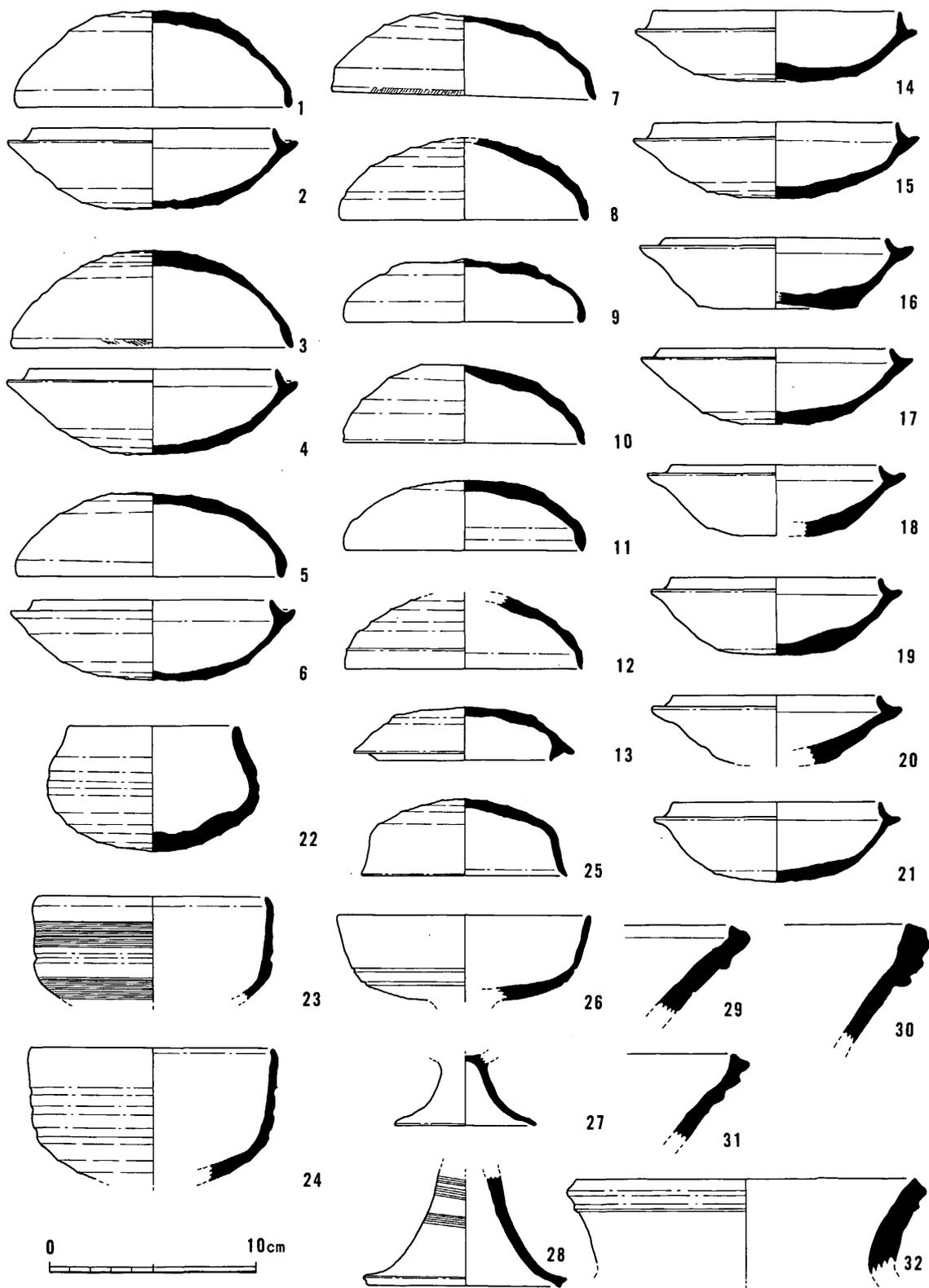
第73图 63地点灰原出土遗物实测图①(1/3)



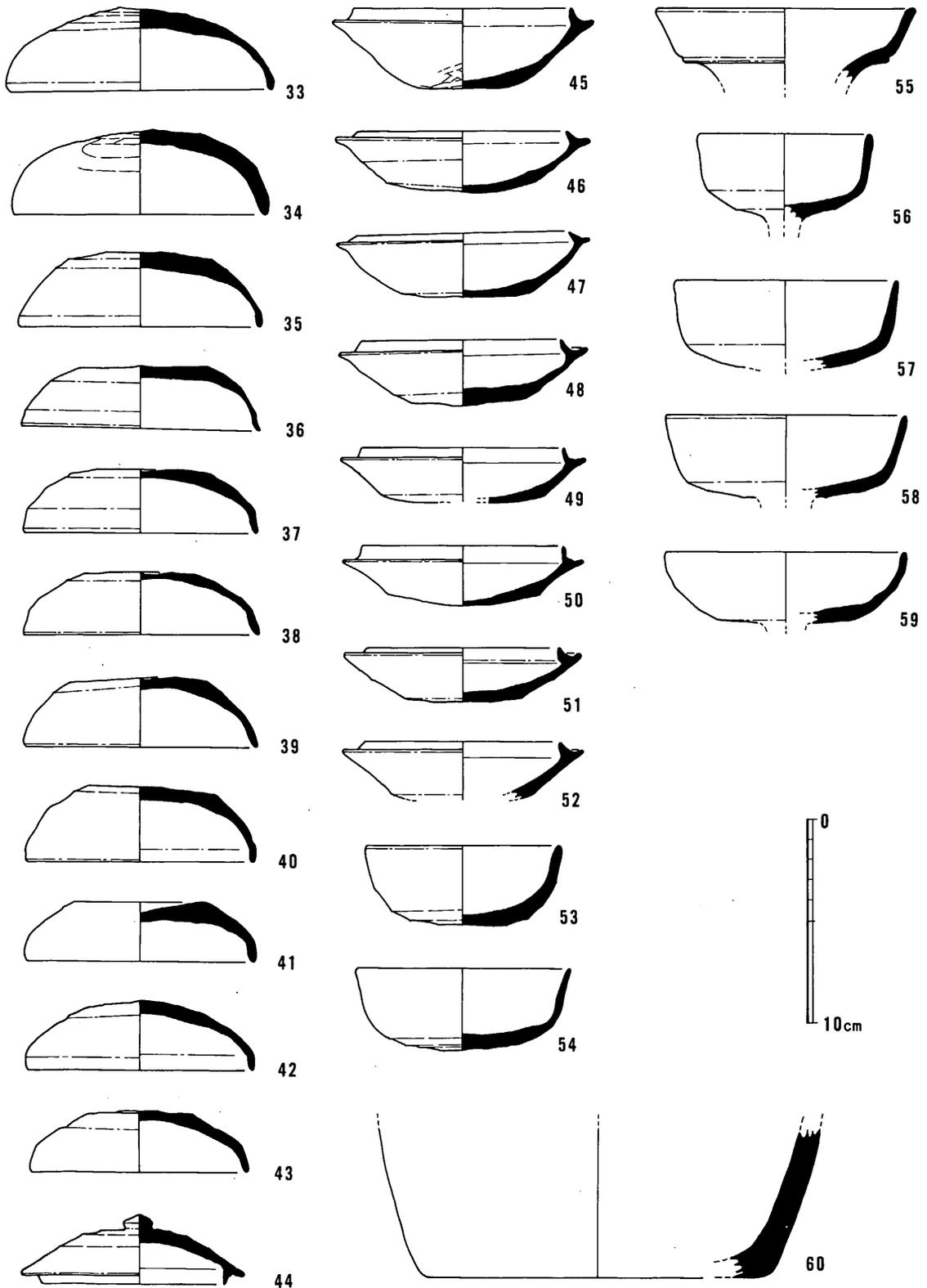
第74图 63地点灰原出土遺物実測図②(1/3)



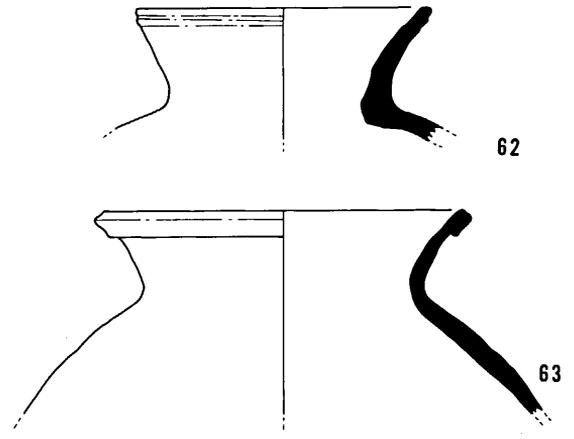
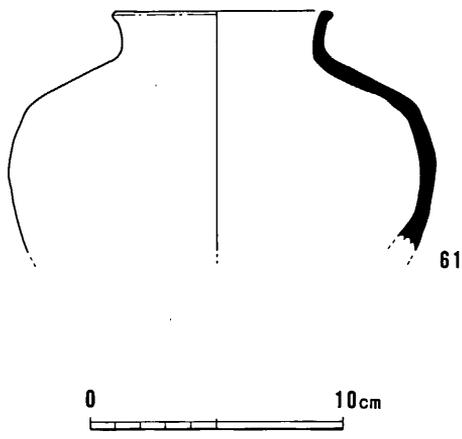
第75图 63地点灰原出土遺物実測図③(1/6)



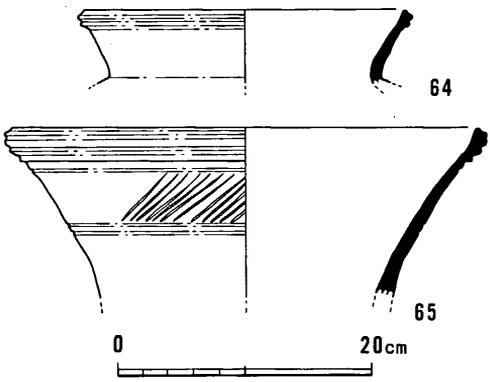
第76图 65-I号窑迹出土遗物实测图(1/3)



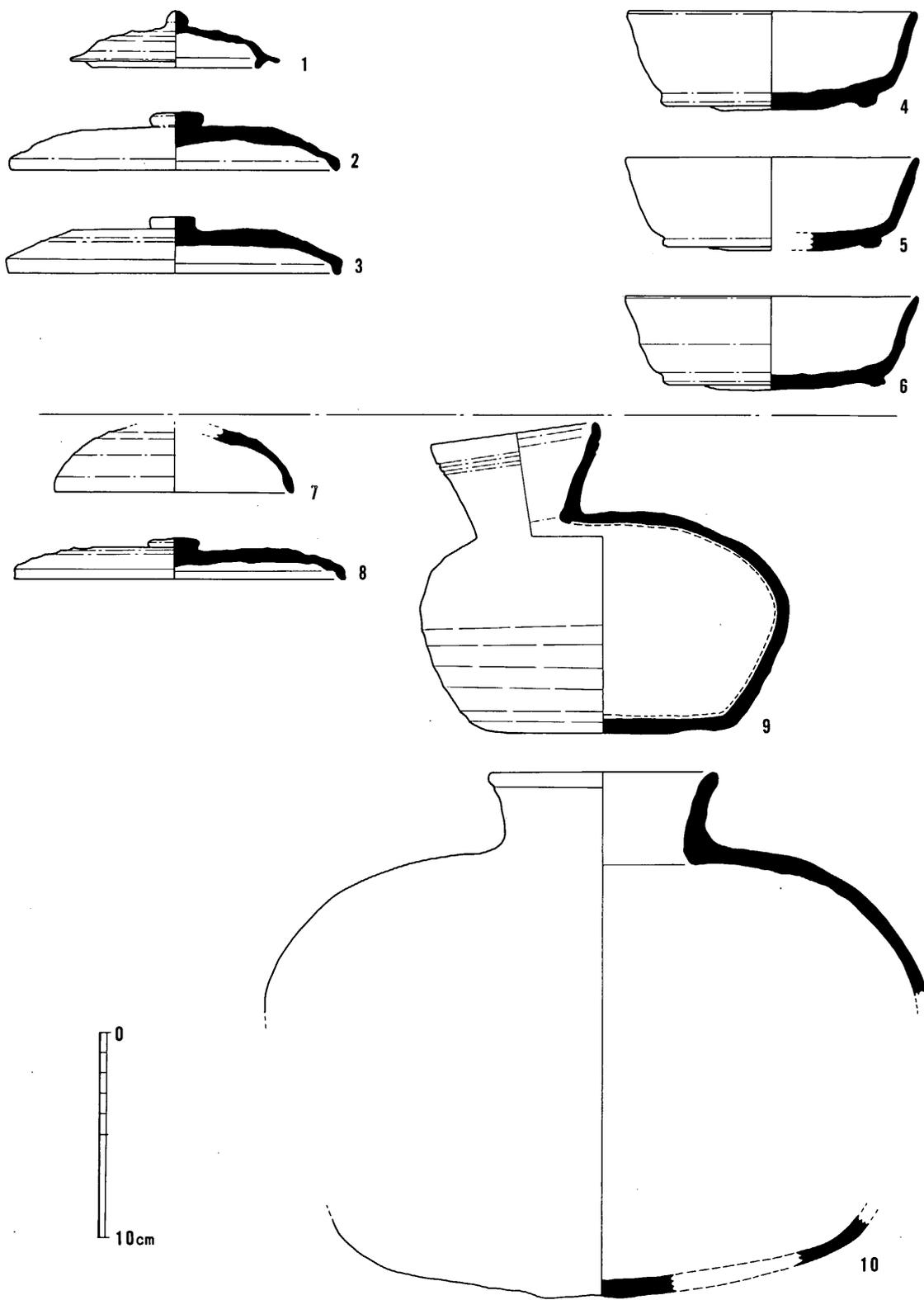
第77图 65— I号窠迹灰原出土遺物実測图①(1/3)



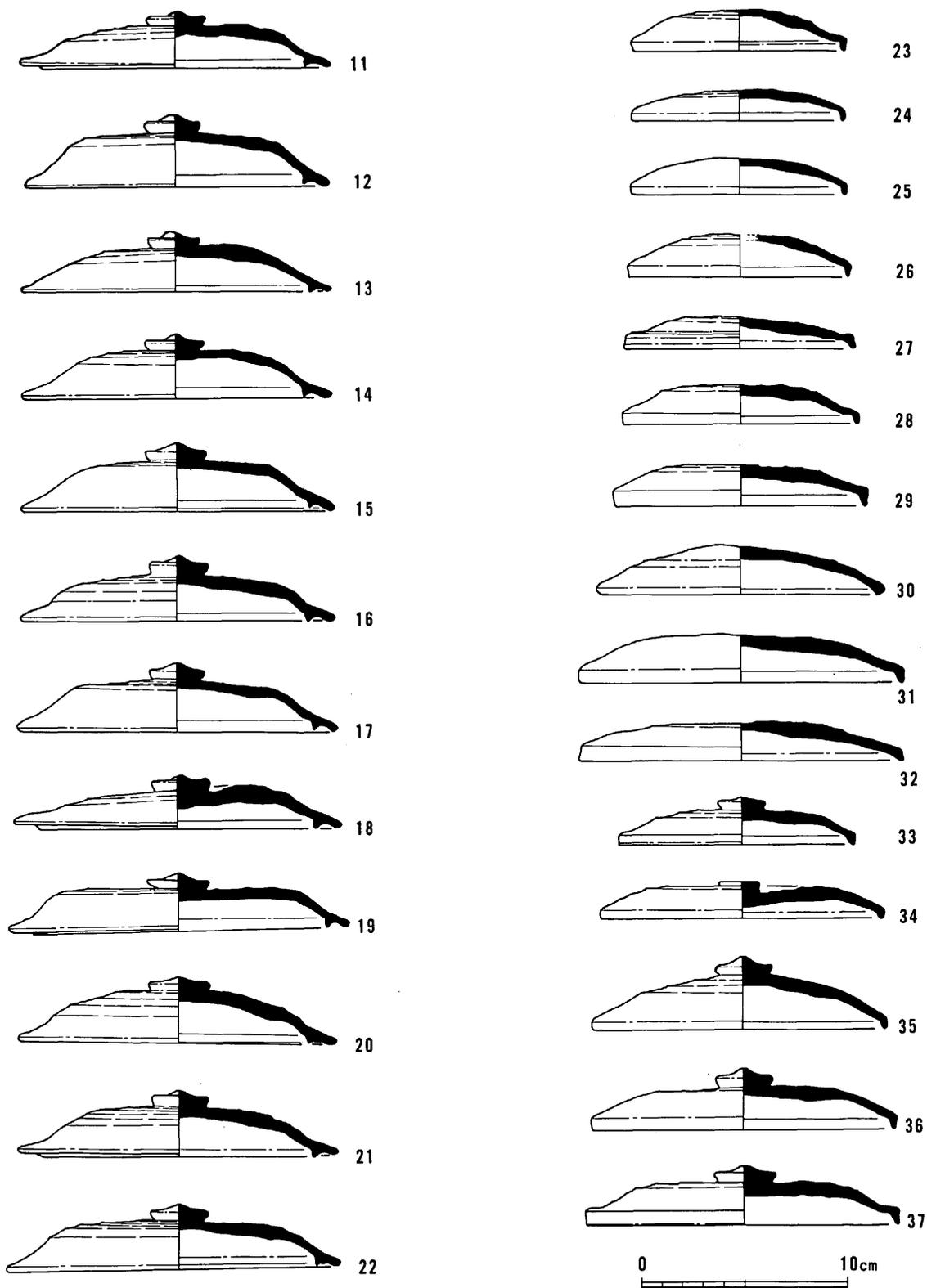
第78图 65—I号窠迹灰原出土遺物実測図②(1/3)



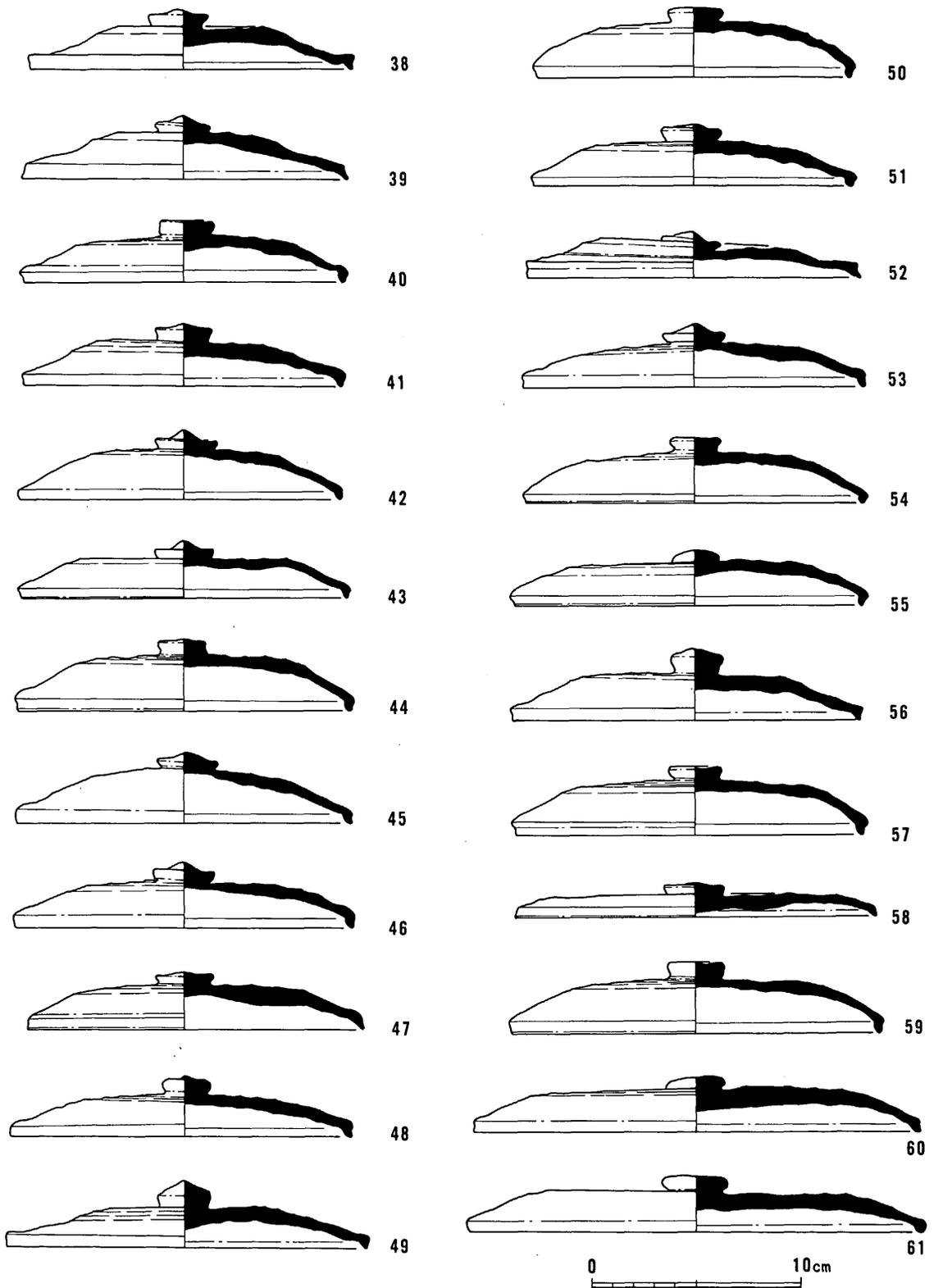
第79图 65—I号窠迹灰原出土遺物実測図③(1/6)



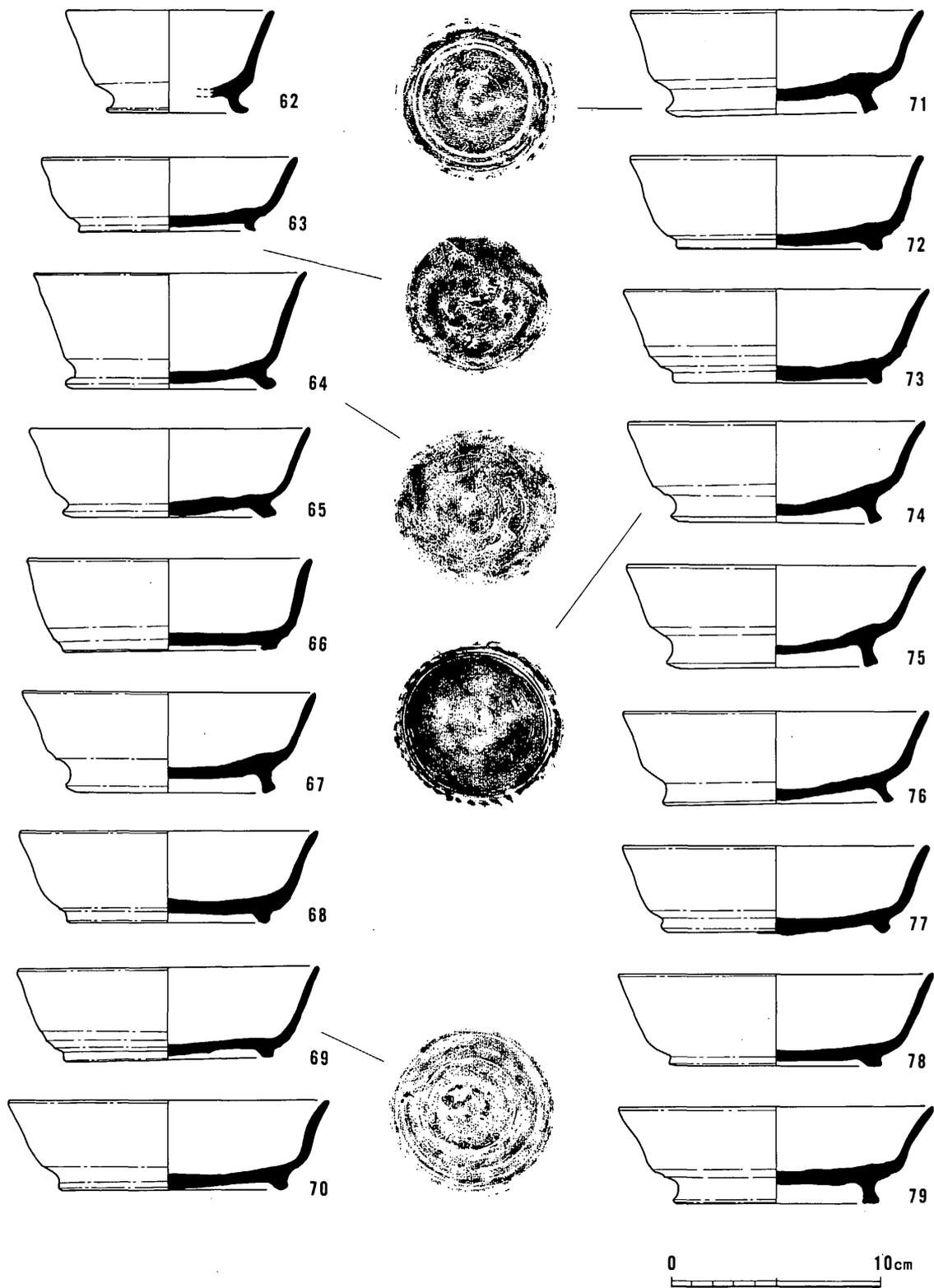
第80图 66—I号窟迹、SK01出土遗物实测图(1/3)



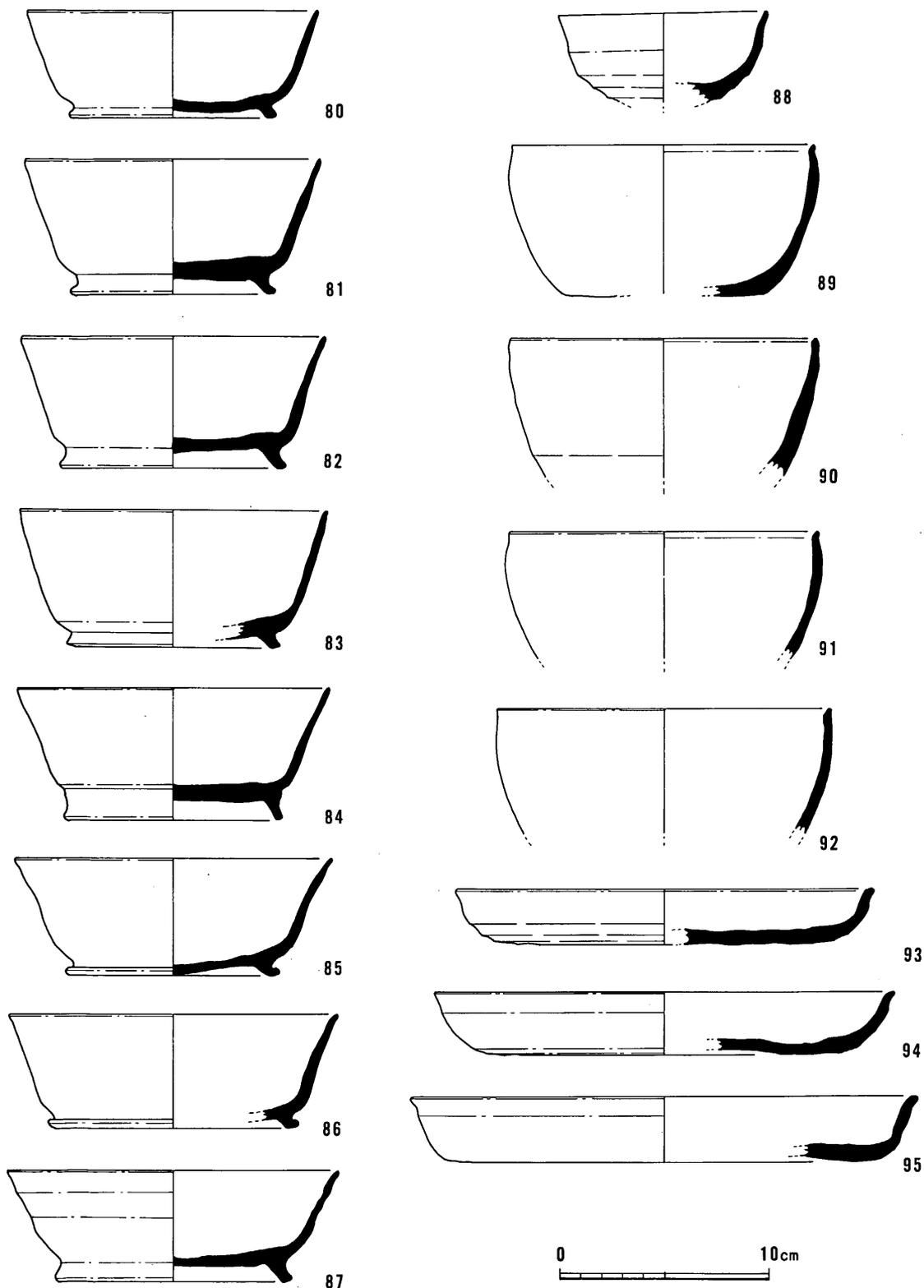
第81图 66—I号窑迹灰原出土遗物实测图①(1/3)



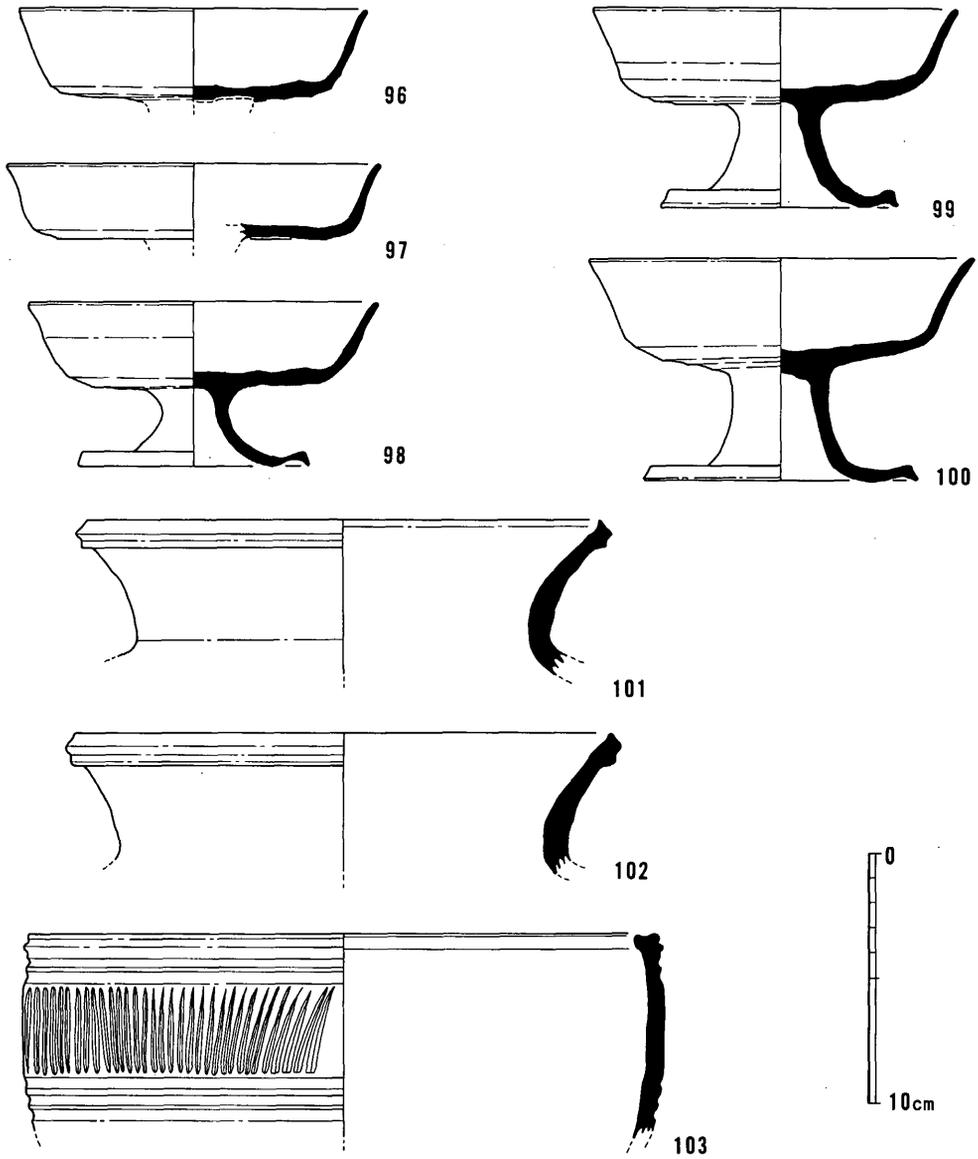
第82图 66—I号窯跡灰原出土遺物実測图②(1/3)



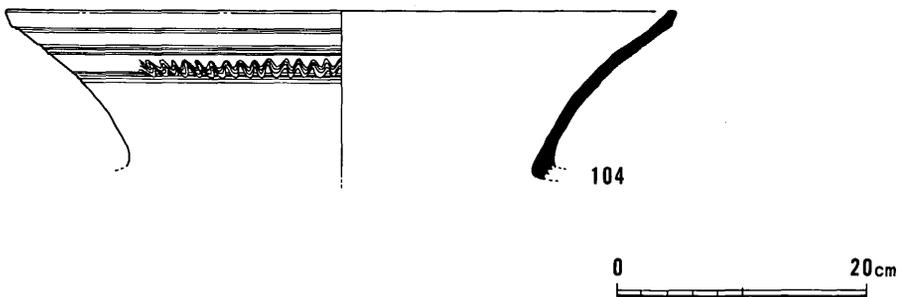
第83図 66—I号窯跡灰原出土遺物実測図③(1/3)



第84图 66—I号窯跡灰原出土遺物実測図④(1/3)



第85图 66—I号窠迹灰原出土遗物实测图⑤(1/3)



第86图 66—I号窠迹灰原出土遗物实测图⑥(1/6)

# 遺物観察表

法量の（ ）は推定値、復元値を示す。

45地点

遺物番号	器種	出土地点	法量 (cm)	①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤受部径 ⑥最大径	手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
1	杯蓋	1号窯 焚口上層 焼成部埋土	①13.0 ②4.5		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 5/6
2	杯蓋	// 焚口上層	①(12.8) ②4.1		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内面 青灰色 外面 暗灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 2/3 (天井部外面一部欠損)
3	杯蓋	// 焚口上層 焼成部埋土	①13.0		天井部多面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 2/3 (天井部外面一部欠損)
4	杯蓋	// 焼成部埋土	①12.6		残存部内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 暗灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 2/3 (天井部外面欠損)
5	杯蓋	// 焚口上層	①(12.3)		残存部内外面回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 黒色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 1/3 (天井部外面欠損)
6	杯身	// 焼成部床直	①(11.8) ②4.2 ⑦(13.8)		底部外面一部回転ヘラ削り、内面回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。底部に穿孔あり。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 1/3
7	杯身	// 焼成部⑩層	①(10.2) ③3.1 ⑦(12.6)		底部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。外面灰かぶり。	A 内外面 黒色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/2
8	杯身	// 焼成部⑩層	①(10.0) ②4.0 ⑦(12.2)		底部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。内外面灰かぶり。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/4
9	杯身	// 左落込み	①(10.7) ②4.2 ⑦(12.9)		底部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。外面灰かぶり。重ね焼きの痕跡あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 良好 D 1/4
10	壺	// 焚口上層 焼成部埋土	①(8.4) 胴部最大径 (14.2)		残存部外面カキ目のあと一部回転ナデ、内面回転ナデ。肩部に二条の沈線がめぐる。	A 内面 灰色 外面 暗灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 1/4
11	高杯	// 焚口上層	①(11.2) ②11.9 脚端径 (9.2)		杯体部下端カキ目、杯体内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。杯体部に3条脚部に二条の沈線がめぐる。脚部内外面にシボリ痕あり。ヘラ記号あり。	A 内面 灰色 外面 暗灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/2
12	高杯	// 焼成部埋土	①(11.1) ②14.3 脚端径 (9.9)		杯体部下端と脚部外面一部カキ目、杯体内面と脚部外面の一部灰かぶりの為調整不明、他は回転ナデ。杯体部に二条、脚部に三条の沈線がめぐる。ヘラ記号あり。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 良好 D 1/2
13	高杯	// 焼成部⑩層 焚口	①(10.3)		杯体部下端カキ目、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。体部に二条の沈線がめぐる。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 杯部1/3
14	高杯	// 焼成部埋土	脚端径 9.6		脚部外面一部カキ目、杯体内面不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部に一条の沈線がめぐる。脚部内外面にシボリ痕あり。	A 内面 暗灰色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 脚部のみ残存
15	高杯	// 焼成部埋土	脚端径 9.9		脚部外面一部カキ目、他は回転ナデ。外面に二条の沈線がめぐる。内外面にシボリ痕あり。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 脚部のみ残存
16	高杯	// 焼成部⑩層 焚口上層	①11.8 ②15.1 ⑦14.7 脚端径 11.7		杯体部下端回転ヘラ削りの後ナデ、杯体内面1/2不定方向のナデ、脚部外面一部カキ目、他は回転ナデ。脚部に二条の沈線がめぐる。脚部内外面にシボリ痕あり。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや良好 D 4/5
17	甌	// 本体埋土	①(11.5) 胴部最大径 9.6		外面胴部下端から底部にかけて回転ヘラ削り、口縁部から頸部にかけて一部カキ目、他は回転ナデ。頸部に二条の沈線がめぐる。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 4/5
18	杯蓋	11号窯 埋土	①(12.4) ②2.3 ③2.3 ④0.5 ⑥(14.6)		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや良好 D 1/4
19	杯蓋	// 埋土	①12.7 ②2.7 ③2.8 ④0.8 ⑥15.0		天井部外面回転ヘラ削り、内面5/6不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 青灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 3/4
20	杯蓋	// 埋土	①(14.0) ③3.1 ③2.7 ④0.7 ⑥(16.3)		天井部外面回転ヘラ削り、内面4/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 茶灰色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/2
21	杯蓋	// 埋土	①(14.9) ②2.6 ③2.7 ④0.8		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 2/3
22	杯蓋	// 埋土	①(15.0) ②1.7 ③3.0 ④0.8		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 1/2
23	杯蓋	// 埋土	①15.7 ②1.9 ③2.7 ④0.5		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 3/4
24	杯蓋	// 埋土	①15.2 ②2.4 ③2.7 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、一部ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや良好 D ほぼ完形
25	杯蓋	// 埋土	①15.8 ②2.2 ③2.7 ④0.8		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 緑灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 4/5

遺物 番号	器 種	出土地点	①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑥高台高		手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
			法量 (cm)			
26	杯 蓋	II号窯 埋土	①15.8 ②3.9 ③2.8 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面4/5不定方向のナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 褐色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D 1/2
27	杯 蓋	// 埋土	①15.5 ②2.5 ③3.1 ④0.8		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 2/3
28	杯 蓋	// 埋土	①16.1 ②2.1 ③3.0 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 4/5
29	杯 蓋	// 埋土	①16.2 ②3.3 ③2.9 ④1.3		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、1/2回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D ほぼ完形
30	杯 蓋	// 埋土	①(16.4) ②2.2 ③2.9 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面4/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 2/3
31	杯 蓋	// 埋土	①(16.2) ②2.3 ③3.0 ④0.5		天井部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/2
32	杯 蓋	// 埋土	①(10.6) ②1.0		天井部外面1/2回転ヘラ削り、1/2回転ヘラ削りの後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/2
33	杯 蓋	// 埋土	①(15.8) ②2.0		天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 1/2
34	杯 蓋	// 埋土	①15.8 ②2.5		天井部外面ヘラ切り後ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 不良 D 1/2
35	杯 身	// 埋土	①(9.5) ②3.5 ⑤7.0 ⑥0.6		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 暗灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 2/3
36	杯 身	// 埋土	①10.4 ②4.5 ⑤7.7 ⑥1.0		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D ほぼ完形
37	杯 身	// 埋土	①(14.3) ②5.0 ⑤10.1 ⑥1.0		底部外面ヘラ切り後丁寧なナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 3/5
38	杯 身	// 埋土	①14.2 ②4.6 ⑤10.3 ⑥0.9		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、外面一部摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D ほぼ完形
39	杯 身	// 埋土	①13.4 ②5.8 ⑤9.8 ⑥0.7		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 2/3
40	杯 身	// 埋土	①(13.9) ②5.5 ⑤(10.4) ⑥0.5		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 1/3
41	杯 身	// 埋土	①(13.5) ②5.8 ⑤(9.1) ⑥0.6		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 良好 D 2/3
42	杯 身	// 埋土	①(13.7) ②5.1 ⑤10.0 ⑥1.1		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 暗灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D ほぼ完形
43	杯 身	// 埋土	①(14.5) ②5.7 ⑤10.1 ⑥1.0		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/3
44	杯 身	// 埋土	①(14.5) ②6.7 ⑤10.4 ⑥1.0		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 緑灰色 外面 淡茶灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D 2/3
45	杯 身	// 埋土	①(14.9) ②6.2 ⑤(9.6) ⑥0.8		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 緑灰色 外面 淡茶灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D 2/3
46	杯 身	// 埋土	①15.0 ②6.3 ⑤10.3 ⑥0.5		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2回転ナデ、1/2不定方向のナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 5/6
47	杯 身	// 埋土	①15.0 ②5.8 ⑤11.1 ⑥0.6		外面摩滅の為調整不明、内面1/2回転ナデ、1/2不定方向のナデ。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 4/5
48	杯 身	// 埋土	①(15.0) ②5.9 ⑤9.8 ⑥0.7		内外面とも摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 不良 D 2/5
49	杯 身	// 埋土	①15.1 ②6.3 ⑤10.4 ⑥0.8		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 3/4
50	杯	// 埋土	①(14.7) ②3.9		内外面とも摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 1/2

遺物番号	器種	出土地点	法量 ①口径 ②器高 (cm) ③受部径 ④最大径	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
51	杯	II号窯埋土	①(13.8) ②4.6	底部外面へら切り後ナデ、内面2/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 青灰色 外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 4/5
52	杯	//埋土	①(14.3) ②4.3	底部外面へら切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/2
53	杯	//埋土	①(14.4) ②3.9	底部外面へら切り後ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 1/3
54	杯	//埋土	①(14.5) ②4.0	底部外面へら切り未調整、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 黄褐色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 不良 D 1/2
55	杯	//埋土	①(15.3) ②3.9	底部外面へら切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄褐色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 不良 D 1/3
56	鉢	//埋土	底径 17.9	底部外面へら切り後ナデ、胴部外面下端回転へら削りの後回転ナデ、一部タタキの痕跡あり、内面1/2不定方向のナデ、1/2タテ方向のナデ。	A 内面 灰色 外面 緑灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 底部のみ残存
57	土師器 甕	//埋土	①(15.4) 底径 (6.2)	口縁部内外面ヨコナデ、胴部から底部にかけて外面ハケ目、内面へら削り。	A 内外面 淡明褐色 B 砂粒やや含む C 良好 D 口縁部1/5 底部1/4
58	杯 蓋	灰原	①(13.5) ②3.6	天井部外面回転へら削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。へら記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 1/3
59	杯 蓋	灰原	①(12.8) ②3.9	天井部外面回転へら削り、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 細粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/3
60	杯 蓋	灰原	①(13.0) ②3.8	天井部外面回転へら削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/3
61	杯 蓋	灰原	①12.8 ②3.5	天井部外面回転へら削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。へら記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/2
62	杯 蓋	灰原	①12.7 ②3.9	天井部外面回転へら削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや不良 D 1/2
63	杯 蓋	灰原	①12.2 ②4.0	天井部外面回転へら削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。へら記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D ほぼ完形
64	杯 蓋	灰原	①12.4	天井部外面回転へら削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 1/2
65	杯 身	灰原	①(11.8) ⑦(14.3)	残存部外面1/2回転へら削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 1/2
66	杯 身	灰原	①11.7 ⑦14.3	口縁部内外面回転ナデ、体部内面不定方向のナデ、外面灰かぶりの為調整不明。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C やや良好 D 1/3
67	杯 身	灰原	①11.6 ②4.0 ⑦14.1	底部外面回転へら削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。へら記号あり。	A 内面 黄灰色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 3/4
68	杯 身	灰原	①10.6 ②3.8 ⑦13.0	底部外面回転へら削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。外面灰かぶり。へら記号あり。	A 内面 灰色 外面 黄灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 5/6
69	杯 身	灰原	①(11.3) ②3.6 ⑦(12.8)	底部外面回転へら削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。へら記号あり。	A 内面 淡紫灰色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/4
70	杯 身	灰原	①10.5 ②4.0 ⑦12.8	底部外面回転へら削り、体部一部灰かぶりの為調整不明、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。へら記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 2/3
71	杯 身	灰原	①(10.8) ⑦(12.6)	残存部外面1/2回転へら削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。外面一部灰かぶり。へら記号あり。	A 内面 灰色 外面 黄灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/3
72	杯 身	灰原	①(10.5) ②3.3 ⑦(12.5)	底部外面回転へら削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 1/2
73	杯 身	灰原	①10.0 ⑦12.5	残存部外面1/2回転へら削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。へら記号あり。	A 内面 暗茶灰色 外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 3/4
74	杯 身	灰原	①10.6 ②4.0 ⑦12.5	底部外面回転へら削り、内面1/3ナデ、他は丁寧な回転ナデ。外面一部灰かぶり。へら記号あり。	A 内面 淡茶灰色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/2
75	杯 身	灰原	①(10.0) ②4.1 ⑦(12.2)	底部外面回転へら削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。へら記号あり。	A 内面 淡茶灰色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/2

遺物 番号	器 種	出土地点	法量 (cm)	①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤受部径 ⑥最大径	手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
76	器台?	灰原	脚端径 (18.5)		残存部外面細かいカキ目、裾部外面から内面にかけて回転ナデ。三方に方形二段透し。二段の透しの間に二条、裾部に一条の沈線が巡る。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや良好 D 脚部 2/3
77	高 杯	灰原	①(12.4) ⑦(14.4)		杯体部下端回転ヘラ削りの後ナデ、杯部内面 3/5 ナデ、他は回転ナデ。脚部の三方に方形の透し。透しの下方に、二条の沈線が巡る。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/3
78	高 杯	灰原	①12.2 ②12.5 脚端径 10.6		杯体部下端カキ目、杯部内面 1/2 灰かぶりの為調整不明、他は回転ナデ。脚部の二方に方形二段透し。杯体部に刺突文を施す。	A 内外面 暗青灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 3/4
79	高 杯	灰原	脚端径 9.6		残存部内外面回転ナデ。三方に方形の透し。	A 内面 茶灰色 外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 脚部のみ残存
80	高 杯	灰原	脚端径 10.1		杯部内面不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部に二条の沈線がめぐる。脚部内外面にシボリ痕あり。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 脚部 4/5
81	高 杯	灰原	脚端径 10.2		杯部内面不定方向のナデ、脚部外面一部カキ目、他は回転ナデ。脚部に二条の沈線がめぐる。脚部外面にシボリ痕あり。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 脚部 4/5
82	杯 蓋	灰原	①12.8 ②2.3 ③2.8 ④0.6 ⑥14.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや不良 D 5/6
83	杯 蓋	灰原	①14.8 ②3.0 ③3.3 ④1.0		天井部外面回転ヘラ削り、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 茶灰色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D ほぼ完形
84	杯 蓋	灰原	①(14.8) ②2.5 ③2.8 ④0.4		天井部外面回転ヘラ削り、一部回転ヘラ削りの後ナデ、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや良好 D 1/2
85	杯 蓋	灰原	①14.9 ②3.5 ③2.8 ④0.5		天井部外面 1/2 回転ヘラ削り、一部ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 5/6
86	杯 蓋	灰原	①15.3 ②2.1 ③2.9 ④0.6		天井部外面 1/2 回転ヘラ削り、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C やや不良 D 5/6
87	杯 蓋	灰原	①15.2 ②1.8 ③2.8 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 2/3
88	杯 蓋	灰原	①(15.7) ②2.4 ③2.9 ④0.6		天井部外面回転ヘラ削り、一部ヘラ削りの後ナデ、内面 3/4 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 茶灰色 外面 暗灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/4
89	杯 蓋	灰原	①15.5 ②3.0 ③3.0 ④0.8		天井部外面回転ヘラ削り、内面 3/4 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 良好 D 5/6
90	杯 蓋	灰原	①15.8 ②2.3 ③2.9 ④0.8		天井部外面回転ヘラ削り、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 1/2
91	杯 蓋	灰原	①16.0 ②2.4 ③2.6 ④0.6		天井部外面 1/2 回転ヘラ削り、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 2/3
92	杯 蓋	灰原	①15.8 ②2.4 ③2.8 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 5/6
93	杯 蓋	灰原	①(16.8) ②1.9 ③2.8 ④0.6		天井部外面回転ヘラ削り、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D ほぼ完形
94	杯 蓋	灰原	①(17.8) ②2.9 ③3.5 ④0.9		天井部外面回転ヘラ削り、一部摩滅の為調整不明、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡茶褐色 B 砂粒やや含む、密 C 不良 D 1/2
95	杯 蓋	灰原	①(17.9) ②2.4 ③3.4 ④0.9		天井部外面回転ヘラ削り、内面 1/5 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 暗灰色 外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 2/3
96	杯 蓋	灰原	①(11.0) ②1.4		残存部外面 1/2 回転ヘラ削り、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 1/4
97	杯 蓋	灰原	①(11.0) ②1.2		天井部外面回転ヘラ削り、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 1/2
98	杯 蓋	灰原	①(12.4) ②1.8		天井部外面回転ヘラ削り、内面 1/2 不定方向のナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 1/2
99	杯 蓋	灰原	①14.2 ②2.3		天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや不良 D ほぼ完形
100	杯	灰原	①(13.1) ②4.1		底部外面ヘラ切り後ナデ、外面一部摩滅の為調整不明、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡茶灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 不良 D 1/2

遺物番号	器種	出土地点	法量 ①口径 ②器高 (cm) ③高台径 ④高台高	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
101	杯	灰原	①(14.5) ②4.1	内外面とも摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 不良 D 1/4
102	杯身	灰原	①(10.4) ②3.8 ⑤(7.9) ⑥0.6	底部外面へら切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡褐色 B 砂粒やや含む、やや粗 C やや不良 D 1/3
103	杯身	灰原	①(10.4) ②4.2 ⑤(7.9) ⑥0.5	底部外面へら切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 1/3
104	杯身	灰原	①(10.7) ②4.5 ⑤(7.8) ⑥0.8	底部外面へら切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 暗茶灰色 外面 灰色 B 細粒わずかに含む、密 C やや良好 D 3/4
105	杯身	灰原	①(15.1) ②4.6 ⑤(10.2) ⑥1.2	底部外面へら切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 1/3
106	杯身	灰原	①13.0 ②5.2 ⑤10.4 ⑥0.9	底部外面へら切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 2/3
107	杯身	灰原	①(13.7) ②6.0 ⑤9.7 ⑥0.8	底部外面へら切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 2/3
108	杯身	灰原	①(13.8) ②5.7 ⑤(9.5) ⑥1.0	底部外面へら切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/3
109	杯身	灰原	①13.9 ②5.6 ⑤9.4 ⑥0.7	底部外面へら切り後一部ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 3/4
110	杯身	灰原	①14.3 ②5.9 ⑤10.5 ⑥0.8	底部外面へら切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 4/5
111	杯身	灰原	①(14.3) ②6.2 ⑤(10.9) ⑥1.0	底部外面へら切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 褐色 外面 淡灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 1/2
112	杯身	灰原	①(14.2) ②6.0 ⑤(9.9) ⑥1.1	底部外面へら切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや不良 D 1/2
113	杯身	灰原	①(14.5) ②5.6 ⑤(11.2) ⑥0.8	底部外面へら切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 緑灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや不良 D 2/3
114	杯身	灰原	①(14.4) ②5.7 ⑤(9.8) ⑥1.0	底部外面へら切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 暗灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/2
115	杯身	灰原	①14.7 ②5.7 ⑤(11.0) ⑥0.6	底部外面へら切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 不良 D 5/6
116	杯身	灰原	①15.0 ②6.5 ⑤9.7 ⑥0.7	底部外面へら切り後ナデ、内面 2/5 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 5/6
117	杯身	灰原	①15.5 ②6.1 ⑤(10.9) ⑥0.8	底部外面へら切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 褐色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 不良 D 2/3
118	杯身	灰原	①(15.7) ②5.9 ⑤(10.2) ⑥0.9	底部外面へら切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 暗灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/3
119	高杯	灰原	脚端径 10.2	杯部内面摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや不良 D 脚部 3/4
120	高杯	灰原	脚端径 7.8	杯部内面不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部外面にシボリ痕あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや不良 D 脚部のみ残存
121	高杯	灰原	①(10.8) ②7.4 脚端径 (7.7)	残存部内外面回転ナデ。脚部内面にシボリ痕あり。外面灰かぶり。	A 内面 暗灰色 外面 黒色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 1/2
122	高杯	灰原	①(26.6)	杯体部下端 1/2 カキ目、1/2 回転へら削り、内面 2/5 タタキ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 暗灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 杯部 1/5
123	長頸壺	灰原	①(12.0)	残存部内外面回転ナデ。頸部に二条の沈線がめぐる。内外面にシボリ痕あり。	A 内外面 緑灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 不良 D 口縁部から頸部にかけて 1/2
124	短頸壺	灰原	①(6.8) ②7.5 胴部最大径 (11.6)	底部外面回転へら削り、他は回転ナデ。胴部に一条の沈線がめぐる。へら記号あり。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/2
125	短頸壺	灰原	①(9.1)	残存部内外面回転ナデ。胴部に二条の沈線がめぐる。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 1/5

遺物番号	器種	出土地点	法量 ①口径 ②器高 (cm)	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
126	短頸壺	灰原	①(10.2)	残存部内外面回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 暗灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C 良好 D 口縁部から胴部にかけて1/3
127	短頸壺	灰原	胴部最大径 12.0	底部外面回転ヘラ削り、内面不定方向のナデ、他は回転ナデ。胴部に二条の沈線がめぐる。ヘラ記号あり。	A 内面 灰色 外面 青灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 2/3
128	壺	灰原	①(10.0) 胴部最大径 16.2	残存部外面頸部から胴部にかけてカキ目、胴部下端から底部にかけて手持ちヘラ削り、底部内面不定方向のナデ、他は回転ナデ。胴部に一条の沈線がめぐる。	A 内面 暗灰色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C やや良好 D 1/2
129	平瓶	灰原	①(5.5)	残存部外面口縁部から胴部にかけて回転ナデ。一部カキ目、胴部下端回転ヘラ削り、内面回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/3
130	平瓶	灰原	①7.2	口縁部内外面回転ナデ、胴部外面カキ目。口縁部に一条の沈線がめぐる。胴部外面上方に断面三角形の把手状のものがつく。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや良好 D 1/3
131	平瓶	灰原	①5.8	残存部外面、口縁部から胴部にかけて回転ナデ、胴部中位カキ目、胴部下端回転ヘラ削り、内面回転ナデ。	A 内面 暗灰色 外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 1/3
132	平瓶	灰原	①9.2	口縁部内外面回転ナデ、肩部内面ナデ。	A 内外面 灰色 B 細粒わずかに含む、密 C やや良好 D 口縁部 5/6
133	平瓶	灰原	①(6.1) 胴部最大径 19.0	胴部外面カキ目、下端回転ヘラ削り、他は回転ナデ。胴部外面上方に断面三角形の把手状のものがつく。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 3/4
134	壺	灰原	①14.2 ②22.6 胴部最大径 (23.3)	胴部外面カキ目、下端から底部にかけて格子目タタキ、胴部内面下端から底部にかけて同心円文タタキ。他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 赤褐色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや不良 D 3/5
135	土師器 壺	灰原	①(12.6) 胴部最大径 (14.6)	口縁部内外面ヨコナデ、胴部外面ハケ目、内面ヘラ削り。	A 内面 淡褐色 外面 明褐色 B 砂粒やや多く含む C やや良好 D 1/3
136	壺	灰原	①(13.5) 胴部最大径 (25.2)	胴部外面カキ目、下端カキ目の後タタキ、内面下端タタキ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内面 茶灰色 外面 淡赤褐色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 不良 D 口縁部から胴部にかけて1/4
137	壺	灰原	①(11.5)	残存部内外面回転ナデ。	A 内面 黒色 外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 口縁部 1/4
138	壺	灰原	①(12.0)	残存部内外面回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内面 黒色 外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 口縁部から胴部にかけて1/2
139	壺	灰原	①(20.2)	残存部外面下端格子目タタキ、内面下端同心円文タタキ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 口縁部から肩部にかけて1/2
140	壺	灰原	①(21.9)	肩部外面カキ目、一部タタキ、内面タタキ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 口縁部から肩部にかけて1/2
141	壺	灰原	①22.7	口縁部内外面回転ナデ、肩部外面格子目タタキ、内面同心円文タタキ。二カ所に同一のヘラ記号あり。	A 内面 紫褐色 外面 紫灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 口縁部から肩部にかけて残存
142	壺	灰原	①24.0	胴部外面平行タタキの後カキ目、内面同心円文タタキ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内面 暗灰色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C やや良好 D 口縁部から胴部にかけて3/4
143	壺	灰原	①(53.0)	口縁部外面三段の沈線間に二段の連続斜線文が施されている。他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 暗灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 口縁部 1/3
144	壺	灰原	①(52.0)	口縁部外面二段の沈線間に連続斜線文が施されている。胴部外面平行タタキ、内面同心円文タタキ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 口縁部から肩部にかけて1/6
145	壺	灰原	①(60.5)	口縁部外面二段の沈線と二段の連続斜線文が施されている。他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 暗青灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや良好 D 口縁部 1/5
146	壺	灰原	①22.5 胴部最大径 48.7	胴部外面タタキ、内面同心円文タタキ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C やや良好 D 3/4
147	壺	灰原	①18.8 胴部最大径 (31.5)	胴部外面格子目タタキ、内面同心円文タタキ、口縁部内外面摩滅の調整不明。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒やや含む、密 C 不良 D 口縁部から胴部にかけて1/2
148	弥生土器 壺	灰原	底径 5.7 胴部最大径 (24.1)	外面胴部から底部にかけてハケ目、内面ナデ。	A 内外面 くすんだ淡黄灰色 B 砂粒多く含む C やや良好 D 肩部から底部にかけて1/3

46地点

遺物番号	器 種	出土地点	法量 (cm) ①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤受部径	手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
1	杯 蓋	灰原	①(12.7) ②4.1	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 1/2
2	杯 蓋	灰原	①12.8 ②4.2	天井部外面回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒多く含む、密 C 不良 D ほぼ完形
3	杯 蓋	灰原	①12.5 ②4.0	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、粗 C 不良 D 1/2
4	杯 蓋	灰原	①(12.6) ②4.5	天井部外面回転ヘラ削り、他は摩滅の為調整不明。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 2/3
5	杯 蓋	灰原	①(12.7) ②3.9	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや不良 D 1/2
6	杯 蓋	灰原	①12.4 ②4.0	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 暗青灰色 B 砂粒多く含む、密 C 良好 D ほぼ完形
7	杯 蓋	灰原	①12.1 ②3.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C 良好 D 2/3
8	杯 蓋	灰原	①11.9 ②4.2	天井部外面回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 細粒やや含む、やや粗 C 不良 D 3/4
9	杯 蓋	灰原	①11.9 ②3.5	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 2/3
10	杯 蓋	灰原	①12.1 ②3.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 3/4
11	杯 蓋	灰原	①11.9 ②3.9	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 2/3
12	杯 蓋	灰原	①12.2 ②4.0	天井部外面回転ヘラ削り、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 4/5
13	杯 蓋	灰原	①12.0	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 青灰色 B 細粒やや含む、密 C 良好 D 2/3
14	杯 蓋	灰原	①11.9	残存部内面不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡黄褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 2/3
15	杯 蓋	灰原	①12.1 ②3.2	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 2/3
16	杯 蓋	灰原	①12.1 ②3.3	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 青灰色 B 砂粒多く含む、密 C 良好 D 完形
17	杯 蓋	灰原	①12.0 ②4.2	天井部外面回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや含む、密 C 不良 D ほぼ完形
18	杯 蓋	灰原	①11.9	残存部内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 細粒やや含む、密 C 良好 D 2/3
19	杯 蓋	灰原	①11.9 ②3.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D ほぼ完形
20	杯 蓋	灰原	①11.5 ②4.0	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、密 C 良好 D 3/4
21	杯 蓋	灰原	①11.6 ②3.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 3/4
22	杯 蓋	灰原	①13.7 ②5.5 ③2.9 ④0.6	天井部外面回転ヘラ削り、他は摩滅の為調整不明。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D ほぼ完形
23	杯 身	灰原	①11.8 ②4.5 ⑦14.0	底部外面摩滅の為調整不明。体部回転ヘラ削り、内面1/4不定方向のナデ。他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや不良 D ほぼ完形
24	杯 身	灰原	①10.9 ②4.1 ⑦13.2	底部外面回転ヘラ削り、内面1/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D ほぼ完形
25	杯 身	灰原	①11.0 ⑦13.1	底部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D ほぼ完形

遺物番号	器種	出土地点	法量 (cm)	①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑥高台高 ⑦受部径	手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
26	杯身	灰原	①10.5 ⑦12.8	②3.6	体部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 細粒やや含む、やや密 C 良好 D ほぼ完形
27	杯身	灰原	①11.0 ⑦13.0	②3.8	底部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D ほぼ完形
28	杯身	灰原	①10.7 ⑦12.7	②3.7	底部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D ほぼ完形
29	杯身	灰原	①11.0 ⑦12.9	②3.5	底部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D ほぼ完形
30	鉢	灰原	①(12.5)	②4.6	体部下端から底部にかけて回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。口縁部下端二条の沈線が巡る。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒多く含む、密 C 良好 D 1/4
31	鉢	灰原	①(10.9) 底径 (5.8)	②4.2	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。体部に二条の沈線が巡る。	A 内外面 淡茶褐色 B 砂粒やや含む、やや粗 C やや良好 D 1/2
32	蓋	灰原	①14.4	②3.5	天井部外面カキ目、体部回転ヘラ削り、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内面 淡青灰色 外面 暗青灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 3/4
33	高台付碗	灰原	①14.3 ⑤10.2	②9.0 ⑥2.0	底部外面ヘラ切り後ナデ、体部下端カキ目、一部回転ヘラ削り、内面1/3不定方向ナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D ほぼ完形
34	甌	灰原	①(10.0) 胴部最大径 9.8	②14.6	底部外面回転ヘラ削り、他は摩擦の為調整不明。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D ほぼ完形
35	甌	灰原	①10.7 胴部最大径 9.5	②14.9	底部外面回転ヘラ削り、他は回転ナデ。頸部に二条、胴部に二条の沈線が巡る。内部に粘土塊。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D 3/4
36	平瓶	灰原	①(7.3) 底径13.5	②16.8 18.1	口縁部から胴部にかけて回転ナデ、胴部下端から底部にかけてカキ目、胴部に把手状のものが着く。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、密 C 良好 D 3/4
37	平瓶	灰原	①5.9 胴部最大径 10.6	②14.2	口縁部から胴部にかけて回転ナデ。胴部下端から底部にかけてヘラ削りの後回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 細粒やや含む、密 C 良好 D ほぼ完形
38	高杯	灰原	脚端径 (10.9)		残存部内外面回転ナデ、脚部に二条の沈線が巡る。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや多く含む、粗 C やや不良 D 脚部のみ残存
39	高杯	灰原	①(11.1)		杯体部下端カキ目、内面不定方向のナデ、脚部カキ目、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 2/3
40	壺	灰原	①(24.4)		口縁部内外面回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 小片
41	壺	灰原	①(21.3) 胴部最大径 (36.2)		口縁部内外面回転ナデ、胴部外面平行タタキのあとカキ目、内面同心円タタキ。	A 内外面 淡褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 口縁部から胴部にかけて1/2
42	壺	灰原	①(43.6)		口縁部外面連続斜線を施し、その上端に一条、下端に二条の沈線が巡る。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 口縁部1/2
43	壺	灰原	①(49.2)		口縁部外面連続斜線、四条の沈線が巡る。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 口縁部3/4

### 59地点

遺物番号	器種	出土地点	法量 (cm)	①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑥高台高	手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
1	杯蓋	1号窯埋土床近く	①(13.3) ③2.0	②1.9 ④0.5	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 1/3
2	杯蓋	//埋土上層	①(14.4) ③2.2	②2.9 ④0.6	天井部外面回転ヘラ削り後ナデ、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 1/2
3	杯蓋	//埋土床近く	①14.3 ③2.1	②3.4 ④0.5	天井部外面ヘラ切り後ナデ、一部ヘラ削り、内面1/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 1/2
4	杯蓋	//埋土上層	①(15.5)		天井部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/2 (つまみは欠損)
5	杯蓋	//埋土上層	①(16.5) ③2.3	②2.8 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 不良 D 2/3

遺物番号	器種	出土地点	法量 ①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑥高台高	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
6	杯蓋	I号窯 埋土床近く	①16.3 ②1.8 ③2.7 ④0.7	天井部外面1/2回転ヘラ削り、一部回転ヘラ削りの後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D ほぼ完形
7	杯蓋	// 埋土床近く 埋土上層	①16.4	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 細粒わずかに含む、密 C 不良 D 4/5 (つまみは欠損)
8	杯蓋	// 床面	①(16.8) ②2.1 ③2.7 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 細粒やや含む、やや粗 C 不良 D 2/3
9	杯蓋	// 埋土上層	①(19.5) ②2.7 ③2.3 ④0.7	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、密 C やや不良 D 1/2
10	蓋	// 埋土床近く	①(25.1)	天井部外面回転ヘラ削り、一部ナデ、内面5/6不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C 良好 D 1/4 (つまみは欠損)
11	杯	// 埋土床近く	①13.4 ②4.3	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、1/2回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄白色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D ほぼ完形
12	杯身	// 埋土床近く	①(14.4) ②4.0 ⑤(9.7) ⑥0.5	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 1/4
13	杯身	// 埋土上層	①18.8 ②5.7 ⑤12.5 ⑥0.5	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D 2/3
14	皿	// 埋土上層	①(14.9) ②2.2	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/5
15	高杯	// 埋土上層	脚端径 (11.5)	残存部内外面回転ナデ。	A 内外面 淡青灰色 B 細粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 脚部小片
16	鉢?	// 埋土上層	①(26.6)	残存部内外面回転ナデ。外面に把手が付くと思われる。	A 内面 淡黄灰色 外面 黒灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 口縁部小片
17	瓶	// 埋土上層	胴部最大径 (15.4)	残存部外面下端回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、密 C 良好 D 2/3
18	皿	SKOI	①(16.4) ②1.8	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡褐色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D 1/3
19	杯蓋	II号窯 埋土	①14.3 ②2.5 ③2.3 ④0.5	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は一部回転ナデを残すが、摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄白色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D ほぼ完形
20	杯蓋	// 埋土	①16.5 ②1.4 ③2.4 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 3/4
21	杯蓋	// 埋土	①19.9 ②2.6 ③2.8 ④0.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 細粒わずかに含む、密 C 不良 D 3/4
22	杯蓋	// 埋土	①20.7 ②2.6 ③(2.7) ④0.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面5/6不定方向のナデ、つまみと口縁部の一部摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 3/4
23	杯蓋	// 埋土	①(21.1)	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、密 C 不良 D 1/3
24	杯身	// 埋土	①(13.6) ②4.2 ⑤10.0 ⑥0.6	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや不良 D 2/3
25	杯身	// 埋土	①(14.3) ②4.4 ⑤10.7 ⑥0.45	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 良好 D 3/4
26	杯身	// 埋土	①14.4 ②4.7 ⑤8.7 ⑥0.5	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 3/4
27	杯身	// 埋土	①(15.5) ②4.6 ⑤(10.4) ⑥0.6	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 細粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 1/2
28	皿	// 埋土	①(13.5) ②2.2	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 1/2
29	皿	// 埋土	①(18.8) ②2.8	底部外面ヘラ切り未調整、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 1/5
30	皿	// 埋土	①(18.6) ②2.2	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 淡灰色 外面 淡灰白色 B 砂粒やや含む、密 C やや不良 D ほぼ完形

遺物 番号	器 種	出土地点	法量 (cm) ①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑥高台高	手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
31	皿	II号窯 埋土	①(18.4) ②3.3	底部外面へら切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 良好 D 1/3
32	皿	// 埋土	①(18.9) ②2.6	底部外面へら切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 1/3
33	皿	// 埋土	①(19.7) ②2.7	底部外面へら切り後ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄褐色 B 細粒やや含む、やや密 C 不良 D 1/3
34	皿	// 埋土	①(20.3) ②2.8	底部外面へら切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡明褐色 B 細粒わずかに含む、密 C 不良 D 1/2
35	皿	// 埋土	①(20.5) ②2.7	底部外面へら切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 1/3
36	甕	// 埋土	①(12.9)	残存部内外面回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C やや良好 D 口縁部から肩部にかけて1/3
37	// 埋土		⑤(12.4) ⑥1.0	残存部外面下端回転へら削り、内面へら状のもので、斜め方向に交互にナデている。他は回転ナデ。	A 内面 淡黄灰色 外面 淡灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや不良 D 小片
38	杯 蓋	// 灰原	①(11.8) ②1.7	天井部外面回転へら削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C 良好 D 1/2
39	杯 蓋	// 灰原	①(14.6) ②3.2 ③2.5 ④0.7	天井部外面回転へら削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや不良 D 1/2
40	杯 蓋	// 灰原	①14.8 ②3.2 ③2.4 ④0.7	天井部外面回転へら削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡青灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 完形
41	杯 蓋	// 灰原	①15.2 ②3.4 ③2.5 ④0.8	天井部外面回転へら削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 4/5
42	杯 蓋	// 灰原	①(15.6) ②2.0 ③2.1 ④0.6	天井部外面ナデ、一部回転へら削り、内面1/6不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡青灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/2
43	杯 蓋	// 灰原	①16.2 ②3.5 ③2.9 ④0.6	天井部外面へら切り後ナデ、内面口縁部を除いて不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや良好 D ほぼ完形
44	杯 蓋	// 灰原	①(18.1) ②2.9 ③2.7 ④0.5	天井部外面へら切り後ナデ、内面5/6不定方向のナデ、つまみは摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 4/5
45	蓋	// 灰原	①(16.0) ②4.6 ③2.6 ④1.2	天井部外面回転へら削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 堅緻 D 1/3
46	杯 身	// 灰原	①(10.9) ②3.8 ⑤(8.2) ⑥0.5	底部外面へら切り後粗いナデ、内面1/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 1/2
47	杯 身	// 灰原	①(11.3) ②3.4 ⑤(8.1) ⑥0.3	底部外面へら切り後ナデ、内面中央不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 細粒やや含む、密 C 良好 D 4/5
48	杯 身	// 灰原	①11.6 ②4.1 ⑤8.8 ⑥0.4	底部外面へら切り未調整、内面1/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや粗 C やや良好 D 4/5
49	杯 身	// 灰原	①13.6 ②4.3 ⑤9.0 ⑥0.5	底部外面へら切り後ナデ、内面中央不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C 良好 D 4/5
50	杯 身	// 灰原	①14.9 ②4.6 ⑤9.5 ⑥0.5	底部外面へら切り後ナデ、内面2/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 細粒やや含む、やや粗 C 不良 D ほぼ完形
51	杯 身	// 灰原	①(14.9) ②4.0 ⑤(10.6) ⑥0.5	底部外面へら切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 1/3
52	皿	// 灰原	①(16.8) ②2.4	底部外面中央へら切り後ナデ、口縁部内外面回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄白色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 1/3
53	皿	// 灰原	①19.3 ②2.9	底部外面へら切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 細粒やや含む、密 C 不良 D ほぼ完形
54	皿	// 灰原	①(21.1) ②3.0	底部外面へら切り後ナデ、残存部内面下端不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 1/4
55	皿	// 灰原	①(21.8) ②2.6	底部外面回転へら削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 1/2

遺物番号	器種	出土地点	法量 ①口径 ②総高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑥高台高	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
56	高杯	II号窯 灰原	脚端径 15.2	残存部内外回転ナデ。	A 内面 暗灰色 外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 脚部 3/4
57	瓶	// 灰原	底径 10.8 胴部最大径 18.6	底部外面へラ切り後丁寧なナデ、胴部一部回転へラ削り、他は回転ナデ。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 1/2
58	杯蓋	III号窯 埋土	①11.4 ②1.7	天井部外面へラ切り後ナデ、一部手持ちへラ削り、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D ほぼ完形
59	杯蓋	// 埋土	①(14.7) ②2.2 ③2.1 ④0.6	天井部外面回転へラ削り、内面 3/4 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 暗灰色 外面 暗青灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 1/2
60	杯蓋	// 埋土	①15.2 ②1.8 ③2.6 ④0.5	天井部外面 1/2 へラ切り後ナデ、1/2 回転へラ削り、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 青灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 2/3
61	杯蓋	// 埋土	①16.1 ②1.7 ③2.6 ④0.6	天井部外面回転へラ削り、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 完形
62	杯蓋	// 埋土	①15.9 ②2.1 ③2.8 ④0.6	天井部外面回転へラ削り、内面 4/5 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 淡青灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D ほぼ完形
63	杯蓋	// 埋土	①(17.9) ②2.7 ③2.3 ④0.7	天井部外面回転へラ削り、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C 良好 D 1/2
64	杯蓋	// 埋土	①18.1 ②1.8 ③2.2 ④0.7	天井部外面回転へラ削り、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 1/2
65	杯蓋	// 埋土	①19.1 ②3.2 ③3.1 ④0.8	天井部外面回転へラ削り、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 細粒やや含む、やや密 C 不良 D 2/3
66	杯蓋	// 埋土	①21.3 ②3.0 ③2.5 ④0.8	天井部外面回転へラ削り、内面 3/4 摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内外面 黄灰色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 不良 D 4/5
67	杯蓋	// 埋土	①21.3 ②3.3 ③2.3 ④0.6	天井部外面回転へラ削り、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 黄灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 3/4
68	杯身	// 埋土	①14.0 ②3.9 ⑤10.6 ⑥0.5	底部外面へラ切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 3/4
69	杯身	// 埋土	①(14.9) ②3.9 ⑤(11.3) ⑥0.5	底部外面へラ切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 細粒やや含む、やや密 C やや良好 D 2/3
70	杯身	// 埋土	①14.8 ②4.4 ⑤10.8 ⑥0.5	底部外面へラ切り後ナデ、内面 1/2 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 細粒やや含む、やや密 C 良好 D 4/5
71	杯身	// 埋土	①18.4 ②6.7 ⑤12.3 ⑥0.6	底部外面へラ切り後ナデ、内面 1/2 粗い不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 黄灰色 B 細粒やや含む、やや密 C 不良 D ほぼ完形
72	杯	// 埋土	①15.8 ②4.1	底部外面へラ切り未調整、内面 1/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 淡黄灰色 外面 茶灰色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 不良 D 4/5
73	杯	// 埋土	①16.2 ②4.3	底部外面へラ切り後ナデ、内面 1/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 細粒やや含む、やや粗 C 不良 D ほぼ完形
74	短頸壺	// 埋土	①(10.0) 胴部最大径 (19.0)	残存部内外回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 口縁部から肩部にかけて小片
75	高杯	// 埋土	①22.3 ②8.8 脚端径 10.3	杯体部下端回転へラ削り、内面 3/4 不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部外面にシボリ痕あり。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D ほぼ完形
76	高杯	// 埋土	①24.2 ②9.6 脚端径 11.2	杯体部下端回転へラ削り、内面 3/4 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 黄灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D ほぼ完形
77	杯蓋	灰原	①12.0 ②2.1 ③2.7 ④0.6	天井部外面回転へラ削り、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 1/2
78	杯蓋	灰原	①13.1 ②2.7 ③(2.2) ④0.6	天井部外面回転へラ削り、内面 5/6 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C やや良好 D ほぼ完形
79	杯蓋	灰原	①14.3 ②2.6 ③2.4 ④0.7	天井部外面回転へラ削り、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや良好 D 2/3
80	杯蓋	灰原	①14.7 ②2.5 ③2.4 ④0.6	天井部外面回転へラ削り、内面 2/3 不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D ほぼ完形

遺物番号	器種	出土地点	法量 ①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑥高台高	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
81	杯蓋	灰原	①14.9 ②3.1 ③2.6 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 細粒多く含む、やや粗 C 不良 D 4/5
82	杯蓋	灰原	①14.6 ②2.4 ③2.2 ④0.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 良好 D 完形
83	杯蓋	灰原	①14.6 ②1.5 ③2.5 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D ほぼ完形
84	杯蓋	灰原	①15.2 ②2.4 ③2.7 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 4/5
85	杯蓋	灰原	①15.2 ②3.0 ③2.3 ④0.9	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 細粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/2
86	杯蓋	灰原	①(15.8) ②2.6 ③2.4 ④0.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 2/3
87	杯蓋	灰原	①16.6 ②3.0 ③2.7 ④0.8	天井部外面一部回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 黄灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D ほぼ完形
88	杯蓋	灰原	①16.2 ②3.1 ③2.5 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、一部ナデ、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D ほぼ完形
89	杯蓋	灰原	①16.9 ②2.6 ③2.5 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや良好 D 完形
90	杯蓋	灰原	①17.0 ②3.4 ③2.8 ④0.6	天井部外面回転ヘラ削り、口縁部内面回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 完形
91	杯蓋	灰原	①19.0 ②3.6 ③3.2 ④0.6	天井部外面回転ナデ、一部回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 不良 D 4/5
92	杯蓋	灰原	①18.9 ②3.3 ③3.0 ④1.1	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 良好 D ほぼ完形
93	杯蓋	灰原	①19.2 ②1.8 ③2.3 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、一部ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 3/4
94	蓋	灰原	①17.0 ②4.3 ③3.2 ④1.0	天井部外面1/2回転ヘラ削り、内面3/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D ほぼ完形
95	杯身	灰原	①(10.3) ②3.5 ⑤7.9 ⑥0.5	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 2/3
96	杯身	灰原	①13.2 ②3.8 ⑤9.0 ⑥0.4	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 暗灰色 外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 4/5
97	杯身	灰原	①14.1 ②3.9 ⑤10.3 ⑥0.5	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡茶灰色 B 細粒わずかに含む、密 C 不良 D ほぼ完形
98	杯身	灰原	①(14.4) ②3.7 ⑤10.1 ⑥0.4	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 細粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/3
99	杯身	灰原	①(14.5) ②4.2 ⑤(9.5) ⑥0.3	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 細粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/2
100	杯身	灰原	①(14.5) ②4.3 ⑤(9.8) ⑥0.5	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや良好 D 1/2
101	杯身	灰原	①14.9 ②4.0 ⑤10.7 ⑥0.5	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 黄灰色 B 細粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D ほぼ完形
102	杯身	灰原	①15.4 ②4.1 ⑤11.3 ⑥0.5	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 4/5
103	杯身	灰原	①(17.4) ②5.3 ⑤(13.8) ⑥0.7	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 1/3
104	杯身	灰原	①18.9 ②6.1 ⑤13.4 ⑥0.6	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 3/4
105	杯	灰原	①(13.3) ②4.0	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 1/2

59地点

遺物番号	器種	出土地点	法量 ①口径 ②器高 (cm) ③台径 ④台高	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
106	杯	灰原	①(13.7) ②3.5	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 緑灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/2
107	皿	灰原	①18.6 ②2.5	底部外面へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、粗 C やや不良 D 1/2
108	皿	灰原	①(18.4) ②2.2	底部外面へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡青灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 良好 D 1/4
109	皿	灰原	①(19.4) ②3.3	底部内外面摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内外面 褐色 B 細粒わずかに含む、粗 C 不良 D 1/2
110	皿	灰原	①20.2 ②2.8	底部外面へラ切り後へラ状のものでナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 黄灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 4/5
111	皿	灰原	①(20.3) ②2.4	底部外面へラ切り後ナデ、内面4/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 1/4
112	皿	灰原	①20.8 ②2.7	底部外面へラ切り後ナデ、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや良好 D 3/5
113	高杯	灰原	①15.5	杯体部下端回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 杯部4/5
114	高杯	灰原	①(19.5)	杯体部下端回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや良好 D 杯部1/2
115	高杯	灰原	①(23.6)	残存部外面下端回転へラ削り、他は回転ナデ。口縁部下端に穿孔あり。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 杯部小片
116	鉢	灰原	①(11.4) ②3.8 ⑤8.4 ⑥0.4	底部外面へラ切り後ナデ、残存部内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 良好 D 1/3
117		灰原	①(10.6)	残存部内外面回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 細粒わずかに含む、やや密 C 不良 D 口縁部1/4
118	把手付短頸壺	灰原		把手はナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 細粒わずかに含む、密 C 良好 D 口縁部から肩部にかけて小片
119	鉢	灰原	①(10.8)	残存部内外面回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/3
120	短頸壺	灰原	①(12.7) 胴部最大径 (20.0)	残存部内外面回転ナデ。	A 内面 淡灰色 外面 青灰色 B 細粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 口縁部から胴部にかけて小片
121	短頸壺	灰原	①(11.0)	残存部内外面回転ナデ。肩部に楕円形のくぼみがあり、把手の痕か?	A 内面 灰色 外面 青灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/4
122		灰原	⑤(12.8) ⑥0.8	底部外面へラ切り後ナデ、内面不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 淡褐色 外面 淡灰白色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 底部1/3
123	土師器壺	灰原	①(18.6)	残存部内外面摩滅の為調整不明。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや多く含む C やや良好 D 口縁部小片

60地点

遺物番号	器種	出土地点	法量 ①口径 ②器高 (cm) ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤最大径	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
1	杯蓋	竊本体埋土 (床面近く)	①8.2 ②3.1 ③1.5 ④1.0 ⑤10.0	天井部外面回転へラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや不良 D 3/4
2	杯蓋	灰原	①(8.0) ②3.6 ③1.4 ④0.9 ⑤(10.4)	天井部外面回転へラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。へラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 1/2
3	杯蓋	灰原	①8.6 ②3.7 ③1.4 ④0.9 ⑤10.8	天井部外面回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。へラ記号あり。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや不良 D 4/5
4	杯蓋	竊本体埋土	①(7.8) ②2.3 ③(10.0)	天井部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 黄灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 1/2
5	杯蓋	竊本体埋土 (床面近く)	①8.2 ②2.3 ③10.1	天井部外面へラ切り後ナデ、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。へラ記号あり。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D ほぼ完形

遺物番号	器種	出土地点	法量 ①口径 ②器高 (cm) ③最大径	手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
6	杯蓋	窯本体埋土 (床面近く)	①8.8 ②2.7 ③10.4	天井部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや不良 D ほぼ完形
7	杯蓋	窯本体埋土	①8.8 ②2.5 ③10.8	天井部外面へラ切り後ナデ、内面3/4不定方向のナデ、口縁の一部回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 黄灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D ほぼ完形
8	杯蓋	最初の床面直上	①8.5 ②2.6 ③11.1	天井部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡茶灰色 B 細粒やや含む、やや密 C 良好 D 完形
9	杯蓋	窯本体	①(9.0) ②2.4 ③(11.2)	天井部外面へラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや不良 D 1/2
10	杯蓋	窯本体埋土	①8.8 ②2.3 ③11.2	天井部外面へラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D ほぼ完形
11	杯蓋	窯本体埋土 (床面近く)	①9.5 ②2.9 ③11.3	天井部外面へラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや良好 D 完形
12	杯身	灰原	①9.6 ②3.6	底部外面へラ切り後ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 黄灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D 3/4
13	杯身	窯本体	①9.7 ②3.4	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 1/2
14	杯身	窯本体埋土 (床面近く)	①9.8 ②3.8	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、粗 C 不良 D ほぼ完形
15	杯身	窯本体埋土 (床面近く)	①9.9 ②4.2	底部外面へラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡黄灰色 B 細粒やや含む、やや粗 C 不良 D ほぼ完形
16	杯身	窯本体	①(10.5) ②3.7	底部外面へラ切り後ナデ、内面中央摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内面 淡灰色 外面 淡茶灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 2/3
17	杯身	窯本体埋土	①(10.5) ②3.5	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 黄灰色 B 細粒やや含む、粗 C 不良 D 2/3
18	杯身	窯本体埋土 (床面近く)	①(11.9) ②3.7	底部外面へラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、粗 C やや良好 D 1/2
19	高杯	灰原	脚端径 (9.4)	杯部内面中央不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部内外面シボり痕あり。	A 内外面 淡茶灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや良好 D 1/3
20	高杯	灰原	脚端径 (7.4)	残存部内外面回転ナデ。	A 内外面 淡褐色 B 細粒やや含む、やや密 C やや不良 D 脚部1/2
21	短頸壺	窯本体埋土 (床面近く)	①8.7 ②4.7	底部外面へラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 細粒やや含む、密 C 良好 D 1/3
22	壺	灰原	①(11.0)	口縁部内外面摩滅の為調整不明。肩部外面格子目タタキ、内面同心円文タタキ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 口縁部から肩部にかけて残存
23	短頸壺	灰原	①(8.8)	残存部内外面回転ナデ。	A 内外面 淡茶灰色 B 細粒やや含む、やや密 C やや不良 D 口縁部1/5
24	壺	灰原	①(22.0)	残存部内外面摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 口縁部1/4
25	壺	窯本体埋土	①(21.9) 脚部最大径 (43.4)	口縁部内外面回転ナデ、胴部外面平行タタキ、内面同心円文タタキ。	A 内外面 淡茶褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや不良 D 口縁部から胴部にかけて1/3
26	壺	窯本体埋土	①(40.2)	口縁部外面一部カキ目、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 不良 D 口縁部1/7
27	壺	窯本体埋土	①(43.1)	口縁部内外面回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 不良 D 口縁部小片
28	壺	窯本体埋土	①(17.7) 脚部最大径 (32.4)	口縁部内外面摩滅の為調整不明。胴部外面カキ目の後格子目タタキ、内面同心円文タタキ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 口縁部から胴部にかけて1/2

61地点

遺物 番号	器 種	出土地点	法量 (cm)	①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤最大径	手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
1	杯 蓋	I号窯 焚口	①(16.0) ②3.0 ③2.8 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 暗茶灰色 外面 明茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 1/2
2	杯 蓋	// 焚口	①(16.6) ②2.6		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 良好 D 1/3
3	杯 蓋	// 焚口	①(17.2)		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 明褐色 外面 暗茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 1/3
4	杯 蓋	II号窯 床面	①(13.5) ②(15.4)		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 暗灰色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 1/4
5	杯 蓋	// 床面	①10.5 ②1.8		天井部外面ヘラ切り後ナデ、一部回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 赤褐色 B 砂粒多く含む、粗 C やや良好 D 4/5
6	杯 蓋	// 床面	①(11.0) ②2.2		内面1/3不定方向のナデ、他は摩滅の為調整不明。天井部に焼成後の穿孔あり。	A 内外面 明褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 2/3
7	杯 蓋	// 床面	①11.5 ②1.7		天井部外面ヘラ切り後ナデ、一部回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 淡黄灰色 外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 2/3
8	杯 蓋	// 床面	①12.4 ②2.4 ③1.9 ④0.7		天井部外面ヘラ状のものでナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 明褐色 外面 淡茶灰色 B 細粒わずかに含む、密 C やや良好 D 完形
9	杯 蓋	// 床面	①14.8 ②3.0 ③2.3 ④0.6		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、つまみと外面一部摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内外面 淡明褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D ほぼ完形
10	杯 蓋	// 床面	①15.0 ②3.3 ③2.5 ④0.6		天井部外面摩滅の為調整不明、一部回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 完形
11	杯 蓋	// 燃烧部	①(15.1) ②2.6 ③2.5 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 良好 D 1/2
12	杯 蓋	// 床面	①15.1 ②3.0 ③2.3 ④0.5		天井部外面回転ヘラ削り、一部回転ナデ、内面3/5不定方向のナデ、つまみは摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D ほぼ完形
13	杯 蓋	// 床面	①15.3 ②3.1 ③2.4 ④0.6		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、つまみは摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや不良 D 3/4
14	杯 蓋	// 燃烧部	①15.5 ②2.4 ③2.5 ④0.9		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 暗灰色 外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C 良好 D 1/2
15	杯 蓋	// 燃烧部	①(15.7) ②2.2 ③2.4 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 良好 D 1/2
16	杯 蓋	// 床面	①15.5 ②3.2 ③2.5 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、一部回転ナデ、内面2/3不定方向のナデ、つまみは摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内面 淡明褐色 外面 淡黄灰色 B 細粒わずかに含む、密 C やや不良 D 完形
17	杯 蓋	// 床面	①(16.3) ②3.5 ③3.1 ④1.0		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 淡茶灰色 外面 淡褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや不良 D 1/2
18	杯 蓋	// 床面	①16.4 ②2.7 ③2.7 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 明褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 完形
19	杯 蓋	// 床面	①(16.6) ②3.1 ③2.6 ④0.9		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡褐色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 2/3
20	杯 蓋	// 床面	①16.7 ②3.4 ③2.7 ④0.8		天井部外面1/2回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 淡黄灰色 外面 淡茶灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 不良 D 3/4
21	杯 蓋	// 床面	①18.4 ②3.2 ③2.6 ④0.7		天井部外面1/2回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 5/6
22	杯 蓋	// 床面	①19.3 ②3.2 ③2.5 ④0.8		天井部外面1/2回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 細粒わずかに含む、密 C 不良 D 4/5
23	杯 蓋	// 床面	①19.0 ②3.7 ③2.8 ④0.9		天井部外面回転ヘラ削り、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 明褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D ほぼ完形
24	杯 蓋	// 床面	①19.9 ②3.8 ③2.8 ④0.8		天井部外面回転ヘラ削り、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 明褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 完形
25	杯 蓋	// 床面	①20.2 ②3.7 ③3.1 ④0.8		天井部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 細粒わずかに含む、密 C 不良 D 4/5

遺物番号	器種	出土地点	法量 (cm)	①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑥高台高	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
26	杯身	II号窯床面	①(13.9) ②5.8 ⑤10.3 ⑥1.0		底部外面へラ切り後ナデ、内面2/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 緑灰色 外面 淡褐色 B 砂粒多く含む、粗 C やや不良 D ほぼ完形
27	杯身	//床面	①(13.6) ②6.1 ⑤10.3 ⑥0.9		底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/2
28	杯身	//床面	①14.1 ②6.2 ⑤10.3 ⑥0.9		底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 褐色 B 砂粒多く含む、粗 C やや不良 D ほぼ完形
29	杯身	//床面	①(15.2) ②6.3 ⑤10.7 ⑥1.1		底部外面摩滅の為調整不明、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 黄灰色 外面 淡茶灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 4/5
30	杯	//床面	①13.0 ②3.9		底部外面へラ切り後ナデ、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 1/3
31	杯	//床面	①(14.2) ②4.0		底部外面へラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 1/4
32	杯	//床面	①(14.2) ②3.6		残存部外面摩滅の為調整不明、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 緑灰色 外面 淡茶灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 1/3
33	杯	//床面	①(16.1) ②4.4		底部外面摩滅の為調整不明、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 赤褐色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D 1/3
34	杯蓋	III号窯 焼成部	①(12.0)		天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 良好 D 1/3
35	杯蓋	// 焼成部	①(14.5)		天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 暗茶灰色 外面 暗灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 1/3
36	杯蓋	// 床面	①(14.4) ②2.6 ③2.6 ④0.6		天井部外面回転へラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 4/5
37	杯蓋	// 焼成部	①15.1 ②2.1 ③2.7 ④0.7		天井部外面回転へラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 良好 D 2/3
38	杯蓋	// 焼成部	①11.9 ②1.8		天井部外面回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内面 淡灰白色 外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 不良 D 4/5
39	杯蓋	// 焼成部	①16.0 ②3.3 ③2.8 ④0.9		天井部外面回転へラ削り、内面7/8不定方向のナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 1/2
40	杯蓋	// 焼成部床面	①(16.3) ②1.3 ③2.6 ④0.6		天井部外面回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 2/3
41	杯蓋	// 焼成部	①16.0 ②2.7 ③3.1 ④0.7		天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、つまみは摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内面 淡灰色 外面 淡灰白色 B 砂粒やや含む、密 C 不良 D 4/5
42	壺	// 焼成部床面	①(26.4)		口縁部内外面回転ナデ、胴部外面格子目タタキ、内面同心円文タタキ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 良好 D 口縁部から胴部にかけて1/5
43	杯蓋	IV号窯 埋土	①12.9 ②2.1 ③2.8 ④0.7		天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 3/4
44	杯蓋	// 焼成部	①14.2 ②3.5 ③3.0 ④0.9		天井部外面回転へラ削り、内面1/3不定方向のナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 1/2
45	杯蓋	// 焼成部	①(13.5) ②2.7		天井部外面へラ切り後、へラ状のもので粗くナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 2/3
46	杯蓋	// 焼成部	①(19.1) ②2.7 ③1.9 ④0.9		天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗茶褐色 B 砂粒多く含む、密 C 良好 D 1/3
47	杯身	// 焼成部床面	①(14.8)		残存部内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ、体部に三条の沈線が巡る。高台が欠損。	A 内外面 淡茶灰色 B 細粒やや含む、やや粗 C やや不良 D 1/4
48	皿	// 焼成部	①(17.8) ②3.3		底部外面へラ切り後ナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄褐色 B 砂粒やや含む、粗 C 不良 D 1/3
49	皿	// 焼成部	①(20.6) ②3.5		底部外面2/3へラ切り後ナデ、1/3ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 細粒やや含む、やや粗 C やや良好 D 1/4
50	皿	// 焼成部	①(22.4) ②3.7		底部外面2/3へラ切り後ナデ、1/3ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明茶褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 1/2

遺物 番号	器 種	出土地点	法量 ①口径 ②器高 (cm) ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤最大径	手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
51	長頸甕	IV号窯 焼成部	①(14.0)	残存部内外面回転ナデ。	A 内外面 暗黒灰色 B 細粒わずかに含む、密 C 良好 D 口縁部小片
52	杯 身	V号窯 焼成部	①(19.8) ②6.8	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 黄灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D 1/2
53	杯 蓋	SX01	①(13.5) ②1.8 ③2.9 ④0.7	天井部外面回転へラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 1/3
54	杯 蓋	SX01	①(12.8) ②1.9 ③2.7 ④0.5	天井部外面回転へラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗青灰色 B 砂粒多く含む、密 C 良好 D 4/5
55	杯 蓋	SX01	①17.1	天井部外面回転へラ削り、内面4/5摩滅の為調整不明。他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 4/5
56	杯 身	SX01	①(14.6) ②6.1	底部外面へラ切り後ナデ、内面中央不定方向のナデ、一部粗いナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡青灰色 B 細粒わずかに含む、密 C やや良好 D 3/4
57	杯	SK02	①(15.5) ②3.9	底部外面へラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。外面一部灰かぶり。	A 内面 灰色 外面 黒色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 1/4
58	杯 蓋	SK04	①13.0 ②2.5	天井部外面へラ切り後ナデ、内面摩滅の為調整不明。他は回転ナデ。	A 内面 淡褐色 外面 明褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 完形
59	皿	SK07	①(19.7) ②2.5	底部外面へラ切り未調整、内面摩滅の為調整不明。他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 1/2
60	杯 蓋	SK06	①(15.2) ②1.8 ③3.1 ④0.7	天井部外面回転へラ削り後回転ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C やや良好 D 2/3
61	杯 蓋	SK06	①15.8 ②2.3 ③2.8 ④0.9	天井部外面回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C 良好 D 3/4
62	杯 蓋	SK06	①16.0 ②2.7 ③3.0 ④0.8	天井部外面1/2回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 良好 D ほぼ完形
63	杯 身	SK06	①(14.7) ②6.2	底部外面へラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/4
64	土師器 甕	SK06	①21.8 ②17.7 胴部最大径 19.6	口縁部内外面回転ナデ、胴部外面縦方向のハケ目、内面へラ削り、底部外面へラ状のものでナデた痕あり。内面摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄褐色 B 砂粒やや含む C やや不良 D ほぼ完形
65	杯 蓋	II号窯 灰原	①12.9 ②2.9 ③3.0 ④0.6 ⑤14.3	天井部外面回転へラ削り、内面4/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 1/2
66	杯 蓋	// 灰原	①(12.8) ②2.3 ③2.6 ④0.5 ⑤(14.8)	天井部外面回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。へラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 良好 D 1/2
67	杯 蓋	// 灰原	①(13.1) ②2.4 ③2.7 ④0.8 ⑤(15.1)	天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/2
68	杯 蓋	// 灰原	①12.7 ②2.5 ③2.5 ④0.6 ⑤15.4	天井部外面回転へラ削り後回転ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 2/3
69	杯 蓋	// 灰原	①14.2 ②3.2 ③3.1 ④1.0 ⑤16.4	天井部外面回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 黄灰色 外面 明褐色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや良好 D ほぼ完形
70	杯 蓋	// 灰原	①(14.2) ②2.9 ③2.7 ④0.8 ⑤(16.4)	天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、粗 C 不良 D 2/3
71	杯 蓋	// 灰原	①(14.7) ②2.8 ③2.8 ④0.8 ⑤(16.4)	天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 青灰色 外面 黒灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 1/2
72	杯 蓋	// 灰原	①(14.5) ②1.9 ③(16.6)	天井部外面へラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/2
73	杯 蓋	// 灰原	①14.1 ②3.4 ③2.8 ④0.7 ⑤16.6	天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C やや不良 D ほぼ完形
74	杯 蓋	// 灰原	①(10.7) ②1.5	天井部外面へラ切り後粗いナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 暗紫灰色 外面 暗灰色 B 砂粒やや含む、密 C やや良好 D 4/5
75	杯 蓋	// 灰原	①(11.0) ②1.3	天井部外面回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 暗黒灰色 B 細粒やや含む、密 C 良好 D 1/4

遺物番号	器種	出土地点	①口径 ②高さ ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑥高台高	手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D穀存
76	杯蓋	11号窯 灰原	①14.7 ②2.1 ③3.0 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 5/6
77	杯蓋	〃 灰原	①15.0 ②2.2 ③2.5 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや粗 C やや良好 D ほぼ完形
78	杯蓋	〃 灰原	①16.1 ②2.8 ③2.8 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 良好 D ほぼ完形
79	杯蓋	〃 灰原	①15.3 ②1.9 ③2.9 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗褐色 B 砂粒多く含む、やや密 C やや不良 D 完形
85	杯蓋	〃 灰原	①16.4 ②2.8 ③3.3 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面3/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、粗 C 不良 D 1/2
81	杯蓋	〃 灰原	①17.8 ②2.3 ③3.0 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 3/4
82	杯蓋	〃 灰原	①(17.4) ②2.6 ③(3.2) ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 1/4
83	杯蓋	〃 灰原	①(20.3) ②3.3 ③3.5 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 黄灰色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 不良 D 1/3
84	杯身	〃 灰原	①(9.5) ②4.1 ⑤(6.9) ⑥0.7	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 細粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/3
85	杯身	〃 灰原	①(11.7) ②4.0 ⑤(8.0) ⑥0.6	残存部内面下端不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 淡茶灰色 外面 淡褐色 B 細粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/5
86	杯身	〃 灰原	①(14.3) ②6.0 ⑤(10.3) ⑥1.2	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 細粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/2
87	杯身	〃 灰原	①14.2 ②5.6 ⑤9.8 ⑥0.7	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 細粒わずかに含む、密 C 良好 D 完形
88	杯身	〃 灰原	①14.3 ②6.3 ⑤10.3 ⑥1.1	底部外面ヘラ切り後ナデ、体部下端回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 細粒わずかに含む、密 C やや良好 D 2/3
89	杯身	〃 灰原	①13.8 ②4.2 ⑤10.5 ⑥0.5	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや不良 D 5/6
90	杯身	〃 灰原	①14.5 ②4.1 ⑤10.7 ⑥0.9	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 褐色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 2/3
91	杯身	〃 灰原	①14.5 ②4.2 ⑤9.6 ⑥0.4	底部外面ヘラ切り後ナデ、体部下端回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 淡黄灰色 外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 2/3
92	杯身	〃 灰原	①(15.3) ②4.9 ⑤(12.0) ⑥1.1	底部外面ヘラ切り後ナデ、体部下端回転ヘラ削り、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D 1/2
93	杯身	〃 灰原	①15.2 ②4.3 ⑤11.3 ⑥0.9	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや不良 D ほぼ完形
94	杯身	〃 灰原	①(15.7) ②5.6 ⑤(11.2) ⑥0.9	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや良好 D 1/2
95	杯身	〃 灰原	①18.8 ②6.1 ⑤11.5 ⑥0.5	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 1/2
96	杯	〃 灰原	①14.8 ②4.1	底部外面ヘラ切り後ヘラ状のものでナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 緑灰色 外面 茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 3/4
97	皿	〃 灰原	①(15.1) ②3.0	底部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 1/3
98	高杯	〃 灰原	①(14.3) ②7.6 脚端径 10.6	杯体部下端回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部内外面にシボリ痕あり。	A 内面 褐色 外面 茶灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや良好 D 3/4
99	高杯	〃 灰原	①(14.1) ②9.8 脚端径 10.8	杯体部下端回転ヘラ削り後一部ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部外面にシボリ痕あり。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 1/2
100	高杯	〃 灰原	脚端径 10.0	脚部内外面回転ナデ。シボリ痕あり。	A 内外面 褐色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや良好 D 脚部 2/3

## 61地点

遺物番号	器種	出土地点	法量 (cm) ①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤受部径 ⑥最大径	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
101	高杯	II号窯 灰原	脚端径 10.3	残存部内外面回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 良好 D 脚部のみ残存
102	壺	// 灰原	①(19.0)	口縁部内外面回転ナデ、内面一部ナデ、肩部外面タタキ、内面同心円文タタキ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや不良 D 口縁部から肩部にかけて1/5
103	杯蓋	III号窯 灰原	①11.7 ②1.8 ⑧13.5	天井部外面へラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 5/6
104	杯蓋	// 灰原	①(12.4) ②2.5 ⑧(14.8)	天井部外面へラ切り後ナデ、内面3/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 1/2
105	杯蓋	// 灰原	①(13.8) ③3.0 ⑧(15.6)	天井部外面へラ切り未調整、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 不良 D 1/3
106	杯蓋	// 灰原	①(11.9) ③2.2 ③2.5 ④0.7 ⑧(13.8)	天井部外面回転へラ削り、内面口縁部を除いて不定方向のナデ、他は回転ナデ。へラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 4/5
107	杯蓋	// 灰原	①13.3 ②2.5 ③2.9 ④0.9 ⑧15.2	天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 完形
108	杯蓋	// 灰原	①(13.6) ③3.0 ③2.7 ④0.9 ⑧(15.4)	天井部外面回転へラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 1/2
109	杯蓋	// 灰原	①13.2 ③3.0 ③2.9 ④0.9 ⑧15.3	天井部外面回転へラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 完形
110	杯蓋	// 灰原	①13.7 ②2.7 ③3.4 ④0.9 ⑧15.3	天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 3/4
111	杯蓋	// 灰原	①14.0 ②2.8 ③3.4 ④0.7 ⑧16.5	天井部外面回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C 不良 D 完形
112	杯蓋	// 灰原	①(14.0) ②2.8 ③2.8 ④0.7 ⑧(16.2)	天井部外面回転へラ削り、内面口縁部を除いて不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 黄灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや不良 D 1/2
113	杯蓋	// 灰原	①14.7 ②2.7 ③2.9 ④0.8 ⑧16.6	天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 不良 D 完形
114	杯蓋	// 灰原	①13.8 ②2.5 ③2.9 ④0.7 ⑧16.4	天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 不良 D 3/4
115	杯蓋	// 灰原	①14.6 ②2.9 ③3.0 ④0.8 ⑧16.4	天井部外面回転へラ削り、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D 完形
116	杯蓋	// 灰原	①(17.1) ③2.7 ③2.8 ④1.2 ⑧(20.2)	天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 褐色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや不良 D 1/2
117	杯蓋	// 灰原	①10.1 ②1.1	天井部外面回転へラ削り、中央部は回転へラ削りの後回転ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 完形
118	杯蓋	// 灰原	①(10.1) ②1.6	天井部外面回転へラ削り、一部ナデ、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 1/4
119	杯蓋	// 灰原	①10.9 ②1.4	天井部外面回転へラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 青灰色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D ほぼ完形
120	杯蓋	// 灰原	①(10.9) ②0.8	天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗青灰色 B 細粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/2
121	杯蓋	// 灰原	①11.5 ②1.9	天井部外面回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 暗灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 4/5
122	杯蓋	// 灰原	①(14.4) ②2.5	天井部外面へラ切り後ナデ、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや不良 D 1/3
123	杯蓋	// 灰原	①(9.8) ②2.5 ③2.1 ④0.7	天井部外面回転へラ削り、内面4/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/2
124	杯蓋	// 灰原	①14.9 ②1.7 ③2.7 ④0.7	天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C やや良好 D 完形
125	杯蓋	// 灰原	①14.6 ②2.3 ③2.8 ④0.9	天井部外面回転へラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 3/4

遺物番号	器種	出土地点	法量 (cm) ①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑥高台高	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
126	杯蓋	III号窯 灰原	①15.7 ②2.4 ③2.9 ④0.5	天井部外面摩滅の為調整不明、一部回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内面 淡褐色 外面 淡灰色 B砂粒やや多く含む、やや粗 Cやや不良 Dほぼ完形
127	杯蓋	// 灰原	①(15.8) ②2.6 ③3.5 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 青灰色 B砂粒多く含む、やや密 C良好 D完形
128	杯蓋	// 灰原	①16.2 ②3.0 ③3.3 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 暗茶灰色 B砂粒やや多く含む、やや粗 Cやや良好 D4/5
129	杯蓋	// 灰原	①(15.9) ②3.3 ③2.8 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内面 淡茶灰色 外面 暗茶灰色 B砂粒やや多く含む、やや密 Cやや良好 D1/2
130	杯蓋	// 灰原	①(16.5) ②3.2 ③3.0 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内面 青灰色 外面 暗青灰色 B砂粒多く含む、密 C良好 D1/2
131	杯蓋	// 灰原	①16.3 ②2.3 ③3.0 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 淡黄灰色 B砂粒やや含む、やや粗 C不良 Dほぼ完形
132	杯蓋	// 灰原	①(17.7) ②3.3 ③3.3 ④1.1	天井部外面回転ヘラ削り、一部ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 灰色 B砂粒多く含む、やや粗 C良好 D1/2
133	杯身	// 灰原	①(8.7) ②3.8 ⑤6.7 ⑥0.5	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 灰色 B細粒やや含む、やや密 Cやや良好 D1/3
134	杯身	// 灰原	①(9.4) ②4.1 ⑤7.2 ⑥0.8	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。外面灰かぶり。	A内面 灰色 外面 暗灰色 B細粒やや含む、密 C良好 D1/2
135	杯身	// 灰原	①(9.7) ②4.1 ⑤7.0 ⑥1.1	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面口縁部を除いて不定方向のナデ、他は回転ナデ。外面灰かぶり。	A内面 黒色 外面 灰色 B砂粒わずかに含む、やや密 C良好 D1/2
136	杯身	// 灰原	①12.8 ②6.1 ⑤8.9 ⑥1.2	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 灰色 B砂粒わずかに含む、密 C良好 D1/2
137	杯身	// 灰原	①14.0 ②5.3 ⑤10.3 ⑥0.8	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 緑灰色 B砂粒わずかに含む、密 Cやや良好 Dほぼ完形
138	杯身	// 灰原	①14.3 ②5.9 ⑤10.0 ⑥1.2	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A内面 淡紫灰色 外面 灰色 B砂粒わずかに含む、密 Cやや良好 D2/3
139	杯身	// 灰原	①14.5 ②4.5 ⑤10.2 ⑥1.1	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面3/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A内外面 灰色 B砂粒やや多く含む、やや密 C良好 D完形
140	杯身	// 灰原	①15.0 ②4.6 ⑤10.6 ⑥1.1	底部外面ヘラ切り後ナデ、体部下端回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 暗灰色 B砂粒やや含む、密 C良好 D2/3
141	杯身	// 灰原	①16.1 ②4.2 ⑤13.2 ⑥0.8	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面摩滅の為調整不明、他は一部摩滅しているが回転ナデ。	A内面 淡灰色 外面 淡茶灰色 B砂粒やや多く含む、やや粗 C不良 D3/4
142	杯	// 灰原	①13.6 ②3.9	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 淡灰色 B砂粒多く含む、やや粗 Cやや不良 D1/2
143	杯	// 灰原	①14.8 ②3.7	底部外面摩滅の為調整不明、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 淡灰色 B砂粒やや多く含む、やや粗 C不良 Dほぼ完形
144	杯	// 灰原	①15.4 ②3.6	内外面摩滅の為調整不明。	A内外面 淡黄灰色 B砂粒やや多く含む、やや粗 C不良 Dほぼ完形
145	皿	// 灰原	①(15.5) ②3.1	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 灰色 B砂粒やや多く含む、やや粗 C良好 D1/2
146	皿	// 灰原	①17.1 ②3.0	底部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 灰色 B砂粒やや多く含む、やや密 Cやや良好 D4/5
147	高杯	// 灰原	①(9.7) ②6.0 脚端径 (7.4)	杯体部下端ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。内外面灰かぶり。脚部外面にシボリ痕あり。	A内外面 黒色 B砂粒やや含む、密 C良好 D1/2
148	高杯	// 灰原	①(14.7) ②7.6 脚端径 10.0	杯体部下端回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部内外面にシボリ痕あり。	A内外面 灰色 B砂粒やや多く含む、やや密 C良好 D3/4
149	高杯	// 灰原	①(14.8) ②8.5 脚端径 9.5	杯体部下端回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部外面にシボリ痕あり。	A内外面 明褐色 B砂粒多く含む、やや密 Cやや良好 D2/3
150	高杯	// 灰原	①(15.2) ②7.7 脚端径 (10.2)	杯体部下端外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部外面にシボリ痕あり。	A内外面 明褐色 B砂粒やや含む、やや密 Cやや良好 D1/2

遺物番号	器種	出土地点	法量 (cm)	①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤最大径	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
151	高杯	III号窯 灰原	①(16.7)		杯体部下端1/2回転ナデ、1/2回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内面 茶灰色 外面 灰色 B砂粒やや多く含む、やや粗 Cやや良好 D杯部3/5
152	高杯	// 灰原	脚端径 9.7		残存部内外面回転ナデ、外面シボリ痕あり。	A内外面 黒色 B砂粒わずかに含む、密 C良好 D脚部3/4
153	高杯	// 灰原	脚端径 10.7		残存部内外面回転ナデ。	A内外面 灰色 B砂粒やや多く含む、やや粗 Cやや良好 D脚部のみ残存
154	高杯	// 灰原	脚端径 11.0		脚部内外面回転ナデ、外面にシボリ痕あり、杯残存部外面摩滅の為調整不明、内面不定方向のナデ。	A内外面 淡茶灰色 B砂粒やや多く含む、やや密 Cやや不良 D脚部のみ残存
155	長頸壺	// 灰原	①15.0 ⑥2.1		底部外面不定方向のナデ、他は回転ナデ。内面は剝離している為調整不明。	A内外面 淡灰白色 B砂粒やや含む、やや密 C不良 D底部のみ残存
156	鉢?	// 灰原	底径 (10.5)		残存部外面回転ヘラ削り、内面1/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内面 灰色 外面 淡褐色 B砂粒わずかに含む、密 Cやや不良 D底部1/3
157	長頸壺	// 灰原	⑤14.8 ⑥1.2 胴部最大径 23.4		胴部外面上端から中位摩滅の為調整不明、下端回転ヘラ削り、底部外面不定方向のナデ、内面1/3摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A内外面 明褐色 B砂粒やや多く含む、やや密 C不良 D胴部から底部にかけて5/6
158	すり鉢	// 灰原	①14.0 ②9.1 底径 9.2		底部外面ヘラで不定方向に斜交線を刻む、内面1/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 灰色 B砂粒やや多く含む、やや密 Cやや不良 D2/3
159	土師器 杯	// 灰原	①(13.4)		杯体部下端摩滅の為調整不明、内面1/5不定方向のナデ、他はヨコナデ。	A内外面 明褐色 B砂粒やや含む Cやや良好 D小片
160	土師器 壺	// 灰原	①(17.6)		口縁部内外面ヨコナデ、残存部外面ハケ目、内面ヘラ削り。	A内外面 明褐色 B砂粒やや含む C良好 D口縁部1/4
161	土師器 壺	// 灰原	①(22.5)		口縁部外面一部ヨコナデ、胴部内面ヘラ削り、他は摩滅の為調整不明。	A内面 黄褐色 外面 赤褐色 B砂粒やや多く含む Cやや不良 D口縁部から胴部にかけて小片
162	土師器 壺	// 灰原	①(17.2) ②15.6 胴部最大径 (15.2)		口縁部内外面摩滅の為調整不明、胴部外面から底部にかけてハケ目、内面ヘラ削り。	A内外面 淡黄灰色 B砂粒やや多く含む C良好 D1/2
163	杯蓋	IV号窯 灰原	①(12.0) ②2.8 ⑧(14.4)		天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A内外面 灰色 B砂粒やや多く含む、やや粗 C良好 D1/2
164	杯蓋	// 灰原	①(13.0) ②2.2 ⑧(14.8)		天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内面 淡灰色 外面 淡赤灰色 B細粒やや含む、やや密 Cやや良好 D3/4
165	杯蓋	// 灰原	①13.5 ②2.4 ⑧15.5		天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内面 淡茶灰色 外面 淡黄灰色 B砂粒やや含む、やや粗 Cやや不良 Dほぼ完形
166	杯蓋	// 灰原	①(13.2) ②1.8 ⑧(15.0)		天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 灰色 B砂粒わずかに含む、密 C良好 D2/3
167	杯蓋	// 灰原	①12.6 ②2.1 ③2.5 ④0.6 ⑧14.9		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A内面 灰色 外面 暗灰色 B砂粒やや含む、やや密 C良好 D2/3
168	杯蓋	// 灰原	①(12.7) ②1.7 ③2.5 ④0.6 ⑧(15.0)		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A内外面 灰色 B砂粒やや含む、やや密 C良好 D2/3
169	杯蓋	// 灰原	①13.5 ②2.9 ③2.5 ④0.7 ⑧15.4		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内面 淡青灰色 外面 灰色 B砂粒わずかに含む、やや粗 C良好 D4/5
170	杯蓋	// 灰原	①13.3 ②2.7 ③2.5 ④0.6 ⑧16.6		天井部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 茶褐色 B砂粒わずかに含む、密 C不良 Dほぼ完形
171	杯蓋	// 灰原	①13.4 ②3.1 ③2.7 ④0.6 ⑧15.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 明褐色 B砂粒わずかに含む、密 Cやや不良 Dほぼ完形
172	杯蓋	// 灰原	①14.0 ②2.7 ③3.0 ④0.9 ⑧15.9		天井部外面1/2回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、つまみ周辺部回転ヘラ削り後回転ナデ、他は回転ナデ。	A内面 灰色 外面 暗灰色 B砂粒やや含む、やや密 C良好 D完形
173	杯蓋	// 灰原	①14.4 ②2.5 ③3.0 ④0.8 ⑧16.3		天井部外面回転ヘラ削り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 灰色 B砂粒多く含む、粗 C良好 D完形
174	杯蓋	// 灰原	①13.9 ②2.8 ③2.5 ④0.7 ⑧16.1		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内面 灰色 外面 青灰色 B砂粒多く含む、やや粗 C良好 D4/5
175	杯蓋	// 灰原	①14.2 ②3.3 ③2.8 ④0.8 ⑧16.5		天井部外面1/3回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 黄褐色 B砂粒多く含む、やや粗 C不良 D5/6

遺物 番号	器 種	出土地点	法量 (cm) ①最大径 ②つまみ径 ③口径 ④器高 ⑤つまみ高 ⑥最大径	手 法 の 特 徴	備 考	A 色調 B胎土 C 焼成 D 残存	
176	杯 蓋	IV号窯 灰原	①(15.8) ②3.7 ③3.1 ④0.8 ⑤(18.0)	天井部外面回転ヘラ削り、つまみと口縁端部回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D 1/2		
177	杯 蓋	// 灰原	①10.0 ②1.3	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 4/5		
178	杯 蓋	// 灰原	①10.8 ②1.1	天井部外面回転ヘラ削り、内面4/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 3/4		
179	杯 蓋	// 灰原	①10.7 ②1.1	天井部外面回転ヘラ削り、内面4/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 良好 D 3/4		
180	杯 蓋	// 灰原	①11.8 ②1.0	天井部外面回転ヘラ削り、中央部へら切り後ナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡褐色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや不良 D 2/3		
181	杯 蓋	// 灰原	①12.1 ②1.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面は口縁部を除いて不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D ほぼ完形		
182	杯 蓋	// 灰原	①(9.7) ②2.1 ③1.9 ④0.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面口縁部を除いて不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 2/3		
183	杯 蓋	// 灰原	①15.5 ②2.2 ③3.0 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D ほぼ完形		
184	杯 蓋	// 灰原	①16.2 ③2.2 ②2.7 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 茶褐色 外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 完形		
185	杯 蓋	// 灰原	①16.4 ②2.7 ③2.9 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 不良 D 4/5		
186	杯 蓋	// 灰原	①16.3 ②2.5 ③2.8 ④0.9	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D ほぼ完形		
187	杯 蓋	// 灰原	①17.4 ②3.0 ③3.2 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや不良 D 1/2		
188	杯 身	// 灰原	①9.9 ②4.3 ⑤7.5 ⑥0.4	底部外面灰かぶりの為調整不明、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 細粒わずかに含む、密 C 良好 D 2/3		
189	杯 身	// 灰原	①11.1 ②4.2 ⑤8.5 ⑥0.8	底部外面へら切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 黄灰色 外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 2/3		
190	杯 身	// 灰原	①14.1 ②4.8 ⑤10.1 ⑥1.1	底部外面へら切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C やや不良 D ほぼ完形		
191	杯 身	// 灰原	①14.5 ②6.1 ⑤10.6 ⑥1.4	底部外面へら切り後ナデ、体部下端回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D ほぼ完形		
192	杯 身	// 灰原	①14.6 ②6.1 ⑤9.7 ⑥1.0	底部外面へら切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 暗灰色 外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 完形		
193	杯 身	// 灰原	①14.7 ②3.9 ⑤11.3 ⑥0.9	底部外面へら切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡青灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 完形		
194	杯 身	// 灰原	①14.7 ②4.8 ⑤10.2 ⑥1.3	底部外面へら切り後ナデ、体部下端回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 3/4		
195	杯 身	// 灰原	①14.8 ②5.6 ⑤11.6 ⑥0.8	底部外面へら切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D ほぼ完形		
196	杯 身	// 灰原	①15.1 ②6.5 ⑤10.6 ⑥1.0	底部外面へら切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 淡黄灰色 外面 淡茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 完形		
197	杯	// 灰原	①10.0 ②3.2 底径 7.4	底部外面へら切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡青灰色 B 細粒やや含む、密 C 良好 D 1/2		
198	杯	// 灰原	①14.1 ②4.3	底部外面へら切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 不良 D 3/4		
199	皿	// 灰原	①(12.4) ②2.3	底部外面へら切り後ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内面 淡茶灰色 外面 淡明褐色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 不良 D 3/4		
200	皿	// 灰原	①16.7 ②2.8	底部外面へら切り後ナデ、口縁から底部にかけては摩滅の為調整不明、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや含む、密 C 不良 D 2/3		

遺物番号	器種	出土地点	法量 (cm)	①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑥高台高	手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
201	皿	IV号窯 灰原	①20.1 ②2.8		底部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや良好 D 3/4
202	皿	// 灰原	①(20.1) ②2.9		底部外面回転ヘラ削り、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 不良 D 1/2
203	皿	// 灰原	①(21.6) ②2.1		底部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 4/5
204	高杯	// 灰原	①15.2 ②6.3 脚端径 9.6		杯体部下端回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部内面にシボリ痕あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 3/4
205	高杯	// 灰原	①15.3 ②7.0 脚端径 (9.9)		杯体部下端回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部外面にシボリ痕あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや良好 D 5/6
206	高杯	// 灰原	①15.4 ②7.7 脚端径 10.6		杯体部下端回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部外面にシボリ痕あり。	A 内面 淡褐色 外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 3/4
207	高杯	// 灰原	①(9.1) ②5.6 脚端径 (7.0)		杯部内面2/3不定方向のナデ、1/3回転ナデ、他は灰かぶりの為調整不明。脚部内面にシボリ痕あり。	A 内面 黒色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/2
208	鉢	// 灰原	①14.9 ②6.0		底部外面手持ヘラ削り、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 4/5
209	長頸壺	// 灰原	①(12.3)		残存部内外面回転ナデ、頸部中に二条の沈線が巡る。	A 内面 灰色 外面 黒色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 口縁部から頸部にかけて1/2
210	長頸壺	// 灰原	⑤12.1 ⑥1.2 胴部最大径 18.9		胴部下端回転ヘラ削り、他は回転ナデ。肩部に刺突文を施し、その上に一条下に二条の沈線が巡る。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 胴部4/5
211	長頸壺	// 灰原	胴部最大径 21.1		外面肩部から胴部中位にかけて灰かぶりの為調整不明、下端回転ヘラ削り、底部外面ヘラ切り後ナデ、内面回転ナデ。高台が欠損。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 胴部3/4
212	鉢	// 灰原	①(25.2)		残存部内外面回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 口縁部小片
213	鉢	// 灰原	①(22.6) ②18.6 底径 14.0		底部外面ヘラ状のものでナデ、胴部下端回転ナデの後、不定方向のナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 1/3
214	壺	// 灰原	①(22.8)		口縁部内外面回転ナデ。	A 内面 暗灰色 外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 良好 D 口縁部1/4
215	壺	// 灰原	①(10.8) 胴部最大径 (25.8)		口縁部内外面回転ナデ、胴部外面平行タキの後カキ目、内面同心円文タキ。	A 内外面 灰褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 口縁部から頸部にかけて1/4
216	土師器 壺	// 灰原	①(15.4)		口縁部外面ヨコナデ、内面横方向のハケ目、胴部外面縦方向のハケ目、内面ヘラ削り。	A 内外面 暗褐色 B 砂粒多く含む C 良好 D 口縁部から胴部にかけて1/3
217	土師器 甌	// 灰原	①(34.4)		残存部外面摩滅の為調整不明、内面ヘラ削り、他はヨコナデ。	A 内外面 淡明褐色 B 砂粒わずかに含む C 良好 D 小片
218	杯蓋	V号窯 灰原	①(11.1) ②1.4 ③2.2 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/2
219	杯蓋	// 灰原	①15.1 ②2.6 ③2.4 ④0.4		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 4/5
220	杯蓋	// 灰原	①15.4 ②2.1 ③2.2 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 青灰色 B 細粒やや含む、やや密 C 良好 D 5/6
221	杯蓋	// 灰原	①(15.6) ②3.6 ③2.8 ④0.6		天井部外面1/2回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 2/3
222	杯蓋	// 灰原	①(16.0) ②2.5 ③2.6 ④0.4		天井部外面回転ヘラ削り、内面口縁部を除いて不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 茶灰色 外面 淡明褐色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや不良 D 1/2
223	杯蓋	// 灰原	①16.7 ②2.6 ③2.8 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面口縁部を除いて不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや不良 D ほぼ完形
224	杯蓋	// 灰原	①19.7 ②3.1 ③2.8 ④0.8		天井部外面1/2回転ヘラ削り、内面4/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D ほぼ完形
225	杯蓋	// 灰原	①20.6 ②3.5 ③3.3 ④0.5		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 淡褐色 外面 暗灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 2/3

遺物 番号	器 種	出土地点	法量 (cm)	①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑥高台高	手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
226	杯 蓋	V号窯 灰原	①20.9 ②3.8 ③2.8 ④0.7		残存部内外面摩滅の為調整不明。	A 内面 淡明褐色 外面 暗灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 2/3
227	杯 蓋	// 灰原	①21.3 ②3.3 ③2.9 ④0.8		天井部外面回転ヘラ削り、他は摩滅の為調整不明。	A 内面 淡明褐色 外面 暗灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 5/6
228	杯 身	// 灰原	①11.7 ②3.3 ⑤8.4 ⑥0.5		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 3/4
229	杯 身	// 灰原	①13.5 ②4.2 ⑤10.1 ⑥0.7		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡褐色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C やや不良 D 3/4
230	杯 身	// 灰原	①13.6 ②3.9 ⑤9.2 ⑥0.4		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 完形
231	杯 身	// 灰原	①14.6 ②4.4 ⑤9.4 ⑥0.4		底部外面ヘラ切り後ナデ、体部下端回転ヘラ削り、内面3/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 完形
232	杯 身	// 灰原	①14.9 ②4.3 ⑤9.6 ⑥0.5		底部外面ヘラ切り後ナデ、体部下端回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや不良 D ほろぼ形
233	杯 身	// 灰原	①14.8 ②4.4 ⑤10.0 ⑥0.4		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 完形
234	杯 身	// 灰原	①15.0 ②4.5 ⑤10.9 ⑥0.5		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 2/3
235	杯 身	// 灰原	①(17.9) ②6.2 ⑤(12.2) ⑥0.5		底部外面ヘラ切り後ナデ、体部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 茶灰色 外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 1/2
236	杯 身	// 灰原	①18.4 ②6.1 ⑤12.4 ⑥0.5		残存部内外面摩滅の為調整不明。	A 内面 淡黄灰色 外面 黒色 B 細粒やや含む、密 C 不良 D 1/2
237	杯 身	// 灰原	①18.1 ②5.0 ⑤13.4 ⑥0.5		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。内面灰かぶり。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 2/3
238	杯 身	// 灰原	①18.2 ②5.7 ⑤13.4 ⑥0.6		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 茶灰色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや不良 D 1/2
239	蓋	// 灰原	①13.6 ②3.5 ③2.6 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 3/4
240	杯	// 灰原	①14.1 ②3.9		底部外面ヘラ切り未調整、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 完形
241	杯	// 灰原	①14.4 ②3.3		底部外面ヘラ切り後ナデ、一部ヘラ状のものでナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 2/3
242	皿	// 灰原	①(15.9) ②3.1		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/2
243	皿	// 灰原	①(17.6) ②2.6		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 青灰色 外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 3/4
244	皿	// 灰原	①17.8 ②2.6		底部外面ヘラ切り未調整、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 湖灰白色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 2/3
245	皿	// 灰原	①17.9 ②3.0		底部外面ヘラ切り未調整、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 不良 D 1/2
246	皿	// 灰原	①19.5 ②3.0		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 1/2
247	高 杯	// 灰原	脚端径 11.0		杯部内面不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 暗灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 良好 D 脚部のみ残存
248	高 杯	// 灰原	①(21.0) ②7.9 脚端径 (11.8)		杯体部下端回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 淡黄灰色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/2
249	高 杯	// 灰原	①(25.4)		杯体部下端1/2回転ナデ、1/2回転ヘラ削り、内面4/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 杯部1/2
250	高 杯	// 灰原	①(26.7) ②13.7 脚端径 13.4		杯体部下端1/2回転ナデ、1/2回転ヘラ削り、内面5/6不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部内外面にシボリ痕あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 2/5

遺物番号	器種	出土地点	法量①口径 (cm)	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
251	甕	IV号窯 灰原	①(20.6) 胴部最大径 (49.6)	口縁部内外面回転ナデ、胴部外面格子目タタキ、内面同心円文タタキ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 口縁部から胴部にかけて小片
252	甕	// 灰原	①(26.0) 胴部最大径 (48.4)	口縁部内外面回転ナデ、胴部外面格子目タタキ、内面同心円文タタキ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 口縁部から胴部にかけて1/5
253	甕	// 灰原	①(43.6)	口縁部外面波状文、その上下に三段の沈線がめぐる。肩部外面平行タタキ、内面同心円文タタキ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 口縁部から肩部にかけて小片

### 63地点

遺物番号	器種	出土地点	法量①口径 ②器高 (cm) ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑦受部径	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
1	蓋	1号窯 B床面	①11.7 ②4.5 ③2.8 ④0.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 1/2
2	蓋	// B床面	①12.6 ②4.9 ③2.7 ④0.9	天井部外面カキ目、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ、口縁部に刻目を施す。ヘラ記号あり。	A 内面 淡灰色 外面 淡茶灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや不良 D 3/4
3	蓋	// C床面	①(13.4) ②4.7 ③2.6 ④0.5	天井部外面カキ目、内面2/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 暗茶灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 3/4
4	杯蓋	// 焼成埋土(土)	①11.2 ②4.3	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内面 灰色 外面 茶灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 3/4
5	杯蓋	// B床面	①12.0 ②4.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 細粒やや含む、やや粗 C 良好 D 完形
6	杯蓋	// B床面	①12.2 ②3.9	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 暗青灰色 B 細粒多く含む、密 C 良好 D 3/4
7	杯蓋	// B床面	①12.2 ②4.2	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡青灰色 B 砂粒やや含む、密 C やや良好 D 完形
8	杯蓋	// B床面	①12.6 ②4.3	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内面 淡緑灰色 外面 暗灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 2/3
9	杯蓋	// B床面	①13.0 ②3.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや良好 D 1/2
10	杯蓋	// B床面 焚口	①13.7 ②4.5	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 3/4
11	杯身	// 焚口	①(10.8) ②3.8 ⑦(13.0)	底部外面灰かぶりの為調整不明、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 暗紫灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/2
12	杯身	// C床面	①(10.8) ②3.9 ⑦(12.8)	底部外面回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	A 内面 紫褐色 外面 暗灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/2
13	杯身	//	①(11.2) ②4.5 ⑦(13.4)	底部外面回転ヘラ削り、他は摩滅の為調整不明。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 不良 D 1/3
14	椀	// 焚口A床面	①(12.1)	体部外面下端回転ヘラ削り、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内面 淡灰色 外面 淡茶灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや不良 D 1/3
15	高台付椀	// C床面	①14.4 ②7.2 ⑥7.8	外面口縁部カキ目、体部ヘラ削り後カキ目、底部ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、体部に二条の沈線が巡る。	A 内外面 暗茶褐色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D ほぼ完形
16	甌	// B床面	①(11.5) ②14.2 胴部最大径 9.6	口縁部外面から頸部回転ナデ、胴部から底部回転ヘラ削り、胴部二条の沈線間に圧痕文を施す、内面回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡灰色 B 細粒やや含む、やや粗 C やや不良 D 3/4
17	甌	// B床面	①(10.5) ②13.9 胴部最大径 (9.5)	口縁部外面カキ目、頸部カキ目の後回転ナデ、胴部上位カキ目、胴部中位から底部回転ヘラ削り、胴部二条の沈線間に圧痕文を施す。	A 内面 灰色 外面 淡茶灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 4/5
18	甌	// 焚口B床面	①10.5 ②14.3 胴部最大径 8.8	口縁部外面から頸部回転ナデ、一部カキ目、胴部から底部回転ヘラ削り、胴部二条の沈線間に圧痕文を施す。内面回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 5/6
19	脚付短頸甌	// C床面	①8.2 ②14.3 胴部最大径 12.7 脚端径 10.2	胴部下端カキ目、内面1/5不定方向のナデ、他は回転ナデ、胴部に二条の沈線が巡る。ヘラ記号あり。	A 内外面 紫褐色 B 砂粒多く含む、密 C 良好 D ほぼ完形
20		// C床面	①(8.5)	口縁部内外面回転ナデ、三条の沈線が巡る。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 口縁部1/3

遺物番号	器種	出土地点	法量 ①口径 ②器高 ③つまり径 ④つまり高 ⑤受部径 (cm)	手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
21	高杯	I号窯 B床面	①12.3 ②15.9 ⑦14.7 脚端径 (13.0)	杯体部下端外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部に二条の沈線が巡る。	A 内外面 淡灰白色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや不良 D 5/6
22	高杯	// B床面	①10.2 ②9.0 ⑦12.4 脚端径 10.0	杯体部下端回転ヘラ削り、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 淡灰色 外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 2/3
23	高杯	// B床面	①10.6 ②9.3 ⑦12.9 脚端径 10.7	杯体部下端カキ目、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部内面シボリ痕あり。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 完形
24	高杯	// B床面	①10.8	残存部内外面回転ナデ。杯部に二条の沈線が巡る。ヘラ記号あり。	A 内外面 青灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや良好 D 杯部3/4
25	高杯	// B床面	①(11.7) ②12.5 脚端径 (9.9)	杯体部下端カキ目、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部外面シボリ痕あり。ヘラ記号あり。	A 内外面灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C やや不良 D 2/3
26	高杯	// B床面	脚端径 (11.8)	脚部内外面回転ナデ、一部カキ目、三方向に三角形の透し。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや良好 D 脚部3/4
27	高杯	// B床面	①(10.8) ②11.0 脚端径 (9.7)	杯体部下端カキ目、内面1/3不定方向のナデ、脚部外面カキ目の後回転ナデ、他は回転ナデ。杯部に二条の沈線が巡る。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや不良 D 1/2
28	高杯	// C床面	①10.2 ②12.4 脚端径 9.4	杯体部下端から脚部にかけてカキ目、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。杯部に一条の沈線が巡る。ヘラ記号あり。	A 内面 茶褐色 外面 暗茶褐色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 4/5
29	高杯	// C床面	①(10.8) ②12.2 脚端径 9.3	杯体部下端カキ目、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。杯部と脚部に二条の沈線が巡る。脚部外面灰かぶり。	A 内面 暗茶灰色 外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 2/3
30	高杯	// C床面	①11.1 ②12.8 脚端径 9.5	杯体部下端から脚部にかけてカキ目、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。焼きひずんでいる。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 良好 D 5/6
31	高杯	// C床面	①(11.4) ②12.3 脚端径 10.8	杯体部下端、脚部下端カキ目、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。脚部に二条の沈線が巡る。ヘラ記号あり。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 2/3
32	高杯	// C床面	①10.2 ②13.8 脚端径 9.8	杯体部下端、脚部下端カキ目、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。杯部と脚部に二条の沈線が巡る。	A 内外面 暗茶灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 4/5
33	横瓶	// 焚口B床面	①11.8	口縁部内外面回転ナデ、胴部外面平行タタキの後縦方向のカキ目、内面同心円文タタキ。	A 内面 褐色 外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 口縁部から胴部にかけて1/3
34	壺	// B床面	①15.4	口縁部内外面回転ナデ、肩部外面平行タタキの後カキ目、内面同心円文タタキ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 口縁部から肩部にかけて1/2
35	壺	// C床面	①(26.6)	口縁部外面斜線連続文、他は回転ナデ。口縁部下端一条の沈線が巡る。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 口縁部小片
36	壺	// B床面	①(24.4)	口縁部外面斜線連続文を施し、その下に二条の沈線が巡る。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 口縁部小片
37	壺	// 焚口	①(27.0)	口縁部内外面回転ナデ、胴部外面平行タタキの後横方向のナデ、内面同心円文タタキ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 口縁部小片
38	壺	// 焚口AB床面	①14.6 胴部最大径 (26.6)	口縁部内外面回転ナデ、胴部外面平行タタキの後カキ目、内面同心円文タタキ。ヘラ記号あり。	A 内面 淡茶灰色 外面 淡灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 口縁部から胴部にかけて1/3
39	壺	// B床面	①14.7 胴部最大径 (26.8)	口縁部内外面回転ナデ、胴部外面平行タタキの後カキ目、内面同心円文タタキ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 口縁部から胴部にかけて1/2
40	壺	// 焚口B床面	①15.9 ②31.2 胴部最大径 29.5	口縁部内外面回転ナデ、胴部外面平行タタキの後カキ目、内面同心円文タタキ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D ほぼ完形
41	壺	// B床面	①19.9	口縁部外面縦方向のカキ目、内面回転ナデ、胴部外面平行タタキの後カキ目、内面同心円文タタキ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや良好 D 口縁部から胴部にかけて1/4
42	壺	// B床面	①23.1	口縁部内外面回転ナデ、胴部外面タタキの後カキ目、内面同心円文タタキ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 口縁部から胴部にかけて残存
43	土師器 壺	// A床面	①15.0 ②15.1 胴部最大径 12.5	口縁部内外面ヨコナデ、胴部外面縦方向のハケ目、内面ヘラ削り。	A 内外面 明褐色 B 砂粒多く含む C やや良好 D 完形
44	杯蓋	II号窯 焼成部床面	①(11.8) ②3.1 ③3.1 ④0.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 1/2
45	杯蓋	// 焼成部埋土	①13.9 ②2.7 ③2.9 ④0.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D ほぼ完形

遺物番号	器種	出土地点	法量 (cm)	①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑥高台高	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
46	杯蓋	II号窯 焼成部	①16.4 ②3.6 ③3.5 ④0.8		天井部外面回転ヘラ削り、内面摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 不良 D 4/5
47	杯蓋	// 埋土	①16.6 ②3.2 ③3.4 ④0.8		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 黄褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D ほぼ完形
48	杯蓋	// 埋土	①16.9 ②3.7 ③3.2 ④0.8		天井部外面回転ヘラ削り、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 完形
49	杯蓋	// 埋土	①16.6 ②3.6 ③3.5 ④0.8		天井部外面回転ヘラ削り、内面不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 2/3
50	杯蓋	// 焼成部埋土	①17.0 ②3.8 ③3.0 ④0.9		天井部外面回転ヘラ削り、内面3/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D ほぼ完形
51	杯蓋	// 埋土	①16.9 ②3.5 ③3.2 ④0.9		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 黄褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 2/3
52	杯蓋	// 埋土	①17.0 ②3.5 ③3.5 ④0.9		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 4/5
53	杯蓋	// 焼成部埋土	①(17.0) ②3.5 ③3.0 ④0.9		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 1/2
54	杯蓋	// 埋土	①17.1 ②3.7 ③2.9 ④0.9		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 2/3
55	杯蓋	// 焼成部埋土	①17.5 ②3.4 ③3.2 ④0.9		天井部外面回転ヘラ削り、他は回転ナデ。内面摩滅の為調整不明。	A 内外元 明褐色 B 細粒わずかに含む、やや粗 C 不良 D 3/4
56	杯身	// 焼成部床面	①(13.5) ②4.0 ⑤8.4 ⑥0.8		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/2
57	杯身	// 埋土	①15.8 ②6.0 ⑤11.0 ⑥0.7		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 3/4
58	杯身	// 埋土	①(15.6) ②6.1 ⑤(10.2) ⑥0.7		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 1/3
59	杯身	// 埋土	①16.3		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。高台は欠損。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 3/4
60	杯身	// 埋土	①(15.5) ②6.3 ⑤10.4 ⑥0.8		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 1/2
61	杯身	// 埋土	①15.8		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 3/4
62	杯身	// 埋土	①16.1 ②6.5 ⑤11.6 ⑥0.8		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D ほぼ完形
63	杯身	// 埋土	①(16.3)		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 1/2
64	杯蓋	I号窯 焚口	①10.2 ②2.6		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 2/3
65	杯蓋	// 焼成部埋土	①12.7 ②2.6 ③2.6 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 暗灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 完形
66	杯蓋	// 焼成部埋土(床)	①(12.7) ②2.8 ③1.7 ④0.8		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 1/3
67	杯蓋	// A床面	①12.6 ②3.3 ③1.6 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 茶褐色 外面 青灰色 B 砂粒やや含む、粗 C やや不良 D ほぼ完形
68	杯蓋	// 焼成部埋土	①12.8 ②3.0 ③2.7 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 完形
69	杯蓋	// 焼成部埋土(床)	①12.5 ②3.3 ③2.8 ④1.0		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶褐色 B 砂粒多く含む、やや密 C 良好 D ほぼ完形
70	杯蓋	// 焼成部埋土(床)	①13.0 ②3.4 ③2.4 ④0.8		天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 淡灰色 外面 淡茶灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 不良 D ほぼ完形

遺物番号	器種	出土地点	法量 ①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑥高台高	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
71	杯蓋	I号窯 焼成部埋土	①12.9 ②2.9 ③2.8 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内面 褐色 外面 灰色 B砂粒やや多く含む、やや粗 C良好 D1/2
72	杯蓋	// A床面	①(13.4) ②3.1 ③2.8 ④0.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 茶褐色 B細粒多く含む、粗 C不良 D2/3
73	杯蓋	// 焼成部埋土(床)	①13.9 ②2.3 ③3.2 ④0.9	天井部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内面 灰色 外面 黒灰色 B砂粒多く含む、粗 C良好 D2/3
74	杯蓋	// 焼成部埋土(床)	①(10.9) ②1.7	天井部外面回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	A内外面 茶褐色 B砂粒多く含む、やや粗 Cやや不良 D1/3
75	杯蓋	// 焼成部埋土	①17.5 ②3.2 ③3.2 ④1.0	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 赤褐色 B細粒やや含む、やや密 C不良 D2/3
76	杯身	// 焼成部埋土(床)	①(13.2) ②5.1 ⑤(9.1) ⑥1.2	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内面 明褐色 外面 淡灰色 B砂粒多く含む、やや粗 Cやや良好 D3/4
77	杯身	// A床面	①13.9 ②4.7 ⑤9.8 ⑥1.2	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 暗灰色 B砂粒やや含む、密 C良好 D完形
78	杯身	// 焼成部埋土(床)	①(14.2) ②5.0 ⑤9.1 ⑥0.8	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A内外面 灰色 B砂粒多く含む、やや粗 Cやや良好 D3/4
79	杯身	// 焼成部埋土	①14.4 ②5.3 ⑤9.8 ⑥1.4	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 灰色 B砂粒多く含む、粗 Cやや良好 D2/3
80	杯身	// A床面	①15.6 ②5.5 ⑤10.7 ⑥0.7	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 青灰色 B砂粒多く含む、やや密 C良好 D完形
81	杯身	// 焼成部埋土	①16.1 ②6.3 ⑤12.4 ⑥0.8	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A内外面 明褐色 B細粒わずかに含む、やや密 C不良 D3/4
82	高杯	// 焼成部埋土	①(15.7) ②7.4 脚端径 (10.8)	杯体部下端回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 淡灰色 B砂粒多く含む、粗 C良好 D2/3
83	杯蓋	灰原	①(12.2) ②3.5	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A内外面 灰色 B砂粒わずかに含む、密 C良好 D1/2
84	杯蓋	灰原	①(12.4) ②3.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A内外面 暗灰色 B砂粒わずかに含む、密 C良好 D1/2
85	杯蓋	灰原	①(12.4) ②3.9	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A内面 淡緑灰色 外面 淡褐色 B砂粒やや含む、やや密 Cやや良好 D3/4
86	杯蓋	灰原	①(12.3) ②4.2	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 灰色 B砂粒やや多く含む、やや粗 C良好 D1/5
87	杯蓋	灰原	①13.1 ②4.1	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A内外面 灰色 B砂粒多く含む、粗 C良好 D3/4
88	杯蓋	灰原	①(13.4) ②4.4	内面1/5不定方向のナデ、他は摩滅の為調整不明。ヘラ記号あり。	A内外面 淡黄灰色 B砂粒わずかに含む、密 C不良 D1/3
89	杯蓋	灰原	①(13.0) ②4.3	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 淡灰白色 B砂粒やや含む、やや密 Cやや不良 D1/2
90	杯身	灰原	①10.6 ②3.6 ⑦12.0	底部外面回転ヘラ削り、内面1/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A内外面 淡灰色 B砂粒多く含む、粗 Cやや良好 Dほぼ完形
91	杯身	灰原	①(10.6) ②4.5 ⑦(13.0)	底部外面回転ヘラ削り、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 黒色 B砂粒やや含む、密 C良好 D1/2
92	杯身	灰原	①(11.3) ②4.4 ⑦(13.3)	底部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、1/2回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A内外面 淡灰白色 B砂粒多く含む、密 C不良 D1/4
93	杯身	灰原	①(11.1) ②(13.3)	残存部外面1/2回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	A内面 淡黄灰色 外面 淡茶灰色 B砂粒やや含む、やや密 Cやや不良 D1/4
94	杯身	灰原	①11.6 ②13.8	残存部外面1/2回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	A内外面 灰色 B砂粒わずかに含む、密 C良好 D1/3
95	杯身	灰原	①(11.8) ②3.6 ⑦13.8	底部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A内外面 灰色 B砂粒多く含む、粗 C良好 D1/3

遺物 番号	器 種	出土地点	法量 (cm) ①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑥高台高	手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
96	杯 身	灰原	①(12.0) ⑦(14.3)	残存部内外面回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 細粒多く含む、やや粗 C 不良 D 1/3
97	高 杯	灰原	①9.9	杯体部回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、1/3回転ナデ、他は灰かぶりの為調整不明。	A 内面 灰色 外面 黒色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 杯部3/4
98	高 杯	灰原	①12.2 ⑦14.5	杯体部下端回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 杯部3/4
99	椀	灰原	①8.6	残存部内外面回転ナデ、残存部下端三条の沈線が巡る。	A 内面 青灰色 外面 淡灰色 B 細粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/4
100	蓋	灰原	①14.2 ②3.0	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡茶灰色 B 細粒多く含む、やや密 C やや良好 D 3/4
101	杯 蓋	灰原	①(12.9) ②2.5	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 暗灰色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/2
102	杯 蓋	灰原	①12.1 ②2.9 ③2.8 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 細粒わずかに含む、やや粗 C 良好 D ほぼ完形
103	杯 蓋	灰原	①13.3 ②3.0 ③2.8 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 淡灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや不良 D ほぼ完形
104	杯 蓋	灰原	①13.3 ②3.0 ③2.9 ④0.9	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 茶灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや不良 D 完形
105	杯 蓋	灰原	①13.3 ②2.7 ③2.6 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 1/2
106	杯 蓋	灰原	①(13.6) ②2.5 ③2.6 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/2
107	杯 蓋	灰原	①13.9 ②2.1 ③2.4 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗茶褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D ほぼ完形
108	蓋	灰原	①7.2 ②2.4	天井部外面回転ヘラ削り、中央ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D ほぼ完形
109	蓋	灰原	①10.6 ②1.8 ③2.3 ④0.5	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、密 C 良好 D 2/3
110	杯 身	灰原	①(12.8) ②4.6 ⑤(8.9) ⑥1.0	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/3
111	杯 身	灰原	①(13.4) ②5.2 ⑤8.6 ⑥1.1	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内面 灰色 外面 淡褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや不良 D 1/2
112	杯 身	灰原	①14.5 ②4.7 ⑤9.8 ⑥1.2	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや良好 D 4/5
113	杯 身	灰原	①(14.5) ②4.6 ⑤(9.6) ⑥1.1	底部外面ヘラ切り後ナデ、体部下端回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 1/2
114	高 杯	灰原	脚端径 10.8	杯体部下端回転ヘラ削り、内面不定方向のナデ、回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや良好 D 1/2
115	壺	灰原	①(13.0)	口縁部内外面回転ナデ、肩部外面平行タキのあとカキ目、内面同心円文タキ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 口縁部から肩部にかけて小片
116	壺	灰原	①(18.3)	口縁部内外面回転ナデ、肩部外面カキ目の後格子目タキ、内面同心円文タキ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 口縁部から肩部にかけて小片
117	壺	灰原	①(32.0)	口縁部外面斜線連続文を施しその下に二条の沈線が巡る。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 口縁部小片
118	壺	灰原	①(37.1)	口縁部外面斜線連続文を施しその下に二条の沈線が巡る。内面回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 良好 D 口縁部小片

65地点

遺物番号	器種	出土地点	法量 ①口径 ②器高 (cm) ③受部径 ④最大径	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
1	杯蓋	I号窯床面	①13.1 ②4.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 完形
2	杯身	// 床面	①11.7 ②4.0 ⑦14.0	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 良好 D 完形
3	杯蓋	// 床面	①13.4 ②4.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。口縁端部刻目。ヘラ記号あり。	A 内面 淡黄灰色 外面 淡灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 完形
4	杯身	// 床面	①11.9 ②4.2 ⑦14.0	底部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡灰白色 B 細粒やや含む、やや粗 C やや不良 D 完形
5	杯蓋	// 床面	①12.8 ②4.1	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C やや良好 D ほぼ完形
6	杯身	// 床面	①11.6 ②4.0 ⑦13.8	底部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内面 緑灰色 外面 青灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C やや良好 D ほぼ完形
7	杯蓋	// 本体埋土	①12.6 ②4.2	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C やや良好 D 2/3
8	杯蓋	// 本体二床面	①(11.8) ②4.0	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 良好 D 1/5
9	杯蓋	// 本体埋土	①(11.3) ②3.1	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 暗茶褐色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 2/3
10	杯蓋	// 本体II~III床面	①(11.5) ②3.9	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C 良好 D 2/3
11	杯蓋	// 本体埋土	①(11.3) ②3.4	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/2
12	杯蓋	// 焼成部II~III床間埋土	①(11.4)	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 1/4
13	杯蓋	// 本体II~III床面	①(8.2) ②2.6 ⑧(10.6)	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内面 青灰色 外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 1/2
14	杯身	// 本体埋土	①(11.8) ②3.5 ⑦(13.4)	底部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡黄褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 1/4
15	杯身	// 本体II~III床面	①11.6 ②3.8 ⑦13.6	底部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、密 C 良好 D ほぼ完形
16	杯身	// 本体埋土	①(10.6) ②3.5 ⑦(13.0)	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内面 淡青灰色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/5
17	杯身	// II床面上	①(11.0) ②3.7 ⑦(13.1)	底部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D 1/5
18	杯身	// 煙道最上部	①(10.0) ②3.5 ⑦(12.4)	残存部内外面摩滅の為調整不明。	A 内外面 黄灰色 B 細粒やや含む、粗 C 不良 D 1/3
19	杯身	// 本体I~IV床面	①(10.0) ②3.8 ⑦(12.0)	底部外面ヘラ切り未調整、内面1/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 明茶褐色 B 砂粒やや含む、粗 C やや不良 D 3/4
20	杯身	// 煙道最上部	①(9.9) ②(12.0)	残存部内外面摩滅の為調整不明。	A 内外面 黄灰色 B 細粒やや含む、粗 C 不良 D 1/3
21	杯身	// 本体埋土	①(9.9) ②3.9 ⑦(11.8)	底部外面ヘラ切り未調整、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶褐色 B 細粒やや含む、やや密 C 良好 D 2/3
22	壺	// 床面	①8.1 ②6.1 胴部最大径 10.2	底部外面回転ヘラ削り、内面中央不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 完形
23	鉢	// II~III床間埋土	①(11.0)	残存部外面一部カキ目、他は回転ナデ。体部に一条の沈線が巡る。	A 内面 暗黒灰色 外面 暗青灰色 B 細粒やや含む、やや密 C やや良好 D 口縁部小片
24	鉢	// 本体埋土	①(11.8)	残存部外面下端回転ヘラ削り、他は回転ナデ。体部に三条の沈線が巡る。	A 内外面 淡灰白色 B 細粒わずかに含む、粗 C 不良 D 1/4
25	蓋	// II~III床間埋土	①(9.8) ②3.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや良好 D 1/3

遺物番号	器種	出土地点	法尺 ①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 (cm) ⑤受部径 ⑥最大径	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
26	高杯	1号窯 本体二床面	①(12.0)	残存部内外面回転ナデ。杯体部に二条の沈線が巡る。	A 内外面 灰色 B 細粒やや含む、密 C 良好 D 折部小片
27	高杯	// 本体埋土	脚端径 (6.8)	杯部内面ナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 青灰色 B 細粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/2
28	高杯	// 焼成部II~III 床間埋土	脚端径 9.8	残存部外面一部カキ目、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや良好 D 脚部 3/4
29	甕	// 本体埋土		口縁部内外面回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 口縁部小片
30	甕	// 本体左II~ III床面		残存部外面下端斜線連続文、他は回転ナデ。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 口縁部小片
31	甕	// 本体埋土		口縁部内外面回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 口縁部小片
32	甕	// 本体II~III床面	①(16.2)	口縁部内外面回転ナデ。	A 内面 黒灰色 外面 青灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C 良好 D 口縁部小片
33	杯蓋	// 灰原	①12.6 ②4.1	天井部外面回転ヘラ削り、内面中央不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内面 灰色 外面 暗灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D ほぼ完形
34	杯蓋	// 灰原	①12.1 ②4.1	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内面 黄灰色 外面 黒灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや不良 D 完形
35	杯蓋	// 灰原	①(11.4) ②3.6	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡緑灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 2/3
36	杯蓋	// 灰原	①11.3 ②3.2	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C やや良好 D 2/3
37	杯蓋	// 灰原	①(11.1) ②3.1	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 1/2
38	杯蓋	// 灰原	①(11.2) ②3.1	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/3
39	杯蓋	// 灰原	①(11.0) ②3.4	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面3/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C やや良好 D 2/3
40	杯蓋	// 灰原	①(10.8) ②3.7	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面中央不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 茶褐色 B 砂粒わずかに含む、やや粗 C やや良好 D 完形
41	杯蓋	// 灰原	①(10.8) ②2.9	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/3
42	杯蓋	// 灰原	①10.9 ②3.4	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや粗 C やや良好 D 2/3
43	杯蓋	// 灰原	①(10.2) ②3.0	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、粗 C やや不良 D 1/3
44	杯蓋	// 灰原	①(8.6) ②3.4 ③0.9 ④0.8 ⑤(10.7)	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 茶灰色 B 灰色 C 砂粒わずかに含む、密 D やや良好
45	杯身	// 灰原	①(10.4) ②3.9 ⑦(12.5)	底部外面手持ち回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 良好 D 1/2
46	杯身	// 灰原	①9.9 ②3.1 ⑦12.2	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 黄褐色 B 砂粒多く含む、やや密 C 不良 D ほぼ完形
47	杯身	// 灰原	①10.2 ②3.1 ⑦12.2	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 淡黄褐色 B 砂粒やや含む、密 C 不良 D ほぼ完形
48	杯身	// 灰原	①9.6 ②3.3 ⑦11.9	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや良好 D ほぼ完形
49	杯身	// 灰原	①(9.7) ⑦(11.8)	底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 良好 D 1/4
50	杯身	// 灰原	①(9.6) ②2.9 ⑦(11.6)	底部外面ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。ヘラ記号あり。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 1/2

遺物番号	器種	出土地点	法量 ①口径 ②器高 (cm) ③受部径	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
51	杯身	I号窯 灰原	①(9.2) ②2.7 ⑦(11.4)	底部外面へラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 1/3
52	杯身	// 灰原	①(9.3) ⑦(11.6)	口縁部内外面回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 灰褐色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや不良 D 1/2
53	杯	// 灰原	①9.3 ②3.9	底部外面回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。へラ記号あり。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや含む、粗 C やや不良 D 4/5
54	杯	// 灰原	①(10.2) ②4.0	底部外面回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 2/3
55	甕	// 灰原	①(12.3)	口縁部内外面回転ナデ。口縁部下端に一条の沈線が巡る。	A 内外面 淡褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや不良 D 口縁部小片
56	高杯	// 灰原	①(8.2)	杯部外面回転ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。へラ記号あり。	A 内面 暗灰色 外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、密 C 良好 D 杯部1/2
57	高杯	// 灰原	①(10.6)	杯部下端灰かぶりの為調整不明、他は回転ナデ。	A 内外面 暗黒灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 杯部1/3
58	高杯	// 灰原	①(11.5)	杯部内面1/2灰かぶりの為調整不明、他は回転ナデ。	A 内面 黄灰色 外面 暗灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 杯部1/3
59	高杯	// 灰原	①(11.4)	杯部口縁部から体部にかけて回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 黄褐色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 不良 D 杯部1/3
60	鉢	// 灰原	底径 16.8	残存部外面下端から底部にかけて回転へラ削り、内面下端不定方向のナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄褐色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 不良 D 底部のみ残存
61	短頸壺	// 灰原	①(8.7) 胴部最大径 (17.4)	残存部内面下端不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗紫灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 1/5
62	甕	// 灰原	①11.6	口縁部内外面回転ナデ、肩部外面灰かぶりの為調整不明、内面ナデ。	A 内外面 暗黒灰色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 口縁部のみ残存
63	甕	// 灰原	①(14.1)	残存部内外面回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや不良 D 口縁部から肩部にかけて1/5
64	甕	// 灰原	①(25.2)	口縁部内外面回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 口縁部小片
65	甕	// 灰原	①(36.3)	口縁部外面三条の沈線間に一段の連続斜線文が施されている。他は回転ナデ。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 良好 D 口縁部1/6

## 66地点

遺物番号	器種	出土地点	法量 ①口径 ②器高 (cm) ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤最大径	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
1	杯蓋	I号窯 床直	①(7.9) ②2.8 ③1.1 ④0.8 ⑤10.0	天井部外面回転へラ削り、他は回転ナデ。	A 内面 淡灰色 外面 茶灰色 B 細粒わずかに含む、粗 C やや不良 D 1/2
2	杯蓋	// 床直	①(15.5) ②2.9 ③2.6 ④0.8	口縁部内外面不定方向のナデ、内面不定方向のナデ、他は摩滅の為調整不明。天井部外面摩滅の為調整不明、内面、口縁部を除いて不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 黄灰色 B 砂粒やや含む、粗 C やや良好 D 2/3
3	杯蓋	// 床直	①(15.7) ②2.8 ③2.2 ④0.7	天井部外面ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、粗 C 良好 D 1/3
4	杯身	// 本体埋土	①(13.6) ②4.8	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、粗 C 不良 D 2/3
5	杯身	// 本体埋土	①(13.9) ②4.3	底部外面へラ切り後ナデ、体部下端から高台にかけて回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、粗 C 不良 D 1/3
6	杯身	// 本体埋土	①(13.9) ②4.5	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、粗 C 不良 D 3/4
7	杯蓋	SK01 埋土	①(11.2)	天井部外面回転へラ削り、他は回転ナデ。	A 内外面 青灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 1/4
8	杯蓋	SK01 埋土	①(15.8) ②2.0 ③2.5 ④0.5	天井部外面回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 1/2

遺物番号	器種	出土地点	法量 (cm) ①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤最大径	手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
9	平瓶	SK01 床面	①7.9 ②15.0 底径 10.6 胴部最大径 17.6	底部外面ナデ、胴部外面中位から下端にかけて回転ヘラ削り、一部手持ちヘラ削り、他は回転ナデ。口縁部に二条の沈線が巡る。ヘラ記号あり。	A 内外面 暗茶褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 完形
10	横瓶	SK01 床面	①11.0 ②25.4 胴部最大径 31.6	口縁部内外面回転ナデ、外面肩部から底部にかけて格子目タタキ。内面同心内文タタキ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C 不良 D 2/3
11	杯蓋	1号窯 灰原	①12.9 ②2.8 ③2.9 ④0.8 ⑤15.2	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 青灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 2/3
12	杯蓋	// 灰原	①12.4 ②3.5 ③2.7 ④0.9 ⑤14.9	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 茶褐色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C やや良好 D 2/3
13	杯蓋	// 灰原	①13.0 ②3.0 ③2.6 ④0.9 ⑤15.2	天井部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D ほぼ完形
14	杯蓋	// 灰原	①12.4 ②3.1 ③2.9 ④0.8 ⑤15.2	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや不良 D 3/4
15	杯蓋	// 灰原	①12.9 ②3.3 ③2.9 ④0.8 ⑤15.3	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/2
16	杯蓋	// 灰原	①12.8 ②3.2 ③3.0 ④1.0 ⑤15.4	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 茶褐色 外面 暗茶褐色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 1/2
17	杯蓋	// 灰原	①13.3 ②3.4 ③(2.8) ④0.9 ⑤15.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/2
18	杯蓋	// 灰原	①13.5 ②2.6 ③2.9 ④0.9 ⑤16.0	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡青灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D ほぼ完形
19	杯蓋	// 灰原	①14.3 ②2.8 ③3.0 ④0.9 ⑤16.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや多く含む、密 C 良好 D 4/5
20	杯蓋	// 灰原	①(12.8) ②3.2 ③3.0 ④0.7 ⑤(15.6)	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや不良 D 3/4
21	杯蓋	// 灰原	①13.1 ②3.2 ③2.7 ④0.8 ⑤15.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 淡黄灰色 外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 完形
22	杯蓋	// 灰原	①13.7 ②3.3 ③2.8 ④0.9 ⑤16.3	天井部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 良好 D 3/4
23	杯蓋	// 灰原	①10.3 ②2.1	天井部外面回転ヘラ削り、一部ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 暗青灰色 外面 灰色 B 細粒わずかに含む、密 C 良好 D 完形
24	杯蓋	// 灰原	①10.3 ②1.5	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 青灰色 外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、やや密 C 良好 D 完形
25	杯蓋	// 灰原	①(10.4) ②1.8	残存部内外面摩滅の為調整不明。	A 内外面 黄灰色 B 砂粒やや含む、粗 C 不良 D 3/4
26	杯蓋	// 灰原	①(10.7) ②2.1	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 細粒やや含む、粗 C やや不良 D 1/3
27	杯蓋	// 灰原	①11.1 ②1.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 茶褐色 外面 灰色 B 細粒わずかに含む、やや密 C やや不良 D 完形
28	杯蓋	// 灰原	①11.3 ②1.9	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D ほぼ完形
29	杯蓋	// 灰原	①12.1 ②2.0	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや含む、粗 C やや不良 D 4/5
30	杯蓋	// 灰原	①(13.4) ②2.4	天井部外面ヘラ切り後ナデ、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 細粒わずかに含む、粗 C 不良 D 2/3
31	杯蓋	// 灰原	①15.5 ②2.4	口縁部内外面回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、粗 C 不良 D 3/4
32	杯蓋	// 灰原	①15.7 ②1.9	天井部外面回転ヘラ削り？、内面不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒やや含む、やや粗 C 不良 D 4/5
33	杯蓋	// 灰原	①11.4 ②2.4 ③2.3 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 明褐色 外面 褐色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 4/5

遺物番号	器種	出土地点	法量 ①口径 ②器高 (cm) ③つまみ径 ④つまみ高	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
34	杯蓋	1号窯 灰原	①13.6 ②1.8 ③1.9 ④0.5	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、粗 C 不良 D 1/2
35	杯蓋	// 灰原	①14.2 ②3.6 ③2.8 ④0.9	天井部外面回転ヘラ削り、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C 不良 D ほぼ完形
36	杯蓋	// 灰原	①(14.6) ②3.0 ③2.8 ④0.9	天井部外面回転ヘラ削り、内面3/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや不良 D 1/2
37	杯蓋	// 灰原	①(15.0) ②2.9 ③3.0 ④0.9	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/4
38	杯蓋	// 灰原	①(15.5) ②3.0 ③2.9 ④1.0	天井部外面回転ヘラ削り、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 1/3
39	杯蓋	// 灰原	①(15.7) ②3.1 ③2.7 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D 1/3
40	杯蓋	// 灰原	①15.3 ②3.0 ③2.7 ④0.7	天井部外面ヘラ切り後丁寧なナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 細粒やや含む、やや粗 C やや良好 D 1/2
41	杯蓋	// 灰原	①15.2 ②3.1 ③2.8 ④0.9	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡褐色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 不良 D 3/4
42	杯蓋	// 灰原	①15.4 ②3.4 ③3.0 ④1.0	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、粗 C 不良 D ほぼ完形
43	杯蓋	// 灰原	①(15.6) ②2.8 ③2.9 ④0.9	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/4
44	杯蓋	// 灰原	①15.9 ②3.5 ③2.3 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 不良 D ほぼ完形
45	杯蓋	// 灰原	①16.0 ②3.5 ③3.0 ④0.9	つまみは回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄灰色 B 細粒やや含む、粗 C 不良 D 4/5
46	杯蓋	// 灰原	①16.1 ②3.2 ③3.0 ④1.1	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 細粒わずかに含む、粗 C 不良 D 完形
47	杯蓋	// 灰原	①16.1 ②2.8 ③2.9 ④0.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、口縁部内外面回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 黄褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 2/3
48	杯蓋	// 灰原	①16.3 ②3.0 ③2.3 ④1.0	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、粗 C 不良 D ほぼ完形
49	杯蓋	// 灰原	①17.2 ②3.3 ③2.6 ④1.3	天井部外面回転ヘラ削り、内面2/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 4/5
50	杯蓋	// 灰原	①15.0 ②3.4 ③2.7 ④0.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡青灰色 B 砂粒多く含む、密 C 良好 D 完形
51	杯蓋	// 灰原	①15.2 ②3.0 ③2.9 ④0.8	天井部外面回転ヘラ削り？、内面1/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 細粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 4/5
52	杯蓋	// 灰原	①15.9 ②2.3 ③2.9 ④1.0	天井部外面回転ヘラ削り、内面3/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D ほぼ完形
53	杯蓋	// 灰原	①16.3 ②3.1 ③3.0 ④0.9	つまみは回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、粗 C 不良 D 完形
54	杯蓋	// 灰原	①16.1 ②3.2 ③2.5 ④0.7	天井部外面ヘラ切り未調整、内面5/6不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 良好 D 3/4
55	杯蓋	// 灰原	①(16.6) ②2.7 ③2.2 ④0.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや不良 D 1/3
56	杯蓋	// 灰原	①16.7 ②3.5 ③2.5 ④1.2	天井部外面回転ヘラ削り、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 完形
57	杯蓋	// 灰原	①16.4 ②3.4 ③2.6 ④0.6	天井部外面回転ヘラ削り、内面3/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C やや良好 D 2/3
58	杯蓋	// 灰原	①(17.3) ②1.7 ③2.9 ④0.7	天井部外面回転ヘラ削り、内面摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D 1/2

遺物 番号	器 種	出土地点	法量 (cm)	①口径 ②器高 ③つまみ径 ④つまみ高 ⑤高台径 ⑥高台高	手 法 の 特 徴	備 考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
59	杯 蓋	I号窯 灰原	①17.5 ②3.5 ③2.8 ④0.8		天井部外面回転ヘラ削り、内面摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D ほぼ完形
60	杯 蓋	// 灰原	①(21.3) ②2.8 ③2.8 ④0.7		天井部外面回転ヘラ削り、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒多く含む、粗 C やや不良 D 1/2
61	杯 蓋	// 灰原	①(21.6) ②2.8 ③3.1 ④0.8		天井部外面1/2回転ヘラ削り、内面3/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、粗 C 不良 D ほぼ完形
62	杯 身	// 灰原	①9.8 ②4.9 ⑤(6.8) ⑥1.0		体部下端から高台にかけて回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D ほぼ完形
63	杯 身	// 灰原	①12.1 ②3.6 ⑤8.4 ⑥0.6		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 1/2
64	杯 身	// 灰原	①(13.0) ②5.6 ⑤(10.1) ⑥0.6		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 良好 D 2/3
65	杯 身	// 灰原	①(13.4) ②4.3 ⑤(10.2) ⑥0.7		残存部内外面摩滅の為調整不明。	A 内面 淡黄褐色 外面 明褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 1/2
66	杯 身	// 灰原	①13.5 ②4.5 ⑤10.2 ⑥0.5		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 良好 D 1/2
67	杯 身	// 灰原	①13.9 ②4.9 ⑤(10.0) ⑥0.9		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや含む、密 C やや良好 D 1/2
68	杯 身	// 灰原	①14.1 ②4.4 ⑤9.7 ⑥0.5		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/2
69	杯 身	// 灰原	①14.2 ②4.7 ⑤10.0 ⑥0.5		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D ほぼ完形
70	杯 身	// 灰原	①15.2 ②4.4 ⑤10.9 ⑥0.5		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒多く含む、粗 C 不良 D 2/3
71	杯 身	// 灰原	①(13.9) ②5.1 ⑤(10.1) ⑥0.9		底部外面ヘラ切り後ナデ、体部下端回転ヘラ削り、内面2/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 2/3
72	杯 身	// 灰原	①13.9 ②4.5 ⑤9.8 ⑥0.5		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 完形
73	杯 身	// 灰原	①(14.5) ②4.5 ⑤9.9 ⑥0.7		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 1/2
74	杯 身	// 灰原	①14.1 ②4.9 ⑤10.1 ⑥0.9		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内面 茶灰色 外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 2/3
75	杯 身	// 灰原	①(14.2) ②5.0 ⑤(10.0) ⑥1.1		底部外面ヘラ切り後ナデ、体部下端回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 1/2
76	杯 身	// 灰原	①(14.5) ②4.5 ⑤10.9 ⑥1.0		残存部内外面摩滅の為調整不明。	A 内外面 黄灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 不良 D 1/2
77	杯 身	// 灰原	①(14.5) ②4.3 ⑤(10.8) ⑥0.7		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C 不良 D 2/3
78	杯 身	// 灰原	①(14.9) ②4.4 ⑤(10.1) ⑥0.4		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや不良 D 1/2
79	杯 身	// 灰原	①(14.9) ②4.7 ⑤(9.8) ⑥1.1		底部外面ヘラ切り後ナデ、体部下端回転ヘラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡茶褐色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C やや良好 D 2/3
80	杯 身	// 灰原	①(13.8) ②5.2 ⑤(9.9) ⑥0.5		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/2回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 不良 D 1/2
81	杯 身	// 灰原	①(14.1) ②6.6 ⑤(9.8) ⑥1.0		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面2/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや多く含む、やや粗 C やや良好 D 1/2
82	杯 身	// 灰原	①(14.4) ②6.4 ⑤(10.8) ⑥1.0		内面2/5不定方向のナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡褐色 B 砂粒やや多く含む、やや密 C やや不良 D 1/3
83	杯 身	// 灰原	①(14.7) ②6.8 ⑤(10.2) ⑥0.7		底部外面ヘラ切り後ナデ、内面1/3不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 明褐色 B 砂粒多く含む、粗 C やや不良 D 1/3

遺物番号	器種	出土地点	法量 ①口径 ②器高 (cm) ⑤高台径 ⑥高台高	手法の特徴	備考 A色調 B胎土 C焼成 D残存
84	杯身	I号窯 灰原	①(14.8) ②6.4 ⑤(10.5) ⑥1.5	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡褐色 B 砂粒多く含む、やや粗 C 不良 D 1/2
85	杯身	// 灰原	①(15.2) ②5.7 ⑤10.2 ⑥0.5	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/3不定方向のナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 黄褐色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 不良 D 1/2
86	杯身	// 灰原	①(15.7) ②5.6 ⑤(12.0) ⑥0.5	残存部外面摩滅の為調整不明、一部回転ナデ、内面1/3不定方向のナデ、2/3回転ナデ。	A 内外面 淡黄褐色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C 不良 D 1/3
87	杯身	// 灰原	①(15.8) ②5.4 ⑤11.3 ⑥1.0	底部外面へラ切り後ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 褐色 B 砂粒やや含む、やや密 C やや不良 D 1/2
88	椀	// 灰原	①10.0	残存部下端回転へラ削り、他は回転ナデ。	A 内面 灰色 外面 暗青灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 3/4
89	鉢	// 灰原	①(14.5) 底径 (9.8)	底部外面回転へラ削り、内面1/4不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒多く含む、密 C やや良好 D 1/3
90	鉢	// 灰原	①(14.6)	残存部外面下端回転へラ削り、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒やや含む、やや密 C 良好 D 1/4
91	鉢	// 灰原	①(14.8)	残存部内外面回転ナデ。	A 内外面 明茶灰色 B 砂粒わずかに含む、やや粗 C やや良好 D 小片
92	鉢	// 灰原	①(16.0)	残存部内外面回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 1/4
93	皿	// 灰原	①(19.8) ②2.7	底部外面回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 暗灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 1/5
94	皿	// 灰原	①(21.9) ②3.1	底部外面へラ切り後回転ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶褐色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや良好 D 1/5
95	皿	// 灰原	①(24.2) ②3.2	口縁部外面から内面にかけて回転ナデ、他は摩滅の為調整不明。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒やや含む、粗 C 不良 D 1/3
96	高杯	// 灰原	①13.9	杯体部下端回転へラ削り？、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 茶灰色 B 砂粒わずかに含む、やや密 C やや良好 D 杯部のみ残存
97	高杯	// 灰原	①(14.9)	杯体部下端回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C やや良好 D 杯部1/2
98	高杯	// 灰原	①(13.9) ②6.5 脚端径 9.2	杯体部下端回転へラ削り、内面2/5不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 青灰色 B 細粒わずかに含む、密 C 良好 D 2/3
99	高杯	// 灰原	①14.5 ②7.9 脚端径 9.5	杯体部下端回転へラ削り後回転ナデ、内面1/2不定方向のナデ、他は回転ナデ。	A 内外面 灰色 B 砂粒多く含む、やや粗 C やや不良 D 4/5
100	高杯	// 灰原	①(15.4) ②8.9 脚端径 (10.9)	杯体部下端回転へラ削り、内面1/2不定方向のナデ、脚部内面摩滅の為調整不明、他は回転ナデ。	A 内外面 淡黄灰色 B 砂粒わずかに含む、密 C 不良 D 1/2
101	壺	// 灰原	①(20.4)	口縁部内外面回転ナデ。	A 内外面 暗茶灰色 B 細粒わずかに含む、密 C やや良好 D 口縁部小片
102	壺	// 灰原	①(21.5)	口縁部内外面回転ナデ。	A 内外面 茶褐色 B 細粒わずかに含む、密 C 良好 D 口縁部小片
103	鉢?	// 灰原	①(25.0)	残存部外面に斜線連続文を施し、その上に二条、その下に三条の沈線が巡る。他は回転ナデ。	A 内外面 暗茶褐色 B 砂粒やや含む、密 C 良好 D 口縁部小片
104	壺	// 灰原	①(52.2)	口縁部外面に波状文を施し、その上に三条、その下に三条の沈線が巡る。他は回転ナデ。	A 内外面 暗黒灰色 B 砂粒多く含む、密 C やや良好 D 口縁部1/4

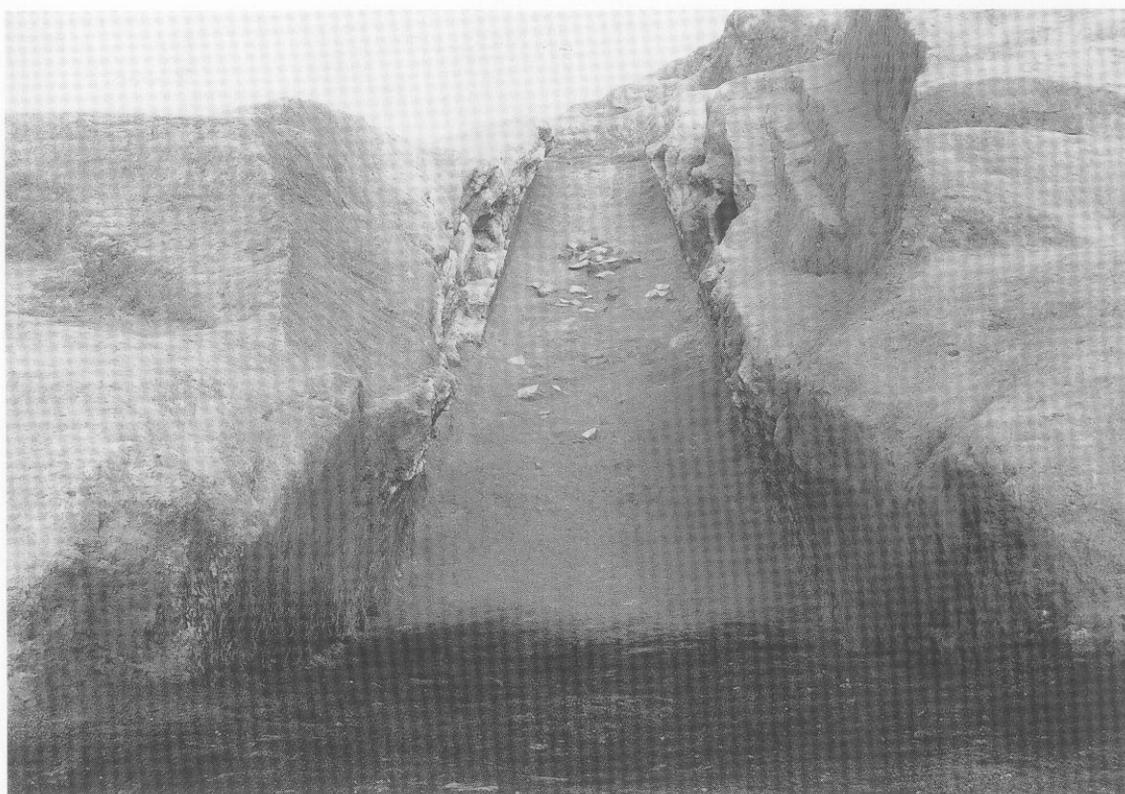
版 圖



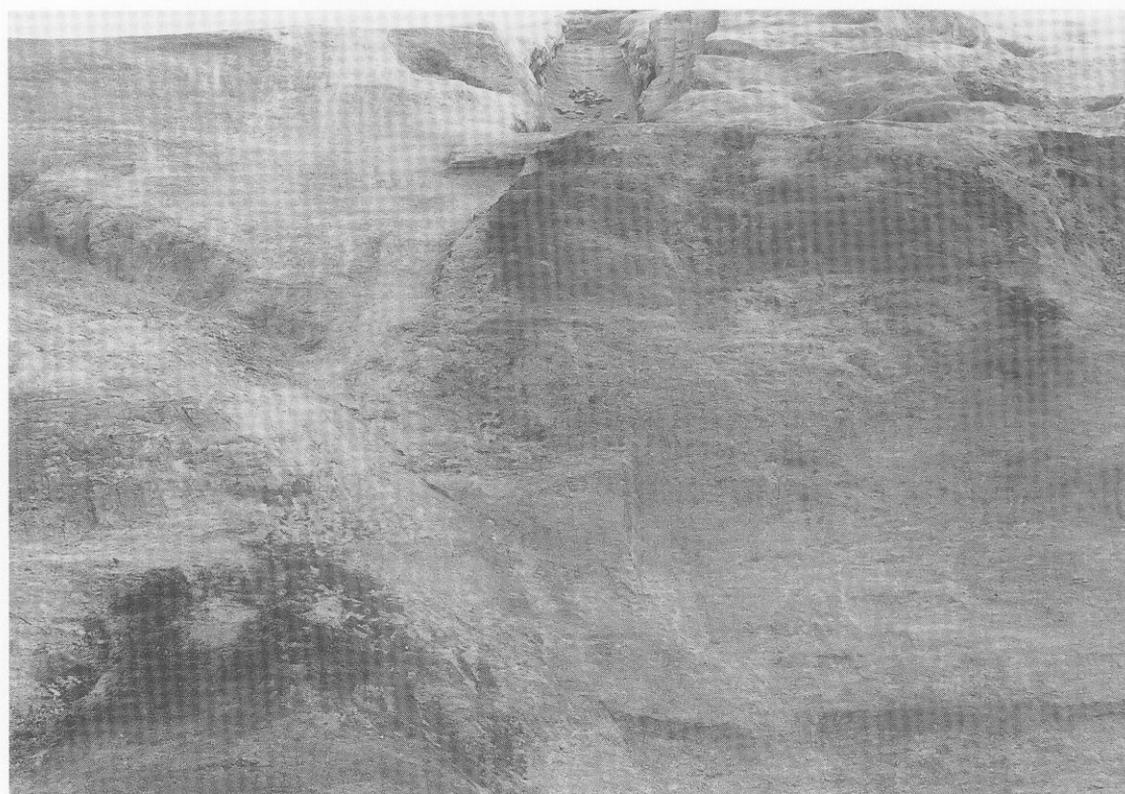
(1) 45-I 号窑迹



(2) 45-I 号窑迹远景



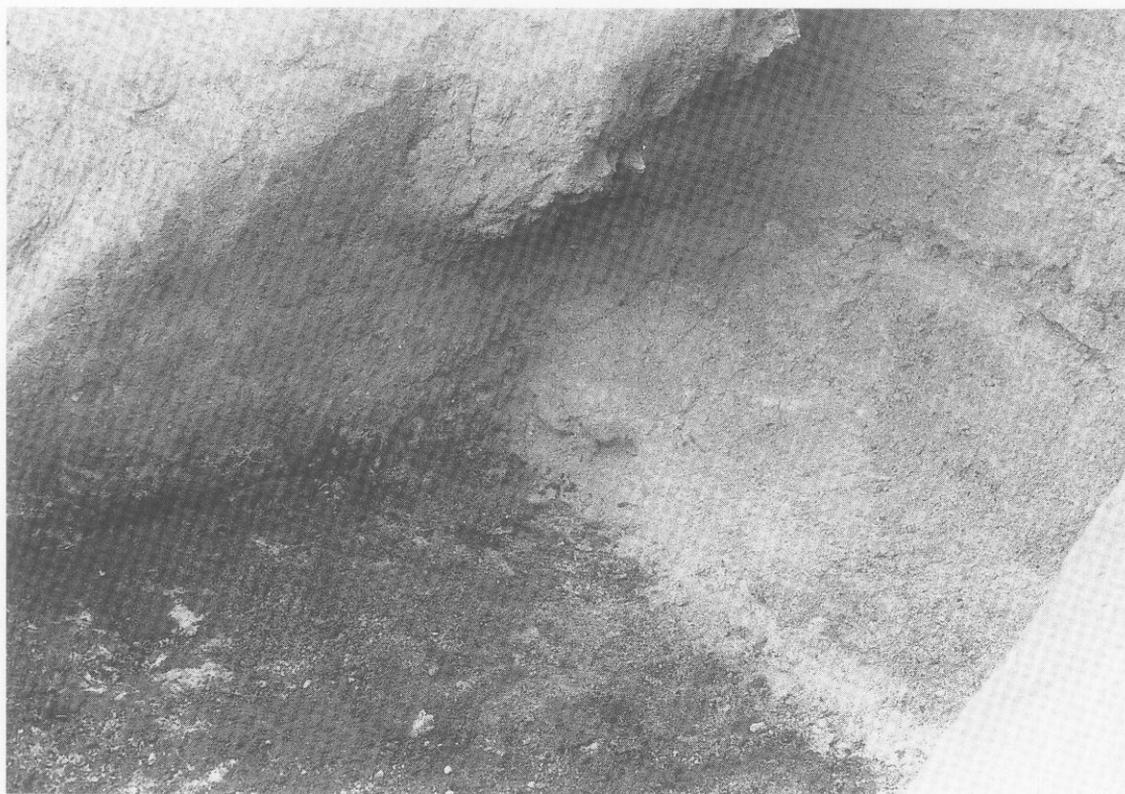
(1) 45— I 号窯跡最終床面



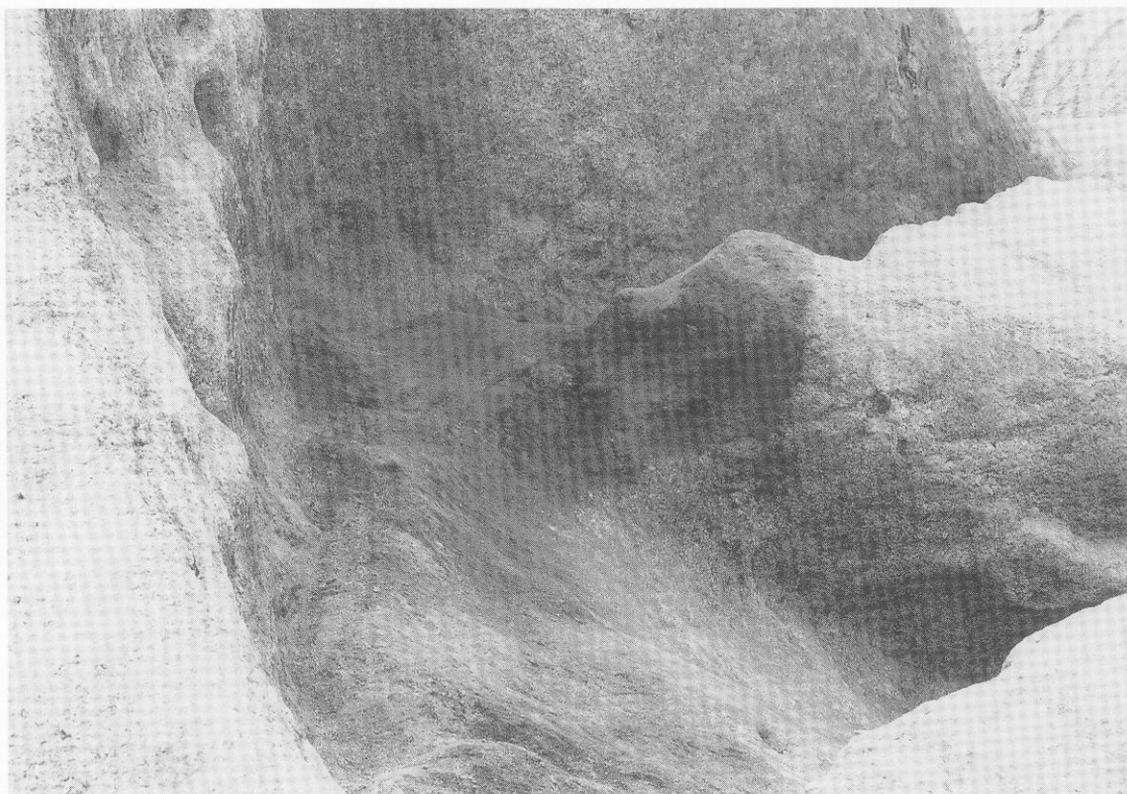
(2) 45— I 号窯跡灰原



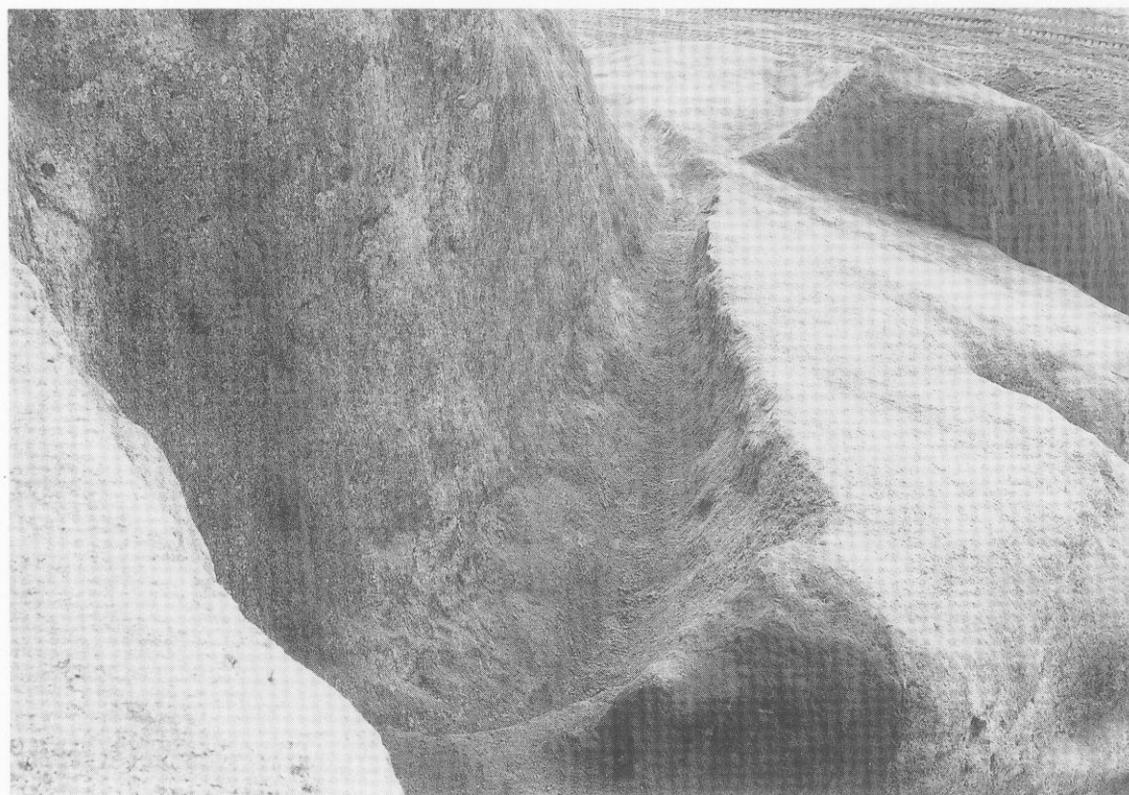
(1) 45—I号窯跡焚口



(2) 同上



(1) 45—I号窯跡煙出し排水溝



(2) 45—I号窯跡排水溝



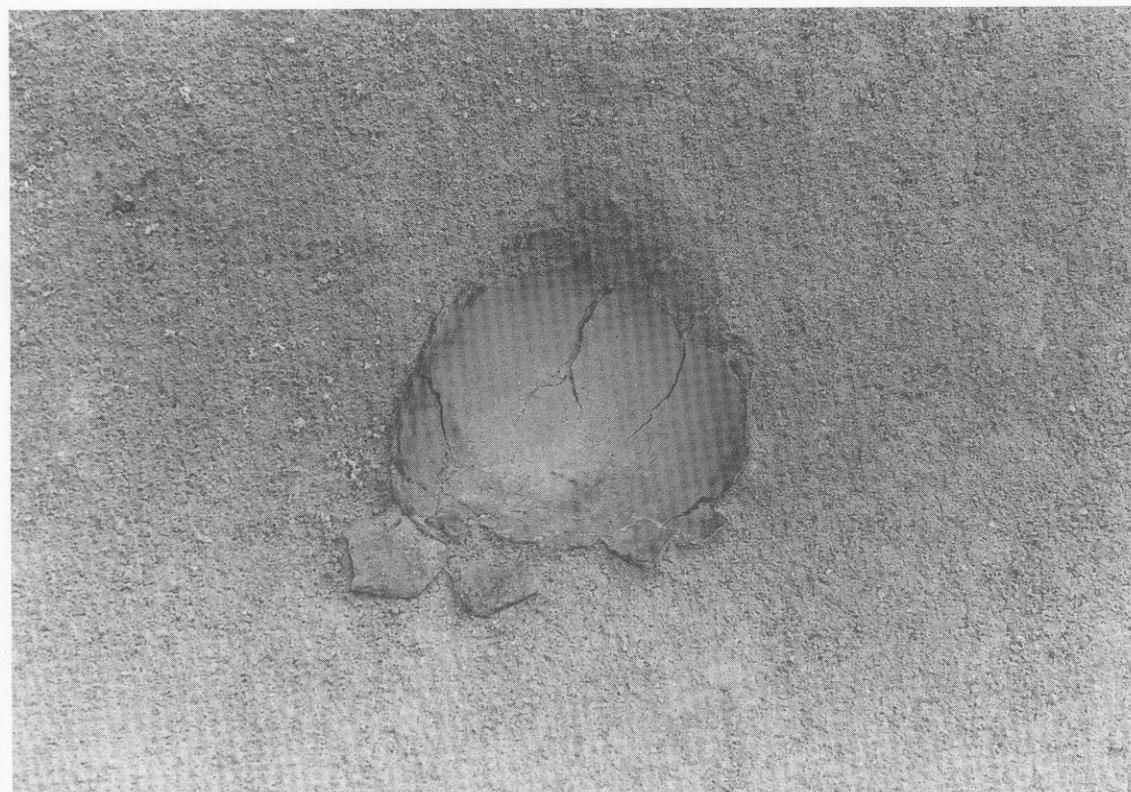
(1) 45-I号窯跡煙出し排水溝



(2) 45-I号窯跡灰層断面



(1) 45-SK01



(2) 45-SK01 遺物出土状態



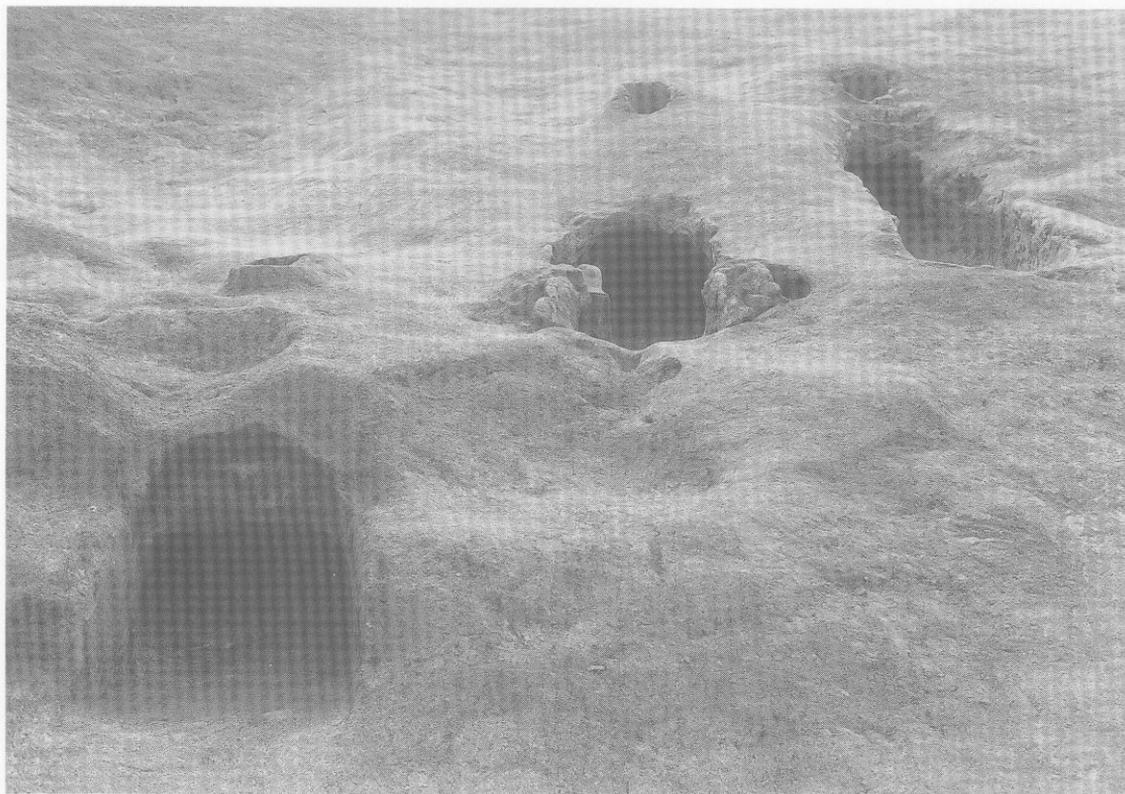
(1) 46地点灰原



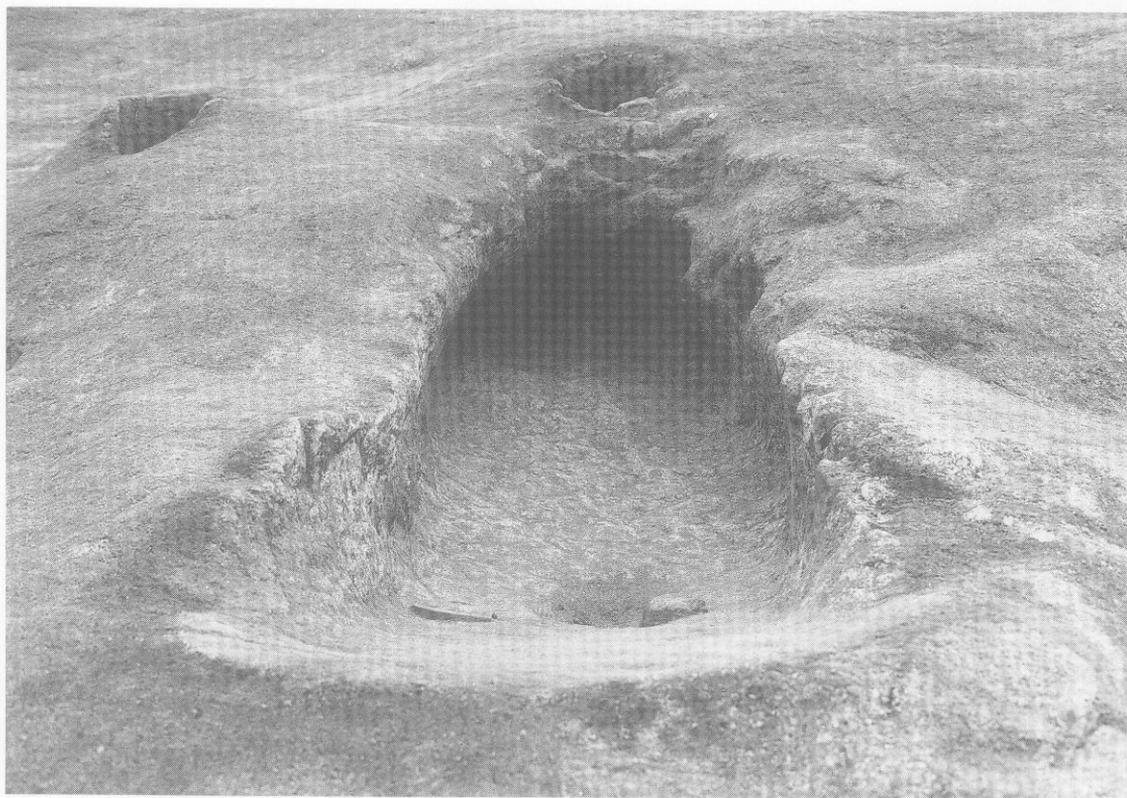
(2) 46地点灰原掘り上げ後



(1) 59地点远景



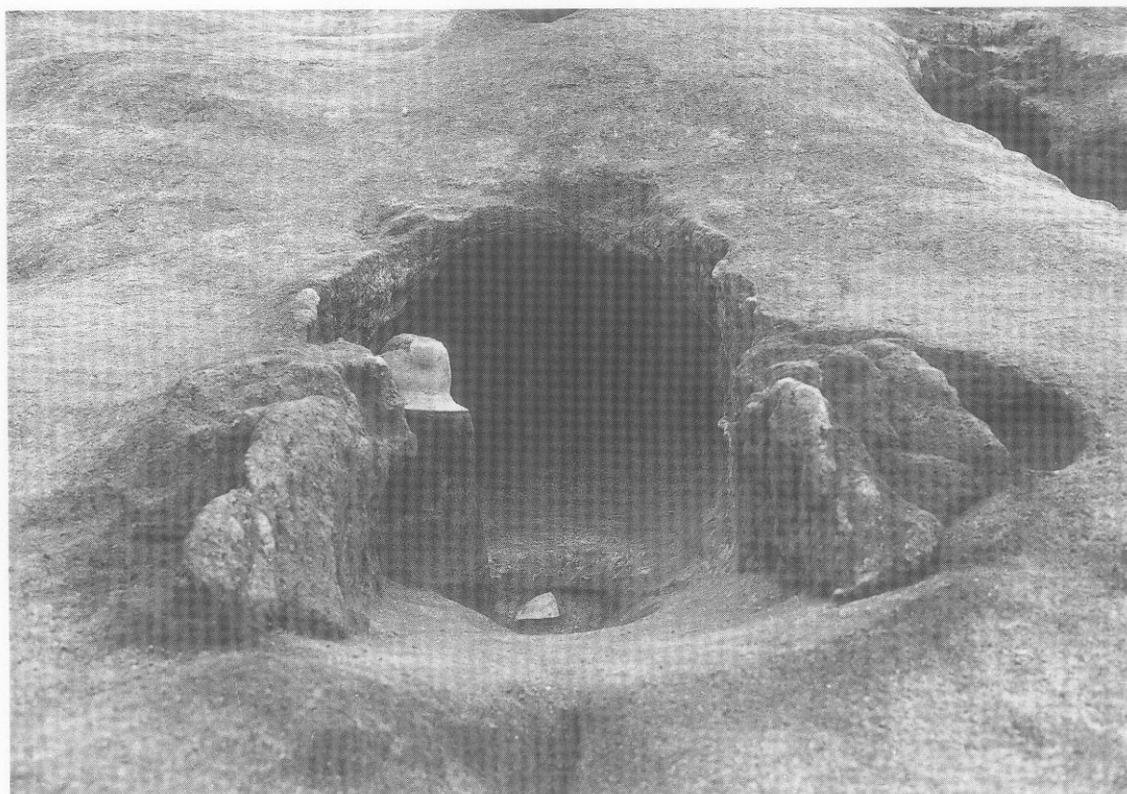
(2) 59地点近景



(1) 59— I 号窯跡



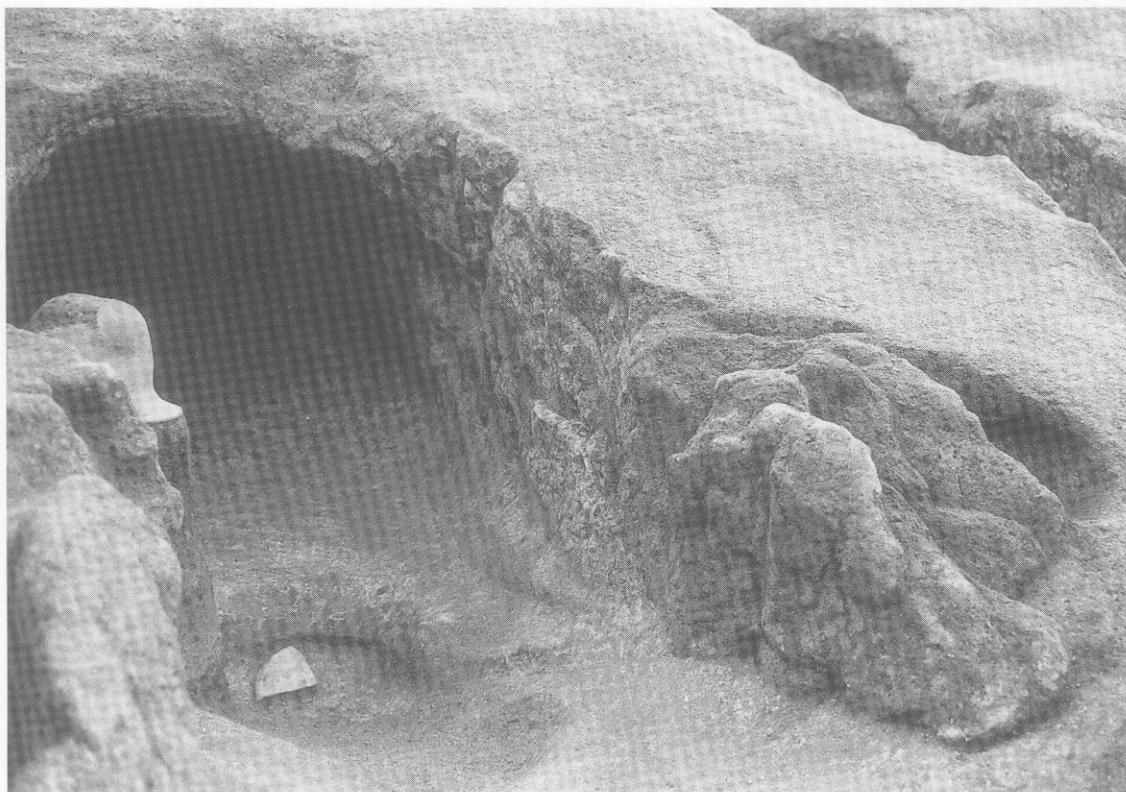
(2) 59— I 号窯跡燃烧部



(1) 59—II号窯跡



(2) 59—II号窯跡土師器甕出土状态



(1) 59—II号窑迹焚口部



(2) 59—III号窑迹



(1) 59—S K 0 1



(2) 59地点灰原断面



(1) 60— I 号窟迹



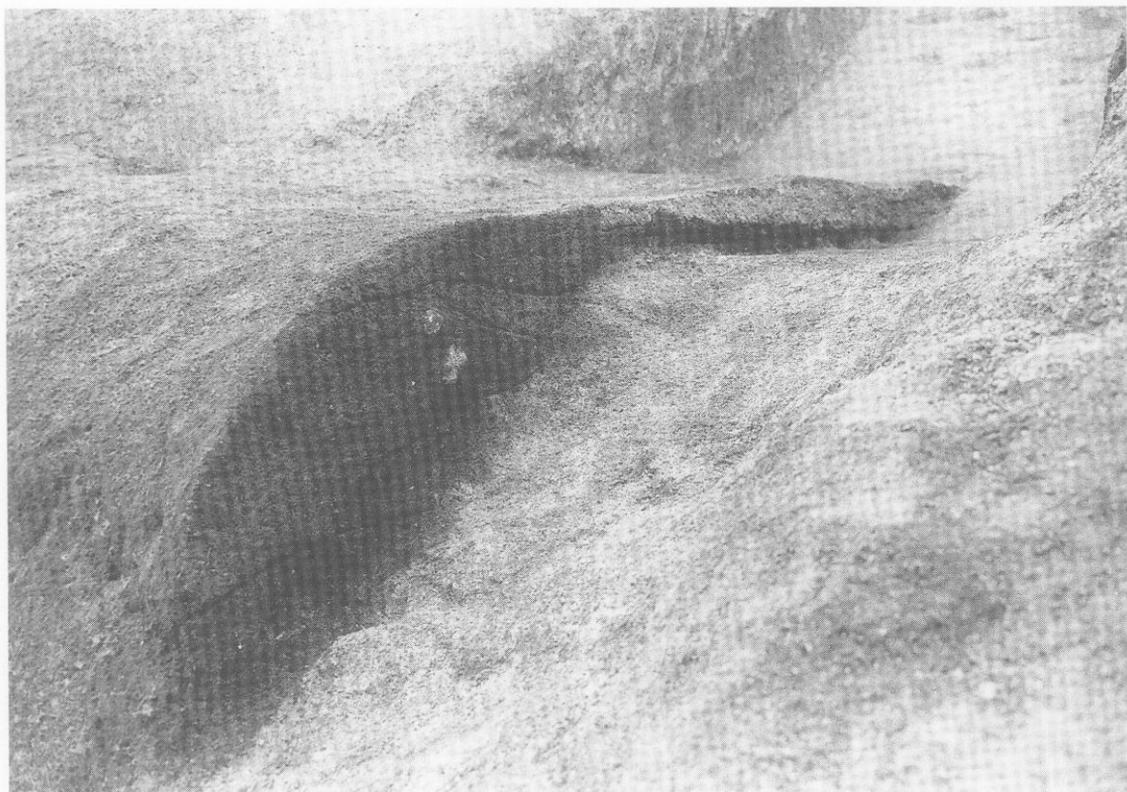
(2) 60— I 号窟迹远景



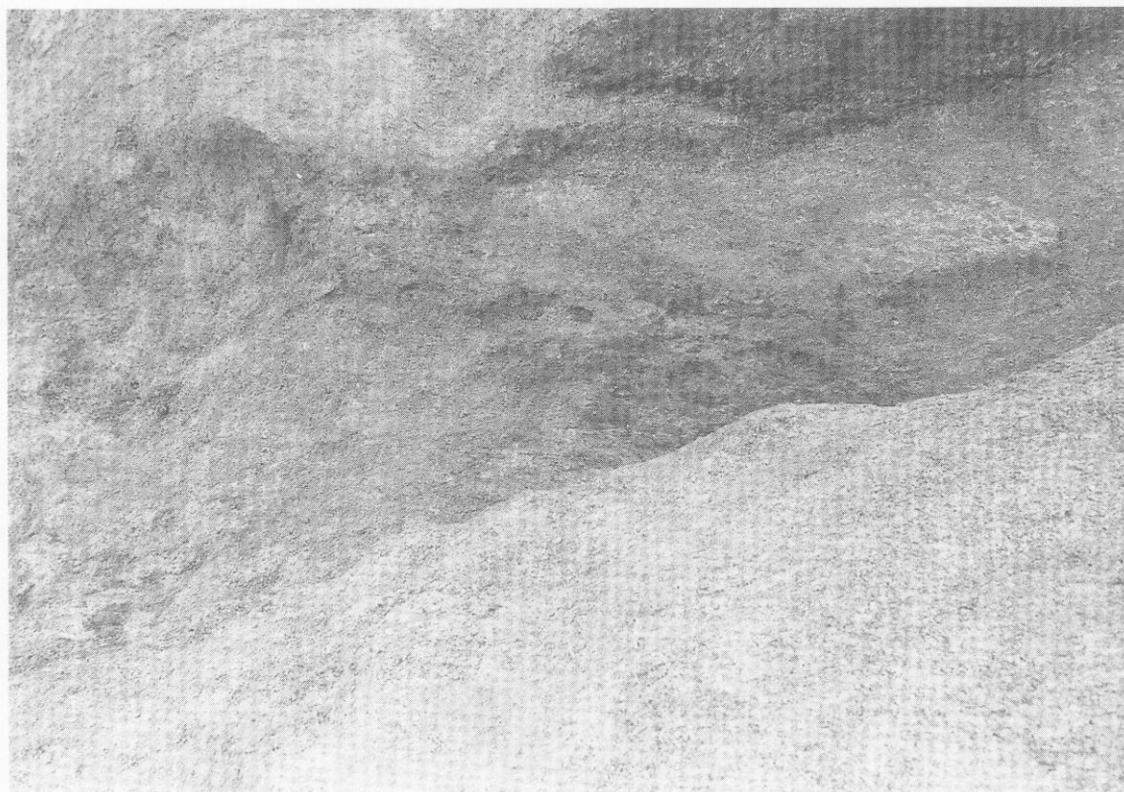
(1) 60-I号窯跡煙出し部 (掘削途中)



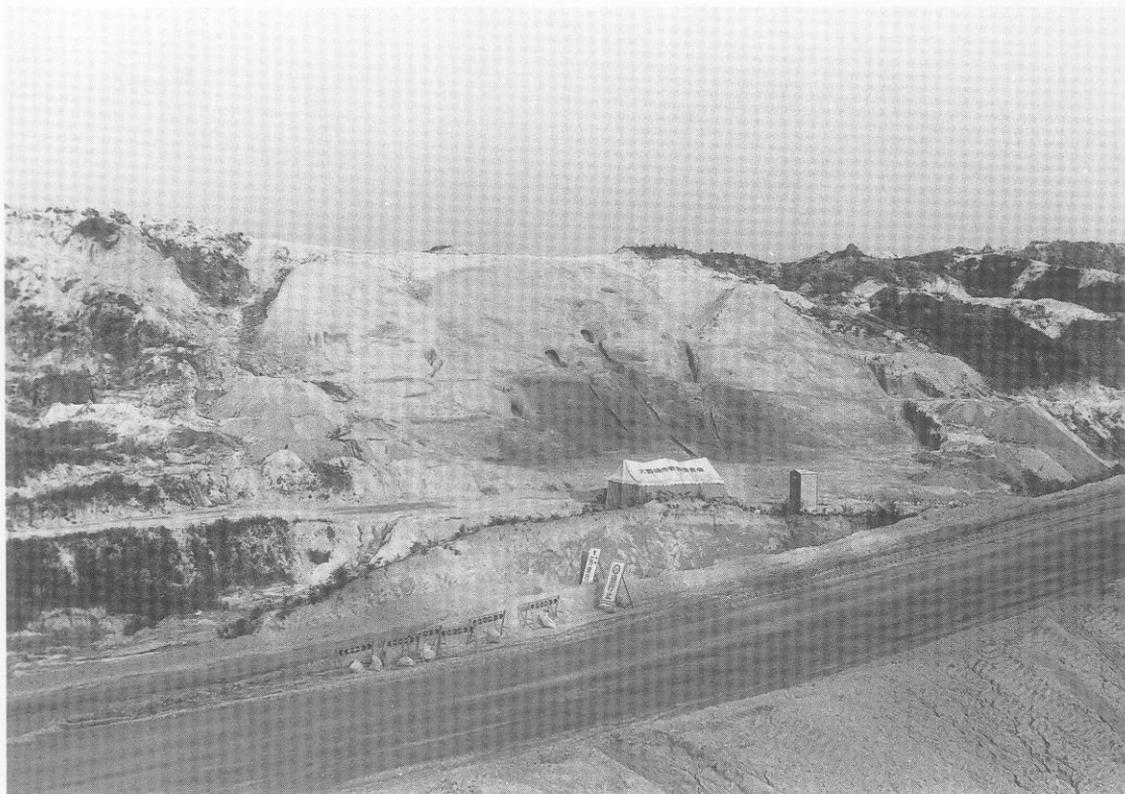
(2) 同 上 (掘削終了後)



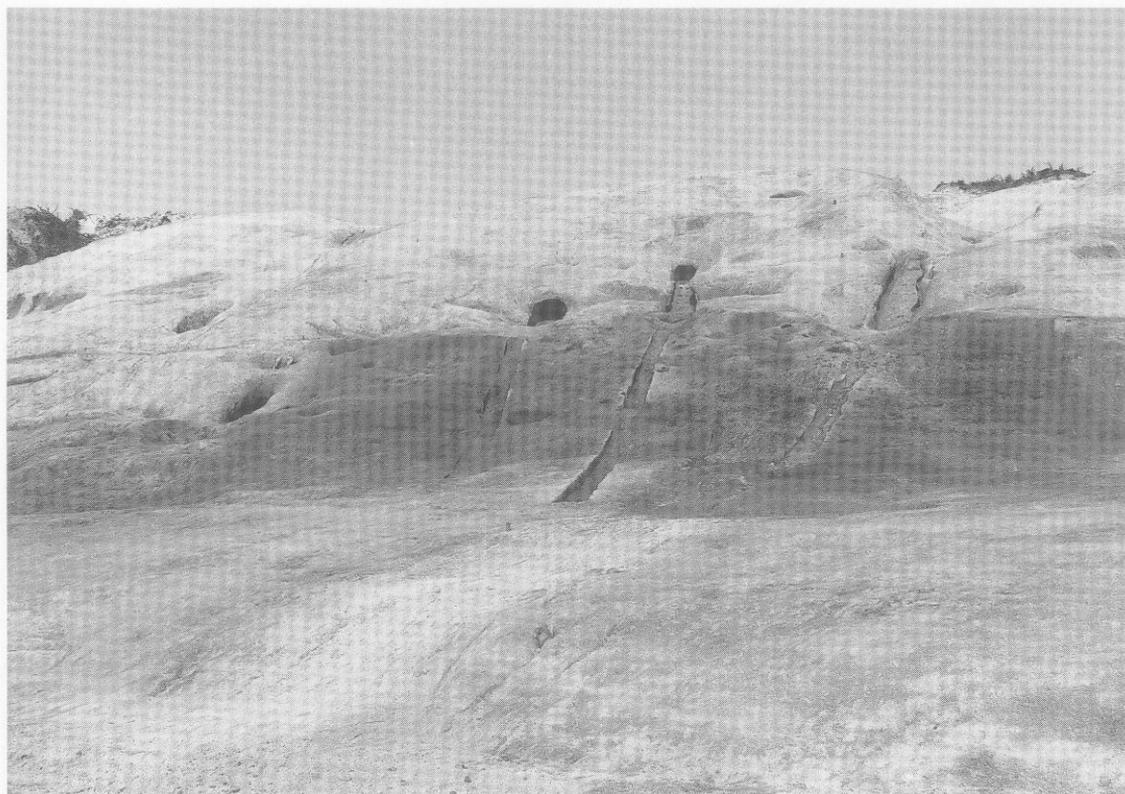
(1) 60— I号窑迹灰层断面



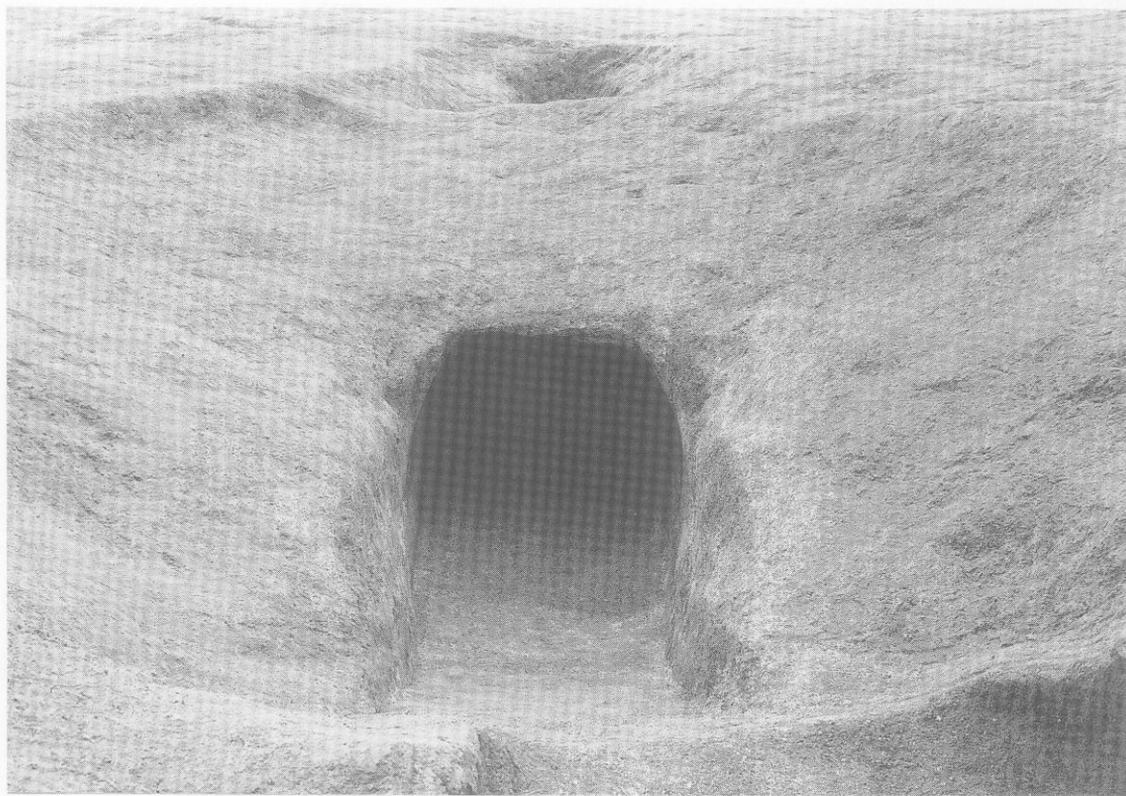
(2) 60— I号窑迹燃烧部



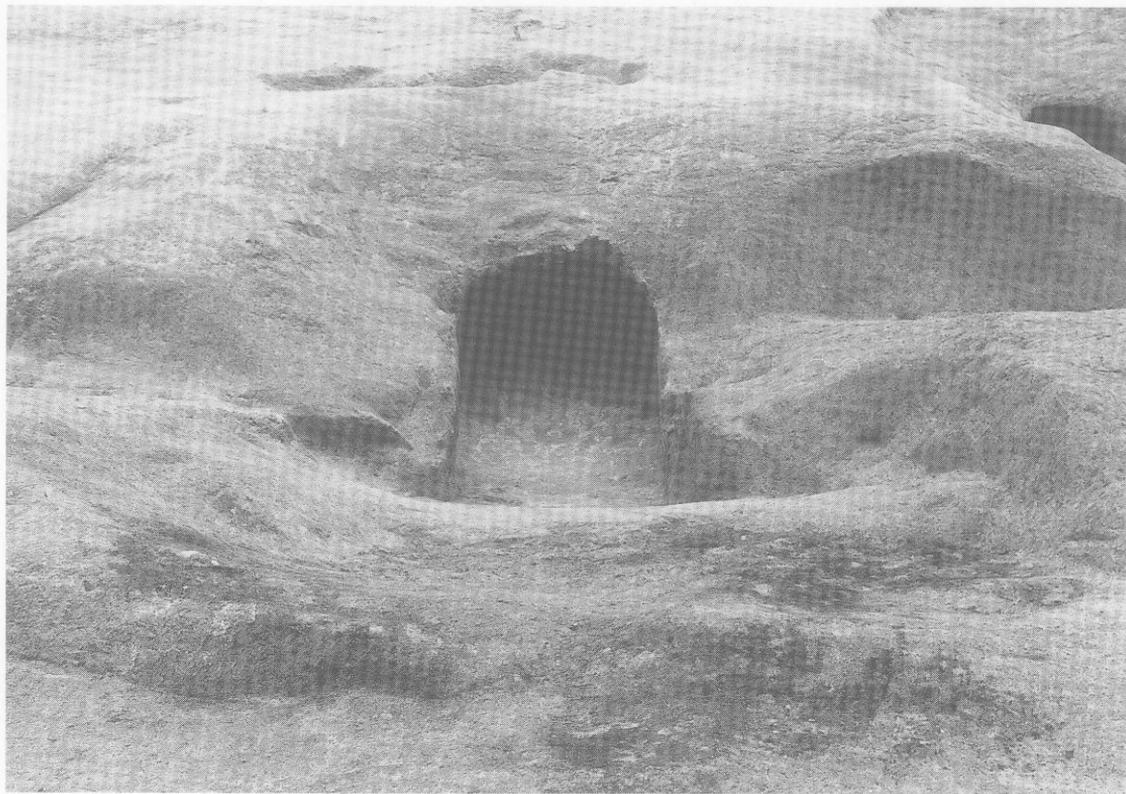
(1) 61地点全景



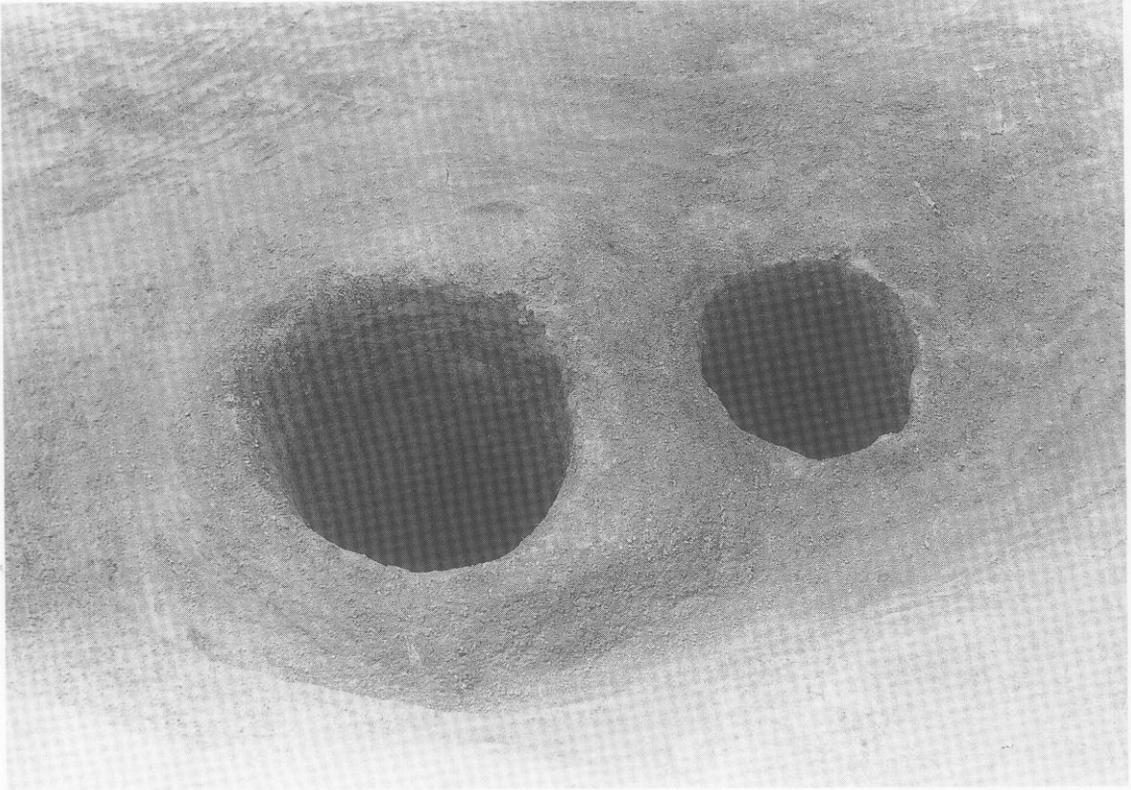
(2) 61地点近景



(1) 61—I号窑迹



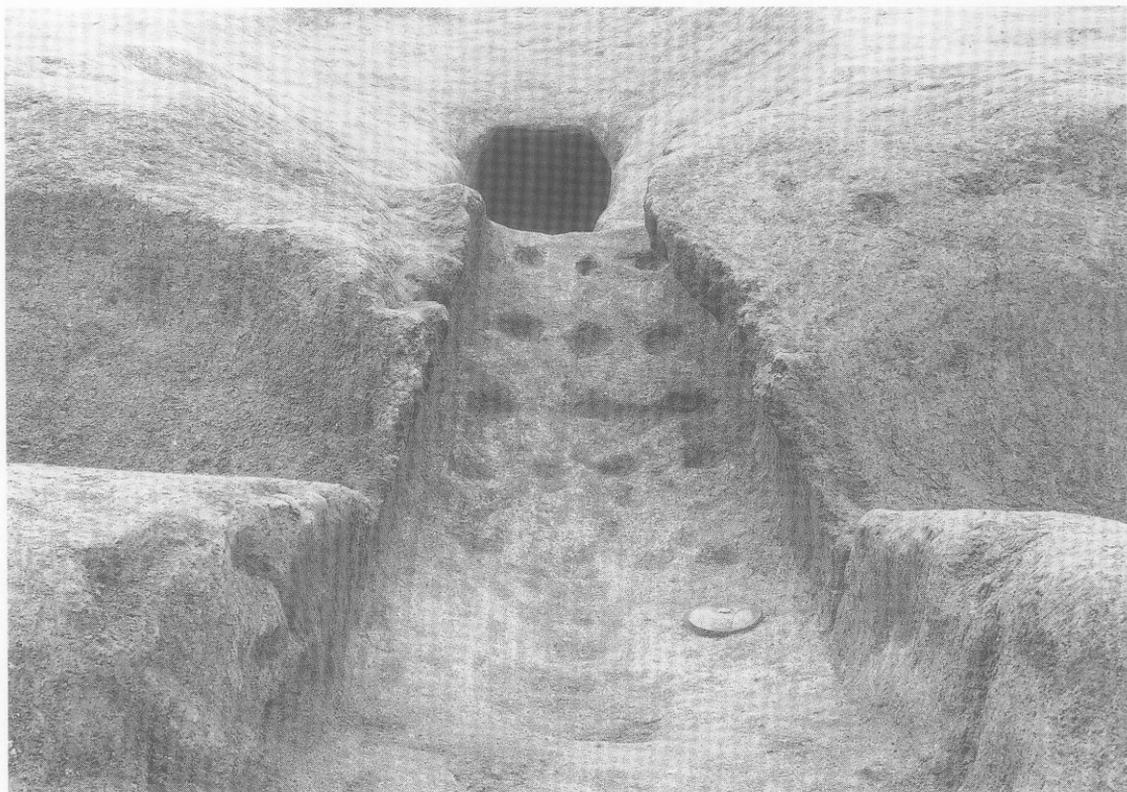
(2) 61—II号窑迹



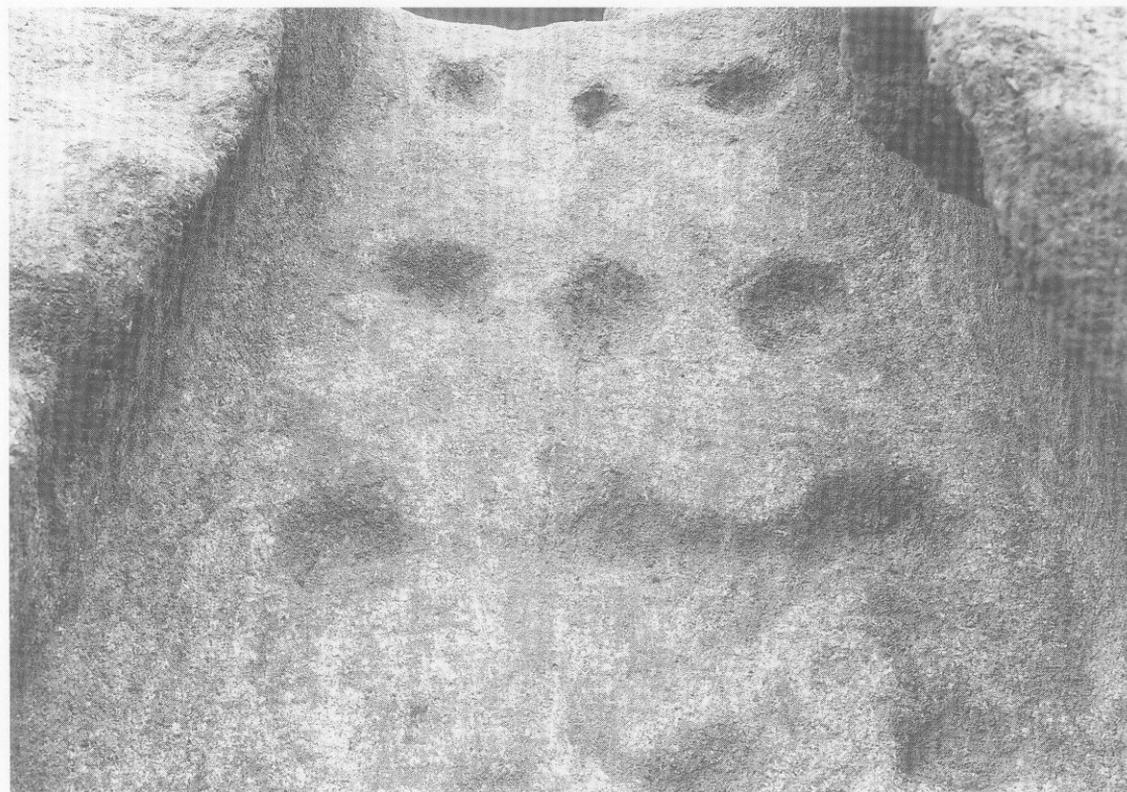
(1) 61-II号窯跡煙出し



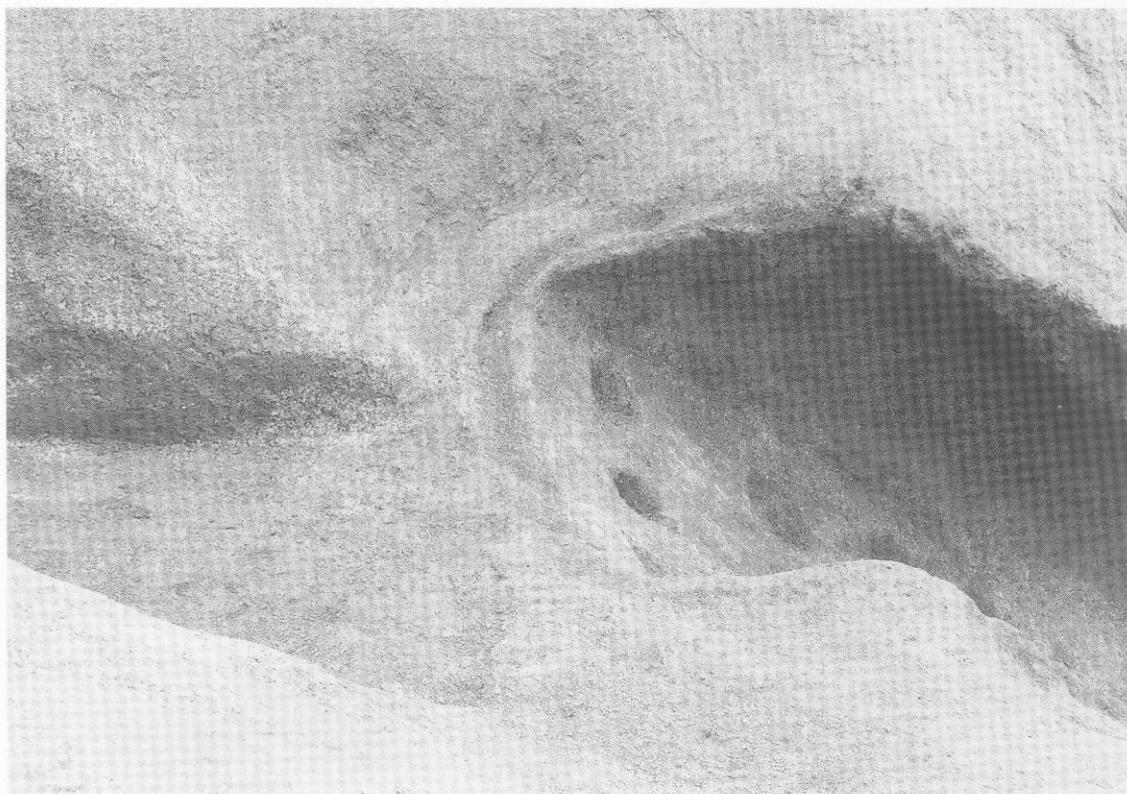
(2) 61-II号窯跡煙出し (内部より)



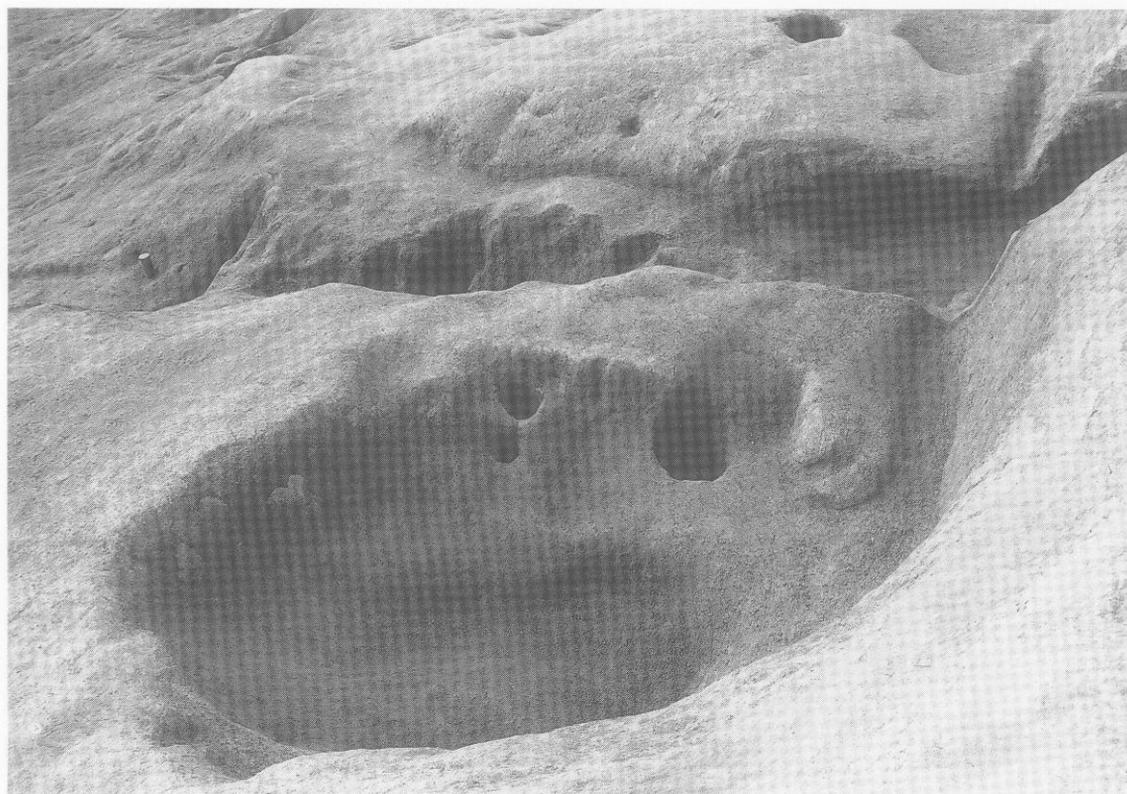
(1) 61—III号窑迹



(2) 61—III号窑迹烧成部上部



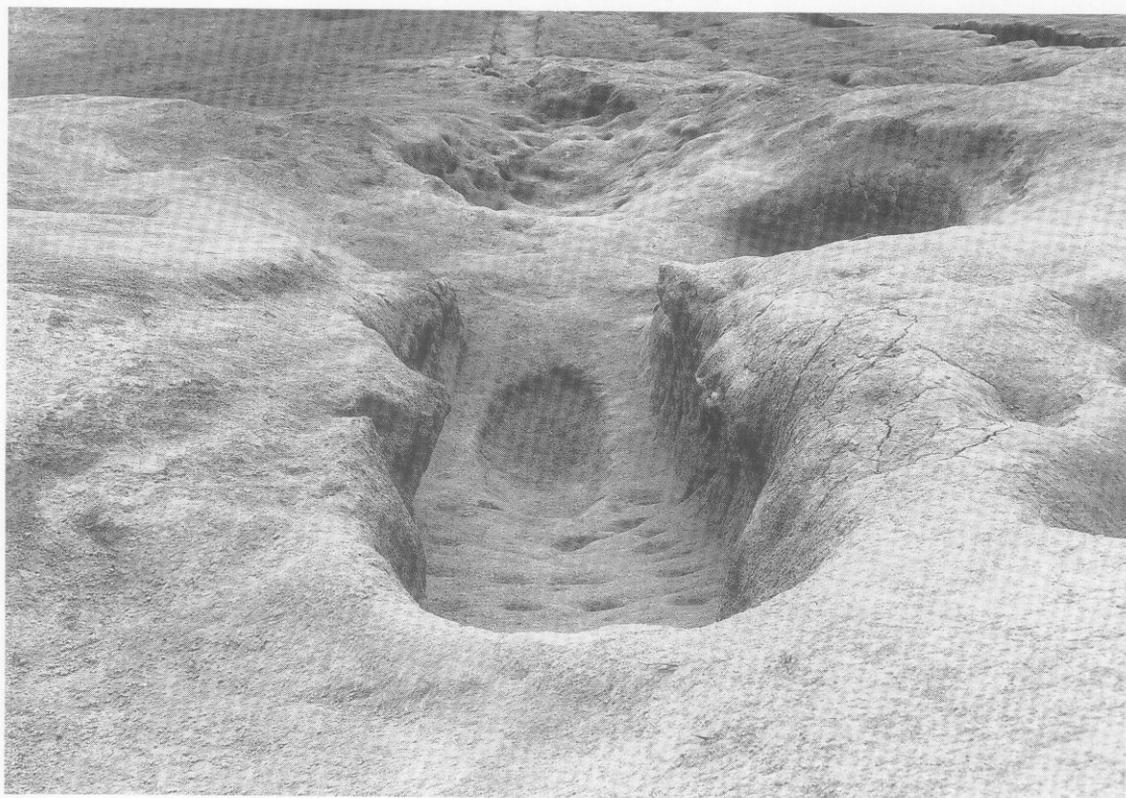
(1) 61-I、III号窯跡切り合い部分



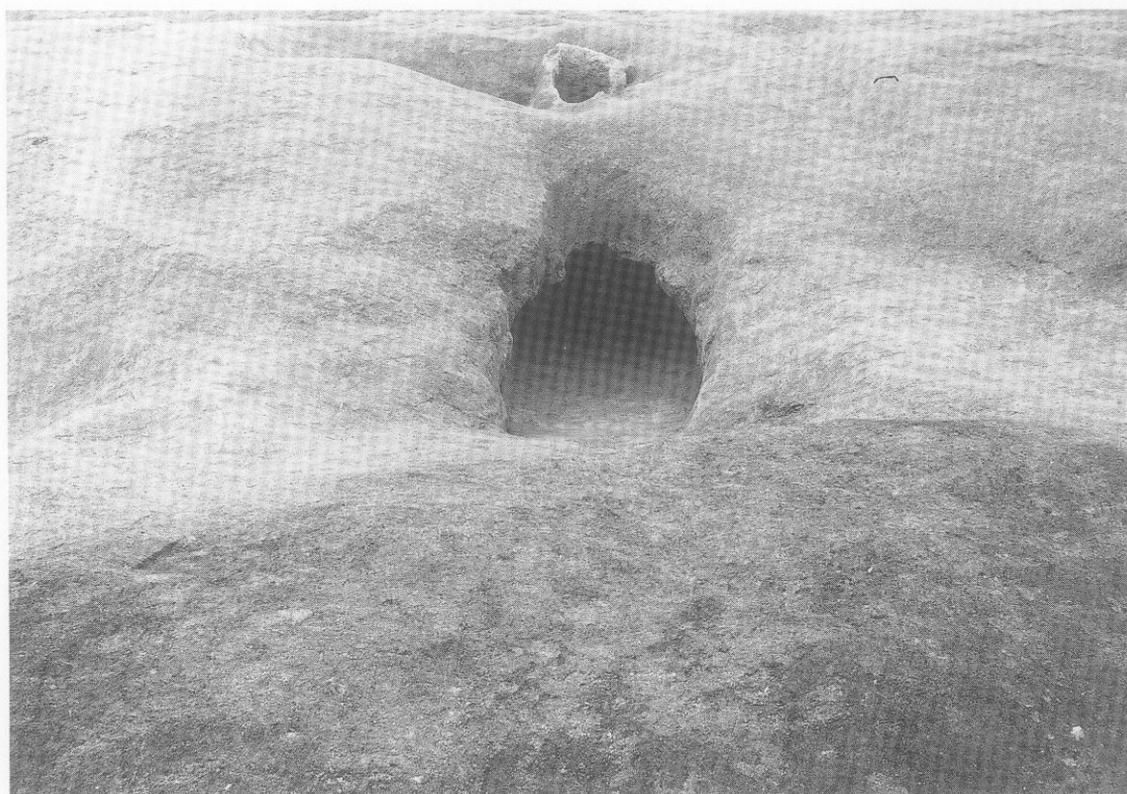
(2) 61-III号窯跡、SK01



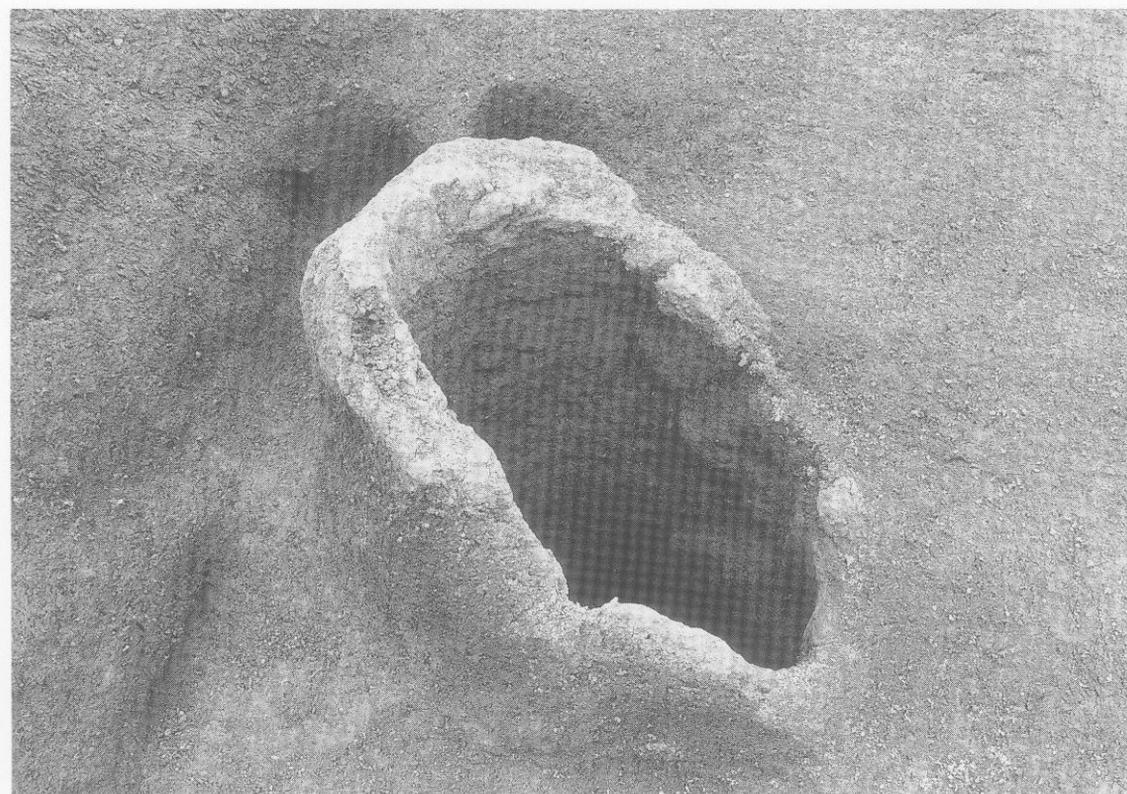
(1) 61—IV号窯跡



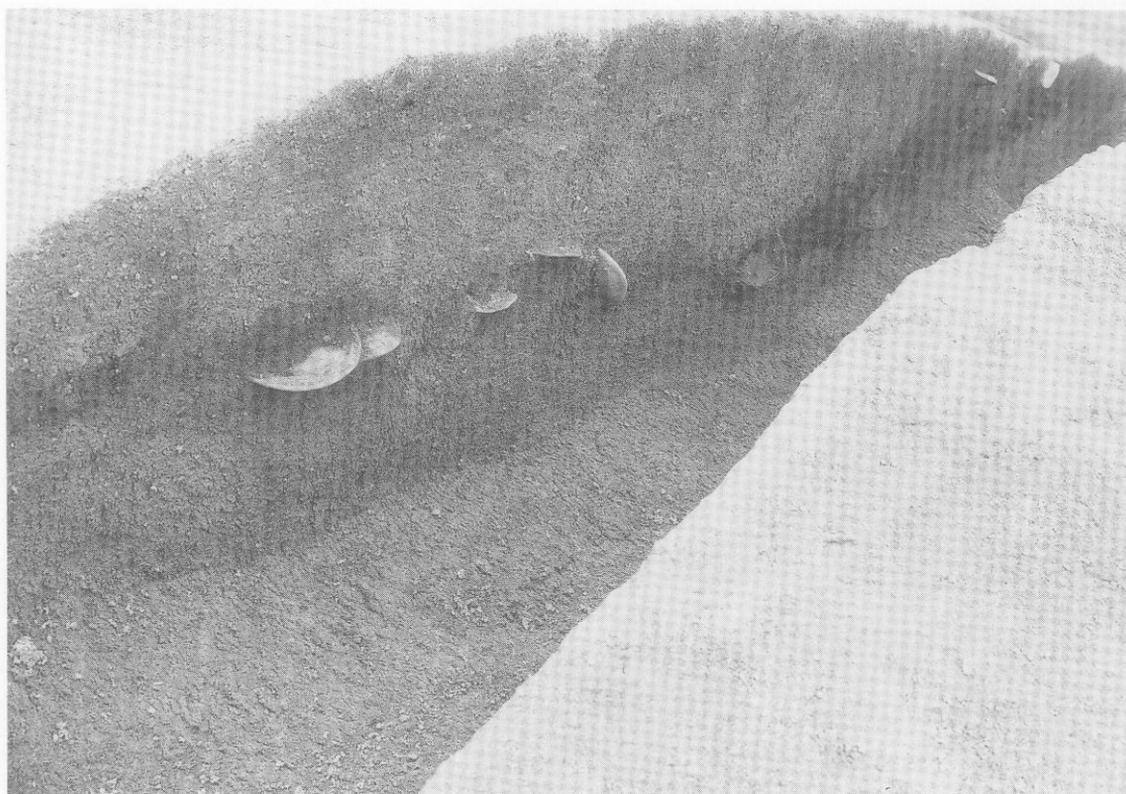
(2) 61—IV号窯跡



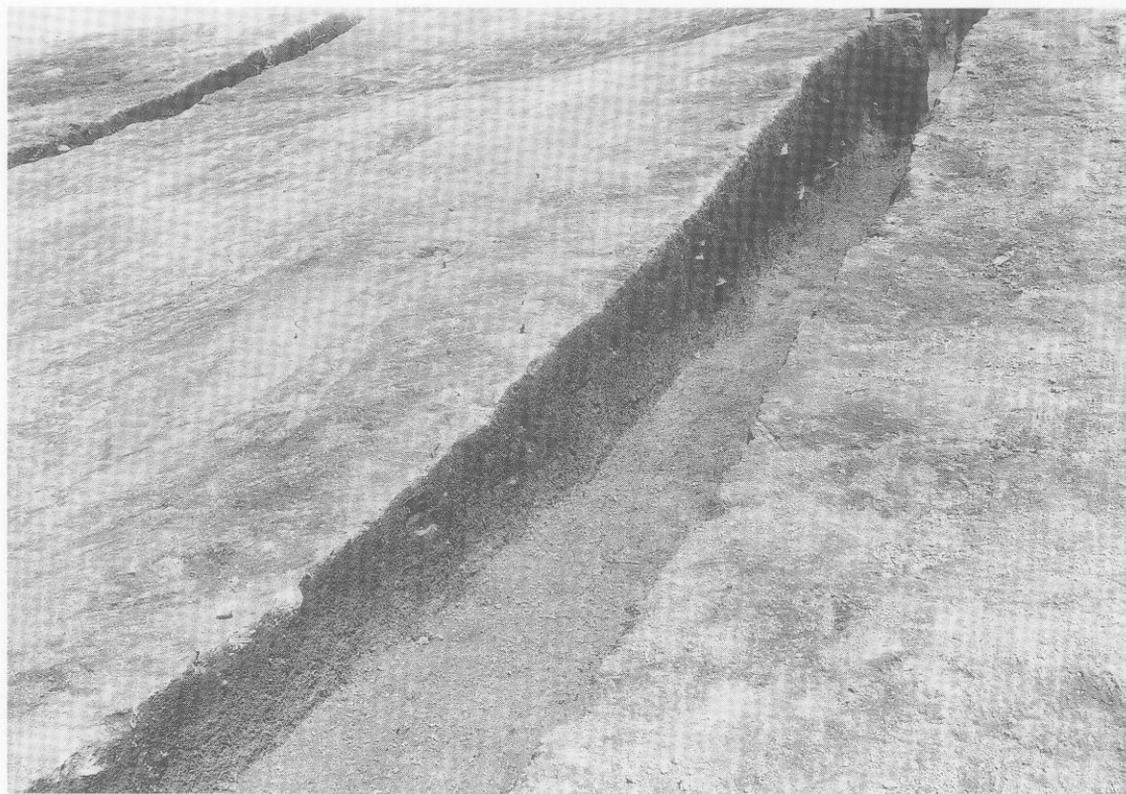
(1) 61—V号窠跡



(2) 61—V号窠跡煙道



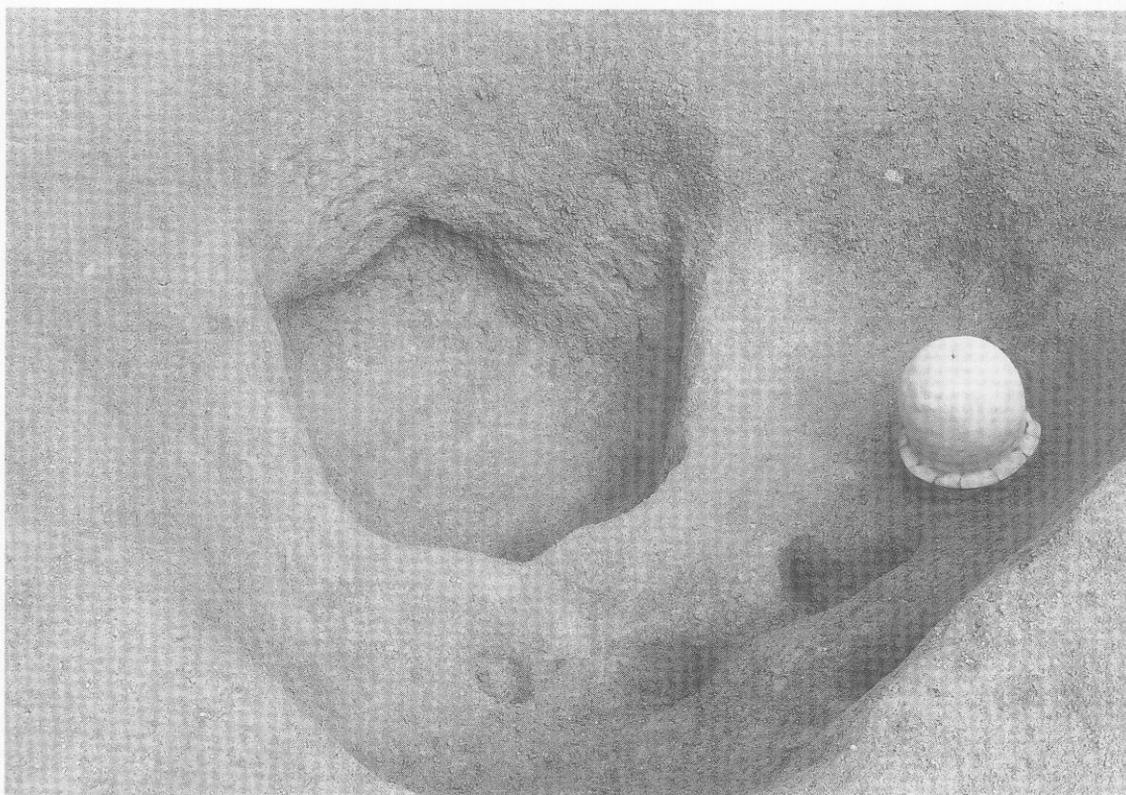
(1) 61—II·III号窑迹灰原断面



(2) 61—IV号窑迹灰原断面



(1) 61—V号窑迹灰原断面



(2) 61—SK 0 6



(1) 63地点全景



(2) 63地点近景



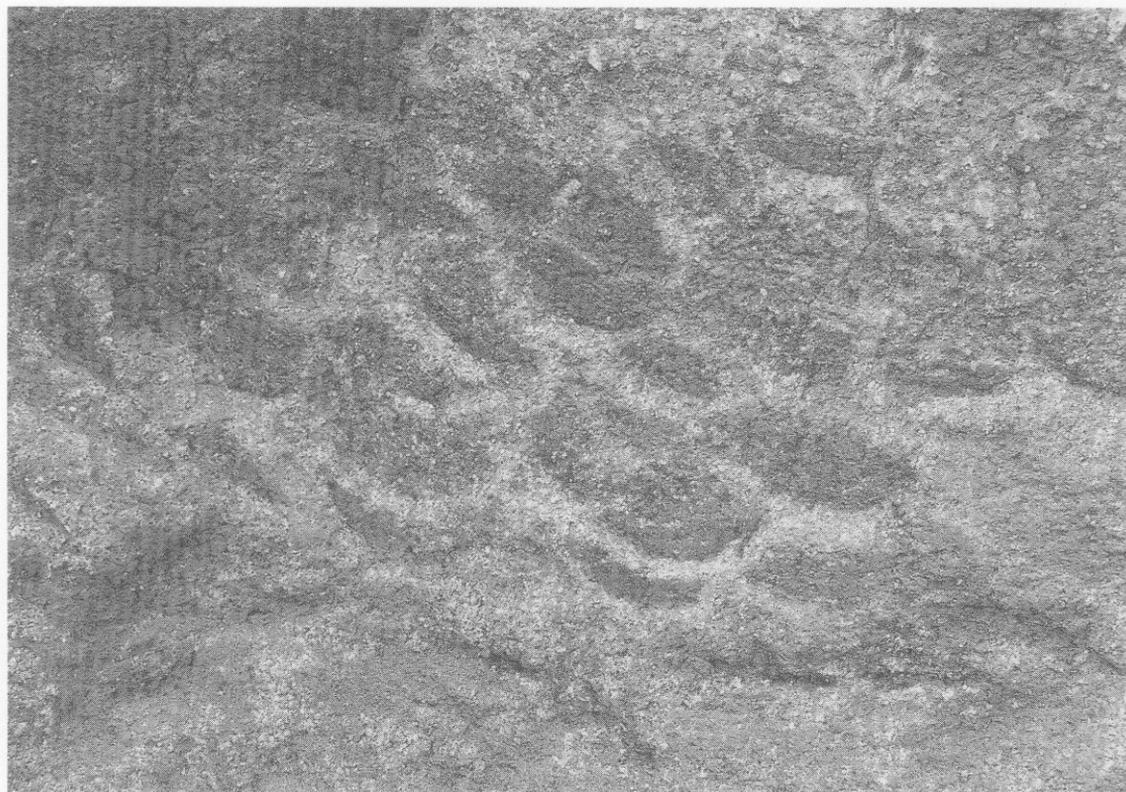
(1) 63— I号窯跡全景



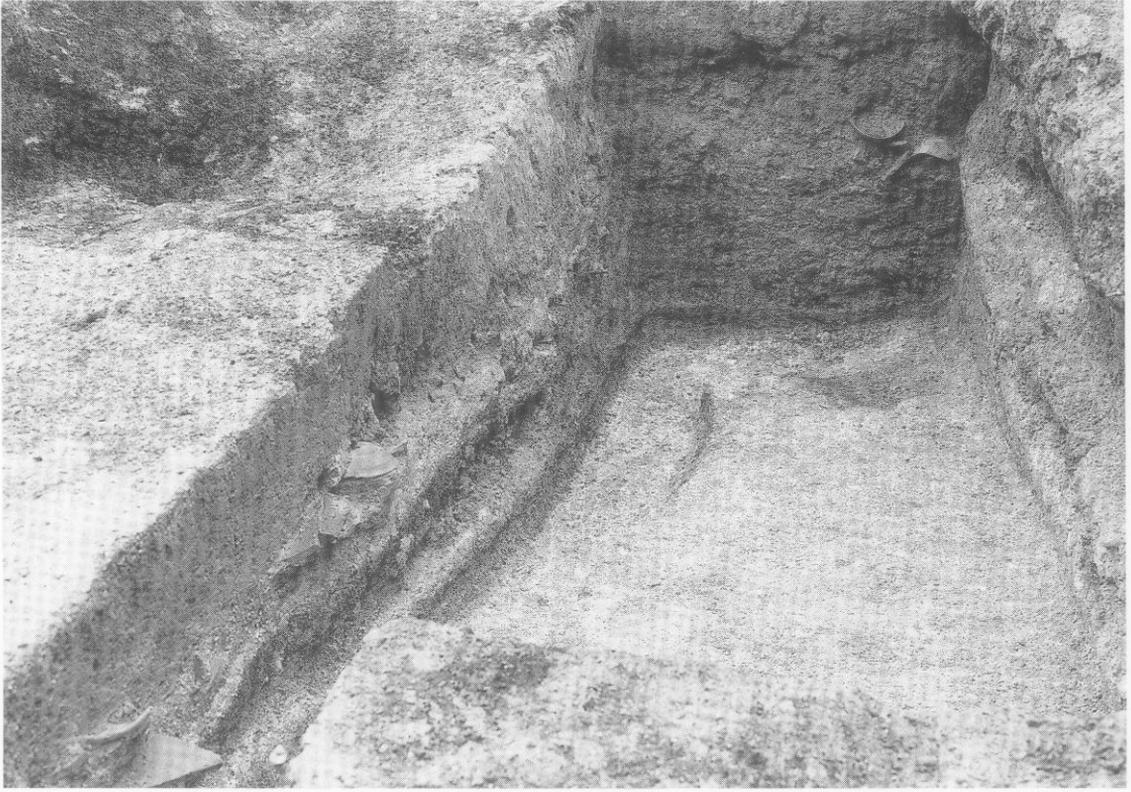
(2) 63— I号窯跡煙出し・排水溝



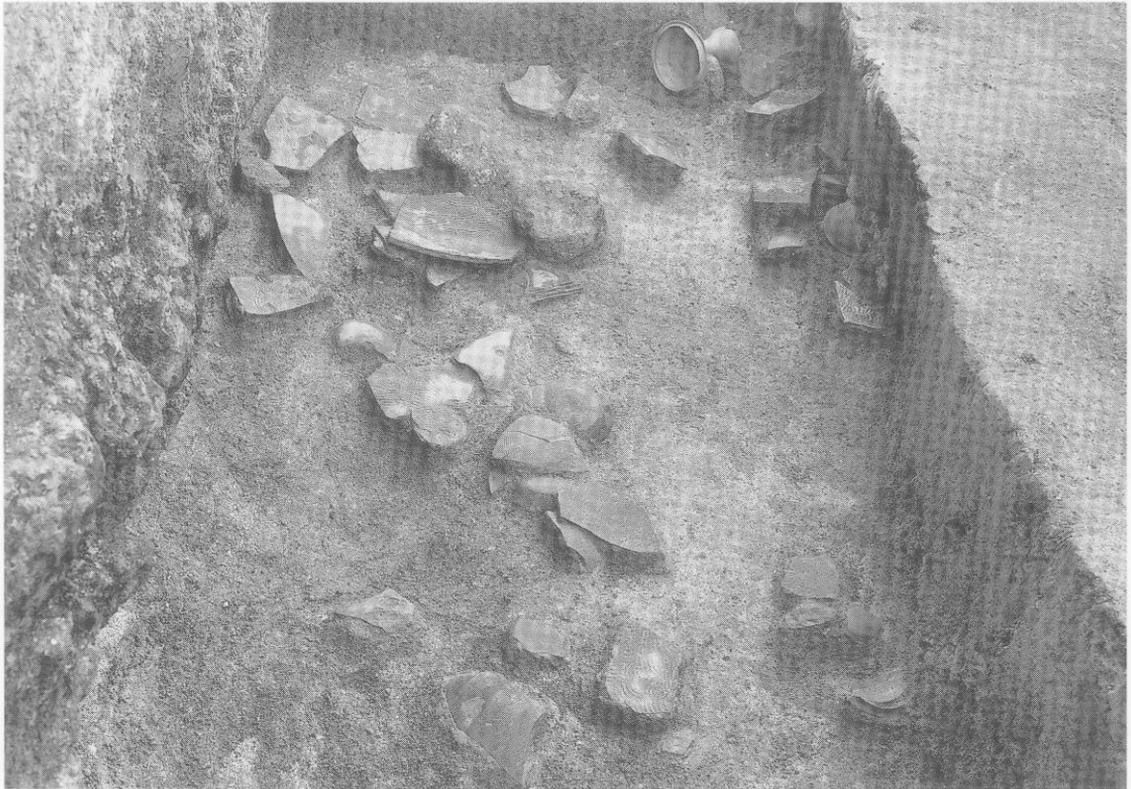
(1) 63— I 号窑迹侧壁



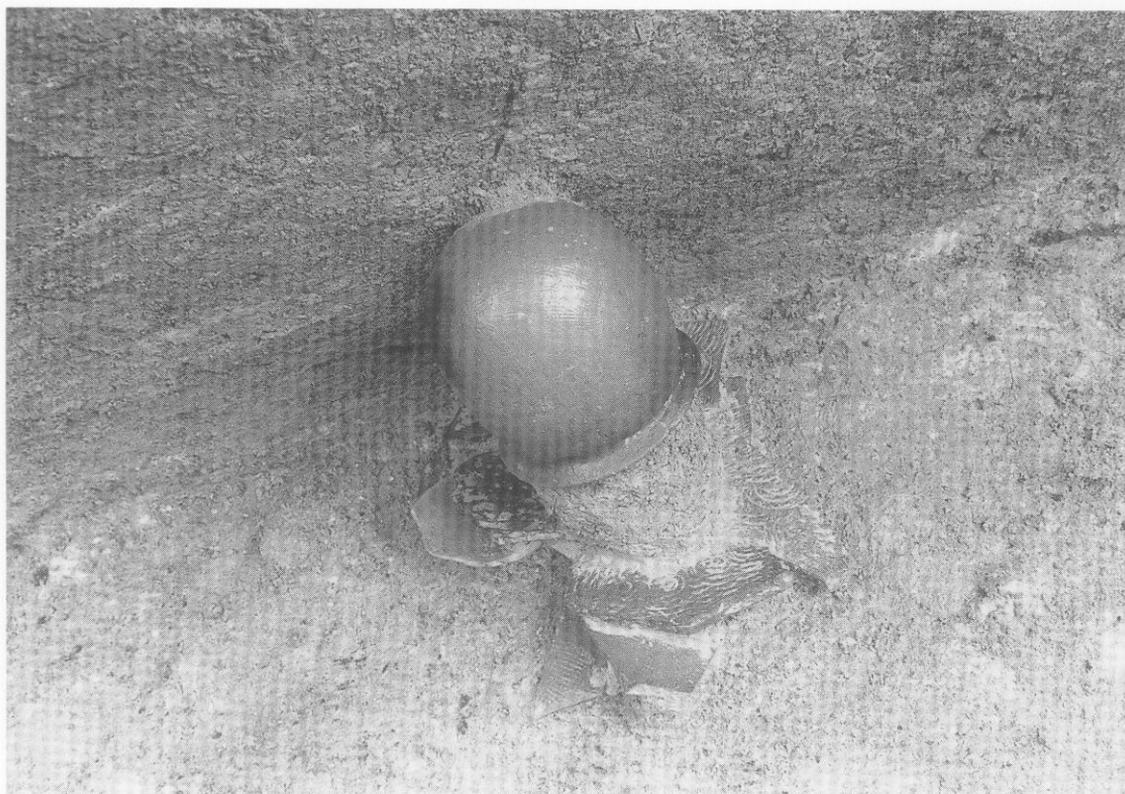
(2) 63— I 号窑迹工具痕



(1) 63— I 号窯跡床断面



(2) 63— I 号窯跡須惠器出土状态



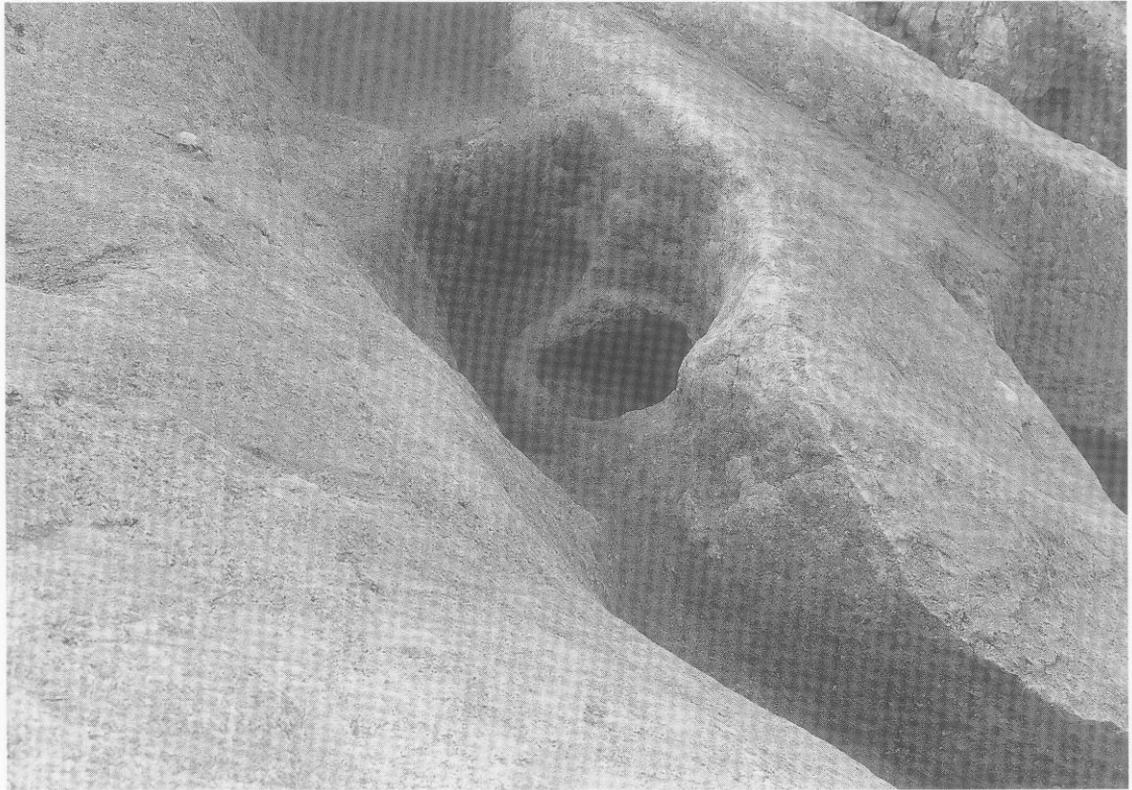
(1) 63— I 号窠跡遺物出土状态



(2) 63— I 号窠跡遺物出土状态



(1) 63-II号窯跡



(2) 63-II号窯跡煙出し・排水溝



(1) 65地点調査前



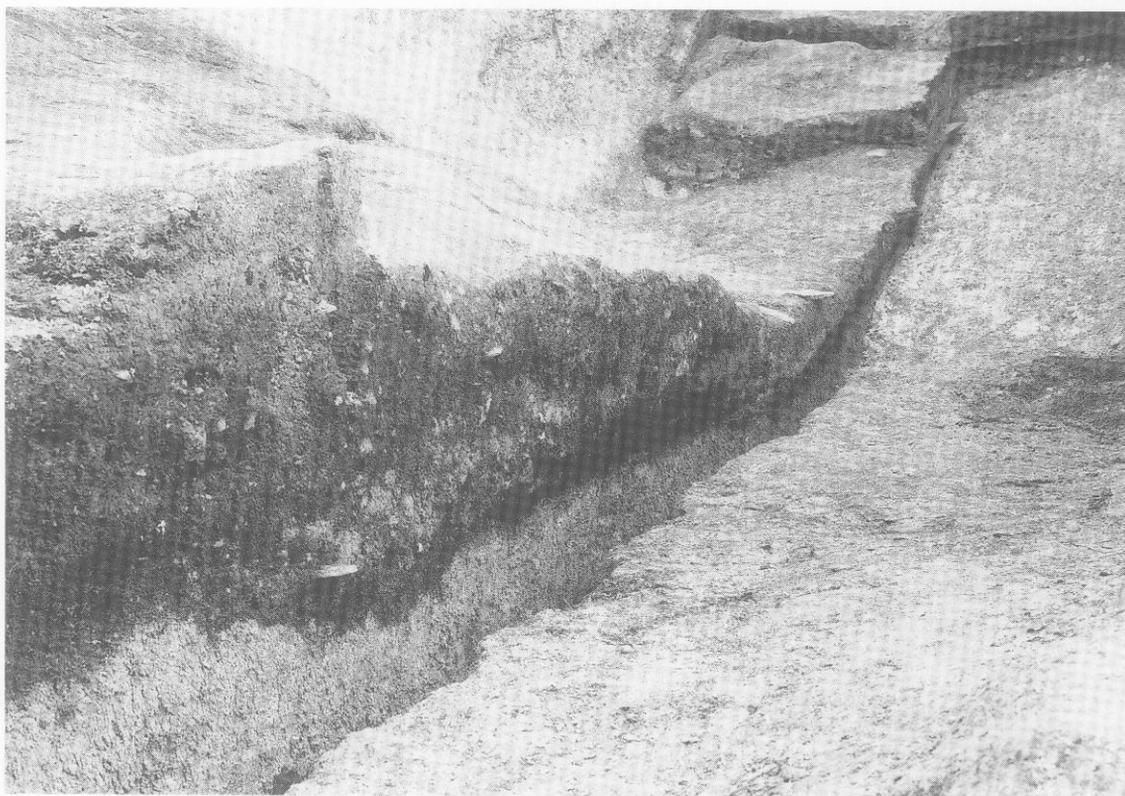
(2) 65-I号窠跡全景



(1) 65— I 号窯跡最終床面



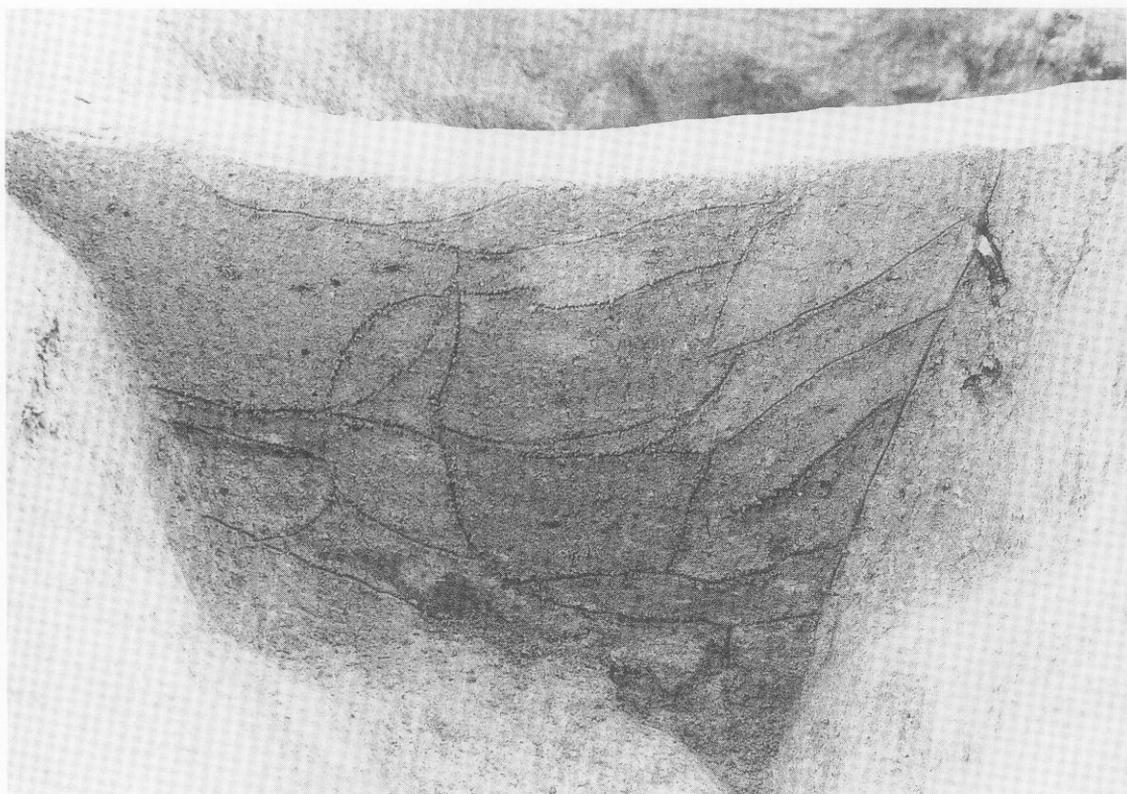
(2) 65— I 号窯跡半載状态



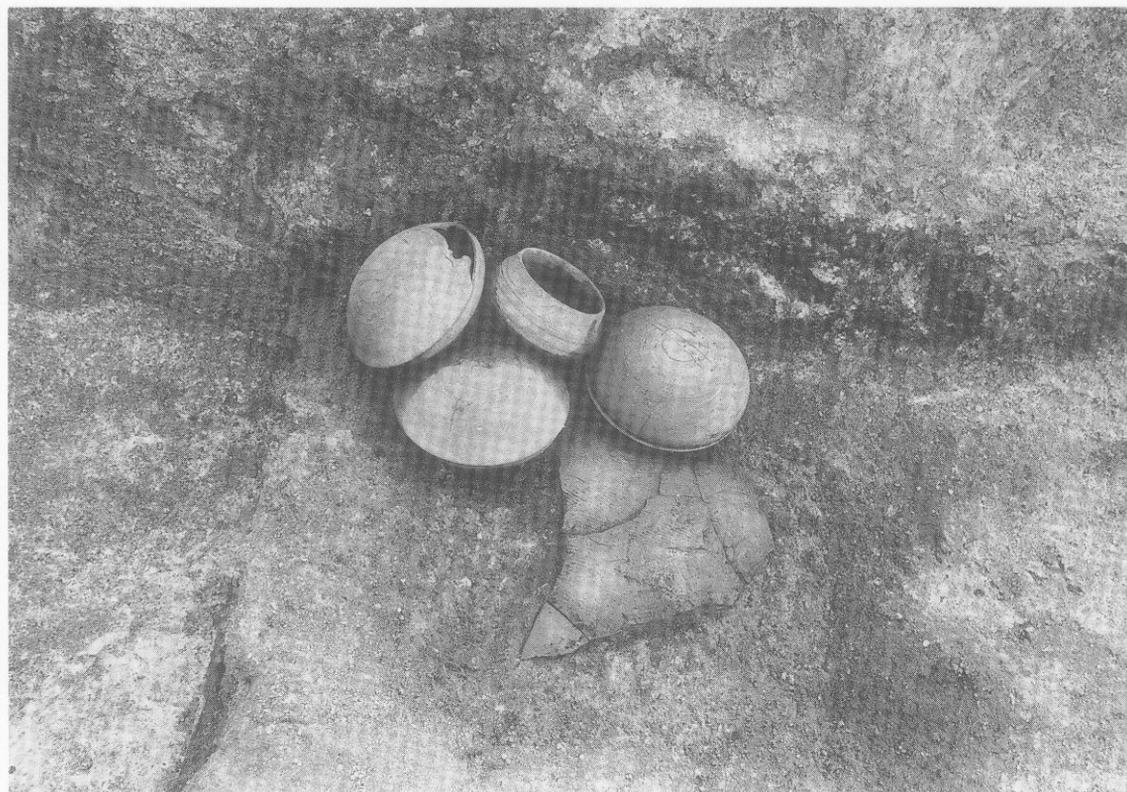
(1) 65-I号窯跡床床断面



(2) 65-I号窯跡煙出し・排水溝



(1) 65— I 号窑迹排水沟埋土断面



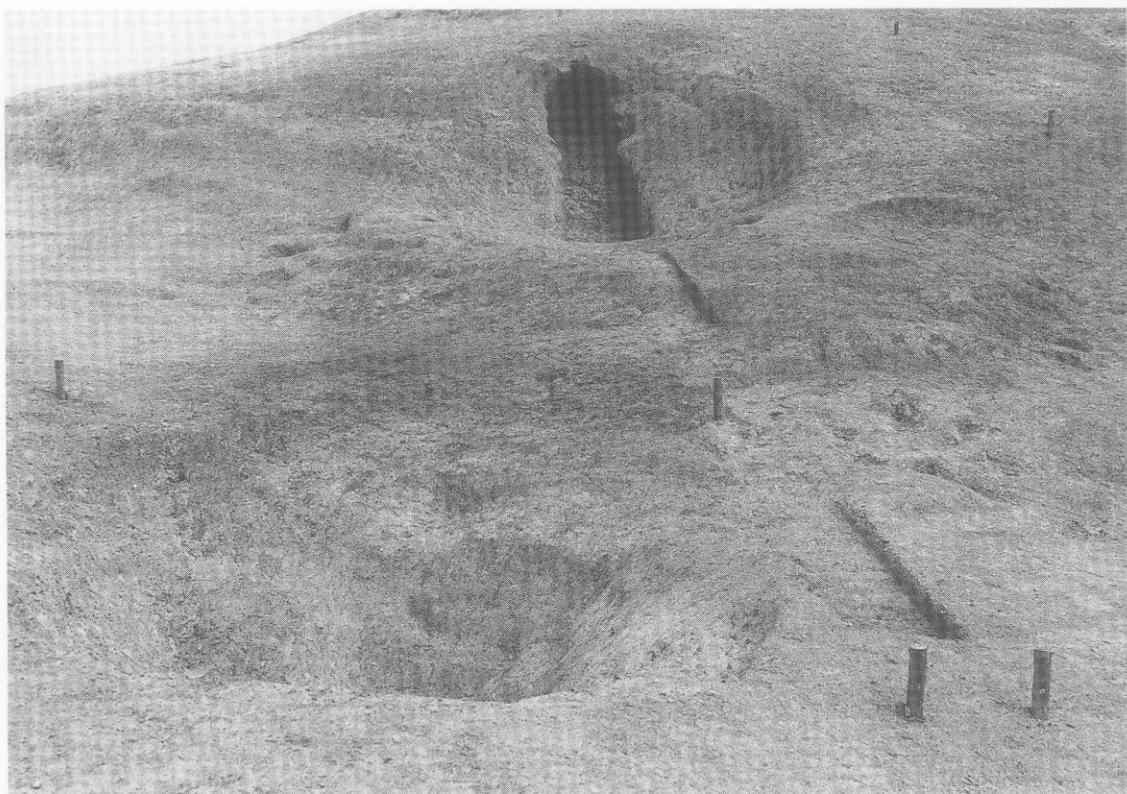
(2) 65— I 号窑迹须惠器出土状态



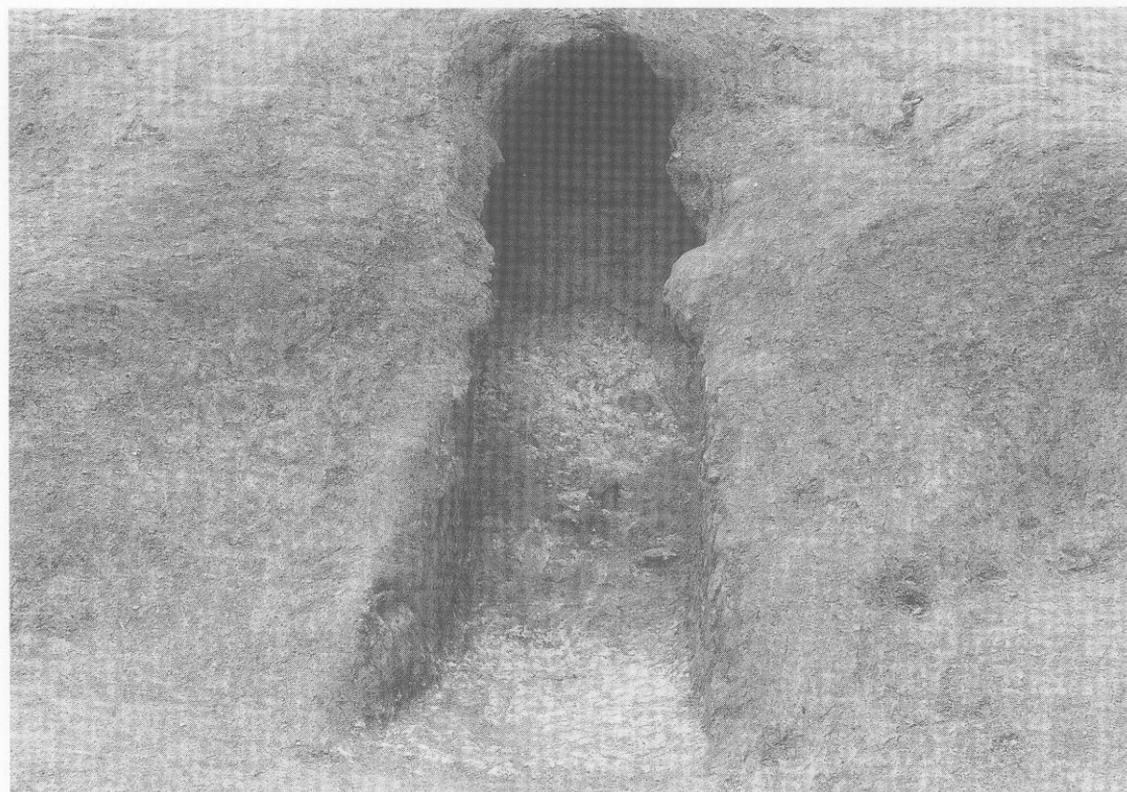
(1) 65・66地点遠景



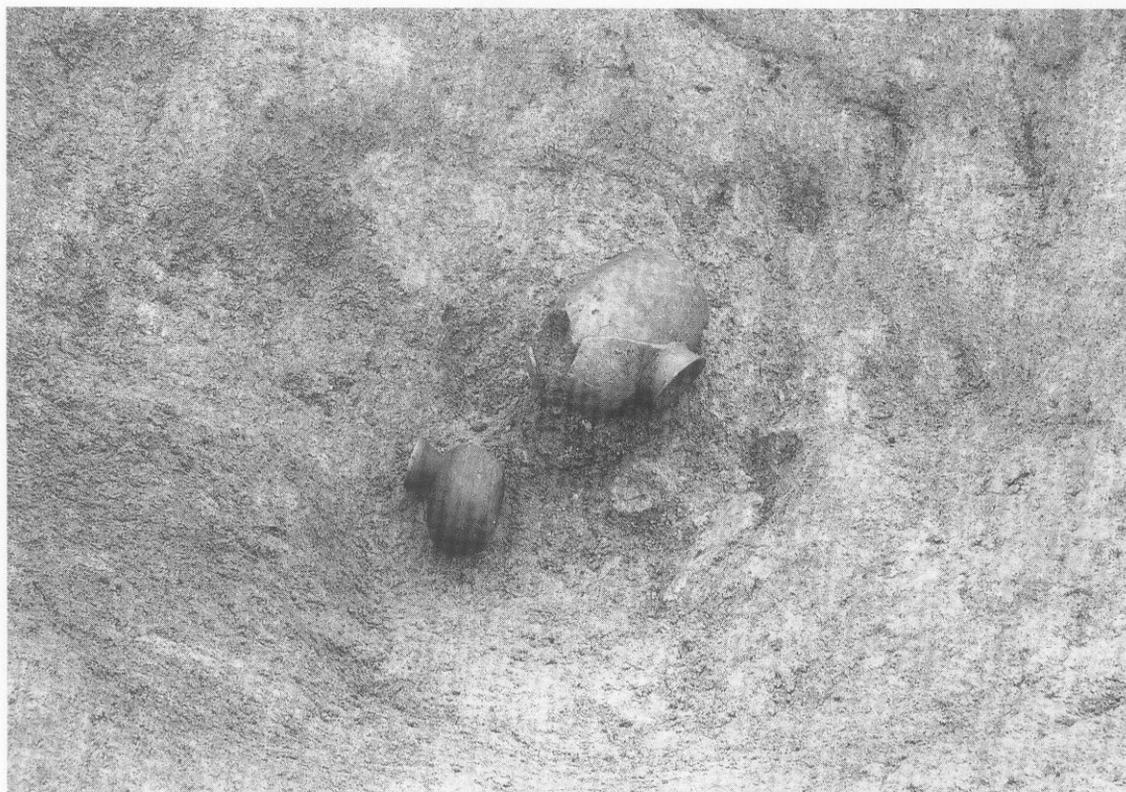
(2) 66地点調査前



(1) 66— I号窯跡・SK 0 2



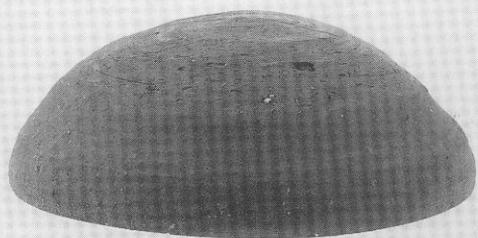
(2) 66— I号窯跡



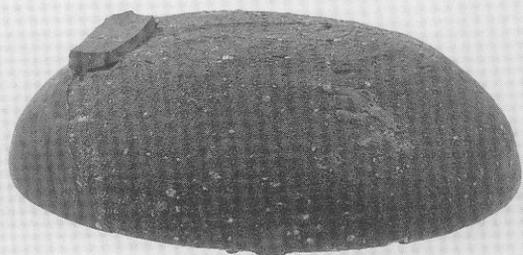
(1) 66—S K 0 1 遺物出土狀態



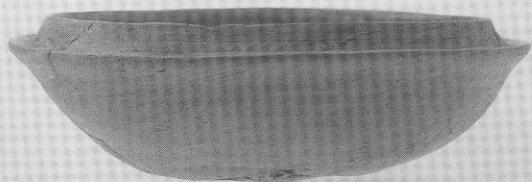
(2) 66—S K 0 2



1



2



6



12



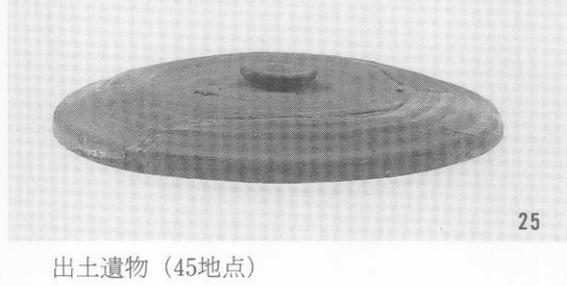
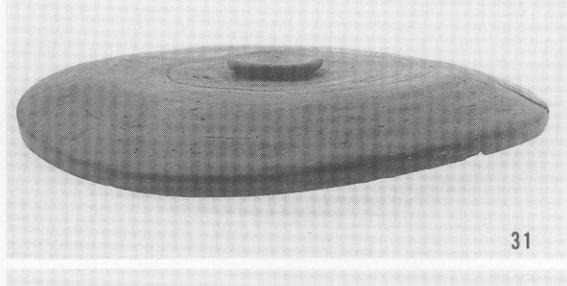
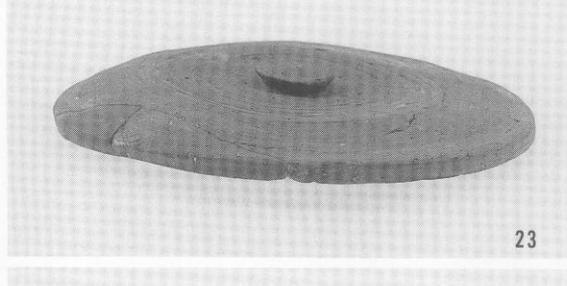
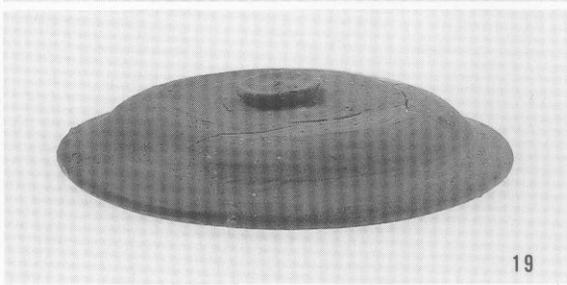
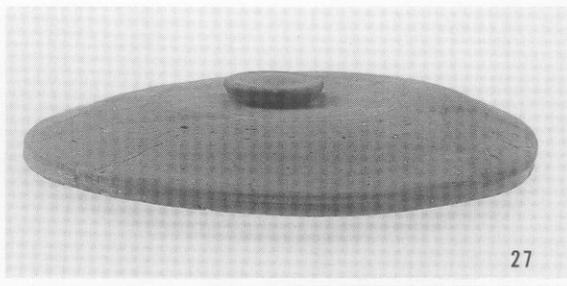
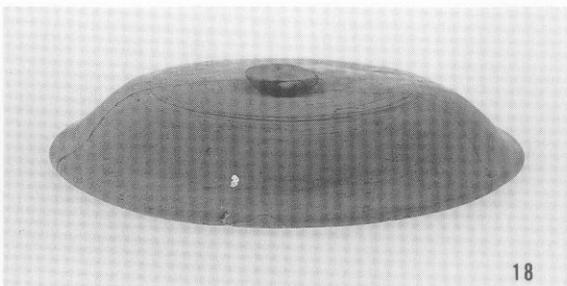
16

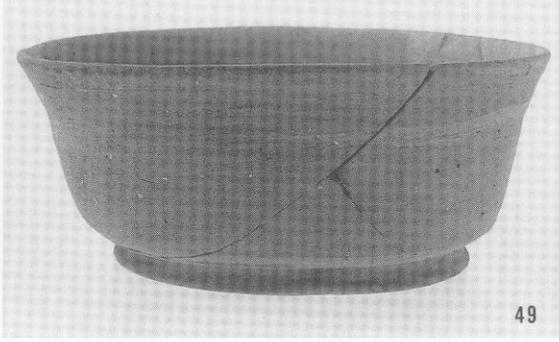
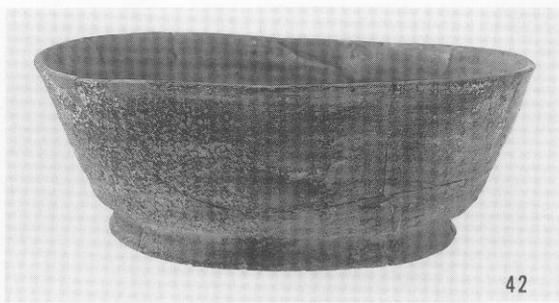


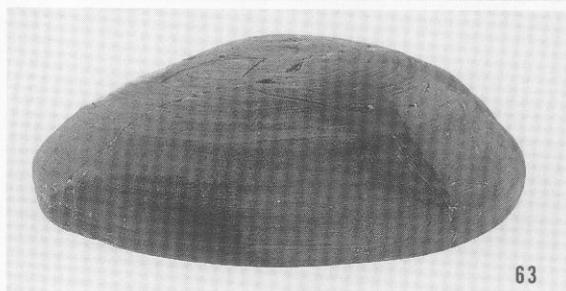
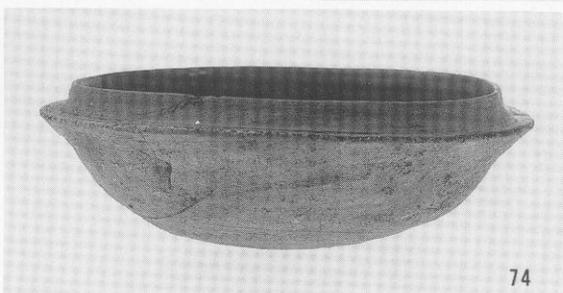
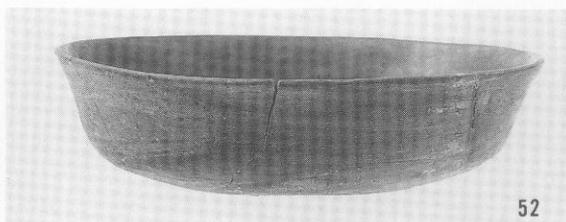
11

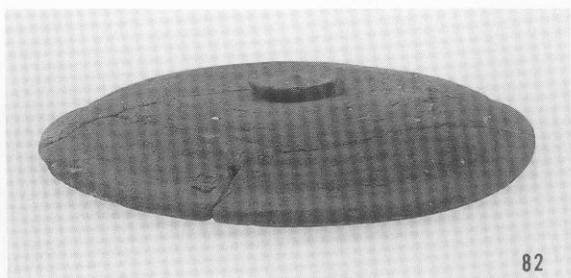


17





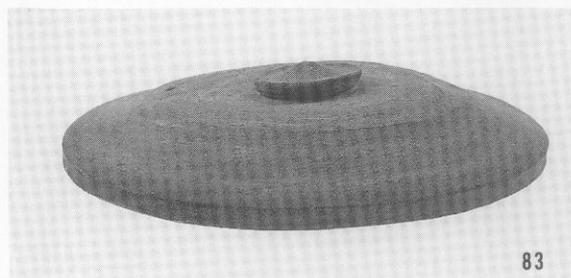




82



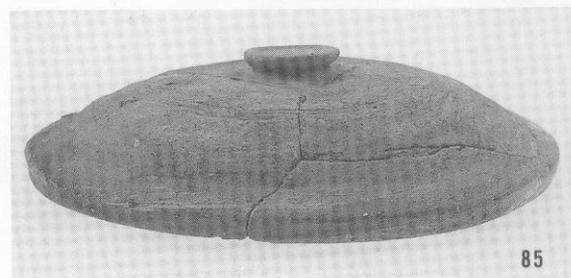
104



83



106



85



109



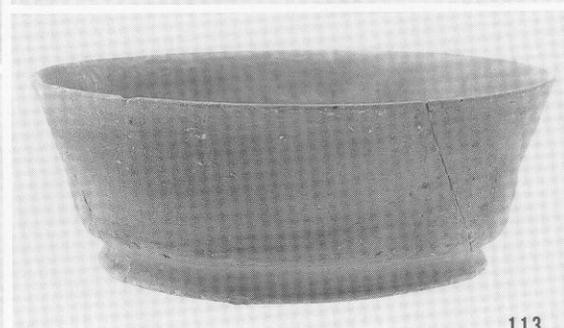
89



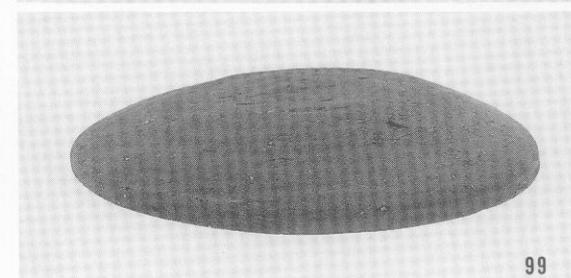
110



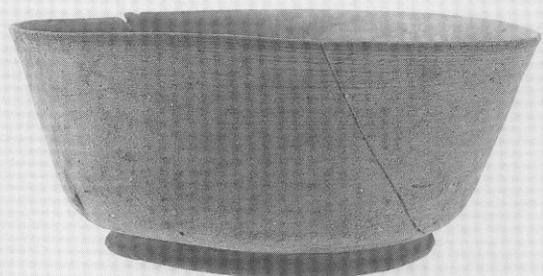
98



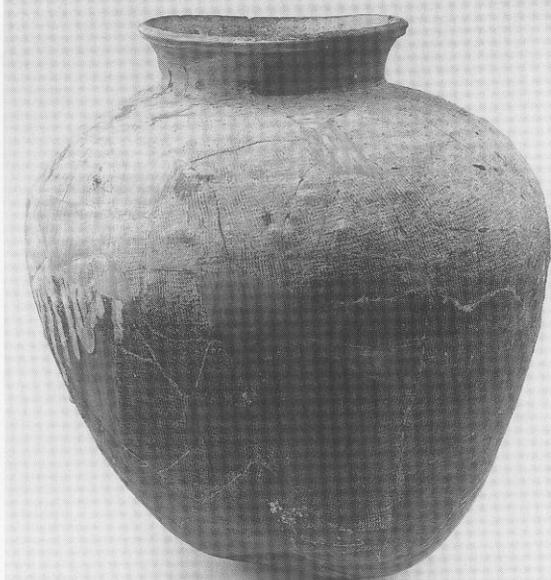
113



99



116



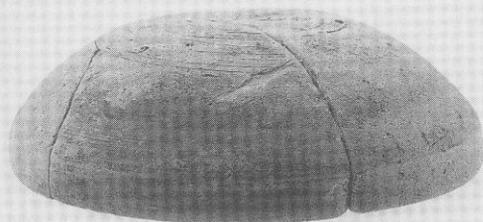
146



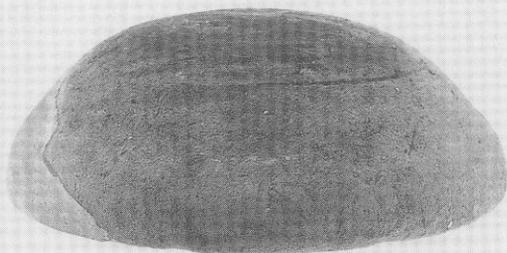
121



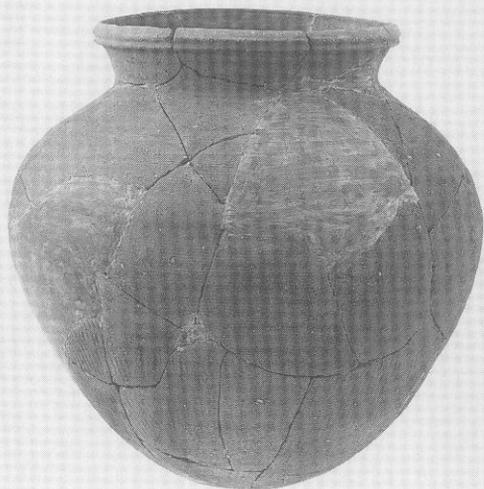
124



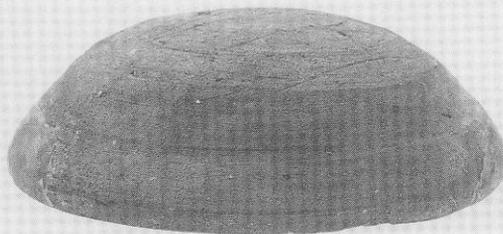
3



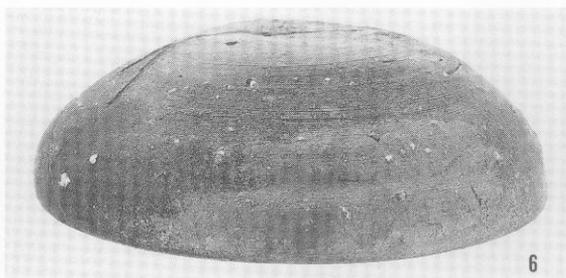
4



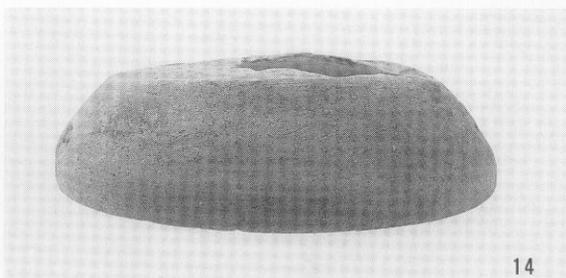
134



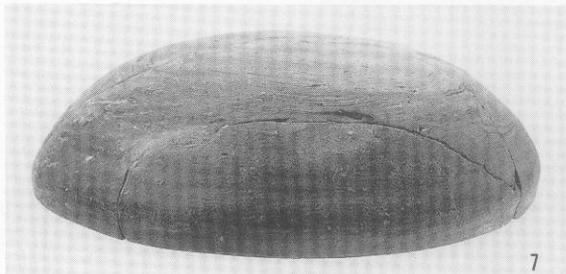
5



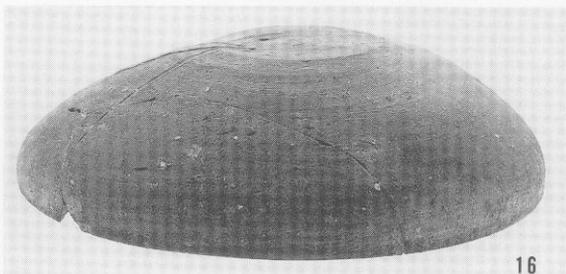
6



14



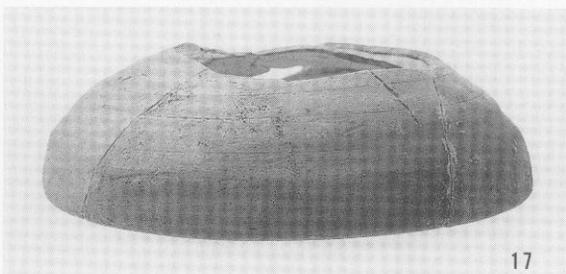
7



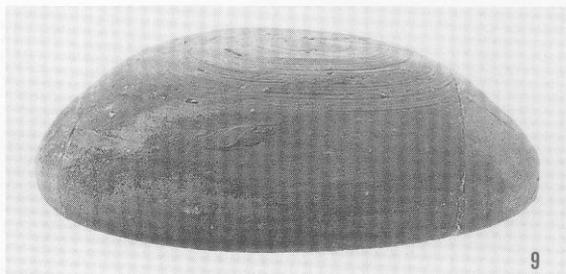
16



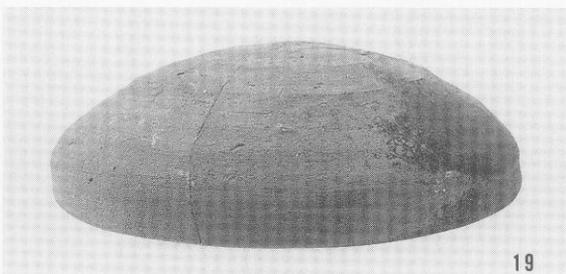
8



17



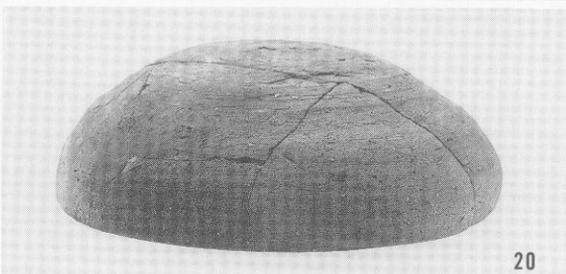
9



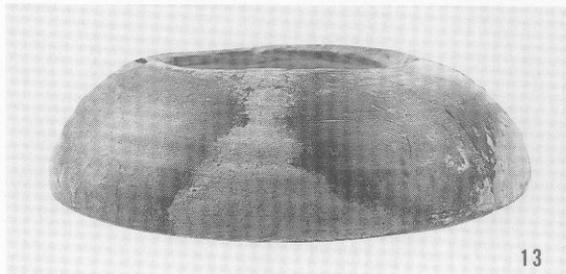
19



10



20



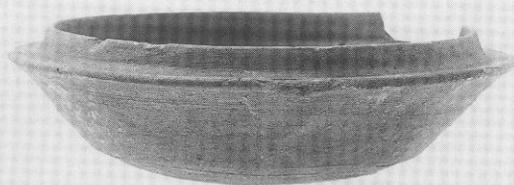
13



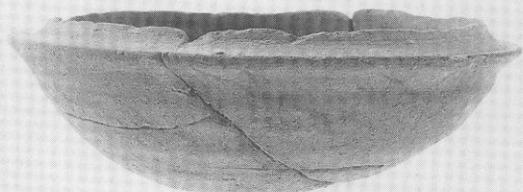
21



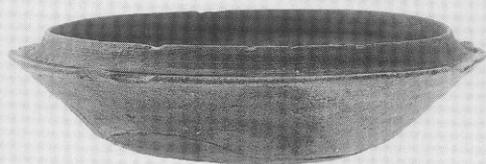
22



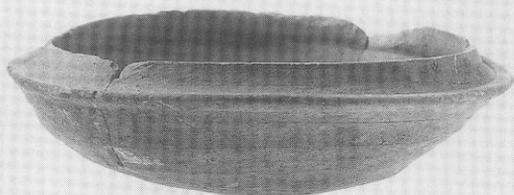
28



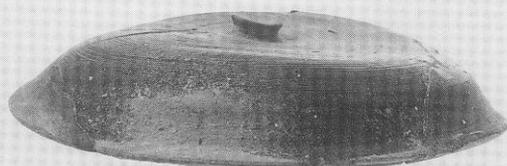
23



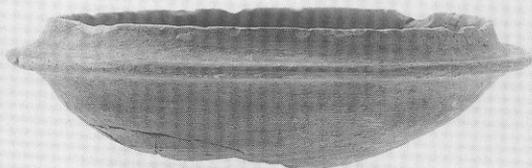
29



24



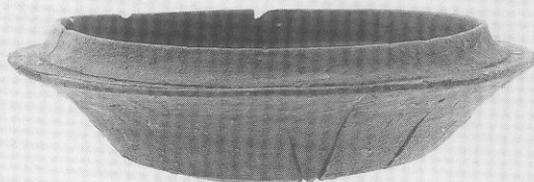
32



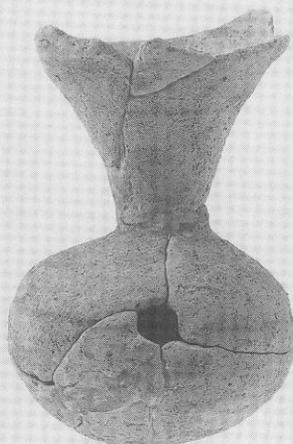
25



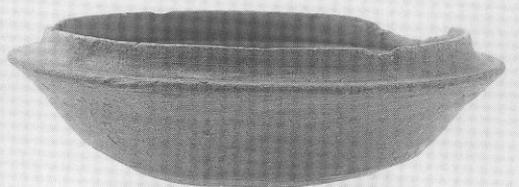
33



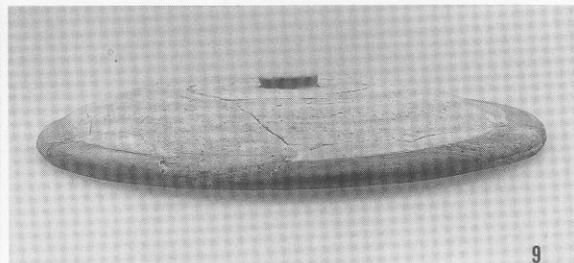
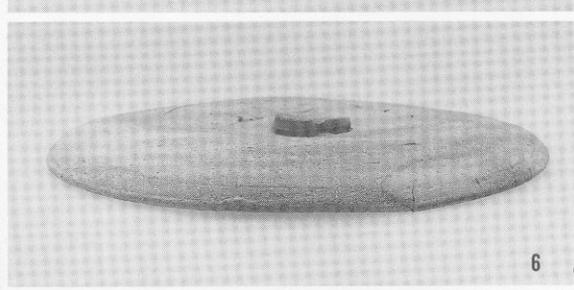
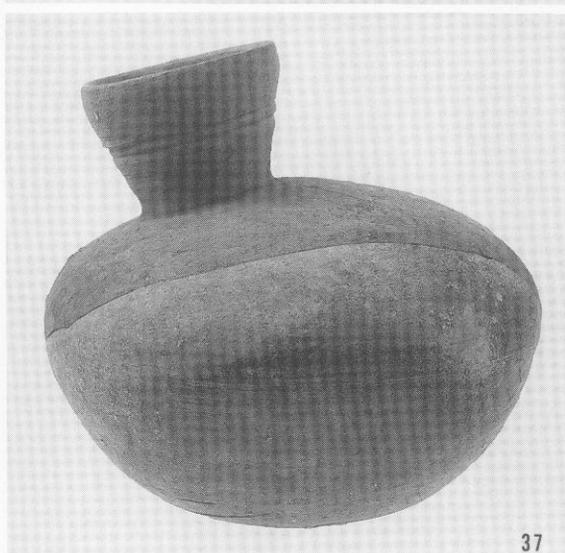
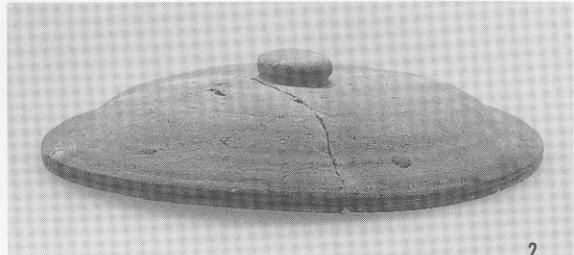
26

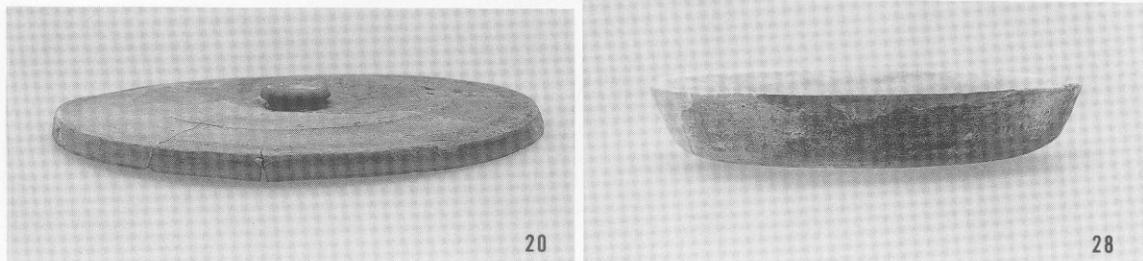
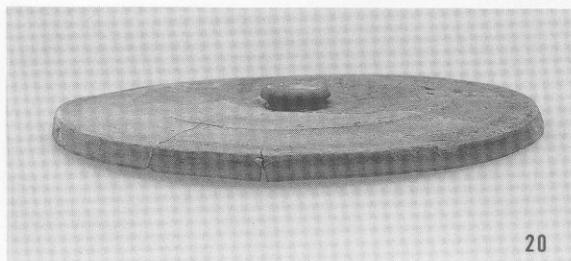
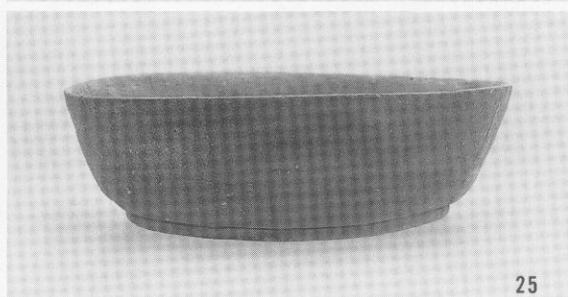
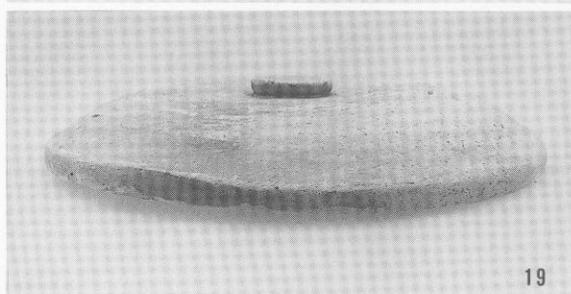
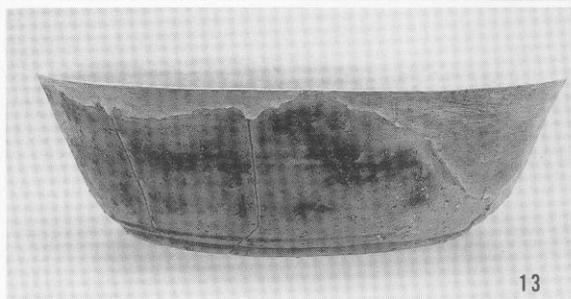


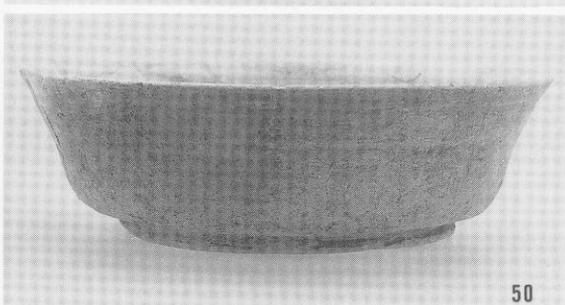
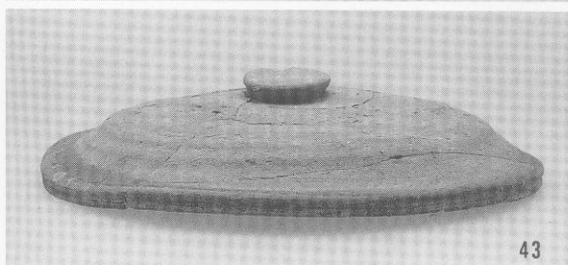
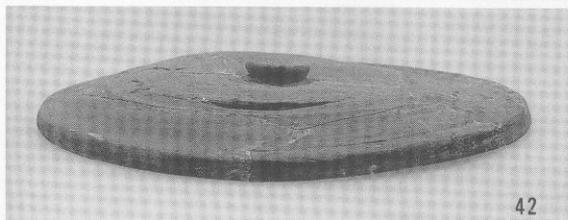
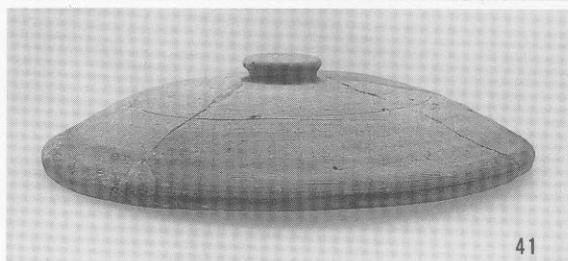
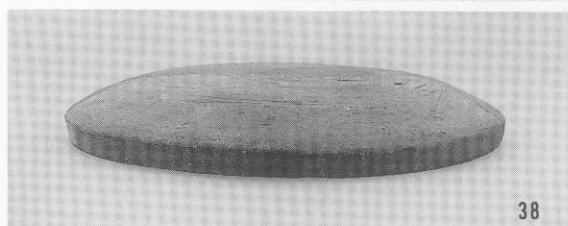
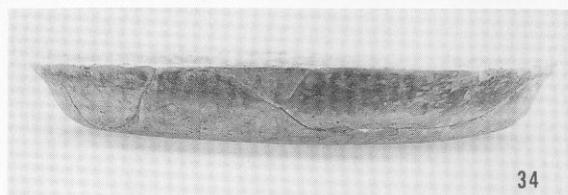
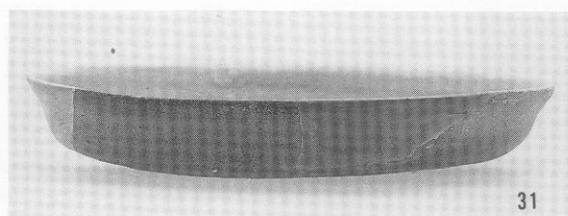
34

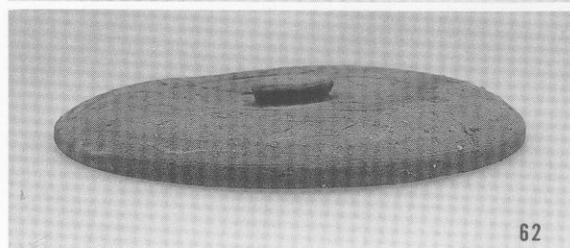
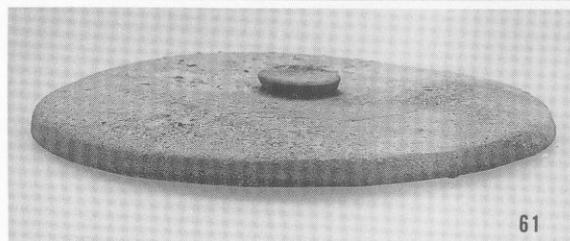
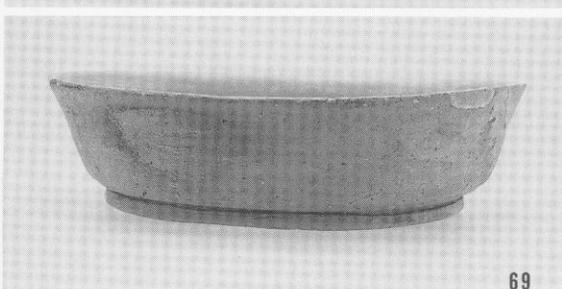
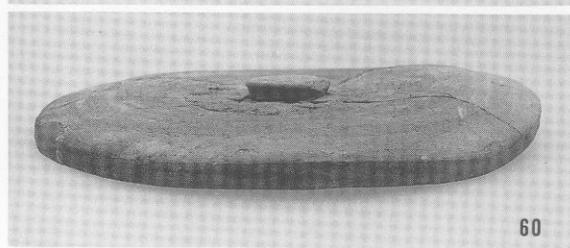
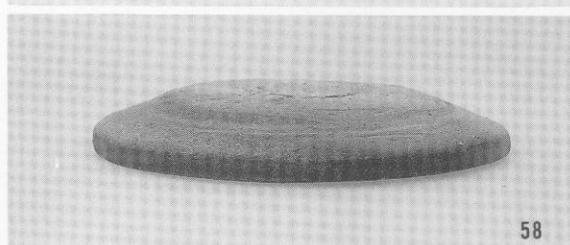
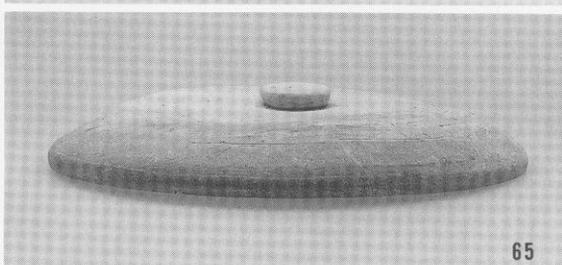
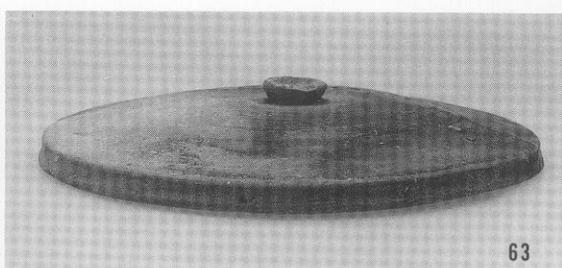


27

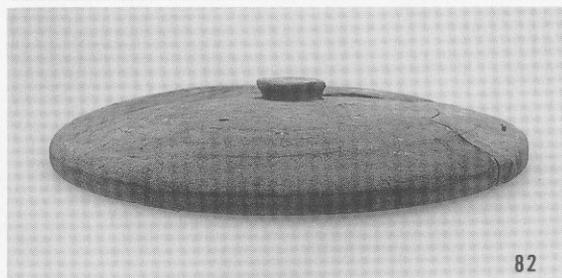
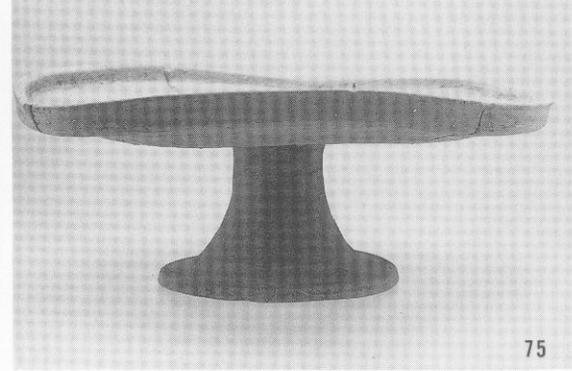
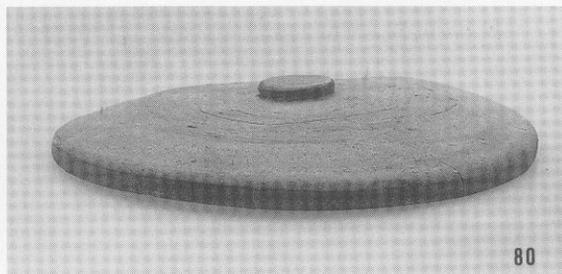




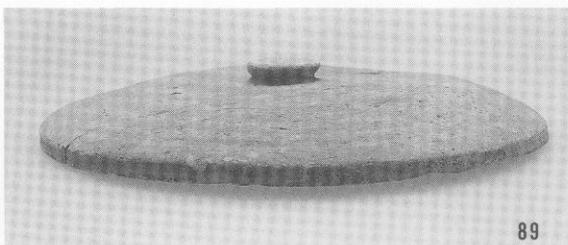




出土遺物 (59地点)



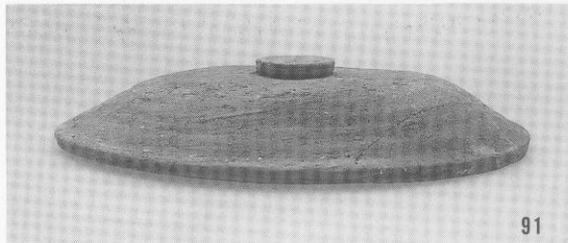
出土遺物 (59地点)



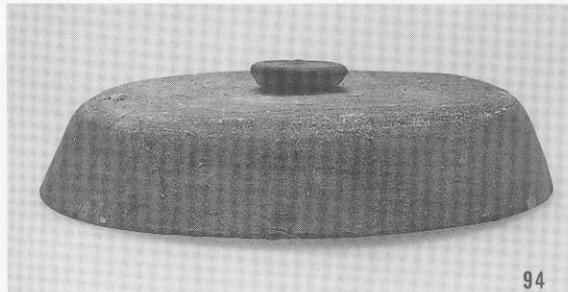
89



90



91



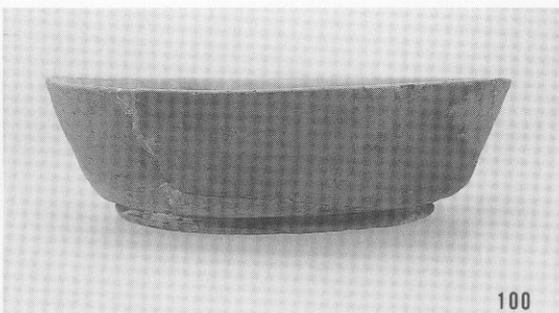
94



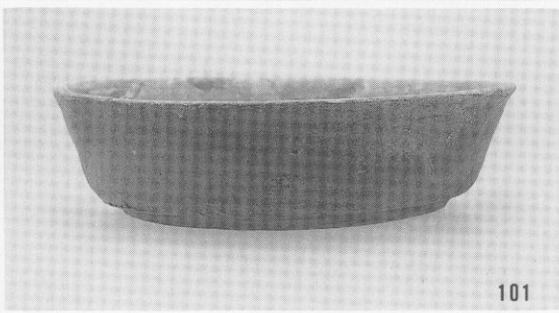
95



96



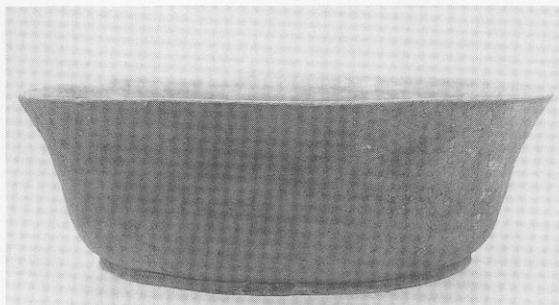
100



101



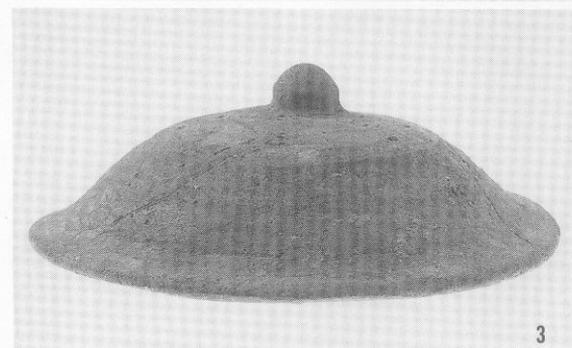
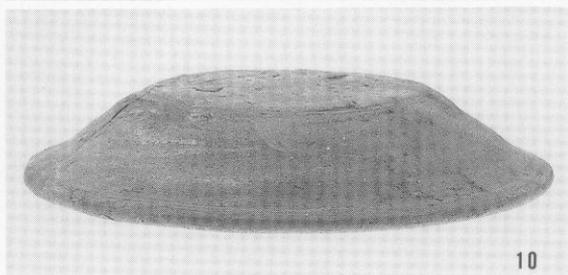
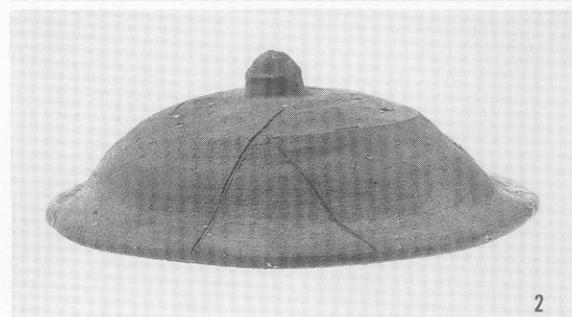
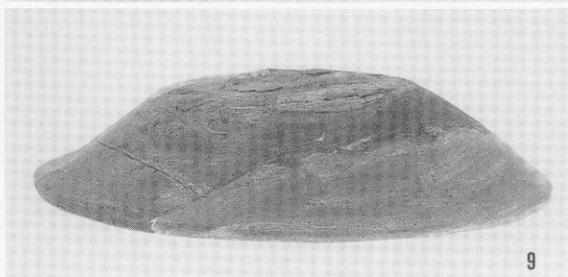
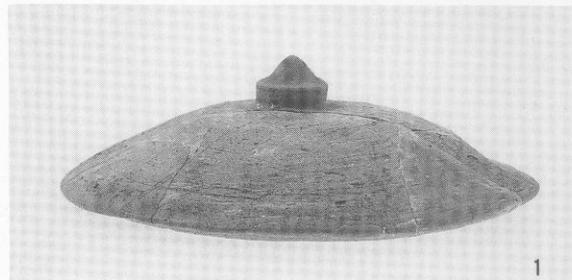
102

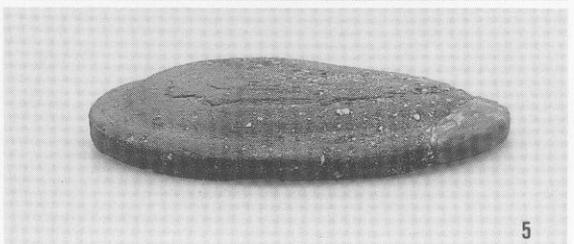
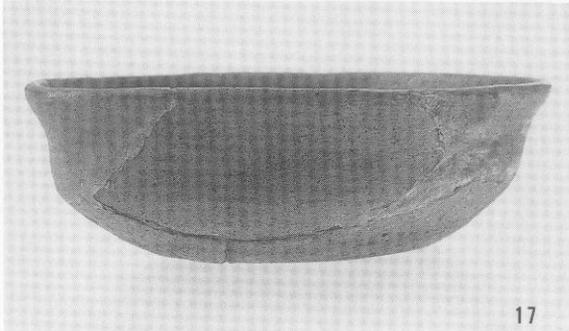
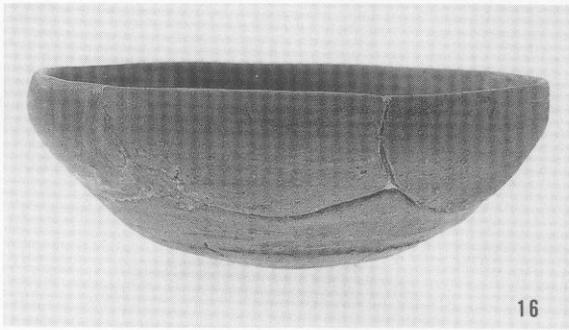
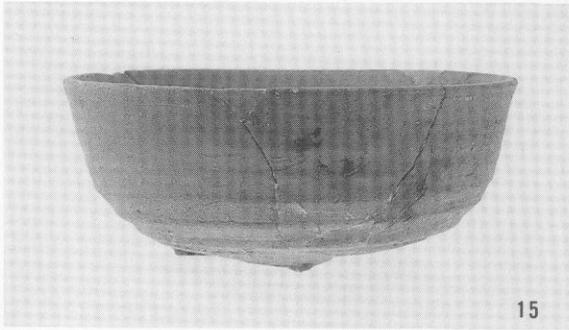
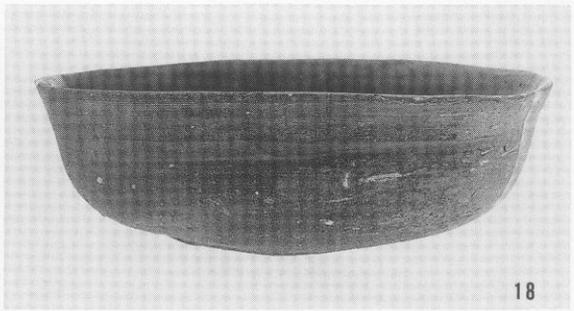
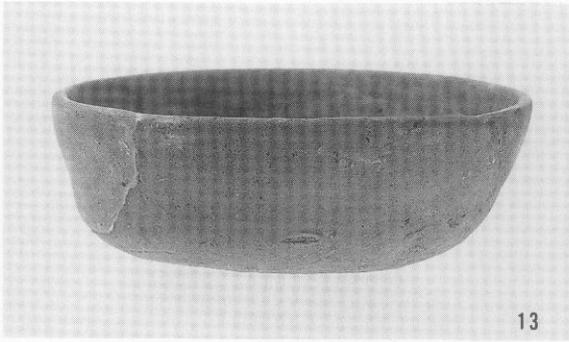


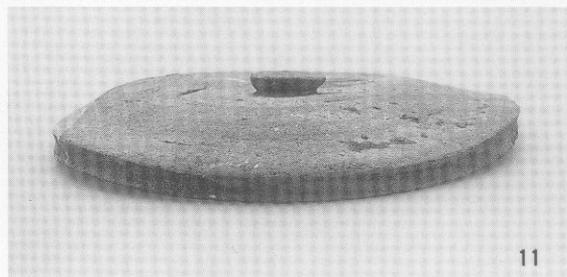
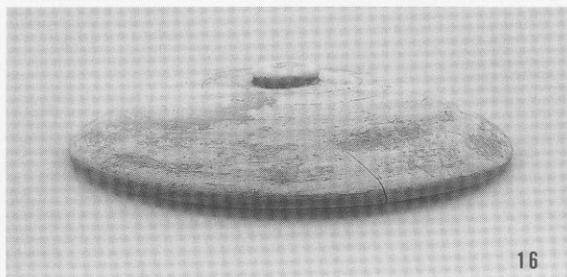
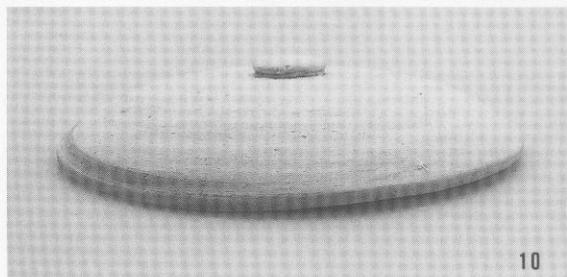
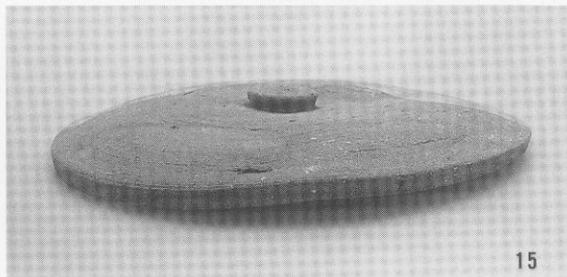
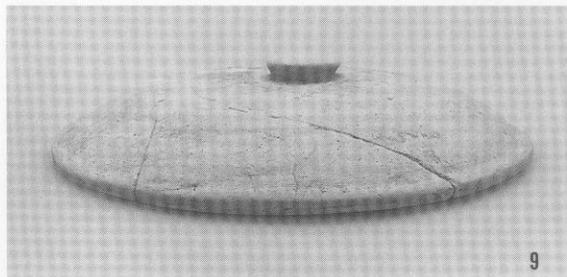
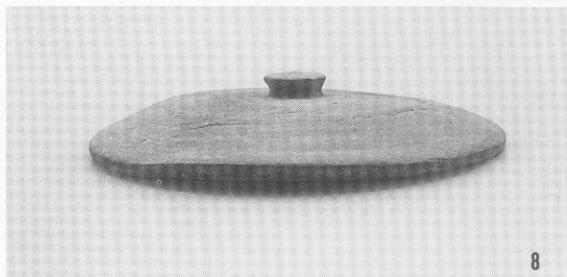
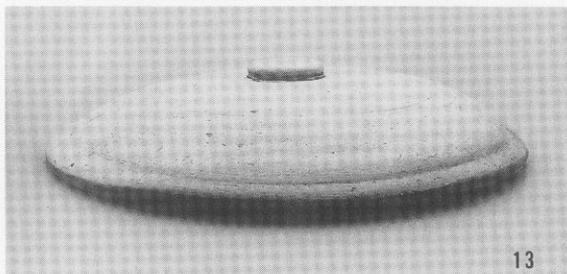
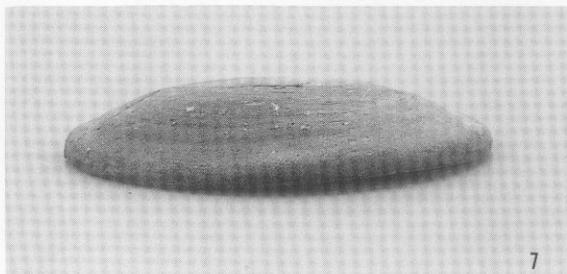
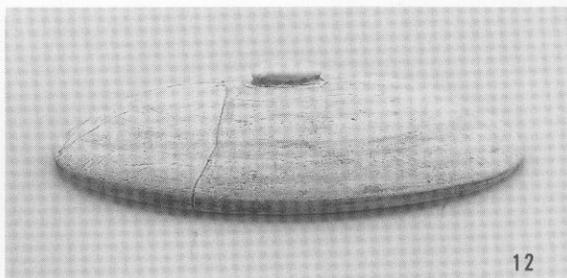
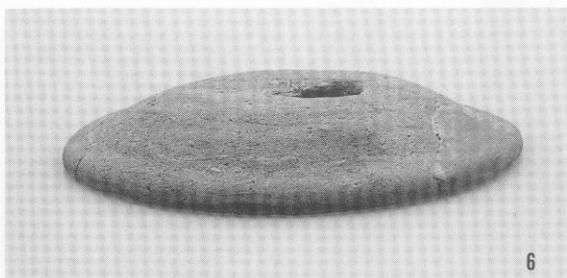
104

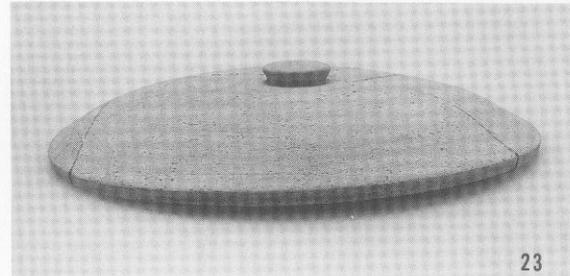
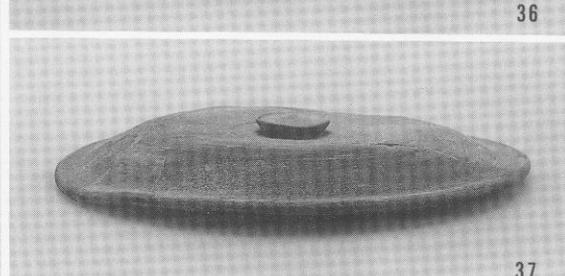
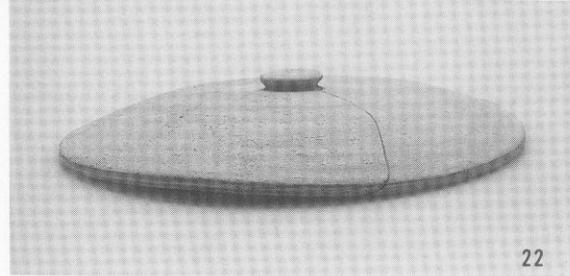
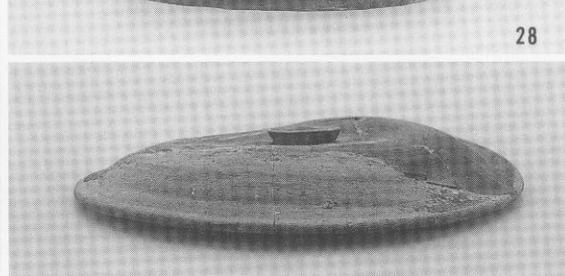
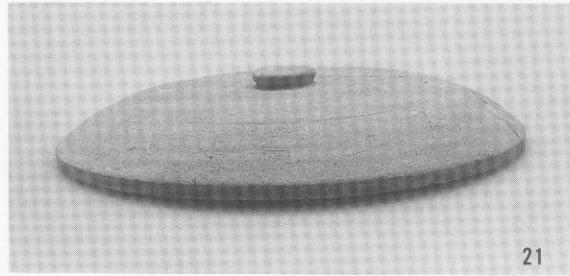
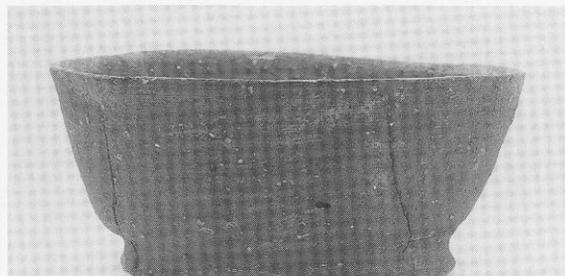
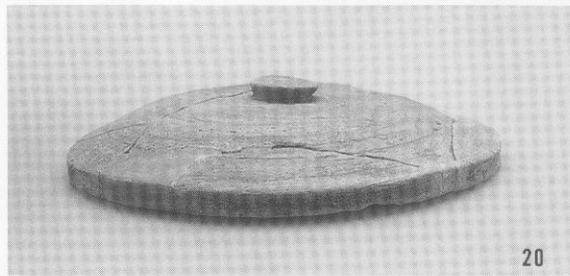
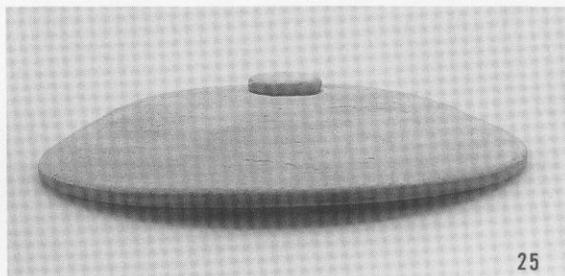
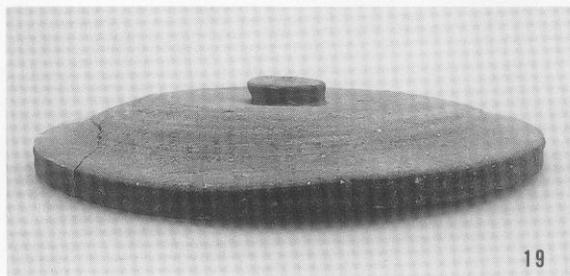
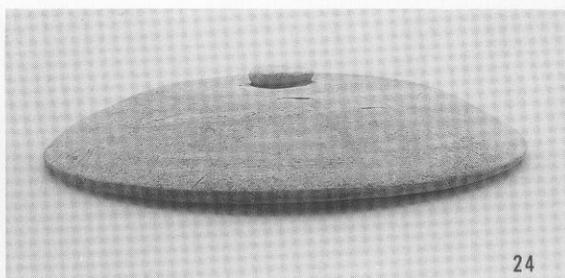
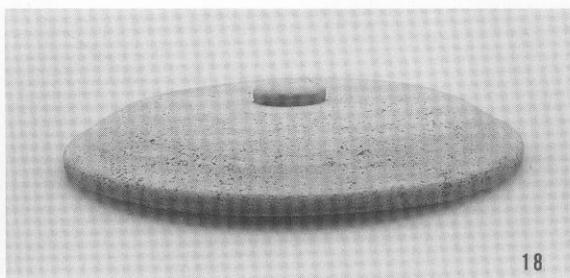


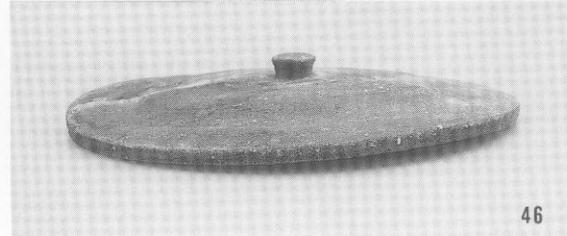
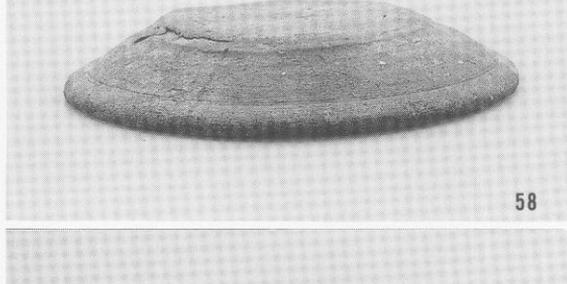
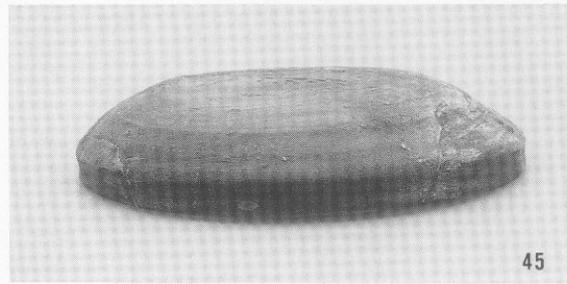
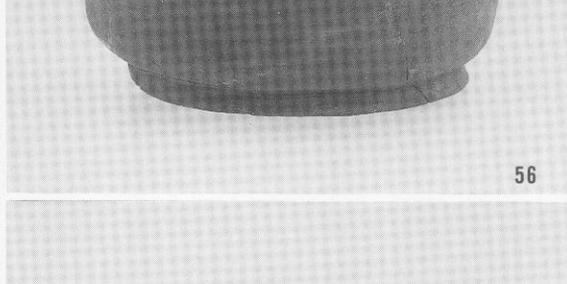
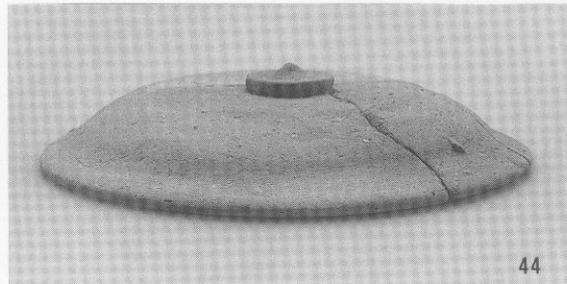
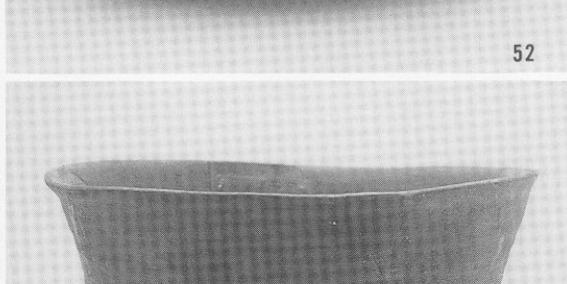
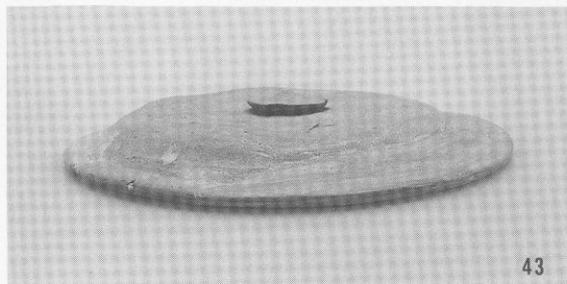
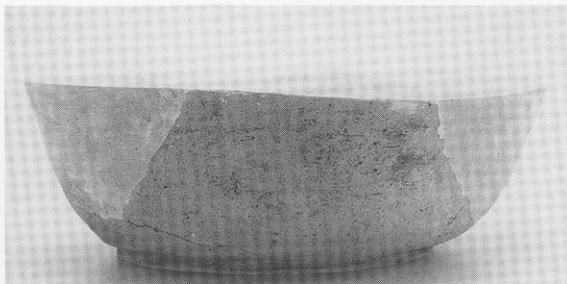
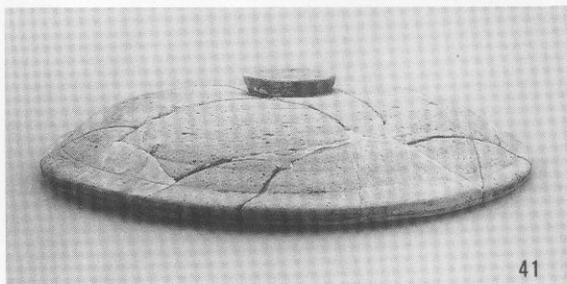
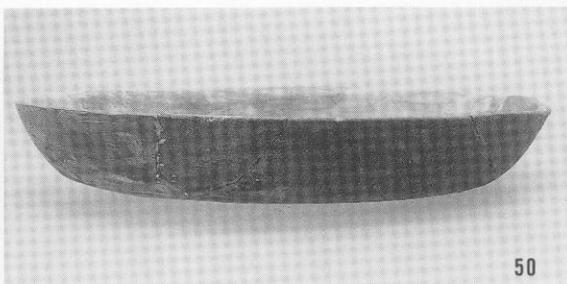
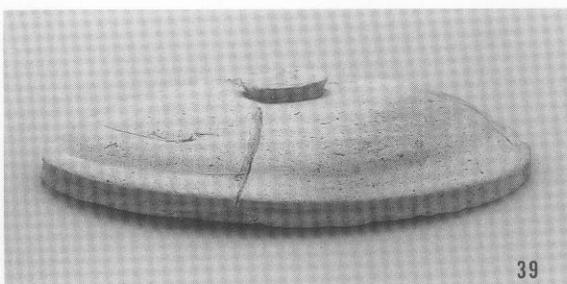
106

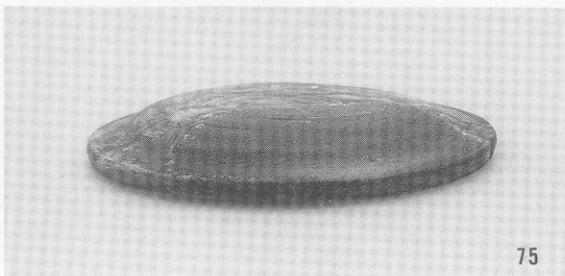
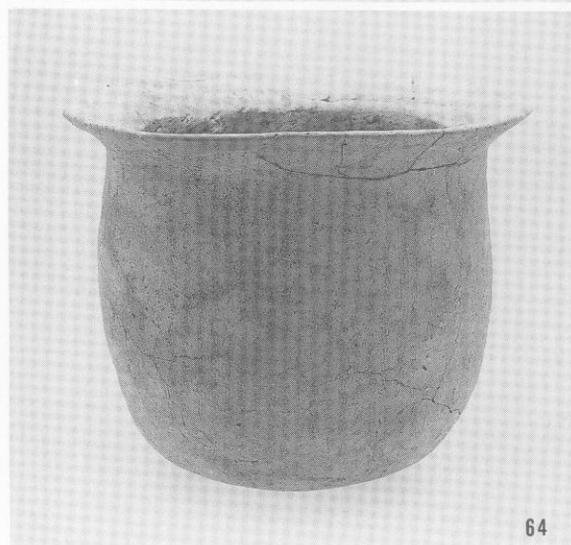
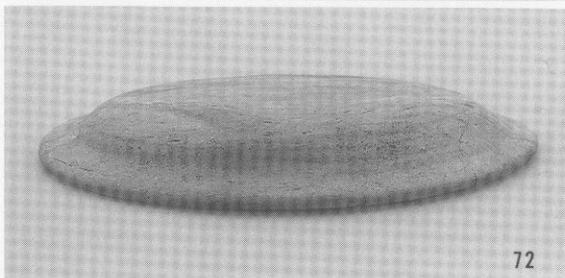
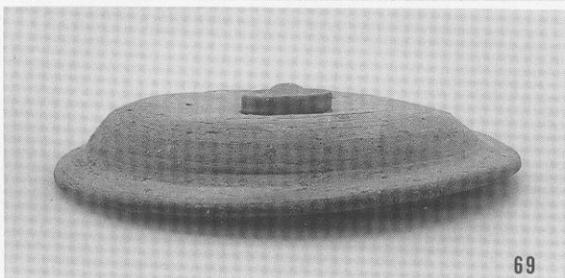
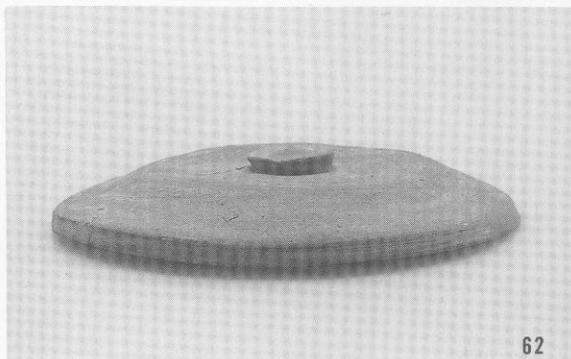
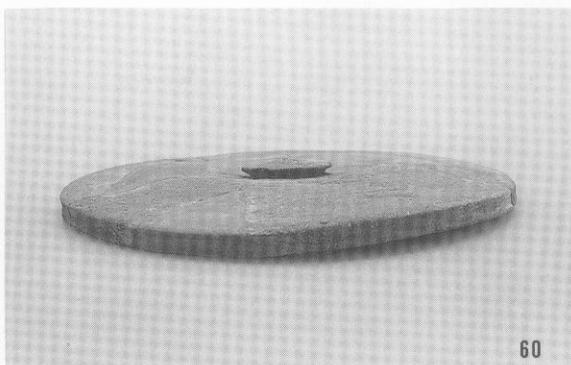




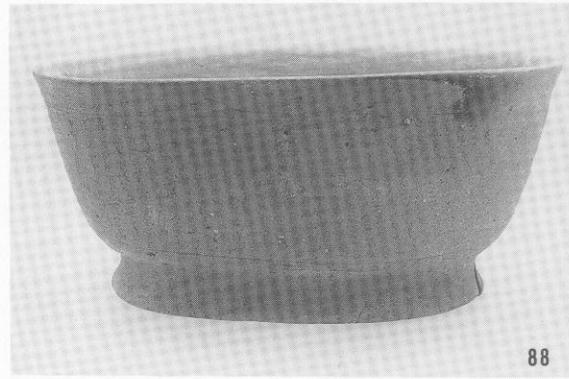
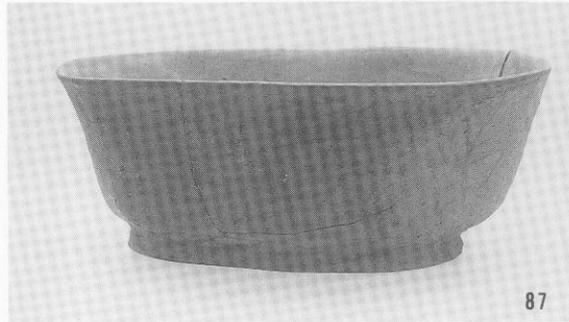
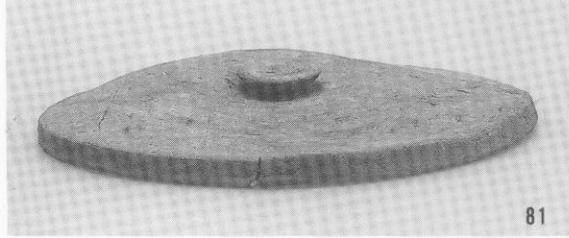
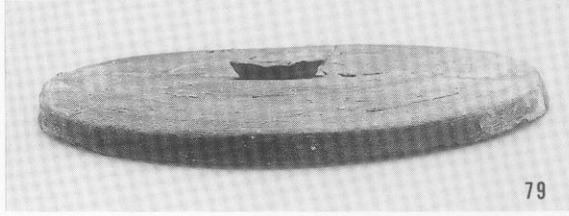
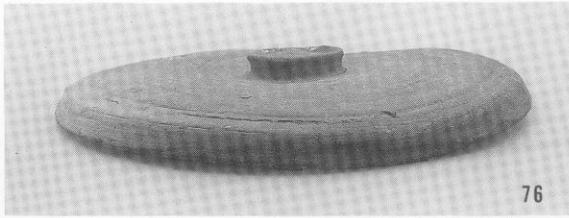


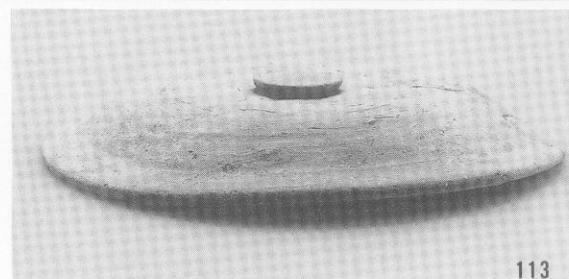
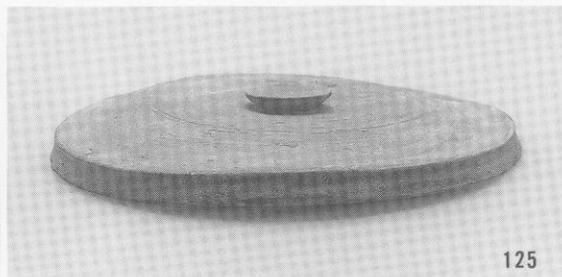
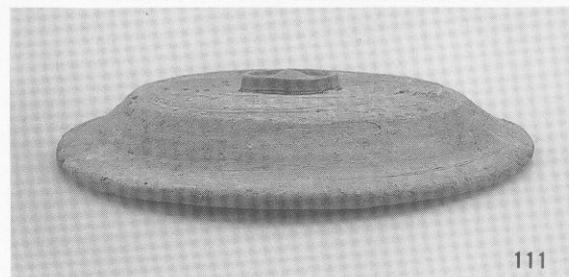
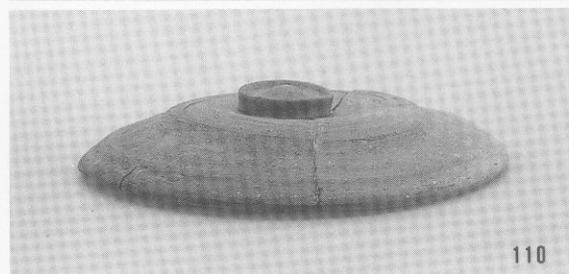
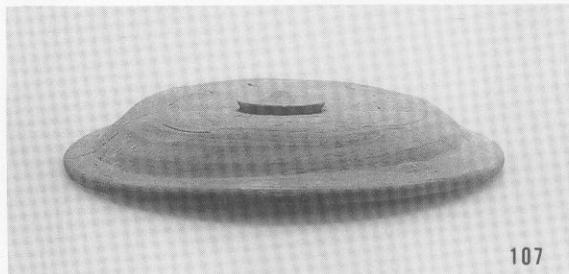
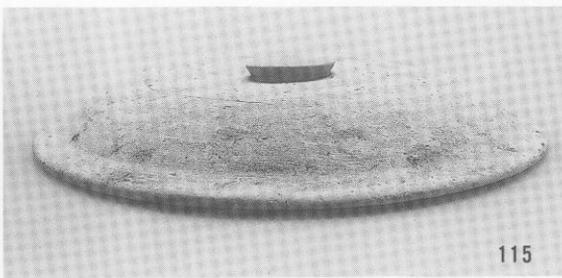
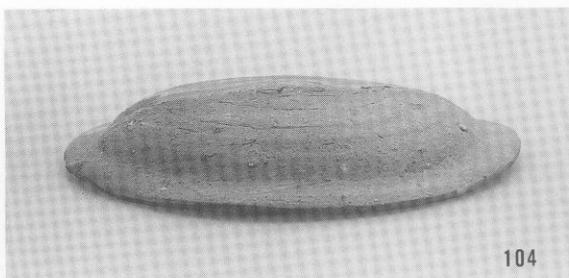


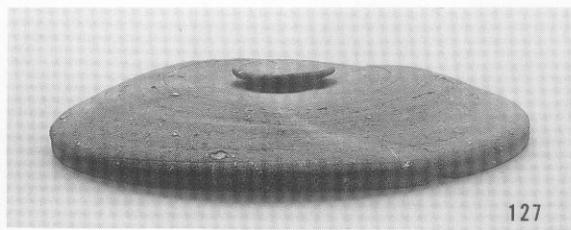




出土遺物 (61地点)







127



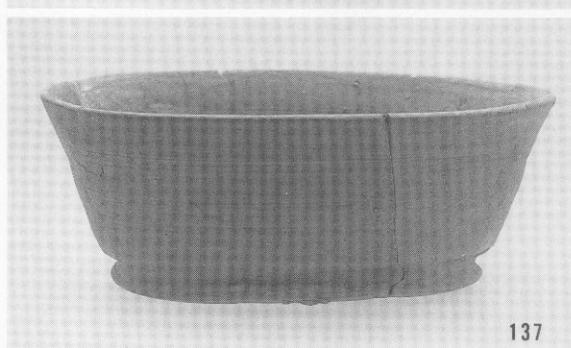
133



134



135



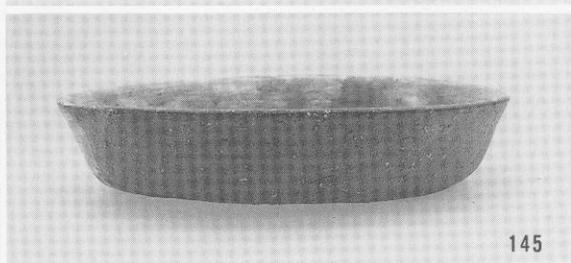
137



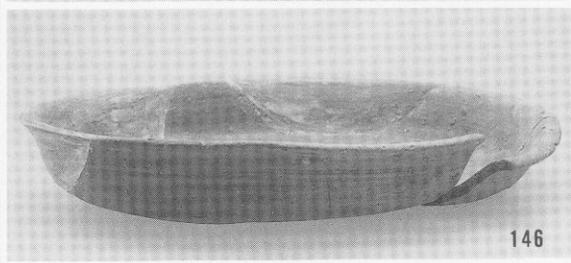
139



142



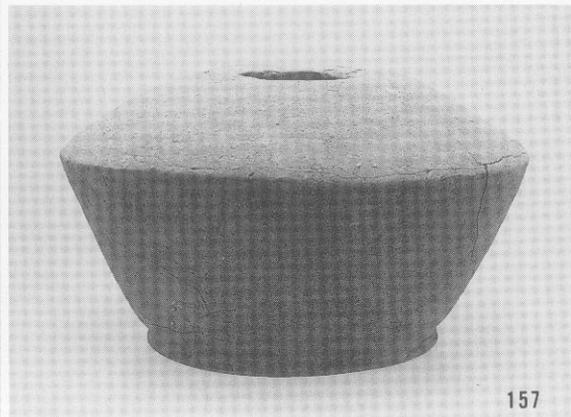
145



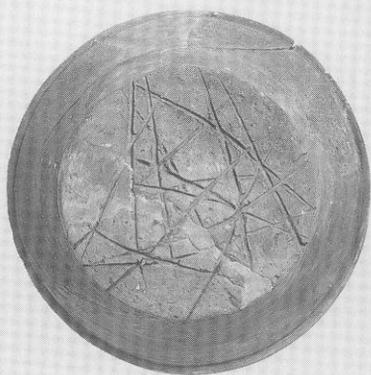
146



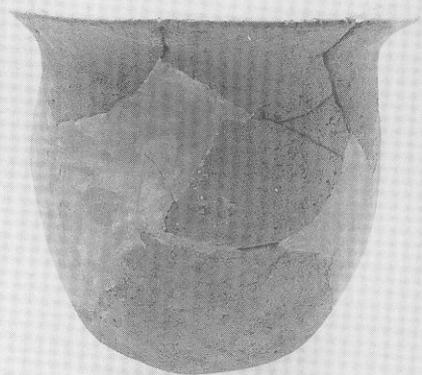
148



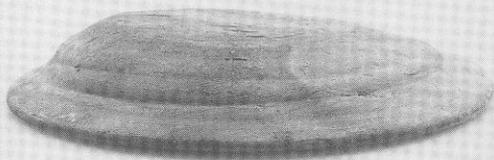
157



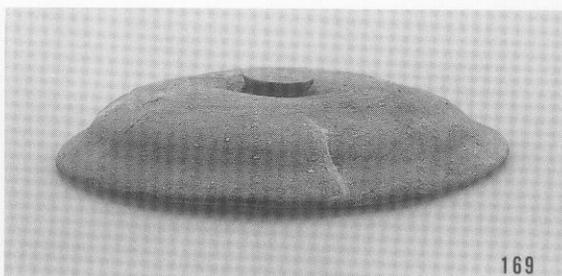
158



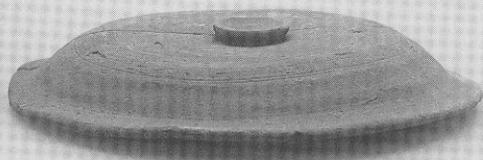
162



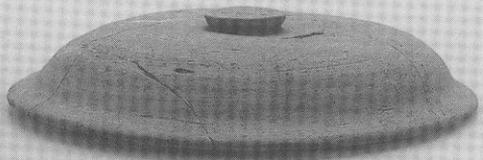
164



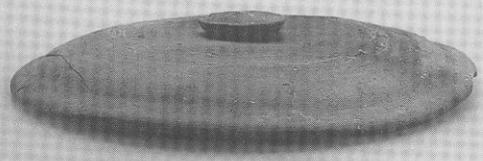
169



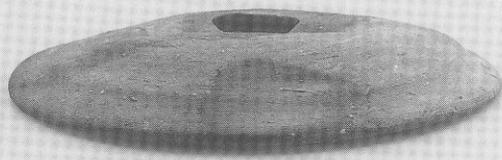
170



171



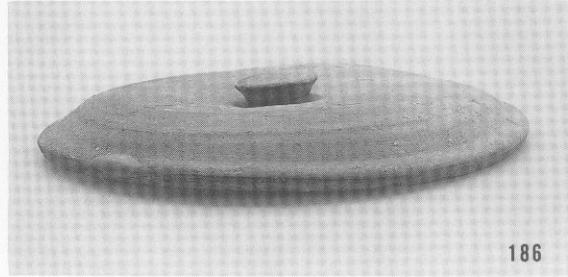
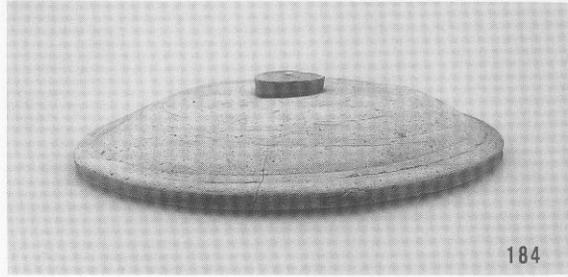
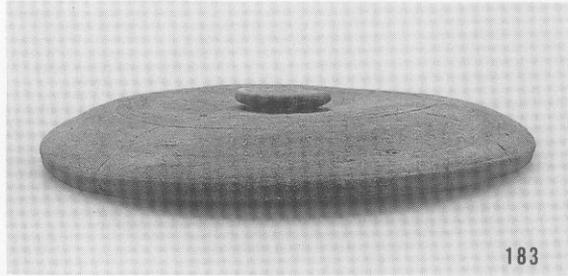
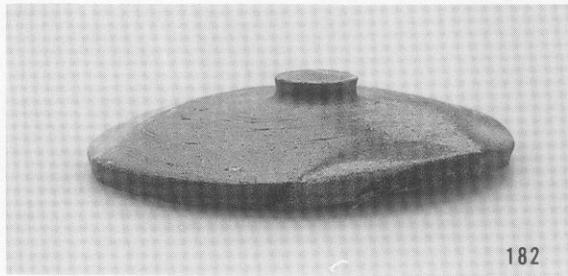
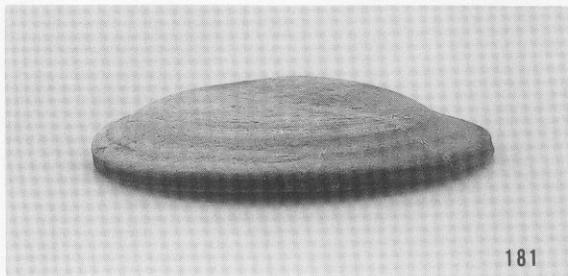
172



173



175





194



204



195



205



196



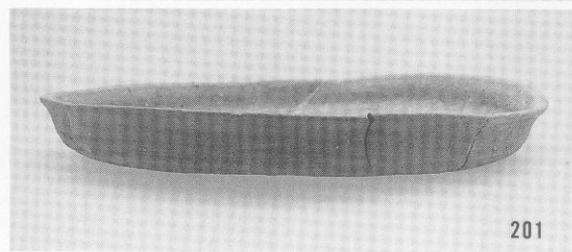
206



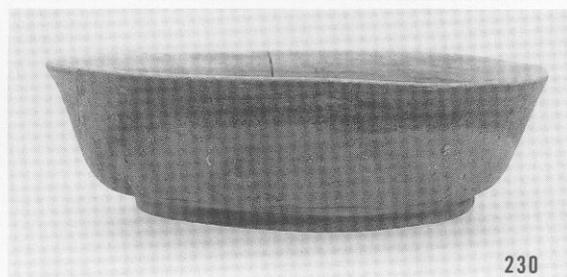
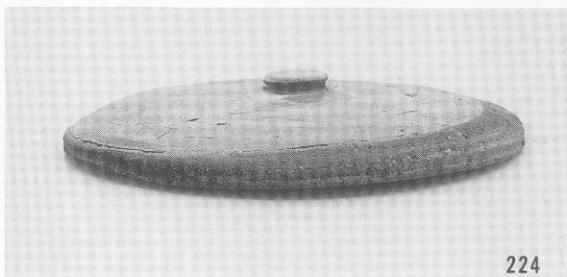
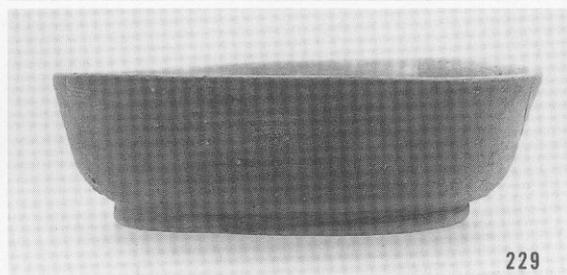
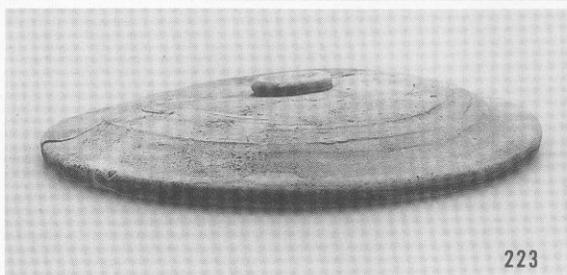
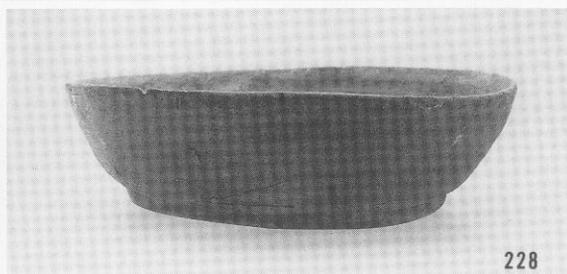
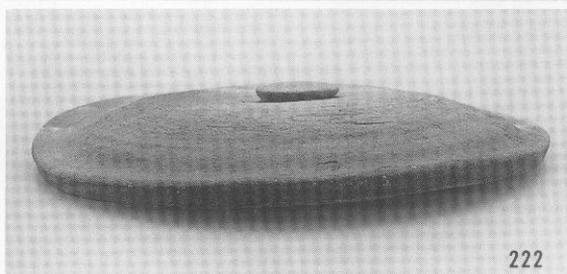
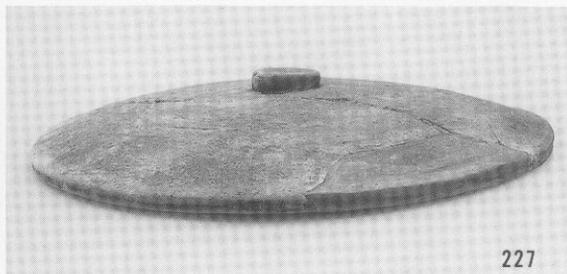
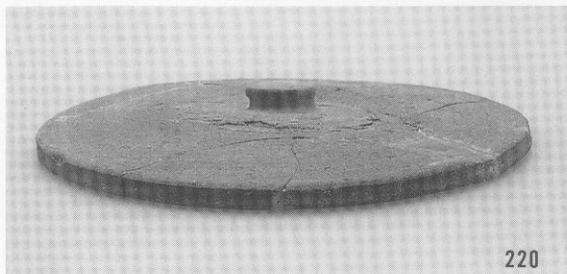
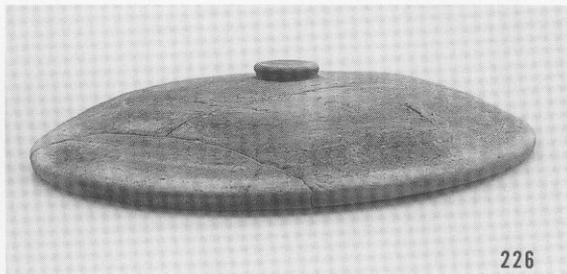
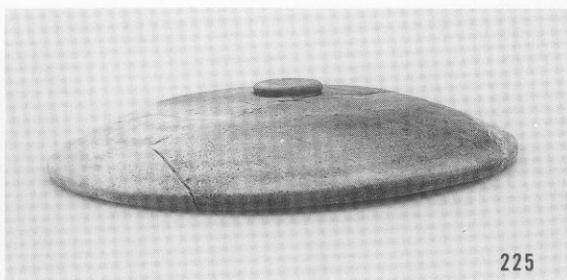
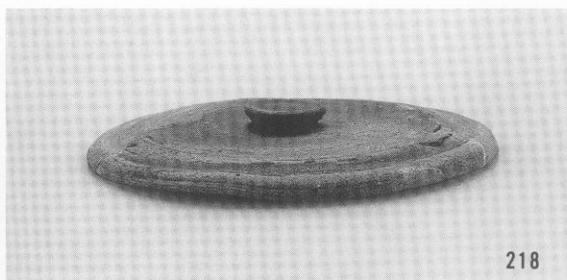
197

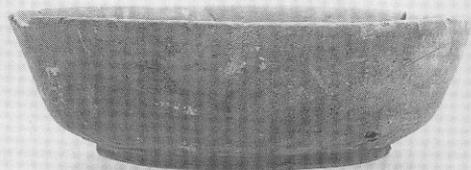


208

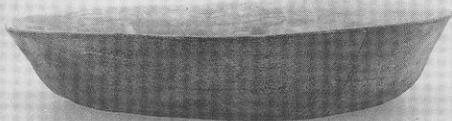


201

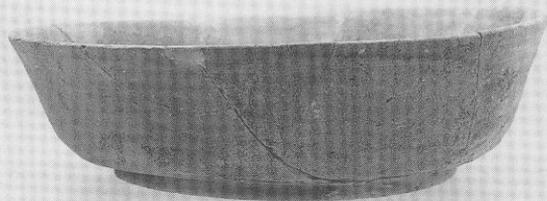




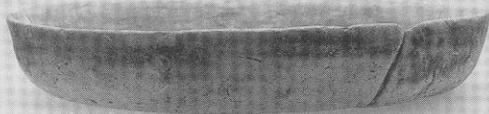
231



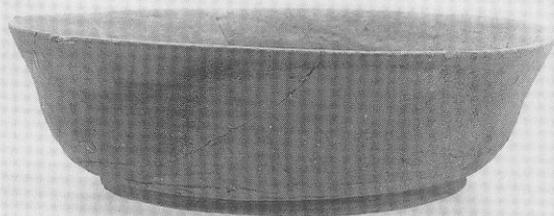
242



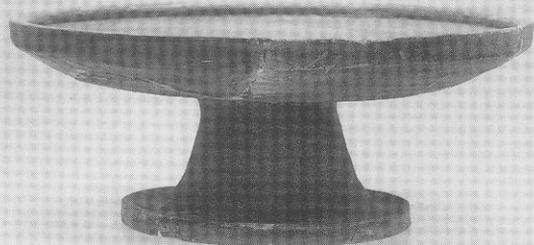
232



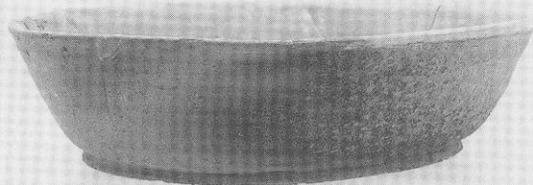
245



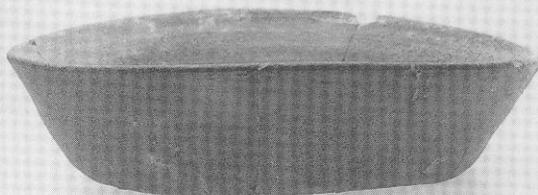
233



248



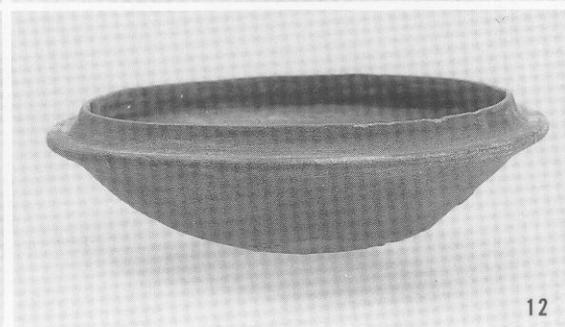
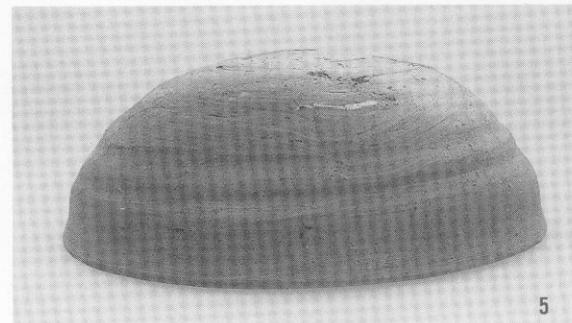
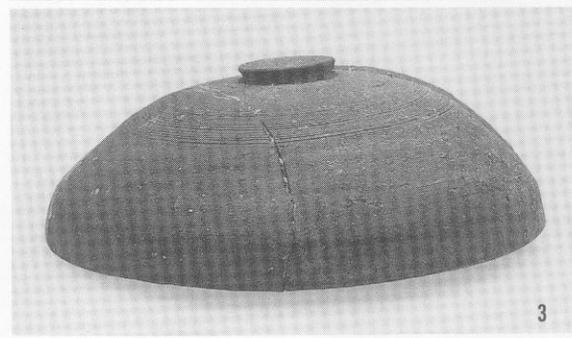
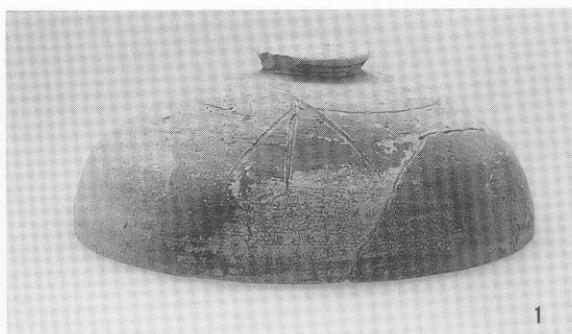
237



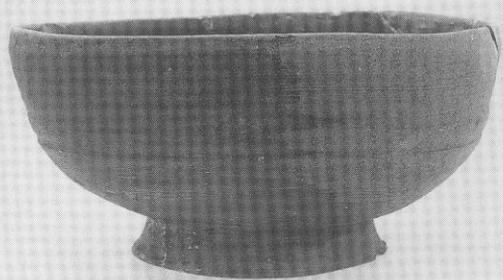
240



250



出土遺物 (63地点)



15



18



16



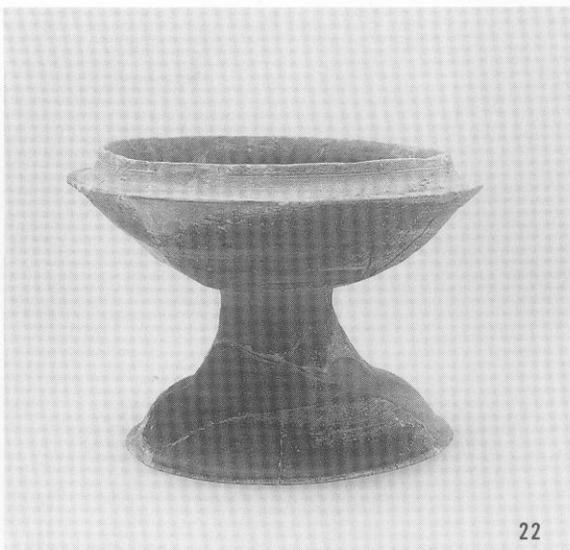
19



17



21





30



40



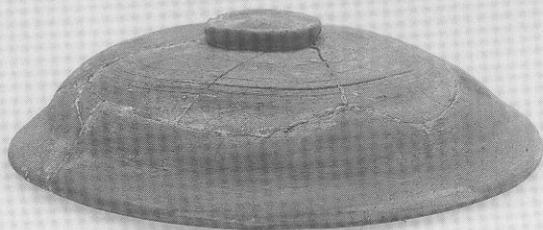
31



43



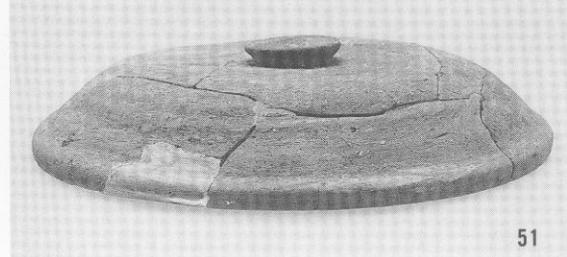
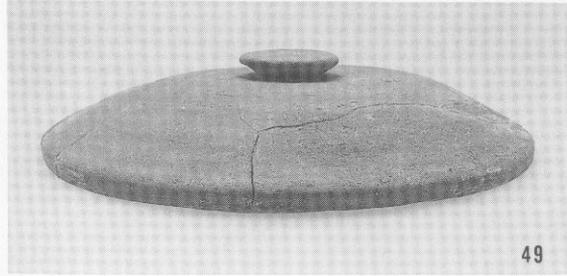
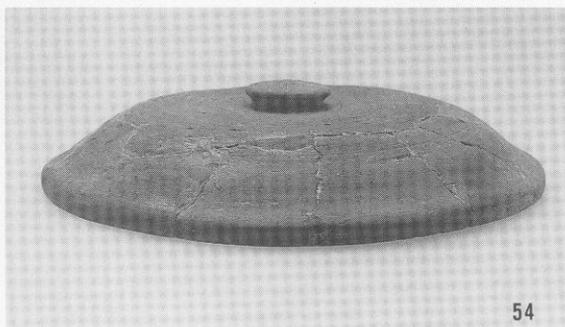
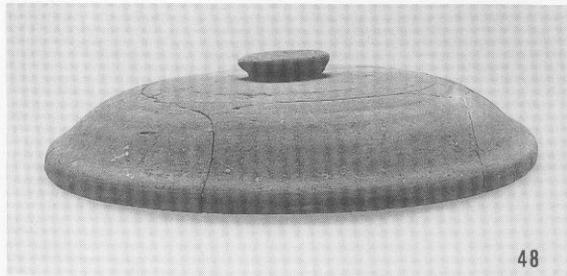
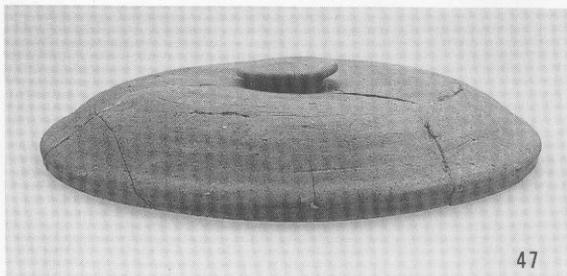
32

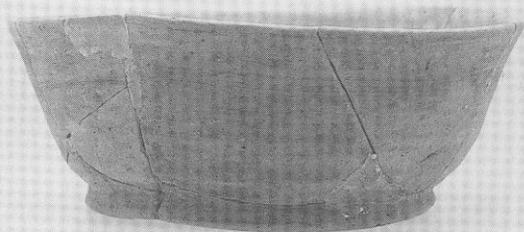


44

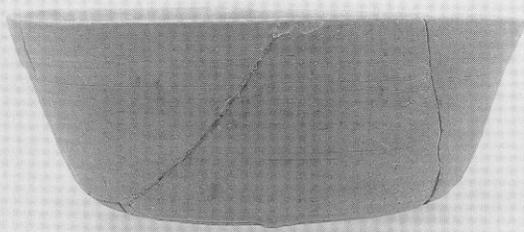


45

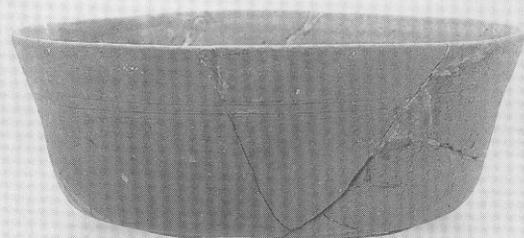




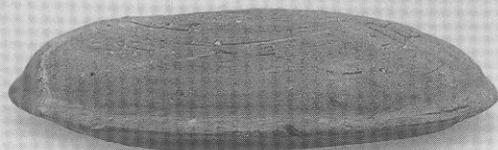
57



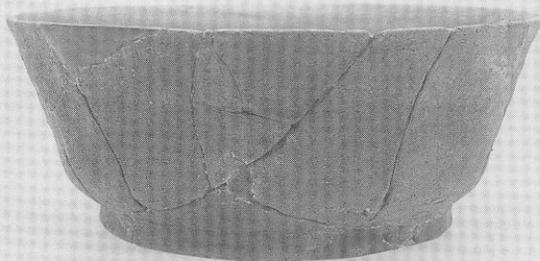
63



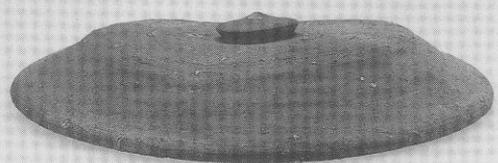
59



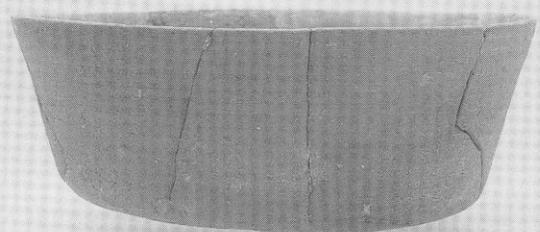
64



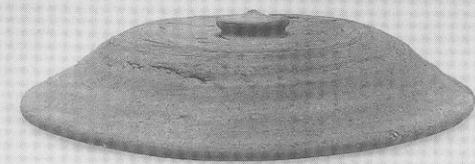
60



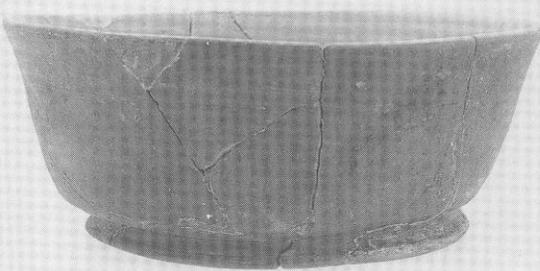
65



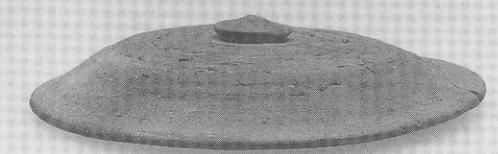
61



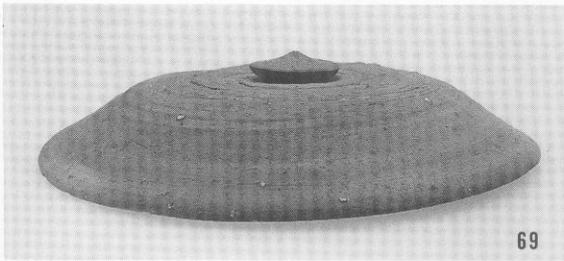
67



62



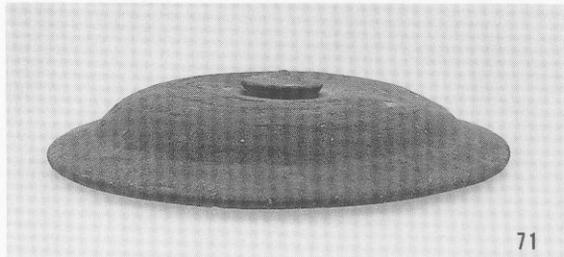
68



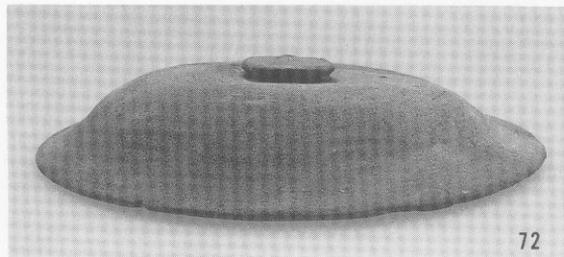
69



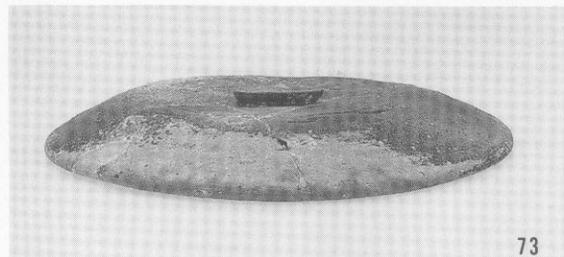
70



71



72



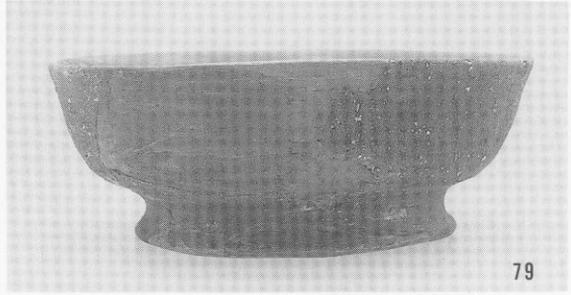
73



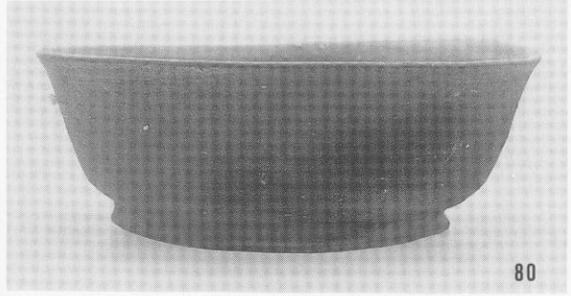
77



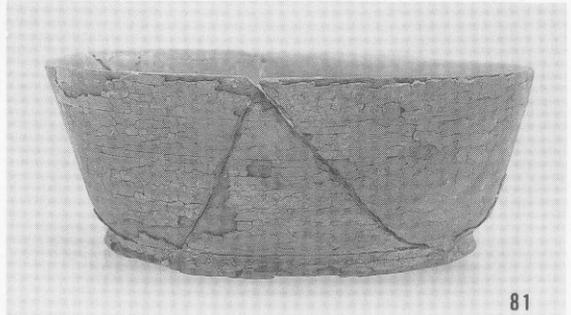
78



79



80



81



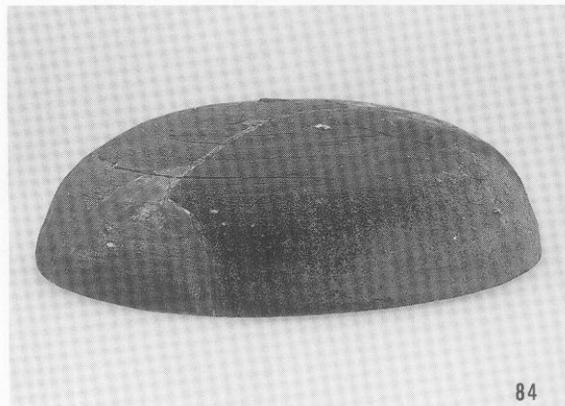
82



83



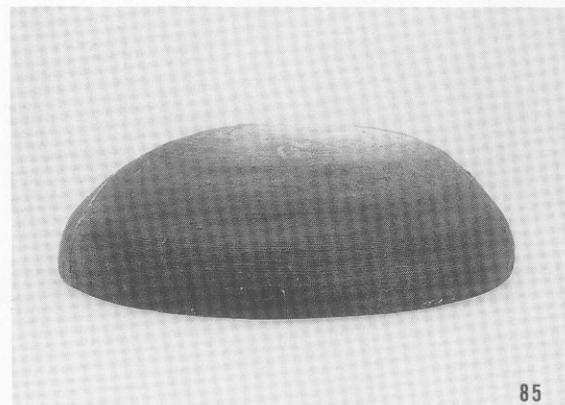
88



84



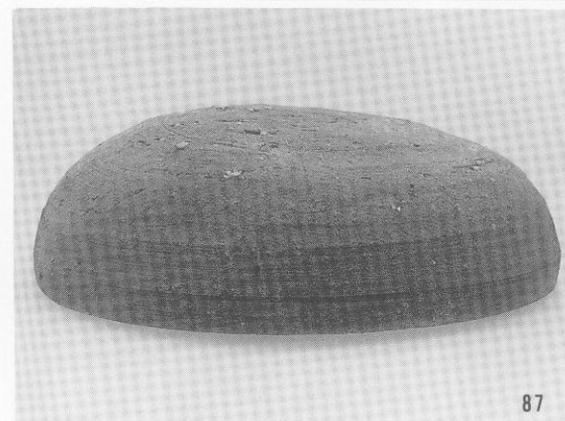
89



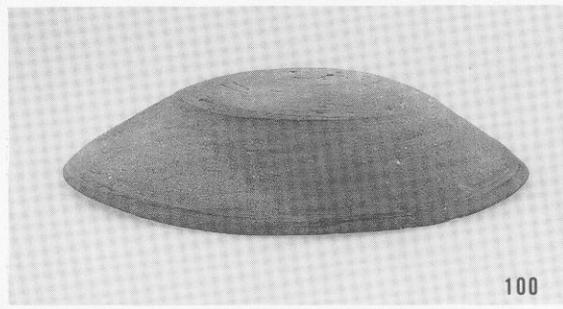
85



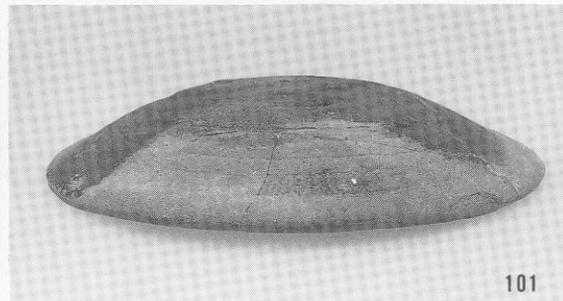
90



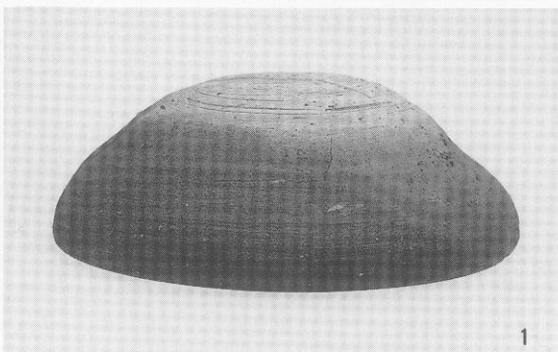
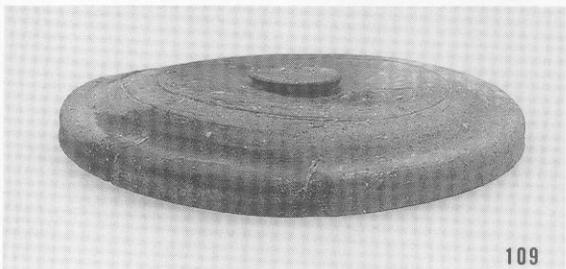
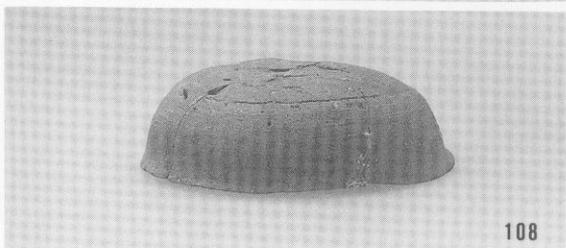
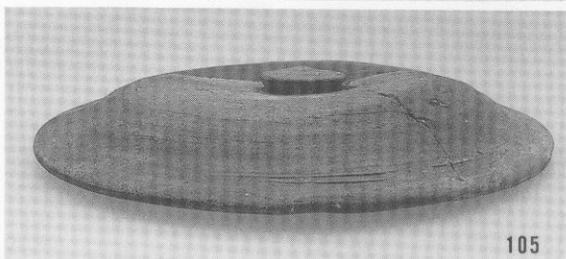
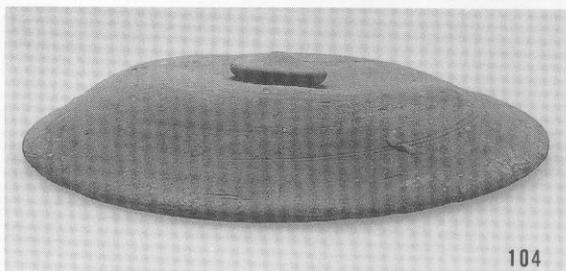
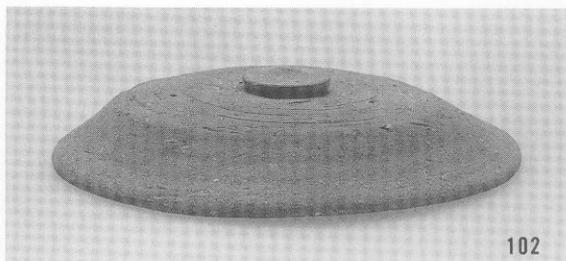
87

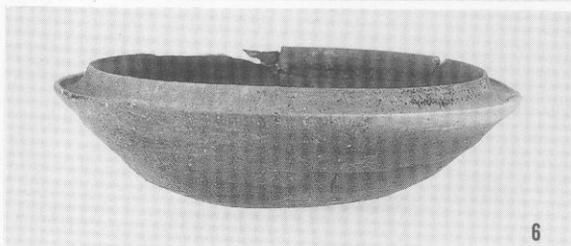
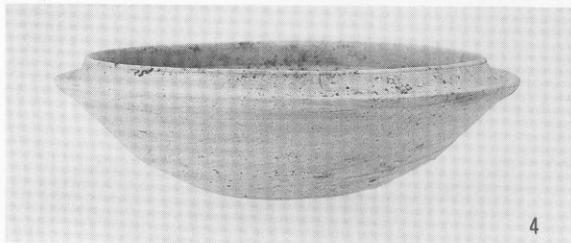
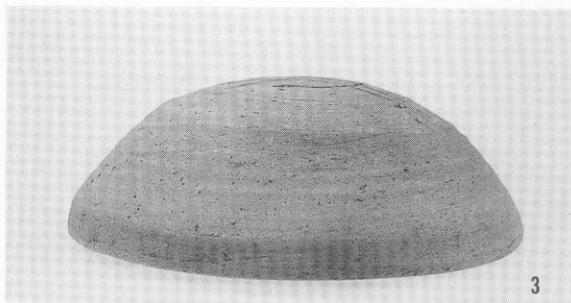


100

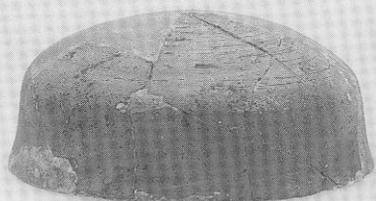


101

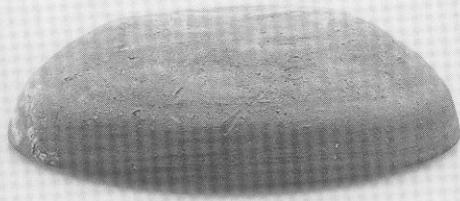




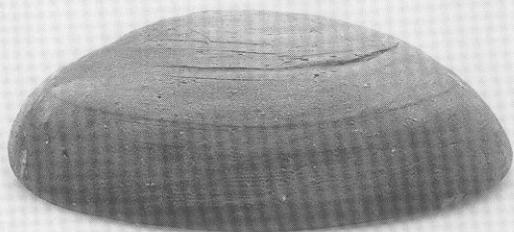
出土遺物 (65地点)



25



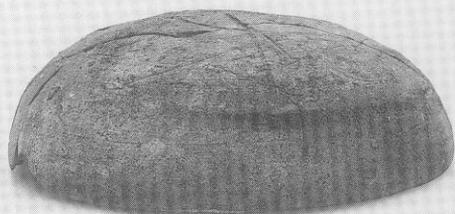
38



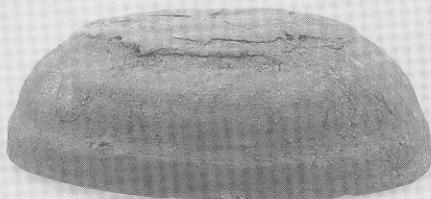
33



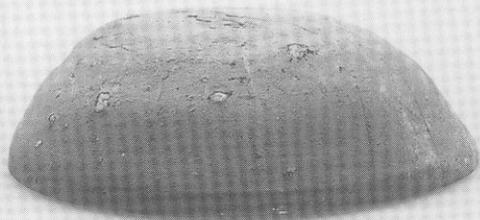
39



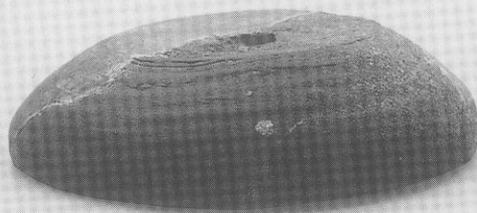
34



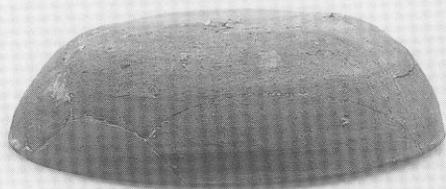
40



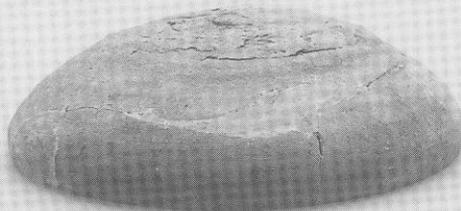
35



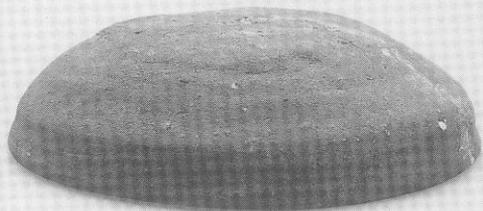
41



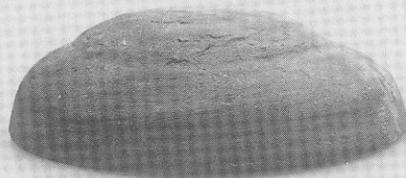
36



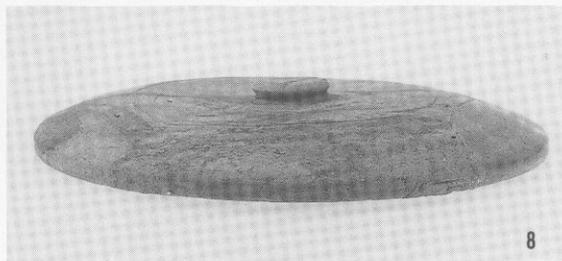
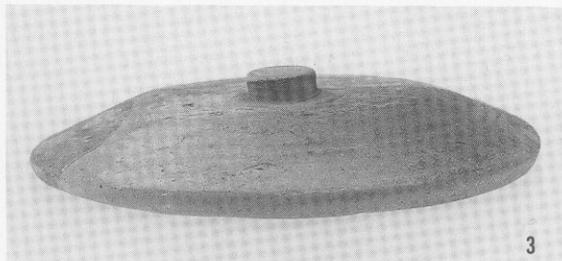
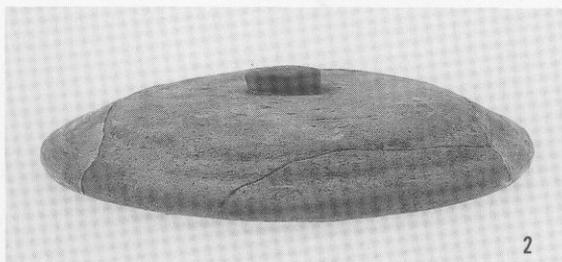
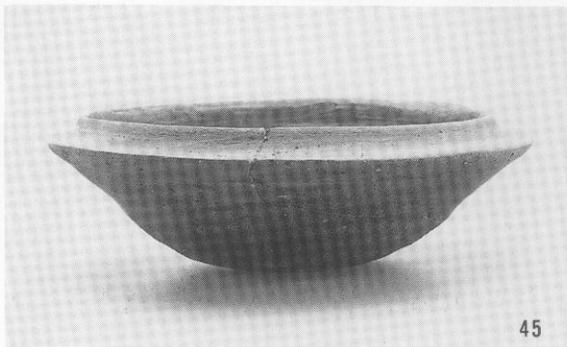
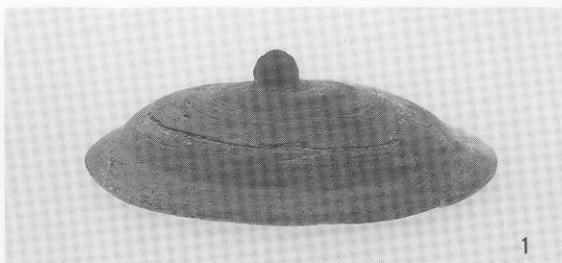
42

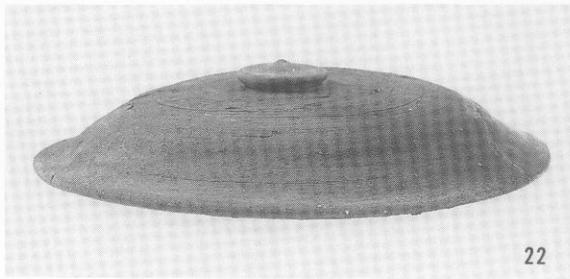
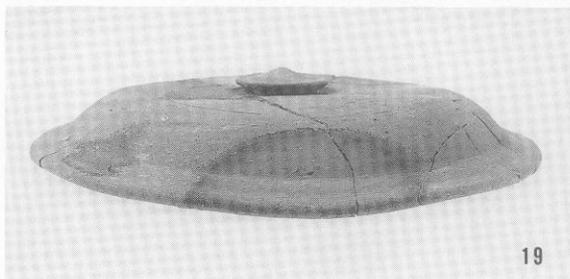
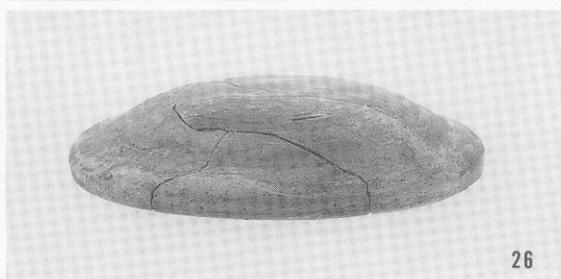
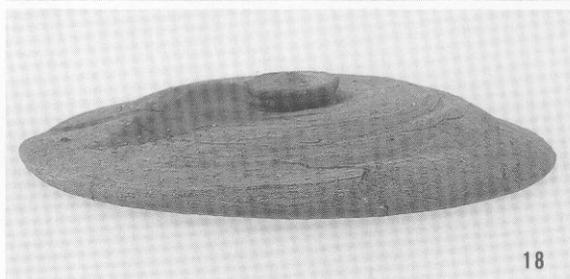
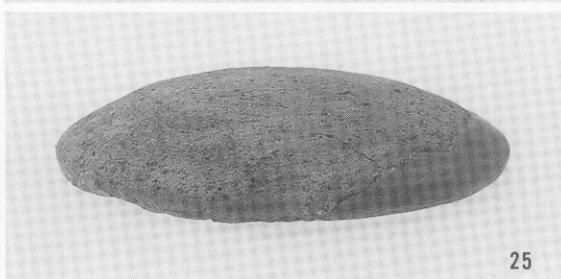
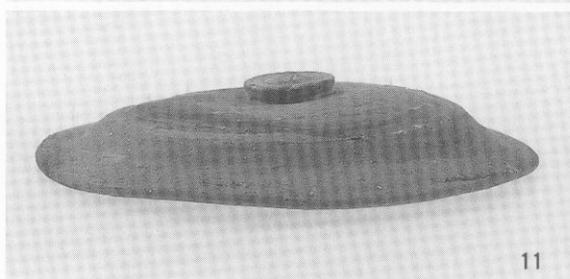
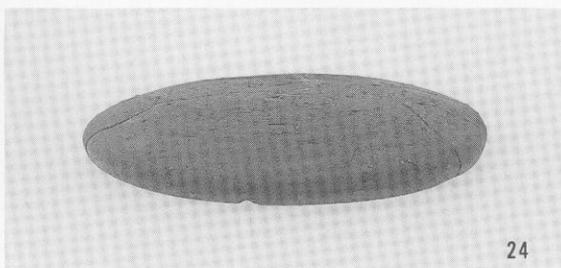
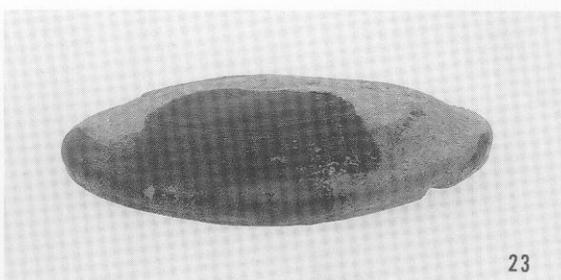


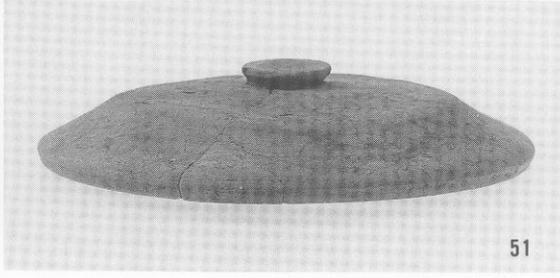
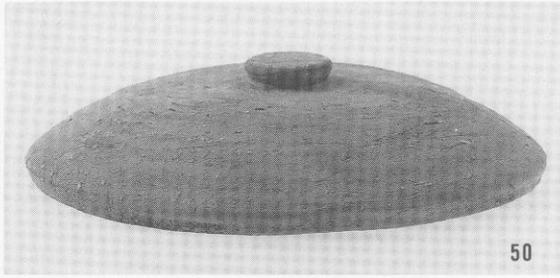
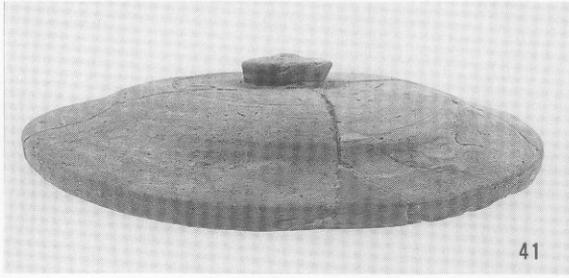
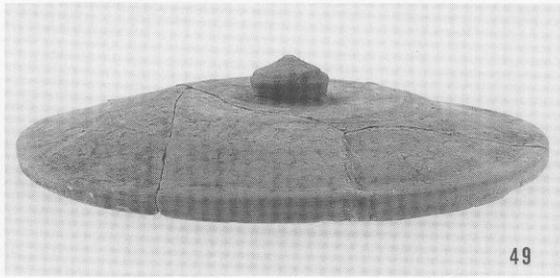
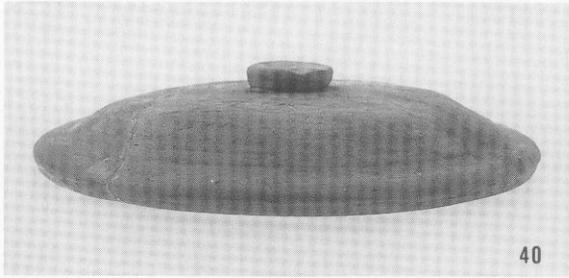
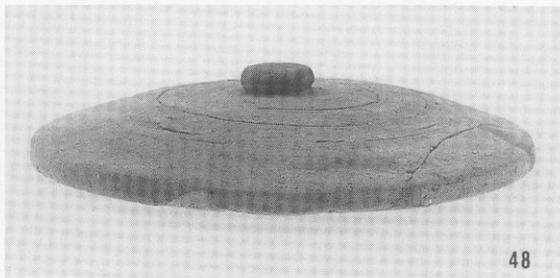
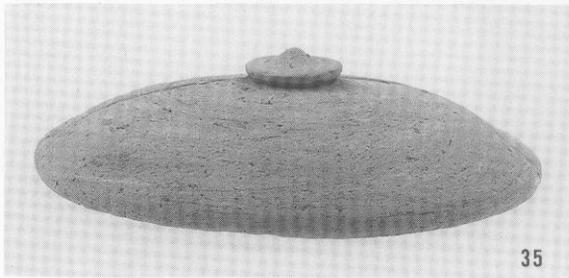
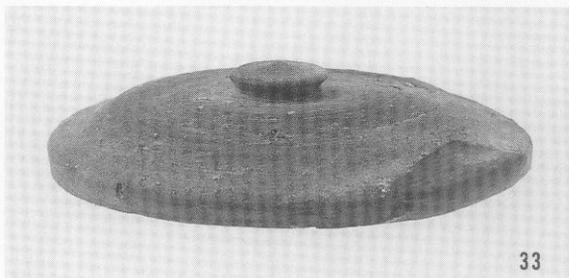
37

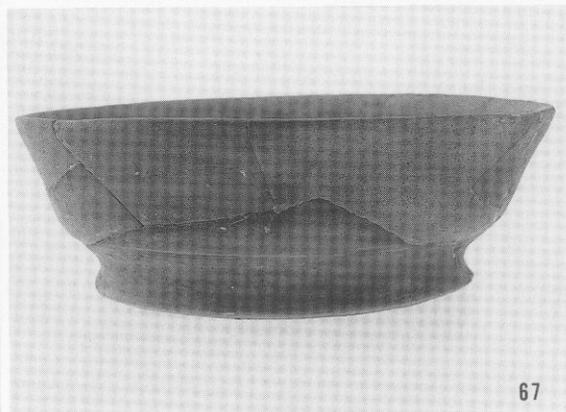
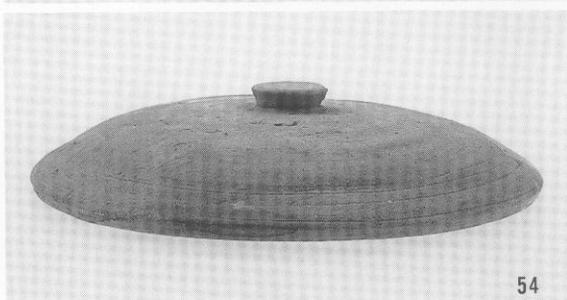


43











# 大野城市文化財調査報告書

第 33 集

平成 3 年 3 月 30 日

発 行 大野城市教育委員会  
福岡県大野城市曙町 2 丁目 2 - 1

印 刷 昭 和 堂 印 刷  
福岡市博多区榎田 2 丁目 2 - 52